

> PRINT > COPY > SCAN > FAX

TASKalfa 2460ci TASKalfa 2470ci







KYDCERa TASKalfa 2460ci/TASKalfa 2470ci

使用説明書 メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。 章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。



良好な状態でお使いいただくために

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、およびかんたんなト ラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

印刷品質維持のため、トナーコンテナは弊社純正品の使用をお勧めします。

弊社製品には、数々の品質検査に合格した弊社純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかね ますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。



シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

目次

1

2

良好な状態でお使いいただくために	i
目次	ii
メニューマップ	x
	X
「送信」	xii
[ユーザーボックス] (文書保存、印刷、送信)	xiv
[ジョブボックス]	xvii
[外部メモリー](文書保存、印刷)	xvi
[ファクス]	xix
[Fコードボックス]	XX
[ポーリングボックス]	XX
[ファクスメモリー受信ボックス]	xxi
[状況確認/ジョブ中止]	xxi
[システムメニュー]	xxii
こんなことができます	xxxix
本機の特長	xl
カラーや画質の機能について	xliv
基本的なカラーモード	xliv
画質やカラーを調整する	xlv
付属マニュアルの紹介	xlvi
使用説明書(本書)について	xlviii
本書の構成について	xlviii
本書の読みかた	xlix
オプションの表記について	li

安全にお使いいただくための注意事項1	-1
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について ⁻	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について1-	-12
自動両面機能について 1-	-12
印刷用紙について 1-	-12
電力管理について 1-	-12
国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム	-13
無線LAN使用時のご注意1-	-14
電波の種類と干渉距離	-14
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意	-14
本製品の使用限定	-15

設置と機械のセットアップ2-1

各部の名称(本体外観)	2-2
各部の名称(コネクター・内部)	2-4
各部の名称(オプション装着時)	2-5
本機とその他デバイスを接続する	2-6
ケーブルの接続	2-8
ネットワークケーブルを接続する	2-8
USBケーブルを接続する	2-9
電源コードを接続する	2-9

電源の入/切	. 2-10
電源を入れる	. 2-10
電源を切る	. 2-10
機械の初期設定をする	. 2-11
日付と時刻を設定する	. 2-12
ネットワークの設定	. 2-13
有線でネットワークを設定する	. 2-13
ワイヤレスネットワークを設定する	. 2-15
Wi-Fi Directを設定する	. 2-19
NFCを設定する	. 2-20
省エネ機能を使う	. 2-22
低電力モードとは	. 2-22
節電復帰レベルとは	. 2-22
スリープとは	. 2-23
オートスリープとは	. 2-23
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	. 2-23
簡単セットアップウィザードを使って設定する	. 2-24
ソフトウェアのインストール	2-26
収録ソフトウェア(Windows)	. 2-26
Windowsにソフトウェアをインストールする	. 2-27
ソフトウェアをアンインストールする	2-33
Macintoshにソフトウェアをインストールする	. 2-34
TWAINドライバーを設定する	. 2-36
WIAドライバーを設定する	. 2-38
WSDドライバーをインストールする	. 2-39
管理者が行うセキュリティー強化	. 2-40
Command Center RXとは	. 2-41
Command Center RX ヘアクセスする	. 2-42
セキュリティー設定を変更する	. 2-43
デバイス情報を変更する	. 2-44
SMTPおよびメール送信の設定をする	. 2-45
アドレス帳の移行	. 2-49
アドレス帳をパソコンにバックアップする	2-49
アドレス帳を本体に書き込む	. 2-51
アプリケーションとは	. 2-54
アプリケーションをインストールする	2-54
アプリケーションをアンインストールする	2-55

本機を使用する準備	3-1
操作パネルの使いかた	
機能キーに機能を割り当てる	
タッチパネルの使いかた	3-6
ホーム画面を表示する	
機器情報を表示する	3-11
機能キーを表示する	3-12
設定できないキーの表示のしかた	3-13
[エンター]キーの使いかた	3-14
[短縮]キーの使いかた	3-14
ヘルプ画面の使いかた	3-15
本機へのログイン・ログアウト	3-16
ログインする	3-16
簡単ログイン画面からログインする	3-17
ログアウトする	3-17

カウンターを確認する	3-18
用紙をセットする	3-19
用紙の取り扱い上の注意	3-19
給紙段を選択する	3-20
カセット1(~3)に用紙をセットする	3-21
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-24
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-24
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-25
共有フォルダーのアクセス許可を設定する	3-25
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-26
ファイルとプリンターの共有を許可する	3-29
Windowsファイアウォールを設定する	3-30
宛先の登録	3-34
アドレス帳に新しい宛先を登録する	3-34
アドレス帳の宛先を変更する	3-38
アドレス帳の宛先を削除する	3-39
ワンタッチキーに宛先を登録する	3-40
ワンタッチキーの宛先を変更する	3-41
ワンタッチキーの宛先を削除する	3-41
Command Center RXで宛先を登録する	3-43
よく使う機能を呼び出すには(お気に入り)	3-44
お気に入りをウィザード形式で登録する	3-45
お気に入りをプログラム形式で登録する	3-46
お気に入りをウィザード形式で実行する	3-47
お気に入りをプログラム形式で実行する	3-47
お気に入りを編集する	3-48
お気に入りを削除する	3-48
よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]	3-49
ショートカットを登録する	3-49
ショートカットを編集する	3-49
ショートカットを削除する	3-50
文書ボックスを使用するには	3-51
ユーザーボックスとは	3-51
ジョブボックスとは	3-51
外部メモリーボックスとは	3-52
Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは	3-52
本機でユーザーボックスを作成する	3-52
Command Center RXでユーザーボックスを作成する	3-53
ボックスを編集する	3-54
ボックスを削除する	3-55

パソコン側の操作	. 4-1
プリンタードライバーの印刷設定画面の見かた	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-4
プリンタードライバーの初期設定値を変更する	4-4
パソコンからの印刷	4-5
定形サイズの用紙に印刷する	4-5
不定形サイズの用紙に印刷する	4-7
パソコンで印刷を中止する	4-9
本体へのデータの保存と保存したデータの印刷	. 4-10
パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する	. 4-10
Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	. 4-12

本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスモニター)	4-14
ステータスモニターを起動する	4-14
ステータスモニターを終了する	4-14
ステータスモニターの見かた	4-14
印刷情報アイコンタブの見かた	4-15
用紙情報アイコンタブの見かた	4-15
トナー情報アイコンタブの見かた	4-15
アラート情報アイコンタブの見かた	4-16
ステータスモニターコンテキストメニューの見かた	4-16
ステータスモニターの通知機能を設定する	4-17
本休側の操作	5-1
原情をセットする	D-D
原椅ノフスにセットする	5-3 E E
「「「「「」」」」「「」」」」」」」 「「」」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」 「」」」 「」 「	5-5
于左しトレイに用紙をセツトする	5-7
アノリケーションを利用する	5-10
アフリケーションを起動する	5-10
アフリケーションを停止する	5-11
コビーのしかた	5-12
コピーする	5-12
割り込みコピーをする	5-13
印刷ジョフをキャンセルする	5-13
基本的なスキャン(送信)のしかた	5-14
スキャンした文書をメールで送信する	5-15
パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]	5-16
FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]	5-19
TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む	5-21
便利なスキャン(送信)のしかた	5-22
WSDスキャンを実行する	5-23
File Management Utility を使用して原稿を読み込む	5-24
種類の異なる相手に送信する(複合送信)	5-25
ログインユーザーのメールアドレスに送信する	5-26
ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)	5-26
スキャンをキャンセルする	5-28
宛先の操作	5-29
アドレス帳から宛先を選ぶ	5-29
拡張アドレス帳から宛先を選ぶ	5-31
ワンタッチキーから宛先を選ぶ	5-31
短縮番号から宛先を選ぶ	5-32
宛先を確認または変更する	5-32
送信前に宛先を確認する	5-32
再宛先を呼び出す	5-33
ファクスのしかた	5-34
文書ボックスの基本操作	5-35
ボックス一覧を操作する	5-35
文書一覧を操作する	5-35
ユーザーボックスの操作のしかた	5-36
スキャンした文書をユーザーボックスに保存する	5-36
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-36
ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を結合する	5-38

ユーザーボックス内の文書を削除する	5-39
ユーザーボックス内の文書を送信する	5-40
ログインユーザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する	5-41
ユーザーボックスに保存された文書を読み込む	5-42
本体に保存したデータの印刷	5-43
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	5-43
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	5-43
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	5-44
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	5-44
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	5-45
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	5-45
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	5-46
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	5-46
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-47
携帯端末からの印刷	5-48
AirPrintで印刷する	5-48
Google Cloud Printで印刷する	5-48
	5-48
Wi-Fi Directで印刷する	5-48
NFCで印刷する	5-49
USBメモリーの操作	5-50
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-50
USBメモリー情報を確認する	5-51
USBメモリーを取り外す	5-52
USBメモリーから印刷する	5-52

6	各機能の詳細設定	6-1
	本章のアイコンの見かた	
	[IDカードコピー(身分証)]	
	- 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	
	[用紙選択]	
	[原稿セット向き]	
	[ソート/仕分け]	6-10
	[排紙先]	6-11
	[濃度]	
	[原稿の画質]	6-13
	[エコプリント]	
	[カラー選択]	
	[カラーバランス]	6-16
	[色相調整]	
	[シャープネス]	
	[コントラスト]	
	[地色調整]	
	[彩度]	
	[うら写り防止]	
	[縮小/拡大]	6-20
	[ページ集約]	
	[とじしろ]	6-24
	[両面/分割]	6-25
	[連続読み込み]	
	[自動画像回転]	6-28
	[ジョブ終了通知]	
	[文書名入力]	6-30
	[優先印刷]	6-30
	[白紙ページスキップ]	6-30
	[両面/見開き原稿]	6-32
	[送信サイズ]	6-33
	[ファイル形式]	6-34
	[ファイル分割]	6-37
	[読み込み解像度]	6-37
	[メール件名/本文]	6-38
	[FTP暗号送信]	6-38
	[印刷後削除]	6-38
	[送信後削除]	6-39
	[保存サイズ]	
	[長尺原稿]	6-41
	[暗号化PDFパスワード]	6-41
	[JPEG/TIFF印刷方法]	6-42
	[XPS印刷サイズ調整]	6-42

ジョブ/消耗品/デバイスの管理	7-1
ジョブの状況確認	7-2
確認できる状況の種類	7-2
状況確認画面を表示する	7-2
状況確認画面	7-3
印刷ジョブ状況画面の見かた	7-3
送信ジョブ状況画面の見かた	7-4
保存ジョブ状況画面の見かた	7-5

9

予約ジョブ画面の見かた	7-5
ジョブの詳細情報を確認する	7-6
ジョブの履歴確認	7-7
確認できるジョブ履歴の種類	7-7
ジョブ履歴画面を表示する	7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8
ジョブの操作	7-9
ジョブを一時停止/再開する	7-9
ジョブをキャンセルする	7-9
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する	7-10
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する	

システムメニューの操作方法	8-2
[簡単セットアップウィザード]	8-3
[言語選択]	8-4
[レポート]	8-5
[カウンター]	8-8
[カセット/手差しトレイ設定]	8-9
[共通設定]	8-11
[ホーム]	8-22
[コピー]	8-23
[送信]	8-24
[文書ボックス]	8-25
[ファクス]	8-26
[アプリケーション]	8-26
[インターネット]	8-26
[アドレス帳/ワンタッチ]	8-27
[ユーザー/部門管理]	8-27
[プリンター]	8-29
[システム/ネットワーク]	8-32
[日付/タイマー/節電]	8-56
[調整/メンテナンス]	8-58

ユーザー管理とは	. 9-2
パソコンからユーザーを管理する	. 9-2
ユーザー管理を有効にする	. 9-3
ユーザー管理の設定	. 9-4
認証セキュリティーを設定する	. 9-4
新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]	. 9-5
ユーザー情報を変更する	9-10
印刷するユーザーを管理する	9-13
TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-14
WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-15
パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する	9-16
ローカルユーザー認可を設定する	9-17
グループ認可を設定する	9-18
ゲスト認可を設定する	9-21
ネットワークユーザー情報を取得する	9-24
簡単ログイン設定とは	9-26
ICカード認証方法を設定する	9-29

PINコード認証を設定する	9-30
ユーザー管理を使う	9-31
ログイン/ログアウトをする	9-31
部門管理とは	9-32
部門管理を有効にする	9-33
部門管理方式を設定する	9-33
管理する部門を設定する[ローカル]	9-34
部門を新規に登録する[部門リスト]	9-34
使用制限を設定する	9-35
制限枚数超過時の処理を設定する	9-36
部門情報を編集する	9-37
部門を削除する	9-38
部門の印刷状況を管理する	9-38
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する	9-40
WIAを使ったスキャンジョブを管理する	9-41
パソコンから送信したファクスジョブを管理する	9-42
部門管理を利用する	9-43
部門管理の初期設定をする	9-43
用紙サイズ別に集計する	9-44
使用枚数を集計する	9-46
部門レポートを印刷する	9-49
コピー/プリンターのカウント方法を設定する	9-50
ログイン/ログアウトする(部門管理)	9-51
不明ユーザー処理方法を設定する	9-52
ID不明ジョブ処理を設定する	9-52
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する	9-52

4	Λ
	υ

メンテナンス 1	0-1
日常のお手入れ	10-2
原稿ガラスを清掃する	10-2
スリットガラスを清掃する	10-2
消耗品の交換と補充	10-4
トナーコンテナを交換する	10-4
廃棄トナーボックスを交換する	10-7
用紙を補給する	10-9

11	トラブルシューティング	11-1
	一般的なトラブル	11-2
	トラブルが発生したら	11-2
	機械動作のトラブル	11-3
	画像のトラブル	11-6
	カラー印刷のトラブル	11-9
	こんな表示がでたら	11-10
	メッセージが表示されたら	11-10
	エラーメッセージー覧	11-10
	送信エラーコード一覧	11-21
	調整/メンテナンスメニュー	11-24
	調整/メンテナンスメニューについて	11-24
	カラー印刷位置補正を実行する	11-24
	キャリブレーションを実行する	11-30
	レーザースキャナークリーニングを実行する	11-30
	階調調整を実行する	11-31
	ドラムリフレッシュを実行する	11-33

	紙づまりの解除	
	紙づまり表示の見かたと位置の確認	
	手差しトレイの紙づまりを除去する	11-35
	右カバー1の紙づまりを除去する	11-36
	カセット1、2、3の紙づまりを除去する	11-37
	右カバー2,3の紙づまりを除去する	11-38
	原稿送り装置の紙づまりを除去する	11-41
12 作	†録	12-1
	オプションについて	12-2
	オプション構成	
	オプションのアプリケーションについて	
	アプリケーションの使用を開始する	
	アプリケーションの詳細を確認する	
	文字の入力	
	入力方式を選択する	
	入力文字を選択する	
	入力画面の見かた	12-12
	かな入力とローマ字入力での文字変換	
	区点コードでの文字変換	
	用紙について	
	用紙の基本仕様	
	適正な用紙の選択	12-22
	仕様	
	本体	
	コピー機能	
	プリンター機能	
	スキャナー機能	
	原稿送り装置	
	ペーパーフィーダー(550枚)	12-34
	ペーパーフィーダー(550枚×2)	12-34
	区点コード表	12-35
	製品の保守サービスについて	12-41
	補修用性能部品について	12-42
	廃棄について	12-43
	使用済み製品の廃棄	12-43
	初期化について	12-43
	トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	12-43
	用語集	12-44
	索引	素引-1

メニューマップ

タッチパネルに表示される機能の一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルは機能の名称と異なる場合があります。

[⊐ピー]



シャープネス

コントラスト

うら写り防止

地色調整



機能キー 説明 参照ページ 用紙選択 使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレ <u>6-5</u> イを選択します。 6-20 縮小/拡大 倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。 <u>6-12</u> 濃度 濃度を調整します。 6-25 用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページ 両面/分割 ずつ片面印刷します。 <u>6-22</u> ページ集約 2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。 カラー選択 カラーのモードを選択します。 6-16 機能一覧 説明 参照ページ ソート/仕分け 用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。 6-10 IDカードコピー(身分証) 免許証や保険証などのIDカードをコピーしたいときに使用し <u>6-3</u> ます。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面 を集約してコピーされます。 原稿サイズ 原稿の読み込みサイズを設定します。 <u>6-4</u> 6-9 原稿セット向き 文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示 します。 <u>6-6</u> 原稿サイズ混載 原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込 みます。 <u>6-11</u> 排紙先 排紙先のトレイを指定します。 <u>6-13</u> 原稿の画質 原稿の画質に合わせて、画像を処理します。 エコプリント 6-14 エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。 6-17 色調調整 色相(色合い)を調整し、イメージを変えます。 <u>6-16</u> カラーバランス シアン(青系色)、マゼンタ(赤系色)、イエロー(黄色)、ブラッ ク(黒)のそれぞれの色の強弱を調整します。

いように画質を調整します。

画像の輪郭の強弱を調整します。

画像の濃淡のコントラストを調整します。

新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。

うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まな

<u>6-18</u>

6-18

6-19

<u>6-20</u>

機能一覧	説明	参照ページ
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のペー ジを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<u>6-30</u>
彩度	画像の彩度(鮮やかさ)を調整します。	<u>6-19</u>
とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。	<u>6-24</u>
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<u>6-27</u>
自動画像回転	セットした原稿と給紙元の用紙が同じサイズで向きが異なる 場合、画像を90度回転してコピーします。	<u>6-28</u>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<u>6-28</u>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<u>6-30</u>
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	<u>6-30</u>

[送信]



機能キー	説明	参照ページ
ワンタッチキー	ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録すること ができます。	<u>3-40</u>
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	<u>5-29</u>
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操 作手順書
メール	スキャンした文書をメールで送信します。	<u>5-15</u>
フォルダー	読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォル ダーに保存したり(SBM送信)、またはFTPサーバーのフォル ダーに保存します(FTP送信)。	<u>5-16</u> <u>5-19</u>
ファクス	スキャンした文書をファクスで送信します。	ファクス使用 説明書
ファクスサーバー	スキャンした文書をファクスサーバーを経由して送信しま す。	ファクス使用 説明書
WSDスキャン	読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイ ルとして保存します(WSDスキャン)。	<u>5-23</u>

機能一覧	説明	参照ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	<u>6-15</u>
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。	<u>6-34</u>
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	<u>6-4</u>

機能一覧	説明	参照ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示 します。	<u>6-9</u>
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込 みます。	<u>6-6</u>
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	<u>6-32</u>
送信サイズ	送信する画像のサイズを選択します。	<u>6-33</u>
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成します。	<u>6-37</u>
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	<u>6-37</u>
濃度	濃度を9 段階から調整します。	<u>6-12</u>
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<u>6-13</u>
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<u>6-18</u>
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<u>6-18</u>
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<u>6-19</u>
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まな いように画質を調整します。	<u>6-20</u>
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のペー ジを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<u>6-30</u>
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用 説明書
縮小/ 拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<u>6-20</u>
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<u>6-27</u>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<u>6-30</u>
メール件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	<u>6-38</u>
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。	<u>6-41</u>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<u>6-28</u>
FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	<u>6-38</u>
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	ファクス使用 説明書
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	ファクス使用 説明書
ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信 用の文書を受け取ります。	ファクス使用 説明書

[ユーザーボックス](文書保存、印刷、送信)



[文書保存]

機能キー	説明	参照ページ
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	<u>6-32</u>
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	<u>6-37</u>
濃度	濃度を9段階から調整します。	<u>6-12</u>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<u>6-30</u>
カラー選択	カラーのモードを選択します。	<u>6-15</u>
機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込むサイズを設定します。	<u>6-4</u>
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込みため、原稿の上部の向きを指示 します。	<u>6-9</u>
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込 みます。	<u>6-6</u>
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	<u>6-40</u>
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<u>6-13</u>
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<u>6-18</u>
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<u>6-18</u>
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<u>6-19</u>
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まな いように画質を調整します。	<u>6-20</u>
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のペー ジを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<u>6-30</u>
縮小 拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<u>6-20</u>
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<u>6-27</u>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<u>6-28</u>

[印刷]

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレ イを選択します。	<u>6-5</u>
ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	<u>6-10</u>
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	<u>6-32</u>
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除しま す。	<u>3-53</u>
	52 00	40 mm -0 - 54
險能一 寬	記明	参照ヘーン
<u>機能一覧</u> 排紙先	説明 排出先のトレイを指定します。	参照ヘーン <u>6-11</u>
機能一覧 排紙先 とじしろ	説明 排出先のトレイを指定します。 とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。	参照ヘーシ <u>6-11</u> <u>6-24</u>
機能一覧 排紙先 とじしろ 優先印刷	説明 排出先のトレイを指定します。 とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。 印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	参照ヘーシ 6-11 6-24 6-30
後肥一覧 排紙先 とじしろ 優先印刷 文書名入力	説明 排出先のトレイを指定します。 とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。 印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。 文書に名前を付けます。	参照ヘーシ 6-11 6-24 6-30 6-30
後非一覧 排紙先 とじしろ 優先印刷 文書名入力 ジョブ終了通知	説明 排出先のトレイを指定します。 とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。 印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。 文書に名前を付けます。 ジョブが終了したことをメールで通知します。	参照ヘーシ <u>6-11</u> <u>6-24</u> <u>6-30</u> <u>6-30</u> <u>6-28</u>

[送信]

機能キー	説明	参照ページ
ワンタッチキー	ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録すること ができます。	<u>3-40</u> <u>5-31</u>
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	<u>5-29</u>
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操 作手順書
メール	スキャンした文書をメールで送信します。	<u>5-15</u>
フォルダー	読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォル ダーに保存したり(SBM送信)、またはFTPサーバーのフォル ダーに保存します(FTP送信)。	<u>5-16</u> <u>5-19</u>
ファクス	スキャンした文書をファクスで送信します。	ファクス使用 説明書
ファクスサーバー	スキャンした文書をファクスサーバーを経由して送信しま す。	ファクス使用 説明書
機能一覧	説明	参照ページ
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。	<u>6-34</u>
ファイル形式 ファイル分割	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 	<u>6-34</u> <u>6-37</u>
 ファイル形式 ファイル分割 解像度 	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 	<u>6-34</u> <u>6-37</u> <u>6-37</u>
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度 文書名入力	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 文書に名前を付けます。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書 6-30
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度 文書名入力 メール件名/本文	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 文書に名前を付けます。 メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書 6-30 6-38
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度 文書名入力 メール件名/本文 ジョブ終了通知	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 文書に名前を付けます。 メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。 ジョブが終了したことをメールで通知します。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書 6-30 6-38 6-28
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度 文書名入力 メール件名/本文 ジョブ終了通知 FTP暗号送信	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 文書に名前を付けます。 メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。 ジョブが終了したことをメールで通知します。 FTPで送信する際に画像を暗号化します。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書 6-30 6-38 6-28 6-38
ファイル形式 ファイル分割 解像度 ファクス送信解像度 文書名入力 メール件名/本文 ジョブ終了通知 FTP暗号送信 ファクスタイマー送信	 画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。 読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成して印刷します。 画像の細かさを設定します。 ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。 文書に名前を付けます。 メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。 ジョブが終了したことをメールで通知します。 FTPで送信する際に画像を暗号化します。 送信する時刻を指定します。 	6-34 6-37 6-37 ファクス使用 説明書 6-30 6-38 6-28 6-38 ファクス使用 説明書

[ジョブボックス]



機能キー	説明	参照ページ
プライベートプリント/ジョブ保留	本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定するこ とができます(プライベートプリント)。 アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存 します(ジョブ保留)。	<u>5-43</u> <u>5-44</u>
クイックコピー/試し刷り後保留	ー度印刷した文書を追加印刷できます(クイックコピー)。 複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留に できます(試し刷り後保留)。	<u>5-45</u> <u>5-46</u>

[外部メモリー](文書保存、印刷)



[文書保存]

機能キー	説明	参照ページ
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを 調整することもできます。	<u>6-34</u>
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	<u>6-32</u>
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	<u>6-37</u>
濃度	濃度を9段階から調整します。	<u>6-12</u>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<u>6-30</u>
カラー選択	カラーのモードを選択します。	<u>6-15</u>

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	<u>6-4</u>
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示 します。	<u>6-9</u>
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込 みます。	<u>6-6</u>
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	<u>6-40</u>

機能一覧	説明	参照ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<u>6-13</u>
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<u>6-18</u>
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<u>6-18</u>
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<u>6-19</u>
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まな いように画質を調整します。	<u>6-20</u>
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のペー ジを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<u>6-30</u>
縮小/ 拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<u>6-20</u>
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<u>6-27</u>
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。	<u>6-41</u>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<u>6-28</u>
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファ イルを作成します。	<u>6-37</u>

[印刷]

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレ イを選択します。	<u>6-5</u>
ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	<u>6-10</u>
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	<u>6-27</u>
カラー選択	カラーのモードを選択します。	<u>6-15</u>
機能一覧	説明	参照ページ
排紙先	排紙先のトレイを指定します。	<u>6-11</u>
とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら 面のとじしろを設定したりすることもできます。	<u>6-24</u>
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	<u>6-14</u>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<u>6-28</u>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<u>6-30</u>
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	<u>6-30</u>
暗号化PDFパスワード	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	<u>6-41</u>
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定 します。	<u>6-42</u>
XPS印刷サイズ調整	 XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	<u>6-42</u>

[ファクス]

F3ファクス



機能キー	説明	参照ページ
オンフック	ハンドセットを使用せずに、本体のスピーカーから音声を出 す場合に選択します。	ファクス使用 説明書
ダイレクト	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	
再宛先	直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことがで きます。	
新規宛先	テンキーで相手先のファクス番号を入力します。	
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	
ワンタッチキー	ワンタッチキーで宛先を選択できます。	
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操 作手順書

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	ファクス使用
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込みため、原稿の上部の向きを指示 します。	說明書
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	
濃度	濃度を9段階から調整します。	
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。	
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	
文書名入力	文書に名前を付けます。	
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。	
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	
ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信 用の文書を受け取ります。	

[Fコードボックス]





[ポーリングボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ポーリングボッ クス	ポーリングボックスを操作します。	ファクス使用 説明書

[ファクスメモリー受信ボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ファクスメモ リー受信ボック ス	ファクスメモリー受信ボックスを操作します。	ファクス使用 説明書

[状況確認/ジョブ中止]



機能キー	説明	参照ページ
印刷ジョブ状況	印刷ジョブ状況画面を表示します。	<u>7-3</u>
送信ジョブ状況	送信ジョブ状況画面を表示します。	<u>7-4</u>
保存ジョブ状況	保存ジョブ状況画面を表示します。	<u>7-5</u>
予約ジョブ	タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブを確認できま す。	<u>7-5</u>
印刷ジョブ履歴	印刷ジョブ履歴画面を表示します。	<u>7-7</u>
送信ジョブ履歴	送信ジョブ履歴画面を表示します。	<u>7-7</u>
保存ジョブ履歴	保存ジョブ履歴画面を表示します。	<u>7-7</u>
ファクスジョブ履歴	ファクスの送/受信履歴画面を表示します。	ファクス使用 説明書
スキャナー	原稿読み込み状態やエラー情報を表示します。	<u>7-10</u>
プリンター	エラー情報や、待機中、印刷中などの状態を表示します。	<u>7-10</u>
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書
ファクス	送/受信中やダイヤル中などの情報を表示します。また、送/受 信中のファクスを中止することができます。	ファクス使用 説明書
トナー状況	トナー残量を段階的に表示します。また、廃棄トナーボックスの状態も確認できます。	<u>7-12</u>
用紙状況		<u>7-12</u>
外部メモリー	本機に接続したUSBメモリーの使用量/全容量を表示します。	<u>7-10</u>

機能キー	説明	参照ページ
USBキーボード	USBキーボードの状態を表示します。	<u>7-11</u>
Bluetoothキーボード	Bluetoothキーボードの状態を表示します。	_
ネットワーク接続状態	ネットワークの接続状態を表示します。	<u>7-11</u>
オプションネットワーク接続状態	オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状 態を表示します。	7-11
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directの接続状態を表示します。	<u>7-11</u>
ワイヤレスネットワーク	オプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキッ トの接続状態を表示します。	7-11
Wi-Fi	Wi-Fiの接続状態を表示します。	<u>7-11</u>
SSD	オプションのSSDの状態を表示します。	<u>7-11</u>
NFC	NFCの接続状態を表示します。	<u>7-11</u>

[システムメニュー]



簡単セットアップウィザード

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ファクスのセットアップ	ウィザード形式でファクスの設定を行います。	ファクス使用 説明書
省エネのセットアップ	ウィザード形式で省エネの設定を行います。	<u>2-24</u>
ネットワークのセットアップ	ウィザード形式でネットワークの設定を行います。	<u>2-24</u>

言語選択

システムメニューの項目	説明	参照ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を選択します。	<u>8-4</u>

レポート

システムメニューの項目		の項目	説明	参照ページ
レポート 本機の設定	レポート印 刷	ステータス ページ	現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。	<u>8-5</u>
や状態、履 歴を確認す るための各		フォントリ スト	本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。	<u>8-5</u>
種レポート を印刷した り、印刷の しかたを設		ネットワー クステータ ス	ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョン やネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情 報が確認できます。	<u>8-5</u>
定すること ができま す。		サービスス テータス ページ	ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービ ス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。	<u>8-5</u>
		部門管理レ ポート	部門管理レポートを印刷します。	<u>8-5</u>
		Fコード ボックスリ スト	Fコードボックスのリストを印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクスリ スト(見出し)	アドレス帳を登録している宛先のリストを見出し順に印刷で きます。	ファクス使用 説明書
		ファクスリ スト(番号)	アドレス帳を登録している宛先のリストをアドレス番号順に 印刷できます。	ファクス使用 説明書
		ファクス発 信レポート	最新の発信の情報をレポートにして印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクス受 信レポート	最新の受信の情報をレポートにして印刷します。	ファクス使用 説明書
		オプション ネットワー クステータ ス	オプションネットワークステータスページを印刷します。	<u>8-6</u>
	管理レポー ト設定	ファクス発 信レポート	自動的に発信管理レポートを印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクス着 信レポート	自動的に着信管理レポートを印刷します。	ファクス使用 説明書
	結果通知設 定	送信結果レ ポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷し ます。	<u>8-6</u>
		ファクス受 信結果通知	ファクスを発信したときに、発信結果レポートを印刷できま す。	ファクス使用 説明書
		終了通知設 定	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。	ファクス使用 説明書
	履歴送信	履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。	<u>8-7</u>
		自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先に ジョブ履歴を自動的に送信します。	<u>8-7</u>
		宛先	ジョブ履歴を送信する送信先を設定します。設定できるアド レスはメールアドレスのみです。	<u>8-7</u>
		ジョブ履歴 件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される 件名を設定します。	<u>8-7</u>
		個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。	<u>8-7</u>

カウンター

システムメニ	ニューの項目	説明	参照ページ
カウンター	印刷ページ数	印刷枚数、印刷カバレッジを参照します。	<u>3-18</u>
	読み込みページ数	読み込み枚数を参照します。	<u>3-18</u>

ユーザー情報

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザー情報	ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインし ているユーザーの権限によって異なります。	<u>9-10</u>

カセット/手差しトレイ設定

システムメニューの項目	説明	参照ページ
カセット1(~3)	カセット1(~3)で使用する用紙の設定を行います。	<u>8-9</u>
手差しトレイ	手差しトレイで使用する用紙の設定を行います。	<u>8-10</u>

共通設定

システ	-ムメニューの項目	説明	参照ページ
初期画面		電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択しま す。	<u>8-11</u>
音設定	ブザー	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。	<u>8-11</u>
	ファクススピーカー音量	本機のスピーカー音のボリュームを調整できます。	ファクス使用
	ファクスモニター音量	本機のモニター音のボリュームを調整できます。	記明書
原稿設定	カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして 登録します。	<u>8-12</u>
	原稿自動検知	自動で検知する原稿サイズを設定をします。	<u>8-12</u>
用紙設定	カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして 登録します。	<u>8-13</u>
	用紙種類の設定	用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。	<u>8-14</u>
	優先給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。	<u>8-13</u>
	用紙選択	原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。	<u>8-13</u>
-	自動用紙の用紙種類(カ ラー)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される 用紙を用紙の種類(カラー)で限定することができます。	<u>8-13</u>
	自動用紙の用紙種類(白 黒)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される 用紙を用紙の種類(白黒)で限定することができます。	<u>8-13</u>
	特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドなどの特定用紙に 印刷するときに仕上がりの向きを揃えるかどうかを設定しま す。	<u>8-14</u>
	用紙セット時の確認	用紙をセットしたときに、用紙設定の確認画面を表示するか どうかを設定します。	<u>8-14</u>

システ	ームメニューの項目	説明	参照ページ
機能初期値	ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	原稿セット向き	原稿セット向きの初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	ソート/仕分け	ソート/仕分けの初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	カラー選択(コピー)	カラーモード(コピー時)の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	カラー選択(送信/保存)	カラーモード(送信時/保存時)の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	原稿の画質 (コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	原稿の画質 (送信/保存)	原稿の画質(送信/保存時)の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	地色調整(コピー)	地色調整の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	地色調整(送信/保存)		<u>8-16</u>
	エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	うら写り防止(コピー)	うら写り防止の初期値を設定します。	<u>8-16</u>
	うら写り防止(送信/保存)		<u>8-16</u>

システムメニューの項目		の項目	説明	参照ページ
機能初期値	白紙ページス ピー)	、キップ(コ	白紙ページスキップの初期状態を設定します。	<u>8-16</u>
	白紙ページスキップ(送信 /保存)			<u>8-16</u>
	ファクス送信解像度		原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。	ファクス使用 説明書
	縮小/拡大		縮小/拡大の初期値を設定します。	<u>6-20</u>
	とじしろ		とじしろ幅の初期値を設定します。	<u>6-24</u>
	連続読み込み	ヽ(コピー)	連続読み込みの初期値を設定します。	<u>6-27</u>
	連続読み込み	・(ファクス)	連続読み込みの初期値を設定します。	ファクス使用 説明書
	連続読み込み	ト(送信/保存)	連続読み込みの初期値を設定します。	<u>6-27</u>
	自動画像回転	5	自動回転コピーの初期値を設定します。	<u>8-23</u>
	文書名入力		ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前 の初期値)を設定します。	<u>6-30</u>
	メール件名/ス	文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力さ れる件名と本文(件名と本文の初期値)を設定します。	<u>6-38</u>
	FTP暗号送信	ľ	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。	<u>6-38</u>
JPEG/TIFF印刷]刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解 像度)の初期値を設定します。	<u>6-42</u>	
	XPS印刷サイズ調整	′ズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。	<u>6-42</u>
	詳細設定	画質	PDFファイル、TIFFファイル、JPEGファイル、XPSファイルの 画質の初期値を設定します。	<u>8-18</u>
		PDF/A	PDF/Aの初期状態を設定します。	<u>8-18</u>
		高圧縮PDF 画質	ファイル形式が高圧縮PDFのときの、画質の初期値を設定し ます。	<u>8-18</u>
		白紙検知対 象(コピ <i>ー</i>)	白紙検知対象(コピー)の初期値を設定します。	<u>8-18</u>
		白紙検知対 象(送信/保 存)	白紙検知対象(送信/保存)の初期値を設定します。	<u>8-18</u>
排紙先			コピー、文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷、およ びファクス受信データの印刷について、それぞれ別の排紙先 を指定することができます。	<u>8-18</u>
部数制限			1回でコピーできる部数を制限することができます。	<u>8-18</u>
エラー処理 設定	エラー処理 両面エラー 設定		選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場 合の処理方法を設定します。	<u>8-19</u>
	後処理エラー	-	選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理できない場合の 処理方法を設定します。	<u>8-19</u>
	用紙ミスマッ	チエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷す るとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙 元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しな い場合の処理方法を設定します。	<u>8-19</u>
	給紙時のサイズエラー		カセットに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サ イズが異なっていることを検知した場合の処理方法を設定し ます。	<u>8-19</u>

システムメニューの項目	説明	参照ページ
カラートナーなし時の印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で 印刷するかを設定します。	<u>8-19</u>
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミ リメートルから選択できます。	<u>8-19</u>
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったことを通知するトナー残量を設定 します。	<u>8-20</u>
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力 方式の初期値を設定します。	<u>8-20</u>
USBキーボードタイプ	使用したいUSBキーボードタイプを設定します。	<u>8-20</u>
ジョブごとの文書仕分け	文書をジョブごとに仕分けするかどうかを設定します。	<u>8-20</u>
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。	<u>8-20</u>
機能キー登録	操作パネルの機能キーに関する設定を行います。	<u>8-20</u>
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定しま す。	<u>8-21</u>

ホーム

システムメニューの項目	説明	参照ページ
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。	<u>3-8</u>
タスクバーの設定 ^{*1} またはタスク画面の設定 ^{*2}	タスクバーまたはタスク画面に表示するタスクアイコンを設 定します。	<u>3-8</u>
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。	<u>3-8</u>

*1 TASKalfa 2470ci

*2 TASKalfa 2460ci

コピー

システムメニューの項目	説明	参照ページ
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率 を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。	<u>8-23</u>
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動 的に倍率を変更(縮小/拡大)するかどうかを設定します。	<u>8-23</u>
小サイズ原稿の用紙サイズ	自動用紙設定で、検出できない小サイズの原稿を印刷する場 合に、使用する用紙サイズを設定します。	<u>8-23</u>
原稿未検知時の原稿サイズ	原稿未検知時の原稿のサイズを設定します。	<u>8-23</u>
次の予約優先	印刷中に次のコピーを予約する際、基本の画面を表示させる かどうかを設定します。	<u>8-23</u>
自動画像回転の動作	自動画像回転の動作を設定します。	<u>8-23</u>

送信

システムメニ	ニューの項目	説明	参照ページ
送信前の宛先確認		送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を 表示するかどうかを設定します。	<u>8-24</u>
新規宛先の入力確認		新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。	<u>8-24</u>
送信控え転送	転送	原稿を転送するかどうかを設定します。	<u>8-24</u>
	宛先	原稿を転送する宛先を設定します	<u>8-24</u>
カラーTIFF圧縮方式		本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。	<u>8-24</u>
初期画面		[送信]キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。	<u>8-24</u>
新規宛先の入力		宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。	<u>8-24</u>
再宛先		送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定しま す。	<u>8-24</u>
同報送信		同報送信の使用を許可するかどうかを設定します。	<u>8-24</u>

文書ボックス

システムメニューの項目		説明	参照ページ
ユーザーボックス		ユーザーボックスに関する設定を行います。	<u>8-25</u>
Fコードボックス		Fコードボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書
ジョブボックス	クイックコピー ジョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定するこ とができます。	<u>8-25</u>
	一時保存文書の自 動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試 し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動 的に消去するように設定します。	<u>8-25</u>
	保存先	データを保存するメディアを選択することができます。	<u>8-25</u>
ポーリングボックス		ポーリングボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書
ファクスメモリ一受信ボックス		ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書

ファクス

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ファクス	ファクス機能に関する設定を行います。	ファクス使用 説明書

アプリケーション

システムメニューの項目	説明	参照ページ
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。	<u>8-26</u>

インターネット

システムメニューの項目	説明	参照ページ
インターネット	アプリケーションからインターネットへ接続する時のプロキ シーを設定します。	<u>8-26</u>

アドレス帳/ワンタッチ

システムメニューの項目		の項目	説明	参照ページ
アドレス帳/	アドレス帳		アドレス帳に関する設定を行います。	<u>3-34</u>
ワンダッナ	ワンタッチキー		ワンタッチキーに関する設定を行います。	<u>3-40</u>
	アドレス帳 初期設定	表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値 を設定します。	<u>8-27</u>
		アドレス帳 の種類	アドレス帳を表示したときに、どの拡張アドレス帳を表示す るかを設定します。	<u>8-27</u>
	編集制限 アドレス	アドレス帳	アドレス帳の編集を制限します。	<u>8-27</u>
		ワンタッチ キー	ワンタッチキーの編集を制限します。	<u>8-27</u>
	リスト印刷		アドレス帳を登録している宛先のリストを出力できます。	ファクス使用 説明書

ユーザー/部門管理

システムメニューの項目		説明	参照ページ		
ユーザー/部	ユーザー管	ユーザー管理		ユーザー管理を有効にします。	<u>9-3</u>
门管埋	埋設定	ローカルユー	ザーリスト	ユーザーの登録、編集および削除ができま す。	<u>9-5</u>
		ICカード設 定	キーボード ログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによ るログインを許可するかどうかを設定しま す。	<u>9-29</u>
			追加認証	ICカードで認証後、パスワードを入力させる かどうかを設定します。	<u>9-29</u>
		PINコード認言	Æ	PINコード認証を使用するかどうかを設定し ます。	<u>9-30</u>
		簡単ログイ ン設定	簡単ログイ ン	簡単ログイン設定を有効にするかどうかを 設定します。	<u>9-26</u>
			簡単ログイ ン情報	簡単ログインを使用するユーザーを登録し ます。	<u>9-26</u>
		ローカルユーザー認可		ローカルユーザー認可を使用するかどうか を設定します。	<u>9-17</u>
		ユーザーア カウント ロックアウ ト設定 グループ認 可設定	ロックアウ ト	アカウントロックアウトポリシーを有効に するかどうかを設定します。	<u>9-4</u>
			ロックアウ トポリシー	アカウントロックが適用される条件と適用 する範囲を設定します。	<u>9-4</u>
			ロックされ ているユー ザーのリス ト	ロックされているユーザーがリストに表示 されます。	<u>9-4</u>
			グループ認 可	認証サーバーに登録されたグループごとに 本機の使用制限を設定します。	<u>9-18</u>
			グループリ スト	本機の使用を制限するグループを登録しま す。	<u>9-18</u>
		ゲスト認可 設定	ゲスト認可	ユーザー管理が有効のとき、本機にログイン できないゲストユーザーが使用できる機能 を設定します。	<u>9-21</u>
			ゲストプロ パティ	ゲストユーザーの情報と制限する機能を設 定します。	<u>9-22</u>
		ネッ の取 ³	ネットワーク の取得	ユーザー情報	LDAPサーバーからユーザー情報を取得する ために必要な項目を設定します。

	システムメニューの項目			説明	参照ページ
ユーザー/部	部門管理設	部門管理		部門管理を有効にします。	<u>9-33</u>
門官埋	定	部門管理方式		部門管理方式を設定します。	<u>9-33</u>
		 部門管理レポート印刷 全部門集計 部門別集計 		全部門で集計された枚数を、部門レポートと して印刷できます。	<u>9-49</u>
				全部門の使用枚数を集計します。	<u>9-47</u>
				部門別の使用枚数を集計します。	<u>9-48</u>
		部門リスト		部門の登録や編集、削除をしたりできます。	<u>9-37</u>
	初期設定	初期設定	制限超過時 設定	制限枚数に達したときの処理を変更できま す。	<u>9-43</u>
			コピー/プリ ンターカウ ント方式	コピーとプリンターの使用枚数を合計して 管理するか、個別に管理するか選択すること ができます。	<u>9-43</u>
			カウンター 制限初期値	新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期 値を変更できます。	<u>9-43</u>
			用紙サイズ 別集計	特定の用紙サイズの使用枚数を集計するこ とができます。	<u>9-43</u>
		ID不明ジョブ処理		ログインユーザー名(ユーザーID)が不明な ジョブ、またはログインユーザー名(ユー ザーID)のないジョブがパソコンから届いた 場合の処理方法を選択することができます。	<u>9-52</u>

プリンター

シスラ	テムメニューの項目	説明	参照ページ
プリンター	エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエ ミュレーションを設定します。	<u>8-29</u>
	カラー設定	印刷をカラーかまたは白黒かを選択できます。	<u>8-29</u>
	エコプリント	トナーの消費量を抑えることができます。	<u>8-29</u>
	A4/Letterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなす かどうかを設定します。	<u>8-29</u>
	両面印刷	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。	<u>8-29</u>
	部数	印刷部数を1~999部まで設定します。	<u>8-29</u>
	印刷向き	印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。	<u>8-29</u>
	ワイドA4	A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します。	<u>8-29</u>
	改ページ待ち時間	設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷) を行います。この待ち時間を設定します。	<u>8-29</u>
	改行(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を 設定します。	<u>8-29</u>
	復帰(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を 設定します。	<u>8-29</u>
	ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどう かを設定します。	<u>8-30</u>
	ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかど うかを設定します。	<u>8-30</u>
	印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。	<u>8-30</u>
	手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレ イから優先して給紙させることができます。	<u>8-30</u>
	給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場 合の給紙方法を設定します。	<u>8-30</u>
	自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択 します。	<u>8-30</u>
	解像度	印刷時の解像度を設定します。	<u>8-30</u>
	KIR	KIR(スムージング)の初期状態を設定します。	<u>8-30</u>
	光沢モード	印刷物の光沢を増すことができます。	<u>8-31</u>
	印刷ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。	<u>8-31</u>

システム/ネットワーク

システムメニューの項目				説明	参照ページ
システム	ネットワー	ホスト名		本機のホスト名を確認します。	<u>8-32</u>
ホットリー ク	2	Wi-FiDiredct		Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定しま す。	<u>8-32</u>
		Wi-Fi設定		Wi-Fiを使用するかどうかを設定します。	<u>8-33</u>
		有線設定	TCP/IP設定	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設 定します。	<u>8-37</u>
			LANイン ターフェイ ス	使用するLANインターフェイスを設定しま す。	<u>8-38</u>
		Bonjour	プロトコル 設定	Bonjourを使用するかどうかを設定します。	<u>8-39</u>
			利用可能な ネットワー ク(Wi- FiDirect)	Wi-FiDirectネットワークを有効にするかど うかを設定します。	<u>8-39</u>
		IPSec プロトコル 設定	利用可能な ネットワー ク(Wi-Fi)	Wi-Fiネットワークを有効にするかどうかを 設定します。	<u>8-39</u>
			利用可能な ネットワー ク(有線)	有線ネットワークで有効にするかどうかを 設定します。	<u>8-39</u>
				IPSecを使用するかどうかを設定します。	<u>8-39</u>
			NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどう かを設定します。*1	<u>8-40</u>
			LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを 設定します。*1	<u>8-40</u>
			SMTP(メー ル送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどう かを設定します。	<u>8-40</u>
			POP3(メー ル受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうか を設定します。	<u>8-40</u>
			FTPクライ アント(送 信)	FTPを使用して文書を送信するかどうかを 設定します。	<u>8-40</u>
			FTPサー バー(受信)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを 設定します。*1	<u>8-40</u>
			SMBクライ アント(送 信)	SMBを使用して文書を送信するかどうかを 設定します。	<u>8-40</u>
			WSDスキャ ン	WSDスキャンを使用するかどうかを設定し ます。*1	<u>8-41</u>
		WSD印刷	弊社が独自に提供するWebサービスを使用 するかどうかを設定します。*1	<u>8-41</u>	

	システムメニ	ニューの項目		説明	参照ページ					
システム/ ネットワー	ネットワー ク	プロトコル 設定	DSMスキャ ン	DSMスキャンを使用するかどうかを設定し ます。	<u>8-41</u>					
9			LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。	<u>8-41</u>					
			SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設 定します。*1	<u>8-41</u>					
			SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを 設定します。*1	<u>8-41</u>					
			HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定 します。*1	<u>8-42</u>					
			HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設 定します。*1*2	<u>8-42</u>					
			IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設 定します。*1	<u>8-42</u>					
			IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信 するかどうかを設定します。*1*2	<u>8-43</u>					
			RAWPort	RawPortを使用して文書を受信するかどう かを設定します。*1	<u>8-43</u>					
			ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。	<u>8-44</u>					
								Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用 するかどうかを設定します。 ^{*1}	<u>8-45</u>
			Enhanced WSD over SSL	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL 上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2}	<u>8-45</u>					
			eSCL	eSCLを使用してスキャンした文書を受信す るかどうかを設定します。 ^{*1}	<u>8-45</u>					
	セキュリ ティー設定		eSCL over SSL	SSLで保護されたeSCLを使用してスキャン した文書を受信するかどうかを設定しま す。 ^{*1*2}	<u>8-46</u>					
		SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定しま す。*3	<u>8-46</u>						
			IPPセキュリ ティー	IPPセキュリティーレベルを設定します。 [SSL]の設定が[使用する]の場合、表示され ます。*3	<u>8-46</u>					
			HTTPセキュ リティー	HTTPセキュリティーレベルを設定します。 [SSL]の設定が[使用する]の場合、表示され ます。*3	<u>8-46</u>					
			SMTPセ キュリ ティー	SMTPサーバーがサポートしているセキュ リティーに合わせて、通信プロトコルを選択 してください。	<u>8-46</u>					
	システムメニューの項目			説明	参照ページ					
---------------------	-------------------------	----------------------------	----------------------------------	---	-------------					
システム/ ネットワー ク	ネットワー ク	セキュリ ティー設定	POP3セ キュリ ティー(ユー ザー1~3)	POP3サーバーがサポートしているセキュリ ティーに合わせて、通信プロトコルを選択し てください。	<u>8-46</u>					
		Ping		送信先のホスト名またはIPアドレスを入力 することで、送信先と通信ができるかどうか を確認します。	<u>8-47</u>					
		ネットワークの再起動		ネットワークを再起動します。	<u>8-47</u>					
		プロキシー		アプリケーションからインターネットへ接 続するときのプロキシーを設定します。	<u>8-47</u>					
	オプションネ	ットワーク		オプションネットワークの設定を行います	<u>8-47</u>					
	ワイヤレスネ	ットワーク		ワイヤレスネットワークの設定を行います	<u>8-49</u>					
	優先ネットワーク(クライアント)			本機がクライアント側として動作する送信 機能や拡張アドレス帳の接続時に使用する ネットワークインターフェイスを選択しま す。	<u>8-50</u>					
	インター フェイスブ ロック30中	USBホスト		USBポートおよびUSBポート(USBホスト) をブロックして保護します。	<u>8-50</u>					
	ロック設定 *3	USBデバイス		USBインターフェイスコネクター(USBデバ イス)をブロックして保護します。	<u>8-50</u>					
		USBストレージ		USBメモリースロットをブロックして保護 します。	<u>8-50</u>					
		オプションインターフェイ ス(スロット1、2)		オプションインターフェイスをブロックし て保護します。	<u>8-50</u>					
	Bluetooth設定			Bluetoothキーボードの設定を行います	<u>8-51</u>					
	セキュリティーレベル			セキュリティーのレベルを設定します。	<u>8-51</u>					
	再起動			電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動 することができます。	<u>8-51</u>					
	RAMディスク設定			RAMディスクを作成し、その容量を設定し ます。	<u>8-52</u>					
	データセキュリ	SSDの初期化		オプションのSSDに保存されているデータ を初期化します。	<u>8-53</u>					
	71-	セキュリティ・ 全消去	ーデータの完	本機に登録されている次の情報を、工場出荷 時に戻します。	<u>8-53</u>					
	オプション機能			本機にインストールされているアプリケー ションの起動を行います。	<u>8-54</u>					
	リモートサービス設定			リモートサービス設定を使用するかどうか を設定します。	<u>8-54</u>					
	ファクス サーバー設 中	ファクスサー	バー	ファクスサーバーを使用するかどうかを設 定します。	<u>8-55</u>					
	定	アドレス設定		宛先に付けるプレフィックス、サフィックス 及びドメインを設定します	<u>8-55</u>					
		ファイル形式		ファイルの初期値を設定します。	<u>8-55</u>					
		アドレス帳初	期設定	使用する拡張アドレス帳を設定します。	<u>8-55</u>					
	NFC			NFCの設定を行います	<u>8-55</u>					

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2「セキュリティー設定」で「ネットワークの再起動」を[使用する]にしてください。

- *3 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。 ◆<u>デバイス情報を変更する(2-44)</u>
 ◆<u>「TCP/IP設定](8-37)</u>

日付/タイマー/節電

システムメニューの項目		説明	参照ページ
日付/タイ	日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。	<u>8-56</u>
マー/節電	日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。	<u>8-56</u>
	時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。	<u>8-56</u>
	オートパネルリセット	ー定時間操作がないと、設定内容を自動的にリセットして初 期値に戻す機能を使用するかどうかを設定します。	<u>8-56</u>
	パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合、操作終了後リセット されるまでの時間を設定します。	<u>8-56</u>
	低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。	<u>8-56</u>
	スリープレベル	スリープレベルを設定します。	<u>8-56</u>
	スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。	<u>8-57</u>
	節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。	<u>8-57</u>
	エラー後自動継続	エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する 機能を使用するかどうかを設定します。	<u>8-57</u>
	エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの 時間を設定します。	<u>8-57</u>
	割り込み解除時間	割り込みコピーモードにして何も操作しないときの、通常の モードに戻るまでの時間を設定します。	<u>8-57</u>
	使用禁止時間		ファクス使用 説明書
	Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムア ウトになるまでの時間を設定します。	<u>8-57</u>

調整/メンテナンス

システムメニューの項目		の項目	説明	参照ページ
調整/メンテ 濃度調整 二		コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。	<u>8-58</u>
522		送信/文書 ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、 全体的にこく、またはうすくします。	<u>8-58</u>
		ファクス	ファクス送信するときの読み込み濃度を全体的にこく、また はうすくします。	ファクス使用 説明書
	シャープネ コ ス調整	コピー	コピー時の画像の輪郭や文字/細線を全体的に強く、または弱 くします。	<u>8-58</u>
		送信/ボック ス	送信および文書ボックスに保存するときの画像や文字/細線の輪郭を全体的に強く、または弱くします。	<u>8-58</u>
	コントラス	コピー	コピーのコントラストを全体的に高く、または低くします。	<u>8-58</u>
	r	送信ボック ス	送信および文書ボックスに保存するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。	<u>8-58</u>
	地色調整	コピー(自 動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。	<u>8-58</u>
		送信/ボック ス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体 的にこく、またはうすくします。	<u>8-58</u>
	トナー節約 コ レベル(エコ プリント)	コピー	コピー時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択 します。	<u>8-58</u>
	ノリノト)	プリンター	プリンター時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を 選択します。	<u>8-58</u>
	自動カラー判	別基準	自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを 調整できます。	<u>8-58</u>
	黒筋軽減処理		原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ(原稿にない 線状の汚れ)が発生した場合、このすじを目立たないようにし ます。	<u>8-58</u>
	画面の明るさ	:	タッチパネルの明るさを調整します。	<u>8-59</u>
	カラー印刷位置補正		シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれ を解消できます。	<u>8-59</u>
	階調調整		原稿と印刷された画像の色合いが異なる場合は、この機能を 使って補正することができます。	<u>8-59</u>
	ドラムリフレッシュ			<u>11-31</u>
	自動ドラムリ	フレッシュ	自動ドラムリフレッシュの実行時間を設定できます。	<u>11-33</u>
	キャリブレー	ション	印刷された画像の色ずれや色合いを改善します。	<u>8-59</u>
	レーザースキャナーク リーニング		印刷された画像に入る縦の白線を改善します。	<u>8-59</u>
	-			

こんなことができます

本機は、コピー機能や印刷機能を標準で搭載し、スキャンした画像データをメールに添付して送信したり、ネットワーク 上のパソコンに送信することができます。また、ファクス機能を使用することもできます。



🚫 参考

- 各機能については、次を参照してください。 セキュリティー: ◆セキュリティーを強化したい(xlii) アプリケーション: ◆アプリケーションとは(2-54)
 Command Center RX: ◆ Command Center RXとは(2-41)、Command Center RX操作手順書 文書ボックス機能: ◆文書ボックスを使用するには(3-51)
 コピー機能: ◆ユピーのしかた(5-12)
 プリンター機能: ◆パソコンからの印刷(4-5)
 送信機能: ◆基本的なスキャン(送信)のしかた(5-14)
 USBメモリー: ◆USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)(5-50)
 ファクス機能: ファクス使用説明書
 ご使用になる前に必ずお読みください。
 ◆安全にお使いいただくための注意事項(1-1)
- ケーブルの接続やソフトウェアのインストールなど本機を使用するための準備については、次を参照してください。
 ⇒設置と機械のセットアップ(2-1)
- ・ 用紙のセット、共有フォルダーやアドレス帳の登録については、次を参照してください。

 <u>本機を使用する準備(3-1)</u>

本機の特長

本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

◆<u>各機能の詳細設定(6-1)</u>

ここでは一例を紹介します。









カラーや画質の機能について

本機はさまざまなカラーや画質の調整機能を搭載しています。読み込んだ原稿をお好みの色合いや画質に調整できま す。

基本的なカラーモード

カラーモード	説明	参考	画像	参照ページ
		設定前	設定後	
自動カラー	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して 読み込みます。	***		<u>6-15</u>
フルカラー	フルカラーで読み込みます。			<u>6-15</u>
グレースケール	グレースケールで読み込みます。			<u>6-15</u>
白黒	白黒で読み込みます。			<u>6-15</u>

送信/保存時で選択可能なモードの詳細については、次を参照してください。

◆[カラー選択](6-15)

画質やカラーを調整する

画質を変更したりカラー原稿の色合いを変更したりしたいときは、次の機能を設定します。

やりたいこと	参考画像		設定する機能	参照ページ
	設定前	設定後	-	
より細かく色を調整する			·	
濃度をこくしたい、またはうすくし たい。		A <u></u> ● <u>■</u>	濃度	<u>6-12</u>
より細かく画質を調整する				
画像の輪郭を強めたい、または弱め たい。 例:輪郭を強める			シャープネス	<u>6-18</u>
画像の暗い部分と明るい部分の差 を調整したい。			コントラスト	<u>6-18</u>
原稿の地色(文字や画像のない部 分)をこくしたい、またはうすくし たい。 例:地色をうすくする			地色調整	<u>6-19</u>
両面原稿のうら面が写ることを防 ぎたい。	A B C	АВС	うら写り防止	<u>6-20</u>
スキャンする画像を調整する	スキャンする画像を調整する			
ファイルのサイズを小さく、かつ文 字をくっきりみせたい。	Сору	Сору	ファイル形式 [高圧縮PDF]	<u>6-34</u>

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。

マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル



DVD(Product Library)収録のマニュアル(PDF)

本機を	使用説明書(本書)*1
使いこなすには	用紙のセットやコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
ファクス機能を	ファクス使用説明書^{*1}
使いこなすには	ファクスの機能について説明しています。
ICカードを	ICカード認証キット(B)使用説明書
使うには	ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。
セキュリティーを	Data Security Kit (E)使用説明書
強化したい	Data Security kit (E)の導入・運用手順とデータの上書き消去、暗号化について説明しています。
登録・設定を かんたんにしたい	Command Center RX操作手順書 パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明し ています。
パソコンから	プリンタードライバー操作手順書
印刷したい	プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
PDFを	KYOCERA Net Direct Print操作手順書
直接印刷したい	Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
ネットワーク上の本機	KYOCERA Net Viewer操作手順書
やプリンターの整理を	KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステム(本機)を監視する方法について説
したい	明しています。
画像データを読み込	File Management Utility操作手順書
み、情報とともに保存	File Management Utilityを使って各種条件を設定し、スキャンした文書を送信して保存する方法に
したい	ついて説明しています。
プリンタードライバー	プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル
を介さずに印刷したい	ネイティブプリンター言語(プリスクライブコマンド)について説明しています。
	プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。
*1 弊社のホーム	ページからダウンロードすることができます。
(http://www.ky	/oceradocumentsolutions.co.jp/manual/)

DVDのマニュアルをご覧になるためにはAdobe Readerの以下のバージョンをインストールする必要があります。

バージョン8.0以上

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

	章	内容	
1	安全にお使いいただくための注意 事項	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。	
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用 の情報について説明しています。	
³ 本機を使用する準備		操作パネルの使い方、ログイン・ログアウトの方法、用紙のセット、アドレス帳の 登録など、ご使用前に必要な準備について説明しています。	
4	パソコン側の操作	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。	
5	本体側の操作	原稿のセット方法や、コピー、送信、文書ボックスの基本的な使いかたを説明して います。	
6	各機能の詳細設定	本機に用意されている便利な機能を説明しています。	
7	ジョブ/消耗品/デバイスの管理	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法 について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認 や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。	
8	本機の初期設定[システムメ ニュー]	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。	
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー 管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。	
10	メンテナンス	日常のお手入れ方法や消耗品の交換/補充の方法を説明しています。	
11	トラブルシューティング	エラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を 説明しています。	
12	付録	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語 集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明し ています。	

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。



🚫 参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、 Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[文字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目名を示します。

操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システム/カウンターメニュー]キーを押す	[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [音設
▼	定」
[〜]を押す	
\checkmark	
[共通設定]を押す	
▼	
[音設定]を押す	

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズは、A4やB5、Letterのように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿/用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。



*1 使用できる原稿/用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。 ◆<u>本体(12-31)</u>

オプションの表記について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-470	ペーパーフィーダー(550枚×1)
PF-471	ペーパーフィーダー(550枚×2)
FAX System 13	ファクスキット
Data Security Kit(E)	セキュリティーキット
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
HD-6	SSD
HD-7	SSD
IB-50	ネットワークインターフェイスキット
IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
UG-33	ThinPrint Option



安全にお使いいただくため の注意事項

この章では、次の項目について説明します。	
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-12
自動両面機能について	1-12
印刷用紙について	1-12
電力管理について	1-12
国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム	1-13
無線LAN使用時のご注意	1-14
電波の種類と干渉距離	1-14
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意	
本製品の使用限定	1-15

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告:この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示して います。

注意:この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「強制一般」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



V

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10~32.5°C
湿度	10~80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、 換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環 境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがありま す。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、ロに入れたり、眼、皮膚に触れ ないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、ロの中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者 にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用さ れるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャン するだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が 押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき(料額印面付き)の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

(関係法律)

- 通貨及ビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数 をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内 その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBEは、京セラ株式会社の登録商標です。
- TASKalfaは、京セラドキュメントソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ・ ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporation の登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFSTTM MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラドキュメント ソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製するこ とは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
- "Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその 他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標で す。



- © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- ・ GoogleおよびGoogle Cloud Print[™]はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- MopriaTMは、MopriaTMAllianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

• Powered by ABBYY FineReader. ABBYYおよびFineReaderはABBYY Software Ltdの商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL(http://www.gnu.org/licenses/gpl.html)もしくは

LGPL(http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html)が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェ アのソースコードを入手し、GPLまたは LGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソー スコードの入手方法については、http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
- 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
- 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
- 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeayライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
- 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

- 1.「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
- 2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号(「タイプフェイス」)のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
- Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
- 4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
- 5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
- お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
- 7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意 します。

- 8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
- 9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
- 10.お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
- 11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。 さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
- 12.お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いず れの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当 事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.

http://www.knopflerfish.org

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPFLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apacheライセンス(Version 2.0)

以下は英語の原文です。

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License. "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License. "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types. "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof. "Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

- 2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
- 3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
- 4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions: (a)You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and (b)You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and (c)You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d)If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

- 5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
- Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
- 7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
- 8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
- 9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低 減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に 移行する省エネ制御機能を備えています。

◆低電力モードとは(2-22)

▶ <u>スリープとは (2-23)</u>

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷 することで、紙の使用量を軽減することができます。

◆ [両面/分割] (6-25)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙について

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティ ブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m² 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* :印刷及びビジネス用紙 − 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行 する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必 要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用さ れることをお勧めします。

国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と 普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、 製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも 貢献します。

無線LAN使用時のご注意

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体 識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線 局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波 数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、 パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 2 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が 発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:弊社お客様相談窓口

電波の種類と干渉距離

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」:変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」:想定される与干渉距離が40m以下であることを表す。

「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間情 報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定 を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性 があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持ってい ますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は 少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュ リティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本製品の使用限定

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本 製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御 機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- ・本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」

に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けてい る無線設備が内蔵されている。

名称:LBWA1ZZ1CA

認証番号:007-AC0272

2 設置と機械のセットアップ

章では 次の項目について説明しています。	
半では、次の項目について記引していなり。 各部の名称(本体外観)	2-2
各部の名称(コネクター・内部)	2-4
る部の名称(コイン) (31) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11	2 - 2_F
古中の石林(オンション没有柄)	2-0
本版とての他)パイスを接続する	2-0 2-8
ノ ノルの投航	2 °
ホットラ フラ フルを接続する	
USD7 ーノルと接続する 雪酒っ _ ド た 按結する	
电/ぶつ 「と女似りの	
电际の八/ 切	
电源で入れる	
电線を切る	
(微概の初期設定を9 る	
日付と時刻を設定する	
ネットリークの設定	
有線でネットワークを設定する	
ワイヤレスネットワークを設定する	
Wi-Fi Directを設定する	
NFCを設定する	
省エネ機能を使う	
低電力モードとは	
節電復帰レベルとは	
スリープとは	
オートスリープとは	
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	
簡単セットアップウィザードを使って設定する	
ソフトウェアのインストール	
収録ソフトウェア(Windows)	
Windowsにソフトウェアをインストールする	
ソフトウェアをアンインストールする	
Macintoshにソフトウェアをインストールする	
TWAINドライバーを設定する	
WIAドライバーを設定する	
WSDドライバーをインストールする	
管理者が行うヤキュリティー強化	2-4(
Command Center RX 2 ta	2-4
Command Center RX ヘアクセスする	2-42
セキュリティー設定を変更する	2-43
デバイス情報を変更する	2-44
SMTPお上げメール送信の設定をする	2-4
マドレス框の移行	2-10
アドレス帳の修门	2-46
ァーレハweenテーンにハラファクランタの	2-43
ノーレク版で今年に首の22g	
ノノリソーノヨノとは	
ノノリソーションどインヘトールタる マゴリム シュンキマンノンフレーリナブ	
テノリクーショノをテノキノストールする	



- 1 原稿送り装置
- 2 原稿ガラス
- 3 原稿サイズ指示板
- 4 光学固定カバー
- 5 スリットガラス
- 6 操作パネル
- 7 内部トレイ
- 8 前カバー
- 9 カセット1
- 10 電源スイッチ
- 11 USB メモリースロット(A1)
- 12 右カバー 1
- 13 搬送用取っ手
- 14 ジョブセパレータートレイ



- 15 原稿幅ガイド
- 16 原稿トレイ
- 17 清掃用布ケース
- 18 トナーコンテナ(ブラック)
- 19 トナーコンテナ(マゼンダ)

20 トナーコンテナ(シアン)
21 トナーコンテナ(イエロー)
22 廃棄トナーボックス



23 用紙幅ガイド 24 用紙長さガイド 25 手差しトレイ

26 用紙ガイド

各部の名称(コネクター・内部)



- 1 USBインターフェイスコネクター(B1)
- 2 ネットワークインターフェイスコネクター
- 3 オプションインターフェイススロット2
- 4 オプションインターフェイススロット1
- 5 カセットヒータースイッチ
各部の名称(オプション装着時)



- 1 カセット2
- 2 カセット3

本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fi Directでネットワーク接続する 場合



🚫 参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

◆ワイヤレスネットワークを設定する (2-15)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター/スキャナー/Network FAX ^{*1}	LANケーブル(10BASE-T、100BASE-TX、 1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター	USB2.0 適合ケーブル(Hi-Speed USB 準 拠5.0 m 以下、シールド付)

*1 オプションのファックスキット装着時に利用できます。Network FAXについては、ファクス使用説明書を参照してください。

✓ 重要

USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルの接続

ネットワークケーブルを接続する

1 接続する

1 ネットワークインターフェイスコネクターに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB(集線装置)に接続します。
- 2 ネットワークを設定する
 - ◆<u>ネットワークの設定 (2-13)</u>

USBケーブルを接続する

- **1** 接続する
 - 1 本体左側のUSBインターフェイスコネクターに、USBケーブルを接続します。



2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

電源コードを接続する

1 コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。



電源の入/切

電源を入れる

1 電源スイッチを入れる



電源を切る



2 確認画面で[はい]を選択する

電源が切れるまでに、約3分かかる場合があります。

1注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

🕑 重要

- 電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。
- 用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

機械の初期設定をする

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。本機は設置して 最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。さらに必要な 場合は以下の設定を行ってください

🔕 参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。 システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。 ◆<u>本機の初期設定[システムメニュー](8-1)</u>

日付と時刻を設定する

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の 地域での日付、時刻、GMT(世界標準時)からの時差を設定してください。

🚫 参考

設定後に変更する場合は、次を参照してください。

◆[日付/タイマー/節電](8-56)

ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

◆Command Center RX操作手順書

<mark>3</mark> 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

▲ 設定する

[時差] > [日付/時刻] > [日付形式]の順に選択して設定します。

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い 地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した 場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、 本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値:年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~ 59)、秒(00~59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値:月/日/年、日/月/年、年/月/日

ネットワークの設定

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP(IPv4)、TCP/IP(IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサ ポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。 ここでは、TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときの設定を行います。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	<u>簡単セットアップウィ</u> <u>ザードを使って設定する</u> <u>(2-24)</u>
ウェブページからの設定	標準のネットワークインターフェイスの場合はCommand Center RXから設定できます。IB-50の場合は専用のウェブページから設定で きます。	Command Center RX操 作手順書 IB-50使用説明書
IB-50セットアップユーティ リティーの使用	IB-50に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。 Windowsで使用できます。	IB-50使用説明書

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

▶<u>[ネットワーク] (8-32)</u>

🚫 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを 入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

💽 参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合は、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

・「DHCP」設定を[使用しない]でホスト名を使用する場合

・DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

◆Command Center RX操作手順書

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを 入力 > [ログイン] > [ネットワーク] > [有線設定] > [TCP/IP設定] > [IPv4設定]

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

[DHCP]:[使用する]

固定IPを使用する場合

[DHCP]:[使用しない]

[IPアドレス]:アドレスを入力します。

[サブネットマスク]:4つのドットで区切った10進数表記(0~255)で、サブネットマスクを入力します。 [デフォルトゲートウェイ]:アドレスを入力します。

[Auto-IP]:[使用しない]

🔕 参考

Auto-IPを使用する場合、IPアドレスに0.0.0.0を設定してください。

✓ 重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

◆「ネットワークの再起動」(8-47)

ワイヤレスネットワークを設定する

本機に標準で装着されているワイヤレスネットワークインターフェイス、またはオプションのワイヤレスインターフェ イスキット(IB-51)を本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク(無線LAN)環境で印刷および送信がで きるようになります。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	<u>簡単セットアップウィ</u> <u>ザードを使って設定する</u> <u>(2-24)</u>
	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定またはワイ ヤレスネットワークを使用します。	<u>[Wi-Fi設定] (8-33)</u> <u>[ワイヤレスネットワー</u> <u>ク] (8-49)</u>
Wi-Fiセットアップツールの使 用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設 定できます。	<u>Wi-Fi セットアップ ツー</u> <u>ルで接続の設定をする</u> <u>(2-15)</u>
ウェブページからの設定	標準ワイヤレスネットワークインターフェイスの場合はCommand Center RXから設定できます。IB-51の場合は専用のウェブページか ら設定できます。	Command Center RX操 作手順書 IB-51使用説明書
IB-51セットアップユーティ リティーの使用	IB-51に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。 WindowsとMac OS Xのどちらでも使用できます。	IB-51使用説明書

🔕 参考

標準ワイヤレスネットワークインターフェイス、オプションのネットワークインターフェイスキット(IB-50)、 またはオプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキット(IB-51)を使用して、標準の有線以外の ネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク(クライアント)」で適切な設定値に 変更してください。

[優先ネットワーク(クライアント)](8-50)

Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続(Wi-Fi Direct)の2つがあります。

🚫 参考

- Wi-Fi Directを使用するには、Wi-Fi Directで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fi Directを有効([使用する]を選択)にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- ・LANケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス(リンクローカルアドレス)が本機とコン ピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。
- <u> [Wi-Fi設定] (8-33)</u>

<u>[ワイヤレスネットワーク] (8-49)</u>

LANケーブルを使用して有線で接続する

- 1 本機とパソコンを接続する
 - 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接LANケーブルで接続します。

- 2 コンピューターの電源をオンにします。 本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がぞれぞれ自動的に生成されます。
- 2 DVDを挿入する



🔕 参考

- ・ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- ・「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ・自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

<mark>3</mark> 画面を表示する

Kanada Madadh dhana
使用許諾
このパッケージに含まれるデバイスドライバーおよびソフトウェアを、インストールまたは ご使用になりますと、お客様は以下の条件に同意したことになります。使用許諾文 書を開きご確認いただい。
1 2
使用許諾を表示

- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

▲ [メンテナンス]を選択する





6 設定する

- 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
- 2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定]>[次へ]
 本機が検出されます

🚫 参考

- Wi-Fi Setup Toolで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- ・本機が検出されない場合は、[詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。
- 4 本機を選択 > [次へ]
- 5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]
- 6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。
- 7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ] ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを使用して無線で接続する

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワード を入力 > [ログイン] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > [Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動]

▲ 本機をパソコンまたは携帯端末に接続する

<u>Wi-Fi Directを設定する (2-19)</u>



🚫 参考

5

- ・ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- ・「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ・自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

6 画面を表示する

	×
使用許諾	
このパッケージに含まれるデバイスドライバーおよびソフトウェアを、インストールま こ使用になりますと、お客様は以下の条件に同意したことになります。使用評評 書を開きご確認ください。	は
1 2	

- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

7 [メンテナンス]を選択する



- 9 設定する
 - 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
 - 2 [Wi-Fi Direct設定] > [次へ] > [次へ]
 - 3 [詳細設定] > [次へ] 本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。
 - 4 本機を選択 > [次へ]

- 5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]
- 6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。
- 7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ] ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct環境で印刷をするには次の設定をおこないます。

本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入 カ > [ログイン] > 「ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > 「Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

२ ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク] > [ネットワークの再起動]

▲ コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。 本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fi Direc未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入 カ > [ログイン] > 「ネットワーク] > 「Wi-Fi Direct設定] > 「Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク] > [ネットワークの再起動]

▲ [ホーム]キー > [Wi-Fi Direct](TASKalfa 2470ci)

[ホーム]キー > [タスク画面] > [Wi-Fi Direct] (TASKalfa 2460ci)

5 ネットワーク名(SSID)、IPアドレス、およびパスワードをメモする

<mark>6</mark> 携帯端末を設定する

- ・[設定] > [Wi-Fi]
- ・リストから、手順5で表示されたネットワーク名(SSID)を選択します。
- ・手順5でメモしたパスワードを入力>[接続]
 本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fi Direct未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定 できます。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入 カ > [ログイン] > 「ネットワーク] > 「Wi-Fi Direct設定] > 「Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>「ネットワーク]>[ネットワークの再起動]

- ____ [ホーム] > [Wi-Fi Direct]
- 5 パソコンまたは携帯端末のプッシュボタンと、操作パネルに表示されている[プッシュボタン 接続]を同時に押す

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

🕢 重要

Wi-Fi Directで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯 端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末の ネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- ・操作パネルですべて切断する
 [ホーム] > [Wi-Fi Direct] > [接続デバイスリスト] > [すべて切断]の順に選択します。
- ・システムメニューから自動切断時間を設定する
 ◆<u>「Wi-Fi Direct設定」(8-32)</u>
- Command Center RXから自動切断時間を設定する
 - ◆Command Center RX操作手順書

NFCを設定する

NFC(Near Field Communication:近距離通信)とは、データの通信距離が10 cm程度に限定された近距離無線通信の国際 標準です。NFC対応の携帯端末を本機にかざすだけでデータ通信ができるようになります。

次の設定方法があります。

ウェブページで接続の設定をする

Command Center RXから設定できます。

◆Command Center RX操作手順書

本機の操作パネルから接続の設定をする

システムメニューからNFCを設定します。

▶<u>[NFC] (8-55)</u>

ここでは、システムメニューからNFCを設定する例を説明します。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを 入力 > [ログイン] > ネットワーク] > [NFC]

2 設定する

[使用する] > [OK]

省エネ機能を使う

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行します。さらに一定時間操作がないと、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

低電力モードとは

一定時間操作がないと自動でタッチパネルを暗くして消費電力を低減します。この状態を低電力モードと呼びます。

低電力モード中は、タッチパネルには「低電力中です。」が表示されます。

低電力モードへの移行時間:1分(工場出荷時)

低電力モード中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは次の操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- タッチパネルにタッチする。
- 原稿送り装置を開ける。
- 原稿送り装置に原稿をセットする。

低電力モードからの復帰時間は次のとおりです。

- TASKalfa 2460ci:15.1秒以内
- TASKalfa 2470ci:15.1秒以内

🔕 参考

低電力モード時間とスリープ時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

節電復帰レベルとは

本機は省エネモードから消費電力をおさえた状態で復帰できます。節電復帰レベルには「全体復帰」、「通常復帰」、「省電 力復帰」があり、工場出荷時は「通常復帰」に設定されています。

復帰レベルの設定に関しては、次を参照してください。

◆ <u>節電復帰レベル (8-57)</u>

スリープとは

[節電]キーを選択すると節電ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。 この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- タッチパネルにタッチする。
- 原稿送り装置に原稿をセットする。

スリープからの復帰時間は次のとおりです。

- TASKalfa 2460ci:15.1秒以内
- TASKalfa 2470ci:15.1秒以内

オートスリープとは

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。

スリープ状態への移行時間:1分(工場出荷時)

移行時間を変更する場合は、次を参照してください。

◆簡単セットアップウィザードを使って設定する(2-24)

スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。切り替わる時間を変更する場合は、次を参照してください。

🚫 参考

オプションのネットワークインターフェイスキットを装着しているときは、節電優先にはできません。

操作パネルの[節電]キーを選択するとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復 帰して印刷を開始します。

スリープレベルの設定に関しては、次を参照してください。

◆簡単セットアップウィザードを使って設定する(2-24)

簡単セットアップウィザードを使って設定する

本機は、設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。本機を使用する前に、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。

🔕 参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。

システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

◆ <u>本機の初期設定[システムメニュー](8-1)</u>

次の機能をウィザード形式の画面で設定できます。

機能	項目	説明
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。 ◆ファクス使用説明書	
省エネのセットアップ	省エネ機能を設定します。	
	1.スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2.低電力モード	低電力モード時間
ネットワークのセットアップ	1.ネットワーク	ネットワーク選択 Wi-Fi ^{*1} DHCP ^{*2} IPアドレス ^{*3} サブネットマスク ^{*3} デフォルトゲートウェイ ^{*3}

*1 ネットワーク選択で[Wi-Fi]を選択した場合に表示されます。

*2 ネットワーク選択で[有線]を選択した場合に表示されます。

*3 DHCPの設定で[使用する]を選択した場合は表示されません。

🚫 参考

ューザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [簡単セットアップウィザード]

2 機能を選択する

3 設定する

ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

🔕 参考

設定で困ったときは、次を参照してください。

◆<u>ヘルプ画面の使いかた(3-15)</u>

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
<<前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ>>	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ>	次の画面に進みます。
<戻る	前の画面に戻ります。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストール

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD(Product Library)から必要な ソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア(Windows)

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2 通りから選ぶことができます。[エク スプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされない ものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

▶[カスタムインストール]でインストールする (2-29)

ソフトウェア	説明	エクスプレス インストール
KXドライバー(KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライ バーで、複数のページ記述言語(PCL XL、KPDLなど)をサポートします。本機 の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーで す。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	0
KX XPSプリンタードライバー (KX XPS DRIVER)	マイクロソフト社が開発したXPS(XML Paper Specification)フォーマット に対応したプリンタードライバーです。	1
Mini プリンタードライバー (PCL/KPDL) (KPDL mini-driver/PCL mini- driver)	PCL、KPDLのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライ バーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは 使用できる機能に制限があります。	-
Kyocera Network FAXドライバー (FAX Driver)	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由して ファクス送信することができます。	_
Kyocera TWAIN ドライバー (Kyocera TWAIN Driver)	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするための ドライバーです。	0
Kyocera WIAドライバー (Kyocera WIA Driver)	WIA(Windows Imaging Acquisition)は、スキャナーなどのイメージングデバ イスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindows の機能です。WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むこ とができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストール されていない場合などに便利です。	_
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティーです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティーです。	0
File Management Utility	スキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーに送信し、保存す ることができます。	-
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	-
フォント(FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォ ントです。	0

🚳 参考

• ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

・ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

Windowsにソフトウェアをインストールする

[エクスプレスインストール]でインストールする

ここでは、Windows 8.1を例に説明します。[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

▶[カスタムインストール]でインストールする (2-29)



🔕 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- ・「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ・自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。
- **2** 画面を表示する

A CONTRACTOR AND A CONT
使用許諾
このパッケージに含まれるデバイスドライバーおよびソフトウェアを、インストールまたは こ使用になりますと、お客様は以下の条件に同意したことになります。使用許諾文 書を開きご確認んだとい。
1 2
使用許諾を表示

- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読 みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する

▲ インストールする

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
Minit Constraint
*1/12、 ぼートなにたいよる年期 DF7472で使用したい螺旋を資料してくだだい。 2 金和 説明 ② EXXENVER 09歳第5時度の時後76~します ③ Shanknus 0 097570~197回3706~0年まる259~2720とです。 ② Formits (1222~10月10日)700~0月10日、2710月です。 ③ Formits (1222~10月11日)700~0月1日の2710月で、11日の11日)700月です。 ③ Formits (1222~10月11日)700~0月1日の2710月で、11日の11日)700月です。 ③ Formits (1222~10月11日)700~0月1日の2710月で、11日の11日)700月です。
MM12 (8-→SECR)-K-SER# DF7/F1,2C0EN L_2LV躍協を選択してくだだい。 2 ※ AK 展明 2 Status Monter 0 OF770-PTMD/T0-7-0-2 2 Forms (- Cr2A-F-SLA-0-17-0-2 2 Form (- Cr2A-F-SLA-0-
PICI2. (ボートなこれ2よるを発展) DF7K1 久で使用したい電磁を演開してください。 2 ※ AF 展明 ② Instruction(AF) のは2 ③ Tables Mondre 9 (ワメデレードの高) プレンターの成金のステーンスをにシーマをな証券発電のサービス。 ③ Tomits (・ (C2A) - kuka 17 June - マックス 3 Jun
PI/12 F → SEC 0.7-6 5 使用 DF/F 人 20 使用 E H E H E H E H E H E H E H E
Midit: (ま-トるこもストるを後用 DF7H/3Cで使用したい電話を選択してくだだい。 2 名H 説明 ② IXXENUES のは描述 等機能の明瞭ですートします ③ Shinut Nonniu S OVDプリレード可能) かしつ ~ 01歳 40.07 = 3.54±.25 - できる話等機能か ービス。 ⑦ Formits (f.22k - bit.45 / 10.06 - ~ 012 / 52 / 52 / 52 / 52 / 52 / 52 / 52 /
N142 // - Solid State // - Solid // -
MHX (# - 5 CE NJ-6 5 長用 のデバイスで使用したく燃気を消取してください。 2 2 2 2 2 2 3 1 2 3 1 5 2 3 1 5 5 1 5 5 5 5 5 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
INTA E+-SECR3+SE4 D7/F42で使用したい螺旋を選択して代だない
(****CL*****##) DF/F1/2で使用したい電話を選択してくだだい。 2 ② ② ② ② Stress のは認識を無償の期間ですートします ③ Stress Monitor © ○ 「ワンプシレードが協力」がひかっの現在のスケットスをにあっできる証拠機能かっピス。 ⑦ 「ロッパ」 ○ 「ロッ
② EXCENSER の建築電気発電の開発サポートにます ② Index Monife 9 〇のプジアレード内面)プレンターの成長のスケッカスをにショーできる証拠発電のサービス。 ② FORTE (くたストームはよび) プレンターのコントとく一定するスカットン フェントです
 Z Status Monitor 9 (200プジレード可能) プリンターの後在のステークスををこみ できる証券検出サービス P FONTS (インストールによした) プリンター のフォントビー 数するスタリーン フォントです
2 FONTS (インストールしました)プリンターのフォントに一般するスタリーンフォントです
Kyocers TWAND / SP797 ~ ションからのスキャンをサポートします
E Researce The International Control of Control and An Annual
2 Kunner TWINFIGUE TWINFIGTUTE SALAD ATAU 444-1144
名 Ruccera TWAIN Driver TWAINING アフリケーションからのフキャンタサポートします
2 Kunner TWINFIGUE TWINFIGTUTE SALAD ATAU 444-1144
2 FONES (1ンストールしました)プリンターのフォントに一般するスクリーンフォントです
FONTS (インストールレルした)プリンカーのフォントに一般するスカリーンフォントです
2] Status Monitor 5 (ジップザレード印象)ナルシターの成在のステータスを生こう一できる証券残酷サービス 2] FONTS (インストールによしあ) プリンターのフォントに一般するスクリーン フォントです
- ジョ ジョ Status Monitor 9 (ジッグブレード可能)プレンターの後在のスケータスをモンターできる鉱築機能サイビス ジョ FOHTS (行ンストールしました)プレンターのフォントに一般するスタリーン フォントです
- ジョ ジョ Status Monitor 9 (ジッグブレード可能)プレンターの後在のスケータスをモンターできる鉱築機能サイビス ジョ FOHTS (行ンストールしました)プレンターのフォントに一般するスタリーン フォントです
2 Stelas Monter キ (のップサレード内面) プレジューの資産のステーシスをモニューできる経過機能なサービス 2 Total Stelas Monter キ (のンストールはあた) プレジューのフェントビー 数するスタッーン フェントです
② IXXEの1948 の目面度集構的時間があったします ② Stelss Mondor & OPがプレード可能) かしつっの成在会のスケッシスをとコージを含む集発的サービス ② FONTS (インストームにより、ジンクーのステムに一般するスラリーンプロントです
2) へんいちに の (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.485 2) Stelsa Montor 5 (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.486(名クステーラスを七声 - 0.546(基単数的 サービス 2) Fortis (1-2)ストームにより がいか - 0.525人に一般するスラリーン オントです
② FX-F04587 の単語、参加能力的サビカーをします ② Strins Monitor 9 (2097ガレード可能) かいつうつき(信仰ステーラスをに当ってきる証券(能力・ビス) ⑦ F04159 (パンスト・ルにはし、ガレカーのきまたと一般するスラリーンプロントでき
- ジョ ジョ Status Monitor 9 (ジッグブレード可能)プレンターの後在のスケータスをモンターできる鉱築機能サイビス ジョ FOHTS (行ンストールしました)プレンターのフォントに一般するスタリーン フォントです
- ジョ ジョ Status Monitor 9 (ジッグブレード可能)プレンターの後在のスケータスをモンターできる鉱築機能サイビス ジョ FOHTS (行ンストールしました)プレンターのフォントに一般するスタリーン フォントです
2 Strikus Monitor 9 (ワップダムード可能) プレンターの現在のステータスをモンターできる経験機能なサービス 2 Tohrt 15 (行ンストールしました) プレンターのコエントビー 数するスラリーン フォントです
2) へんいちに の (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.485 2) Stelsa Montor 5 (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.486(名クステーラスを七声 - 0.546(基単数的 サービス 2) Fortis (1-2)ストームにより がいか - 0.525人に一般するスラリーン オントです
2 Stelas Monter キ (のップダレード内面) プレジューの資産のステーシスをモニューできる経過機能なサービス 2 Totelas (Annote キ (のンズトーレルル化力) プレジューのプロントビー 数するスカリーン フォントです
2 Status Monitor 9 (クッググレード可能)ナルシターの成在のステータスを生ころーできる起張機能サービス 2 FONTS (インストールルルルト)プリンターのフォントに一般するスクリーン フォントです
2 Status Monnor 9 CP9プダレード可能)プリンターの適任のステータスをモニターできる起源機能サービス 2 FONTS (インストールしました)プリンターのフォントに一般するスタリーン フォントです
Z Status Monitor 5 (Po/プリレード可能) プリンターの現在のステータスをモニターできる起気機能サービス 2 FONTS (インストールしました) プリンターの現在のステータスをモニターできる起気機能サービス
2 Status Monitor 9 (クッググレード可能)ナルシターの成在のステータスを生ころーできる起張機能サービス 2 FONTS (インストールルルルト)プリンターのフォントに一般するスクリーン フォントです
2 Status Monitor 9 (パッグブレード可能) ガレンターの現在のステーカスを生活ってきる拡張機能サービス 2 FONTS (パンストールによし、アリンターの3また人に一致するスタリーンフォントです
2) へんいちに の (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.485 2) Stels Montor 5 (2007/10-1/10歳) かいこう - 0.486(名のステーラスをに当ってきる鉱築機能サービス 2) Fortifs (1ンスト・4)とした がいがっ - 0.525人に一般するスラリーン オントです
② FX-F04587 の単語、参加能力的サビカーをします ② Strins Monitor 9 (2097ガレード可能) かいつうつき(信仰ステーラスをに当ってきる証券(能力・ビス) ⑦ F04159 (パンスト・ルにはし、ガレカーのきまたと一般するスラリーンプロントでき
② FXXF04387 の構成 第単数2010時です。トレルギ ② Strins Monitor 9 〇のジブレード可能) ナリンターの構成在ウステータスをヒユーマを含成第構成サービス ② FONTS (1ンストールはレム) ブレンターの構成在ウステータスをヒユーマを含成第構成サービス ② FONTS (1ンストールはレム) ブレンターのオコントに一般するスラリーン オントです
② EXCENSER (株式単長単位の割ちがあートします ② Islands Mondre 5) COVプライン・PT(加)プレジターの成長のスケータスをもころーできる証拠機能サービス。 ② FORTE (ペンストームもよび)プレジターのフェントです (ペンストーン) マント・マーク (ペンストーン) (ペンストー) (ペンストーン) (ペンストー) (ペンストーン) (ペンストーン) (ペンストーン) (ペンストー) (ペー) (ペンストー) (ペン
マガー マイン (1977) ② XX CRU Year 00歳年 新発電が同時です。トします ② Strikus Monitor 5 079プロ・ドダ電が (カンターの後音のステーカスをに30 - できる経過機能サービス ② FONTS (インスト・S にあした) ガンターのラオントビー 急するスカリーン アナントです
名前 説明 ② rXXRP145F (1)212年年間に回帰りたっトします ③ Shinar Monitor 9 (ワップジレード回動) りしつき つ 暖在のスケーシスをモニター できる鉱築機能ワービス。 ⑦ Forth (1)212- 1021 (1)212- 1021 (2)21-1021 (2)212-1021 (2)212-1021 (2)212-1021 (2)212-1021 (2)212-1021 (2)21
名計 説明 【 文文のVIVAR 09歳25 協義総合時間59月 - トします ③ Tarker Monitor 5 (ワングンレード可能) ナルジカーの現在のステッカスをモンターできる証券構成サービス ⑦ Torist5 (ワングンレーレス(点した) プリンクーのフェントビーをするスクワーン フェントです ⑦ Torist5
 2) XX2000XF 3) XX200XF 3) XX20XF 3) XX20XF 4) XX20XF 4)
名前 説明 ② rxXx8ev5m (942)など無機能が削除りポートします ③ Shelar Mentary De (192)プレンドつ戦(在のステーカスをモンターできる鉱築機能サービス。 ⑦ Forth (122)トール(本点)プレンターのフェントビーをするスタッーン フェントです
名前 説明 ② rxXx8ev5m (942)など無機能が削除りポートします ③ Shelar Mentary De (192)プレンドつ戦(在のステーカスをモンターできる鉱築機能サービス。 ⑦ Forth (122)トール(本点)プレンターのフェントビーをするスタッーン フェントです
名前 説明 ② rXXP01437 (4)はなど単純的時時でポートします ③ Shifus Mentry D (1927) P(184) PUDB ー 0後在のステータスをビスト - できる鉱築機能ワービス 2 ⑦ Forth (1221) にんよした) プロントーー電子 32,51 ワーン フェントです
るお 説明 ② FXXEPM3F (現在業業能が時間をサポートに参す ② Shifus Monitor 9 (ワップダレード内面)カレンターの現在のステータスをモンターできる証券機能サービス。 ② Toristr (パンストールによし、ジリンターのフェントビーをするスタッーン フェントです

本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

🕑 重要

Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

🚫 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネット ワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックして ください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。
- Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめ Microsoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。

•	×
セットアップは動作に必要な次の必須条件が満たさ 検出しました。	れていないことを
Microsoft .NET Framework 4.0	
www.microsoft.com	
	OK

5 インストールを終了する

JUSSE	目前的目的	
KX DRIVER	インストールしました	
Kyocera TWAIN Driver	インストールしました	
V Status Monitor 5	インストールしました	
FONTS	インストールしました	
	1.721-770402	
田 回協 テスト ページを印刷		
 		

「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、 「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終 了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

◆TWAINドライバーを設定する(2-36)

[カスタムインストール]でインストールする

ここでは、Windows 8.1を例に説明します。



🔕 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- ・「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ・ 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

)画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読 みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

- 3 [カスタムインストール]を選択する
- ▲ インストールする
 - 1 インストールするデバイスを選択します。

1717 -	ユーティリティー			
ГЛГА		(775720株業	0	
7/112 ==	1	Devili 1		
11 12				
/(2 個中)のデパイスが	·選択:源み	🚯 SNMP IRE	C	
ライバー				
6#	1K 01		<u>_</u>	
ALCOLUMN TALL MORE	02.12 32 34 46 32 17 46 19 17	t-11.41		
		「キアにウートの成態の影響りポートします」	⇒	
A X XPE DRIVER		はちりポートします		
EX XPS DEVEN	バワンを使用した使意作用			
ex xPE Develo EPDL not-drae PDL not-drae	いたしも意思した理想が早 PCLを使用した理想が用	0/72-1-0.84		
n x sele per ven n x sele per ven n PDL more denne PDL more denne F AX Driver	パワンを注意した地震が早 アロンド使用にと地震の目 の用うがうたずから注意	ログボートムあす 出力なリポートします		
n x xPD Der VER NPDL mer - Bren PDL mer - Bren FAX Driver Verster TMAR Dri	いたしを生用した使きやす やな、を使用した使きやす 作用うかうただかった道面 の、たかが形式ださいた正面	978-1088 201996-1088 20028-0998-1088	• 0 749h	1

🕢 重要

Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

🚫 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネット ワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックして ください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加]を選択して使用したいデバイスを直接選びます。
- 2 インストールするドライバーを選択します。

	パイスとプリンティンク	「ユーティリティーを追加する		8	ann ann
·54//	ユーティリティー		- 1		
fл:12		学25月2回线常	()	1	
デバイス		14 KB			
<u>n</u>		And the second second			
0 B476771120	14.5.36	05 :	NMP IRE C		
		2			
ドライバー					
ドライバー ら#	說明	2	-		
Rライバー 名材 KX DRIVER		7.E-FL&T		2	
Rライバー 名材 KX DRIVER KX XPS DRIVER	説明 04月1日155年時日10月15 XPS 77リケーション付き	ウポートします - xPsブリンターへの就祭印刷をサポートし	"	3	
R 54/S- 6 M KX DRIVER KX XPS DRIVER RPDL mini-driver	説明 OH M RS年後に10月15 XPS 7797 ーションがら KPOL 5後用した機能	サポートします XPSプログーへの証拠の副をサポートし 印刷をサポートします	s7 🗘	3	
R94/X- 8 M KX XPS DRIVER KPDL mini-driver PDL mini-driver	説明	リエートします メアルフリンターへの虹張の副をサポートし い副をサポートします 副をサポートします	*7	3	
6 H KX DRIVER KX XPS DRIVER KFOL mini-driver POL mini-driver PAX Driver	 説明 18日本に条件たらから xPS アフリケーションから KPCL 5使用した機能印 PCL 5使用した機能印 内別ファウスをデムへの3 	リエートにます メンPをプリビックーへの加強の利をりポートし い利をリポートします 利をリポートします 調をリポートします	*7	3	
85475- 6 M KX DRIVER KX DRIVER KFDL mini-driver PDL mini-driver PAX Driver	区明 クロス など 手 利 た () () () () () () () () () (サポートにます メロクランじターへの証拠印刷をサポートし 時期をサポートします 調修サポートします に親出力をサポートします ・シロムウクムレーをサポートします	**	3	

3 [ユーティリティー]タブをクリックして、インストールするユーティリティーを選択します。

		E FAX Driver	MIR.
LK EM		G	RIN.
プリントデバイスをモニタリングするユーティリティーです		Kyppers TWAN Driver	
プリンクーの統在のステータスをモニターできる証拠機能サービス			inthe
スキャンされたファイルを分類、配布できるユーティリティーです		Kupcera WA Driver	
PDFファイルを簡単にID制できます			
プリンターのフォントビー 取するスクリーン フォントです	→		
2	3		
	UNE カントギバイスたちころいブするユーテバリアイーです カントギバイスたちころ、ロマネス証券構成サービス ステレニストナバムを3時、尼市できるユーテバリテーです ロビフテノルを構築して内部できます プリンクーのオットと一般するスクリーンフォントです 2	ин Лул-Лубдас-рудаса-рудук-сёт Лул-оваалугиаас-рудук-сёт регулаавастинуевая 7уло-олеги-статалун-2 лил-еёт 2	ин Лул-Лийийс 2007 6 21-74/07 < С 7 Лул-Лийийс 2007 6 21-74/07 < С 7 Лул-Лийийс 2007 6 22 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5

4 [インストール]をクリックします。

			讓來 前時
K54/K-	2-74974-		REVER
2-54954- 8#	DK BH	E faxt	orier III III III
			era TWAN Driver
		E Kyee	era WA Driver
			A Nat Viewer 大管理 福乐 新知
		Status M	laniflar 5 III:Dk
		The Manu	çement Utility B(2)
		KIOCER	A Net Direct Print
		FONTS	>
2-71971-		10 74754	ト名を使用

[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

🚫 参考

Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめ Microsoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する

プロダクト	副羊和田	^
KX DRIVER	インストールしました	
V FAX Driver	インストールしました	
Kyocera TWAIN Driver	インストールしました	
V Kyocera WIA Driver	インストールしました	
KYOCERA Net Viewer	インストールしました	
Ctatue Monitor 5	インフトニルトキトか	
田 回 御 テスト ページを印刷		
🗉 📝 🎲 イベント通知を有効にする		

「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、 「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。 TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

◆TWAINドライバーを設定する(2-36)

ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

🚫 参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

パソコンで以下を順に選択してください。

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入 カします。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

🔕 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [プロダクトライブ ラリーのアンインストール]を選択してください。

アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。

5	Territoria (Contraction)	- • ×
KYOCERa		
YJトウェア アンインスト すべてのアウリケーションを閉じてか このウィザードを使うと、ウリ マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マーマート マート	ー ルウィザードにようこそ 6残行してください。 ンドシステムのソフドウェアを簡単にアンインストールで 1	さ ます。
		2
	(アンインストール キャンセル

3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業 は終了です。

🔕 参考

- ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。
- Product Libraryの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

Macintoshにソフトウェアをインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

🔕 参考

- ・ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定して ください。
- ▶[プリンター] (8-29)
- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。
- ▶[Bonjour] (8-39)
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- ・AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。





[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

つ 画面を表示する

		000		0 • Q
Common files C	Docurrent Os x 10.5 or higher	A CB 300 PT/FX DODAME & Goors & PT 0 Bd 0 Cong 0 Union 0 Cong 0 Union 0 Cong 0 Real 0 Cong 0 Cong	specera OS X 10.5+ build specera OS X 10.5+ Jabaves bu	POL Setup

使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

インストールする

3

000	Second Second distances and the party of the second	A
KYOCER a	ようこそ Kyocera Macintosh インストーラヘ	
 はじめに 大切な情報 使用許認知的 インストール先の変形 	このソフトウェアをインストールするために必要な手 職が表示されます。	
●インストールの複数 ●インストール		
• 8.8		
-0	2	
KHOCERA Decembert Salations Inc.	「「「「「」」「「」」「「」」」「「」」」」「「」」」」」	8

インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

- **4** 設定する
 - 1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。

dia II.	TALERS			-		0		000			
-	#201-972 201-97-1	Dack	Mission Control	рана и на кака и на к На кака и на	0 10 10 10 10 10 10 10 10	Sportight	inter and a second seco	2029 	/*_**	7025+1-584	-
S) E DVD	7+2764	113A4-	9-2-H		-5-9/19	70092 2497	нссв		67 81	オプションとサプライ	
Joud	()9-39h 7777	() *>>7-2	Buetooth	AN		1		2	000 : □ネットワークで6	**#* このプリンタを共有 ['AN- R MAR
22.	•	0	0		3	۲			デフォルトのプリンタ:	最後に使用したプリンタ	-
(inter	ペアレンタル	App Store	第四人力と 第3時上げ	日付と時間	和助 ディスク	Tiree Machine	7945 2071		アフォルトの掲紙サイズ:	A4	•

2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



🚫 参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

3 本機に装備されているオプションを選択します。



4 設定したプリンターが追加されます。



TWAINドライバーを設定する

ここではWindows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された 一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます

🚫 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

2 [追加]をクリックします。

スキャナー名称 モラ	デル 追加(A)
	肖·耶余(<u>D</u>)
	編集(<u>E</u>)
	通常使用に設定(S

2 設定する

デル(<u>M</u>)	4 C 1250
	・ センチ(E)
キャナーアドレス(<u>S</u>)	
Contract of the	
データ圧縮(カラー)	
でする(Y) C しない(N)	
1 15	商
データ圧縮(ガローフケーロン/ 百里)	
「圧縮レベル(1)	
3	
(氏)	
セキュアプロトゥル設定	
E SSL	
	ユーザー認証設 定(1)
-	

- 1 本機の名称を入力します。
- 2 リストから本機を選択します。
- 3 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 SSLを設定する場合は選択します。
- 6 [OK]をクリックします。

🔕 参考

本機のIPアドレスまたはホスト名は管理者に確認してください。

3 終了する

スキャナ	ー名称 モデル	(<u>istan(A)</u>)
~	1 100000	育川除余(<u>D</u>)
		編集(<u>E</u>)
		通常使用に設定(S)

🚫 参考

[削除]をクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]をクリックすると、名称などの変更ができます。

WIAドライバーを設定する

ここではWindows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索 された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]を選択すると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

🚫 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に「スキャナー」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

スキャナーとカメラ 		
WIA Driver (Network)		
1		
		2

2 設定する

全般 色の管理 設定 パーション情報	
スキャナーアドレス(<u>5</u>) 1921681 201	2 回避後 ロサインユーサー名(1):
SSL(L)	3 320- MEX
-単位 ・単位 ・ つ わチ(り) つ センチ(E)	 4
	_
	5

- 1 設定のタブをクリックします。
- 2 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 3 SSLを利用する場合は選択します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 [OK]をクリックします

WSDドライバーをインストールする

Windows 8、Windows 8.1、Microsoft Windows Server 2012の場合

1 デスクトップのチャームから[検索] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択する

2 ドライバーをインストールする

[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。 「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

Windows 7の場合

1 スタートメニューの[ネットワーク]を表示する

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[ネットワーク]をクリックします。

🔕 参考

スタートメニューに[ネットワーク]が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 [スタート]を右クリックし、表示されたメニューで[プロパティ]をクリックします。
- 2「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面で[[スタート]メニュー]タブを選択し、[カス タマイズ]をクリックします。
- 3「[スタート]メニューのカスタマイズ」画面が表示されたら、「ネットワーク」にチェックを入れて、 [OK]をクリックします。

2 ドライバーをインストールする

本機の機種名が表示されたアイコンを右クリックして、[インストール]をクリックします。

🔕 参考

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行]をクリックしてください。 「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、「ドライバーソフト ウェアのインストール」画面が表示されます。「ドライバーソフトウェアのインストール」画面上に、「デバイスを 使用する準備ができました。」が表示されたら、インストール完了です。

Windows10の場合

1 Windowsの[スタート]ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリン ターの表示]を選択する

2 ドライバーをインストールする

[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。 「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

管理者が行うセキュリティー強化

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記を確認の上必要なセキュリティー強化を行ってください。 また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持って いる人しか本機を使えないようにすることができます。

◆ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)(9-1)

強化したいこと	機能名	参照ページ	
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	<u>9-2</u>	
	認証セキュリティー	<u>9-4</u>	
	オートパネルリセット	<u>8-56</u>	
	ICカード設定 ^{*1}	<u>9-29</u>	
使用できる基本機能を制限したい	ローカル認可	<u>9-17</u>	
	グループ認可設定	<u>9-18</u>	
	ゲスト認可設定	<u>9-21</u>	
本機に保存した文書を他のユーザーに操作 させたくない	ユーザーボックス ^{*2}	<u>5-36</u>	
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	上書き消去 ^{*3}	Data Security Kit (E)	
	暗号化 ^{*3}	使用詋明 書	
	PDF暗号化機能	<u>6-41</u>	
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完 全に削除したい	セキュリティーデータの完全消去	<u>8-53</u>	
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	<u>8-43</u>	
	HTTPS	<u>8-42</u>	
	LDAPセキュリティー	Command Center RX 操作手順書	
	SMTPセキュリティー	<u>8-46</u>	
	POP3セキュリティー	<u>8-46</u>	
	FTP暗号送信	<u>8-17</u>	
	Enhanced WSD (SSL)	<u>8-45</u>	
	IPSec	<u>8-39</u>	
	SNMPv3	<u>8-41</u>	

*1 オプションのICカード認証キットが必要です。

*2 オプションのSSDが必要です。

*3 オプションのセキュリティーキットが必要です
Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。 ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティー設定、ホスト名の変更方法などについて説明しま す。

◆Command Center RX操作手順書

🚫 参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする 必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含 めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大 文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名:Admin

ログインパスワード: Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	ー般 ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	0	0
ジョブ状況	印刷やスキャンジョブ、保存ジョブ、予約ジョブ、およびジョブ履 歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	0	0
文書ボックス	文書ボックスの追加や削除、または文書ボックス内の文書の削除 などを行います。	0	O ^{*1}
アドレス帳管理	アドレスおよびアドレスグループの新規作成および編集、削除を 行います。	0	O ^{*1}
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	0	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	0	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	0	-
セキュリティー設定	セキュリティーの詳細設定を行います。	0	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	0	-

*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

🔕 参考

ファクス機能を使用するには、オプションのファクスキットが必要です。 ここではファクスの設定に関しては省略しています。

◆ファクス使用説明書

Command Center RX ヘアクセスする

- 画面を表示する
 - 1 Webブラウザーを起動します。
 - 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
 例) https://10.180.81.1/(IPアドレスの場合)
 https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)

← ← //10.180.81.1/	D - C <i>@</i> 10.180.81.1	×		
& KYDCERA Comi	mand Center	r RX	モデル名 : ホスト名 : 場所 :	^
▲ <u>ホーム</u>	日本語	▶ 自動更新	最終更新 : 2015/11/20 11:04:54	C
管理者ログイン	デバイス状況	_	_	
2-ザー名	デバイス	状況		
パスワード	プリンター	۲	待機中です。	
ログイン	□ スキャナー	۲	待機中です。	
デバイス情報	דליד 🔁	۲	待機中です。	
ジョブ状況	↓ 状況表示	٠	待機中です。	
全支書ボックス >	操作パネル使用	_		

本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

🚫 参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

◆Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。

🔕 参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする 必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含 めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大 文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名:Admin

ログインパスワード: Admin

セキュリティー設定を変更する

画面を表示する

- 1 Webブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]

3 管理者の権限でログインします。

管理	者ログイン	デバイスね
2	ユーザー名	デバイス
	Admin パスワード	
	••••	
	ログイン	

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。 ログインユーザー名: Admin ログインパスワード: Admin

4 [セキュリティー設定]をクリックします。

<mark>2</mark> 設定する

[セキュリティー設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。

A 4-4		◆ セキュリティー設定:デバイスセキュ	コリティー	最終更新:
Admin				2013/11/2011.00.10
ログアウト		デバイスセキュリティー設定	_	_
		インターフェイスブロック		
	>	ネットワーク:	こちらを参照	してください。 <u>プロトコル</u>
landa.	_	USBデバイス:	○ブロックす	る ・ プロックしない
ジョブ状況	>	USB차スト :	○ブロックす	る ・ ブロックしない
	>	USBストレージ:		る ・ ブロックしない
100アドレス帳管理	>	オプションインターフェイス(スロット1):	○ブロックす	る ・ ブロックしない
	_	オブションインターフェイス(スロット2):	○ブロックす	る ・ ブロックしない
テハイス設定	>	操作バネルロック		
機能設定	>	操作バネル:	オフ	~
ネットワーク設定	>	状況/履歴の表示		
100 セキュリティー設定	~	ジョブ状況の詳細の表示:	すべて表示	~
デバイスセキュリティー	-	ジョブ履歴の表示:	すべて表示	~

🔇 参考

証明書に関する設定については、次を参照してください。

◆Command Center RX操作手順書

デバイス情報を変更する

- 1 画面を表示する
 - 1 Webブラウザーを起動します。
 - 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
 - 3 管理者の権限でログインします。

管理者ログイン	デバイスれ
🧟 ユーザー名	デバイス
Admin	
ログイン	

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。 ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード : Admin

4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。

合 <u>赤ーム</u>	デバイス設定:システム	最終更新: 2015/11/20 11:06:45
Admin		
ログアウト	システム設定	
	3 デバイス情報	
	*木スト名:	KM244EA5
	固定資産番号:	
ジョブ状況 >	場所:	
	基本 ————————————————————————————————————	
	言語選択:	日本語(Japanese) V
	USBキーボードの種類:	米国英語
デバイス設定 🗸 🗸	A4/Letterの共通使用:	○オン ◎オフ
	入力長さ単位:	⊚ mm ⊖ inch
原稿設定	音 哆数制服:	999 部 (1~999)
<u>節電/タイマー</u> 2 日本時刻	初期画面:	<u> </u> ★ -∠, ▼
* <u>2274</u>	初期画面(送信/ファクス):	宛先 🗸
	初期アドレス帳:	本体アドレス帳

2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。



設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、 ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

SMTPおよびメール送信の設定をする

SMTPを設定すると、本機で読み取った画像をメールに添付して送信したり、ジョブが終了したことをメールで通知したりすることができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

- SMTPの設定 設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス 設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定 設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

- 1 Webブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。

管理者ログイン	デバイス物
🙎 ユーザー名	デバイス
Admin パスワード	
••••	
ロダイン	

管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。 ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード : Admin

	ロクアウトノロトコル設定				
		*NetBEUI :	●オン	○オフ	
「「「デバイス情報	>	*利用可能ネットワーク:	☑ 有線 ☑ Wi-Fi Direct	Wi-Fi	
ジョブ 状況	>	" ワークグループ :	KM-NetPrinters		
	>	"银兄日月:			
	_	*LPD :	●オン	○オフ	
	>	利用可能ネットワーク:	✔ 有線 ✔ Wi-Fi Direct	Wi-Fi	
1000 デバイス設定	>	*FTP(受信)∶	●オン	○オフ	
- 機能設定	>	利用可能ネットワーク:	✔ 有線 ✔ Wi-Fi Direct	VI-Fi	
		*IPP :	○オン	● オフ	
王のネットワーク設定	≅ ~	利用可能ネットワーク :	☑ 有線 ☑ Wi-Fi Direct	Vi-Fi	
<u>基本</u> 2 TCP/IP		*IPP over SSL :	●オン	○オフ	
			注: この設定を使用する場合は い、 <u>ネットワークセキュリ</u> の	tこちらでSSLの設定をオンにしてくたさ ティー	
3##481 ΔN			「石垣	Wi-Fi	

2 設定する

「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。

SMTP(メール送信):	●オン ○オフ
	注: 詳細設定はこちらで行ってください。 <u>メール設定</u>
FTPクライアント(送信):	●オン ○オフ
ポート番号 :	21 (1~65535)
FTP暗号送信:	○オン ◎オフ
	注: この設定を使用する場合はこちらでSSLの設定をオンにし い。 <u>ネットワークセキュリティー</u>
SMB :	●オン ○オフ
ポート番号:	445 (1~65535)
*i-ファクス(SMTP & POP3):	○オン ●オフ
	注: 詳細設定はこちらで行ってください。 <u>ファクスルファクス設</u>
*WSDスキャン:	・ オン ・ クォラ
	注: この設定を使用する場合はWSD印刷の利用可能ネットワ 有効にしてくたさい。
	0 ** · 0 **

3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。

ログアウト		メール設定	
		SMTP	
デバイス情報	>	SMTPプロトコル :	オフ
	>	SMTPサーバー名:	は、 設定はこちらのページのSMTP(メール送信)で行います。 プロトコル
全主な書ボックス	>		注: サーバー名なFメイン名で指定する場合、DNSサーバーを設定し てくたさい。 <u>TCP/IP</u>
2007ドレス帳管理	>	SMTPポート番号:	25 (1~65535)
-	-	SMTPサーバーのタイムアウト:	10 秒
デバイス設定	>	1211E :	77 🗸
	~		注: 設定はこちらで行ってください。 <u>プロトコル</u>
共通/ジョブ初期値		接続確認:	テスト
<u>ar-</u>		ドメイン制限:	77 🗸
ブリンター ・ メール フォルダー送信		РОРЗ	ドメインルスト

▲ 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

	項目	説明
SMTP		本体からメールを送信するときに設定します。
	SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]を クリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
	SMTPサーバー名 ^{*1}	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
	SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の 値は25です。
	SMTPサーバーの タイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
	認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
	SMTP	SMTPセキュリティーを設定します。
	セキュリティー	「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティー」 を設定してください。
	接続確認	メールを送信せずに、設定した内容が正しいかどうかをテストします。
	ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または 拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定するこ ともできます。
POP3	POP3プロトコル	本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はあ
	着信チェック間隔	りません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。 ◆Command Center RX操作手順書
	直ちに実行	
	ドメイン制限	
	POP3ユーザー設定	

	項目	説明
メール送信 設定	メール送信の サイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。ここで入力 したサイズより大きいメールになった場合、エラーを表示し、メール送 信しません。SMTPサーバーの送信メールのサイズを制限している場合 は、入力してください。SMTPサーバーの送信メールのサイズに制限が 無い場合、0を入力してください。0を入力するとメールサイズの制限に 関係なくメール送信します。
	差出人アドレス ^{*1}	本機がメールを送信するときの差出人のアドレスを指定します。配信エ ラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合 がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れ るメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を 設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。 差出人アドレス:128文字以内
	署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。こ こで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもあり ます。 署名:512文字以内
	機能初期値	機能の初期値を変更する場合は、[共通/ジョブ初期値]で行ってくださ い。

5 [設定]をクリックする

アドレス帳の移行

本機のユーティリティーを使用すると、機械の置き換えの際に、アドレス帳をスムーズに移行することができます。 機械に登録されているアドレス帳は、付属のDVDに収録されているKYOCERA Net Viewerを使用することでバックアッ プや移行ができます。

KYOCERA Net Viewerの操作方法については、次を参照してください。

►KYOCERA Net Viewer操作手順書

アドレス帳をパソコンにバックアップする

1 KYOCERA Net Viewerを起動する

- **?** バックアップを行う
 - アドレス帳をバックアップしたいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

			×
マルチセットモード			
マルチセットモードタイプを選択			
-			
∩ h/wh∓-k			
● カスタムモード			
		2	
	く 戻る	次ヘ>	キャンセル

3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。

			×
デバイスグループ 目的のデバイスグループを選択してください。			
BUINT TATA STREET			
• 1			
· ·			
		2	
	く戻る	次< >	キャンセル

4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。



5 [デバイスから作成]を選択して[デバイスから作成]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。

方法 コピーする設定方法を選択してください。 1	
 ・デバイスから作成 ひとつのデバイスを設定のテンブレートとして選択します。 ・ファイルから作成 ひとつのアイルを設定のテンブレートとして選択します。 	
 ○ 新規作成 新規設定を作成します。 □ターゲットデバイスの上書き保存許可 2 	
	3 〈戻る 次へ〉 キャンセル

6 バックアップしたい機種を選択し、[次へ]をクリックします。

ノースデバイス ソースデバイスを選	Rしてください。		
まニカ	ר ויליק מו	+11 <i>2</i>	
	10.180.81.1	KM244EA5	
			2
		< 戻る	ホペン キャンセル

🔕 参考

「管理者ログイン」の画面が表示されたときは、「管理者ログイン」と「ログインパスワード」を入力して[OK]を押します。初期設定は下記が設定されています(大文字・小文字は区別されます。)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

7 [ファイルに保存]をクリックします。

				×
確認 設定を確認してから完了をりい	ゆしてください。			
デバイスグループ:				
設定: デバイスアドレス帳				
方法: デバイスから				
ソースファイルまたはデバイス:				
ターゲットデバイスの上書き保存許す	可: いいえ			
設定を編集	ファイルに保存	< 戻る	完了	キャンセル

8 保存する場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。 「ファイルの種類」は必ず「XMLファイル」を選択してください。

9 ファイルを保存後は、必ず[キャンセル]をクリックして画面を閉じます。

確認 設定を確認してから完了を外	リックしてください。			_
デバイスグループ:				
設定: デバイスアドレス帳				
方法:デバイスから				
ノースファイルまたはデバイス:				
メークットナイバイ スの工者で1米1464	-0]: (1(1)/2			
設定を編集	ファイルに保存	< 戻る	完了	キャンセル

[完了]を選択すると本体のアドレス帳にデータを書き込みますのでご注意ください。

アドレス帳を本体に書き込む

- KYOCERA Net Viewerを起動する
- 2 アドレス帳データを取り込む

1 アドレス帳を転送したいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。

デバイスグループ 目的のデバイスグループを選択してください。	
•	
2	
〈戻る 次へ〉 キャンセル	-

4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。

設定 コピーする設定を選択してください。			
□ デバイスシステム設定			
□ デバイスネットワーク設定			
□ デバイスデフォルト設定			
□ デバイス認識設定			
「デバイスユーザーリスト			
▼デバイスアドレス帳			
□ デバイス文書ボックス			
🗌 デバイスネットワークグループ			
□ デバイスパーチャルメールボックス	•		
	< 戻る	次<>>	キャンセル
			-

5 [ファイルから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。

			×
方法 コピーする設定方法を選択してください。			
 1 デバイスから作成 ひとつのデバイスを設定のテンプレートとして選択します。 ● ファイルから作成 ひとつのファイルを設定のテンプレートとして選択します。 ● 新規作成 新規設定を作成します。 ■ ターゲットデバイスの上書を保存許可 	3		
	く戻る	() 次へ >	キャンセル

[ターゲットデバイスの上書き保存許可]にチェックを付けた場合、本体アドレス帳のNo.1から上書き保存されます。

6 [参照]をクリックしてバックアップしたアドレス帳ファイルを選択し、[次へ]をクリックします。



7 [完了]をクリックします。

設定: デバイスアドレス帳			
方法: ファイルから			
ソースファイルまたはデバイス:		×ml	
ターゲットデバイスの上書き保存許可	にいれえ		

アドレス帳データの書き込みを開始します。

8 書き込みが完了したら[閉じる]をクリックします。

アプリケーションとは

本機は、アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。

お客様の業務内容に合わせたスキャン機能や認証機能などのアプリケーションを提供し、日常の業務をより効率的に行 えるようサポートします。

詳細につきましては、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションを使用するには、まず本機にアプリケーションをインストールし、その後アプリケーションを起動します。

🔕 参考

本機にアプリケーションおよび証明書をインストールできます。なお、アプリケーションの種類によって実行 できるアプリケーション数が異なります。

操作手順は、次のとおりです。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション] > [アプリケーション]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

インストールする

1 [+]もしくは [メニュー] > [新規登録]を選択します。

2 インストールするアプリケーションが保存されているUSBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。

🔕 参考

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか?」が表示された場合は、[いいえ]を選択してください。

3 インストールするアプリケーションを選択 > [インストール]

[___]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

4 [はい]を選択します。
 アプリケーションのインストールが開始されます。インストールするアプリケーションによっては、インストールに時間がかかる場合があります。

インストールが終了すると、元の画面に戻ります。

🔕 参考

- ・他のアプリケーションをインストールする場合は、手順2-3~2-4を繰り返してください。
- USBメモリーを取り外す場合は、[メモリー取り外し]を選択し、「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたらUSBメモリーを取り外してください。

アプリケーションをアンインストールする

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] > [アプリケーション] > [アプリケーション]

感 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

) 削除する

- 削除するアプリケーションを選択 > []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 []
 <li]
 []
 []
 []
- 2 削除の確認画面で[はい]を選択します。

3



この章では、次の項目について説明します。	
操作パネルの使いかた	3-3
機能キーに機能を割り当てる	3-4
タッチパネルの使いかた	3-6
ホーム画面を表示する	3-6
機器情報を表示する	3-11
機能キーを表示する	
設定できないキーの表示のしかた	3-13
[エンター]キーの使いかた	3-14
[短縮]キーの使いかた	3-14
ヘルプ画面の使いかた	3-15
本機へのログイン・ログアウト	3-16
ログインする	3-16
簡単ログイン画面からログインする	
ログアウトする	3-17
カウンターを確認する	
用紙をセットする	
用紙の取り扱い上の注意	3-19
給紙段を選択する	
カセット1(~3)に用紙をセットする	3-21
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-24
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-24
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-25
共有フォルダーのアクセス許可を設定する	3-25
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-26
ファイルとプリンターの共有を許可する	3-29
Windowsファイアウォールを設定する	3-30
宛先の登録	3-34
アドレス帳に新しい宛先を登録する	3-34
アドレス帳の宛先を変更する	3-38
アドレス帳の宛先を削除する	3-39
ワンタッチキーに宛先を登録する	3-40
ワンタッチキーの宛先を変更する	3-41
ワンタッチキーの宛先を削除する	3-41
Command Center RXで宛先を登録する	3-43
よく使う機能を呼び出すには(お気に入り)	3-44
お気に入りをウィザード形式で登録する	3-45
お気に入りをプログラム形式で登録する	3-46
お気に入りをウィザード形式で実行する	3-47
お気に入りをプログラム形式で実行する	3-47
お気に入りを編集する	3-48
お気に入りを削除する	3-48
よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]	3-49
ショートカットを登録する	3-49
ショートカットを編集する	3-49
ショートカットを削除する	3-50
文書ボックスを使用するには	3-51
ユーザーボックスとは	3-51
ジョブボックスとは	3-51
外部メモリーボックスとは	3-52

Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは	3-52
本機でユーザーボックスを作成する	3-52
Command Center RXでユーザーボックスを作成する	3-53
ボックスを編集する	3-54
ボックスを削除する	3-55

操作パネルの使いかた

TASKalfa 2470ci



1 [ホーム] キー:ホーム画面を表示します。

- 2 [状況確認/ジョブ中止] キー:状況確認/ジョブ中止画面を表示します。
- 3 機能キー:コピーやスキャンなどの各種機能/アプリケーションを登録できるキーです。
 ⇒機能キーに機能を割り当てる
- **4** [ジョブセパレーター] ランプ:ジョブセパレーターのトレイに用紙があると点灯します。
- 5 [処理中] ランプ:印刷中や送受信の処理中に点滅します。
- 6 [メモリー] ランプ: SSD、ファクス用メモリー、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。
- 7 [アテンション] ランプ:エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。
- 8 [スタート] キー:コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。
- 9 [ストップ] キー:動作中のジョブを中止、または一時停止します。
- 10 [リセット] キー:設定値を初期状態に戻します。
- 11 [節電] キー:本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
- 12 [認証/ログアウト] キー: ユーザー認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。
- 13 [割り込み] キー:割り込みコピー画面を表示します。
- 14 [システムメニュー/カウンター] キー:システムメニュー画面を表示します。
- 15 [テンキーボード]キー:テンキーです。数字や記号を入力します。
- 16 タッチパネル:アイコンに触れて各種設定を行います。

機能キーに機能を割り当てる

機能キーは、コピーやスキャンなどの各種機能/アプリケーションを割り当てることができるキーです。よく使う機能/ア プリケーションを割り当てて、簡単にその画面を表示することができます。

本機には、あらかじめ次の機能が割り当てられていますが、これらを変更して、別の機能を登録できます。

- [F1](機能キー1):コピー
- [F2](機能キー2):送信
- [F3](機能キー3):ファクス(オプション)

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー> [共通設定] > [機能キー登録]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 設定する

1 設定する機能キーを選択します。

2 割り当てる機能を選択します。

機能	説明	参照ページ
なし	機能を割り当てません。	_
コピー	コピー画面を表示します。	<u>5-12</u>
送信	送信画面を表示します。	<u>5-14</u>
ファクスサーバー ^{*1}	ファクスサーバー送信画面を表示します。	<u>5-26</u>
ファクス ^{*1}	ファクス画面を表示します。	ファクス使用説 明書
ユーザーボックス ^{*2}	ユーザーボックス画面を表示します。	<u>3-51</u>
ジョブボックス	ジョブボックス画面を表示します。	<u>5-43</u>
外部メモリー	外部メモリー画面を表示します。	<u>5-50</u>
Fコードボックス ^{*1}	Fコードボックス画面を表示します。	ファクス使用説 明書
ポーリングボックス ^{*1}	ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用説 明書
自分に送信(メール) ^{*3}	送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユー ザーのメールアドレスが登録されています。	<u>5-26</u>
ファクスメモリー受信ボックス ^{*1}	ファクスメモリー受信ボックス画面を表示します。	ファクス使用説 明書
お気に入り	登録されているお気に入りを呼び出します。	<u>3-44</u>
アプリケーション名	選択したアプリケーションの画面を表示します。	<u>2-54</u>

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*3 ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

タッチパネルの使いかた

ホーム画面を表示する

操作パネルの[ホーム]キーを押すと表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。 ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。

◆<u>ホーム画面を編集する(3-8)</u>

TASKalfa 2470ci



*設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に 表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。複数ページがある場合に、表示されます。 ●考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。 (スワイプ操作) (スワイプ操作) (日する機能を選択してください。 10:10 ①ホーム ① パーム ○ パーム
4	タスクバー	タスクアイコンを表示します。
5	[ログアウト]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
6	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。

TASKalfa 2460ci



* 設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に 表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	 デスクトップのページを切り替えます。複数ページがある場合に、表示されます。 参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。 (スワイプ操作)
4	[状況確認]	状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「!」が表示されます。エ ラーが解除されると元の表示に戻ります。
5	[タスク画面]	タスク画面を表示します。
6	[ログアウト]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
7	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。
8	タスク画面	タスクアイコンを表示します。
9	[デスクトップ]	デスクトップを表示します。

ホーム画面を編集する

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景を編集します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ホーム]

🔕 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。 ^{*1} [新規登録] ^{*3} または[→] ^{*4} を選択すると、表示する機能の選択画面 が表示されます。表示する機能を選択して[OK]を選択します。 アイコンを選択して[前へ]または[後ろへ]を選択すると、デスク トップに表示する順序を入れ替えることができます。 アイコンを選択して[削除] ^{*3} または[] ^{*4} を選択すると、デスクトッ プから削除することができます。
タスクバーの設定^{*3}	タスクバーに表示するタスクアイコンを設定します。 ^{*2}
タスク画面の設定 ^{*4}	ホーム画面の左下に表示する機能と、タスク画面に表示するタスク アイコンを設定します。 ^{*2}
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。 設定値:画像1~8

*1 オプション装着時に使用できる機能と、インストールしたアプリケーションを含め、61個の機能アイコンが表示できます。

- *2 表示できるタスクアイコンの最大数は、次のとおりです。 TASKalfa 2470ci:8 TASKalfa 2460ci:6
- *3 TASKalfa 2470ci
- *4 TASKalfa 2460ci

デスクトップに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
コピー*1		コピー画面を表示します。	<u>5-12</u>
送信 ^{*1}		送信画面を表示します。	<u>5-14</u>
ファクスサーバー		ファクスサーバー送信画面を表示します。	<u>5-26</u>
ファクス*2		ファクス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ユーザーボックス ^{*3}		ユーザーボックス画面を表示します。	<u>3-51</u>
ジョブボックス ^{*1}	D	ジョブボックス画面を表示します。	<u>3-51</u>
外部メモリー ^{*1}		外部メモリー画面を表示します。	<u>3-52</u>
ポーリングボックス ^{*2}	Sec.	ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ファクスメモリ一受信 ボックス ^{*2}		ファクスメモリー受信ボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
自分に送信(メール) ^{*4}		送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユー ザーのメールアドレスが登録されています。	<u>5-26</u>
ボックスから自分に送 信(メール) ^{*3*4}	Ś	ユーザーボックス画面を表示します。宛先にはログインして いるユーザーのメールアドレスが登録されています。	<u>5-41</u>
お気に入り		登録されているプログラムを呼び出します。アイコンはプロ グラムの機能により変わります。	<u>3-44</u>
アプリケーション名 ^{*5}	Panel	選択したアプリケーションの画面を表示します。	2-54

*1 工場出荷時に選択されています。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*3 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*4 ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

*5 各アプリケーションのアイコンが表示されます。

タスクバー^{*2}またはタスク画面^{*3}に表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
状況確認/ジョブ中止	()	状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに 「!」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻りま す。	_
機器情報	1	機器情報画面を表示します。システムやネットワークの情報を 確認できます。 また、使用しているオプションの情報も確認できます。	<u>3-11</u>
言語選択	Q	システムメニューの言語選択設定画面を表示します。	<u>8-4</u>
用紙設定	Ô	用紙設定の画面を表示します。	<u>8-9</u>
Wi-Fi Direct	(10)	Wi-Fi Directが設定され、ネットワークが使用できる状態の本 機の情報を一覧で表示します。	<u>2-19</u>
システムメニュー	\bigotimes	システムメニュー画面を表示します。	<u>8-1</u>
お気に入り		お気に入りの一覧画面を表示します。	<u>3-44</u>
ファクス発信履歴 ^{*1}	©	ファクス発信履歴画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ファクス着信履歴 ^{*1}	9	ファクス着信履歴画面を表示します。	ファクス使用 説明書

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 TASKalfa 2470ci

*3 TASKalfa 2460ci

機器情報を表示する

機器情報を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認で きます。

1 機器情報画面を表示します。

TASKalfa 2470ciは、[ホーム]キー >タスクバーの[機器情報]

TASKalfa 2460ciは、[ホーム]キー >[タスク画面] > [機器情報]

2 機器情報を確認します。

タブ	説明
識別情報/有線	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IP アドレスを確認できます。
Wi-Fi	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IP アドレスを確認できます。
ファクス ^{*1}	ファクス回線(自局ファクス番号、自局名、自局ファクスID)な どファクスの情報を確認できます。
ソフトウェアバージョン/性能	ソフトウェアのバージョンや性能を確認できます。
オプション	使用しているオプションの情報を確認できます。

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。



1 機能アイコンを選択すると、表示される画面です。



- 1 機能が表示されます。
- 2 [機能一覧]を選択すると、その他の機能が表示されます。
- [^]または[~]を押すと、上下にスクロー ルします。

設定できないキーの表示のしかた

複数の機能の組み合わせやオプションの装着状態などによって、設定できない機能のキーは選択できない状態になります。



🚫 参考

設定したいキーが薄く表示される場合は、先に使用していたユーザーの設定が保持されている場合があります。 このときは、[リセット]キーを押してから操作し直してください。

[リセット]キーを押してから操作してもキーが薄く表示される場合は、ユーザー管理機能で使用が制限されていることがあります。このときは本機の管理者にお問い合わせください。

[エンター]キーの使いかた

[エンター]キーは、[OK←]や[閉じる←]のように、エンターのマーク(←)が表示されているキーと同じ働きをします。



[短縮]キーの使いかた

[短縮]キーは、タッチパネルに表示されている[番号]と同じ働きをします。送信するときの宛先を短縮番号で指定したり、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

短縮番号については、次を参照してください。

▶<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>



ヘルプ画面の使いかた

操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

タッチパネルに[?](ヘルプ)が表示されている場合、タッチパネルの[?](ヘルプ)を選択すると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では機能説明や操作方法を確認できます。

1 用紙選択の画面を表示する

◆[用紙選択](6-5)

2 ヘルプ画面を表示する



- ヘルプタイトルが表示されます。
 機能説明や操作方法が表示されます。
- 3 ヘルプ画面を閉じて、元の画面に戻ります。
- 4 説明文が表示しきれない場合に、上下にス クロールします。

	コピーできます。	10:10	
	?用紙選択		
	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは 手差しトレイを選択します。	\sim	4
2–	自動。原稿と設定内容に合わせて用紙が自動的に 選択されます。 カセット・カセット1で使用する用紙種類を設定します。	1/2	
	カセット2:カセット2で使用する用紙種類を設定します。 カセット3:カセット3で使用する用紙種類を設定します。	\sim	
3—			

本機へのログイン・ログアウト

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログイン パスワードが必要になります。

🚫 参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログイン し、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログインする

- 1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する
 - 1 操作中にこの画面が表示されたら、「ログインユーザー名」の[キーボード]を選択してログインユーザー名を 入力します。

ログインユーザー名とバスワードを入力してください。	10:10
ログインユ <i>ーザー</i> 名	キーボード
D712/127-F	キーボード ログイン

◆文字の入力(12-10)

2 [ログインパスワード] > ログインパスワードを入力 > [OK]

🚫 参考

ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、認証先が表示され、認証先を[ローカル]または[ネットワーク]から選択できます。

ICカード認証が有効になっている場合、[ICカードログイン]を選択できます。

2 [ログイン]を選択する

簡単ログイン画面からログインする

01 A	02 B	03 C	\sim
04 未設定	05 未設定	06 未設定	1/3
07 未設定	08 未設定	09 未設定	

操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。

🔕 参考

ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

◆<u>簡単ログイン設定を有効にする(9-26)</u>

ログアウトする



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを選択すると、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

カウンターを確認する

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

- 1 画面を表示する
 [システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター]
- 2 [印刷ページ数]、[読み込みページ数]を選択しカウンターを確認する

印刷カバレッジを参照します。

- 画面を確認する
 [システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター] > [印刷ページ数] > [印刷カバレッジ]
- [最終ページ]、[最終ジョブ]を選択しデータを確認します。
 [最終ページ]:最後に印刷したページのデータが表示されます。

[最終ジョブ]:最後に印刷したジョブのデータが表示されます

🔕 参考

印刷カバレッジに表示されている情報から換算した印字枚数と、実際の印字枚数とは一致しません。実際に印字できる枚数 は、使用状態(印字内容や連続出力の頻度など)、設置環境(温度や湿度)によって変わります。

用紙をセットする

カセットによく利用する用紙をセットします。

用紙の取り扱い上の注意



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 用紙をカセット内に長期間セットしたままにすると、用紙がカセットヒーターの熱によって変色する場合があります。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

🕢 重要

再利用紙(一度印刷された用紙)を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

🔕 参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用 する場合は、次を参照してください。

◆<u>用紙について(12-21)</u>

給紙段を選択する

用紙のサイズや種類に応じて、用紙をセットする給紙段を選択します。



番号	名称	用紙サイズ	用紙種類	収納枚数	参照先	
1	カセット1	A3、A4-R、A4、A5-R、	普通紙、薄紙、再生紙、	550枚	<u>カセット1(~3)に用紙を</u>	
2	カセット2	B4,B5-R,B5,Ledger,Letter- R,Letter,Legal,Statement- R,Folio,216x340mm, Officio II,8K,16K-R,16K	B4、B5-R、B5、Ledger、Letter- R、Letter、Legal、Statement-	プレプリント、ボンド紙、 カラー紙	(64 g/m ²)	<u>セットする (3-21)</u>
3	カセット3		パンテ済み紙、 パンチ済み紙、 レターヘッド、厚紙、上質 紙、カスタム1~8			

🚫 参考

- ・お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり 等、故障の原因になる場合があります。)
- ・より高品質なカラー印刷を求められる場合は、カラー専用の用紙をお使いください。

カセット1(~3)に用紙をセットする

1 カセットを引き出す



🔕 参考

複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

2 カセットの用紙長さガイドを調整する



🔕 参考

11X17"(Ledger)の用紙を使用する場合は、用紙長さガイドを左端まで移動させてから倒してください。


3 カセットの用紙幅ガイドを調整する



▲ 用紙をセットする



✓ 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ◆<u>用紙の取り扱い上の注意(3-19)</u>
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 **用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認する** 隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直します。





7 カセットをゆっくり奥まで押し込む



8 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット1」

9 設定する

用紙サイズと用紙種類を選択します。

▶[カセット1(~3)] (8-9)

🚫 参考

- ・用紙サイズのシートが必要な場合は、お買い上げ販売店または弊社営業拠点へご連絡ください。
- 用紙サイズを自動で検知できます。次を参照してください。

◆[用紙選択](6-5)

▶[カセット1(~3)] (8-9)

パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための 準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 8.1 をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

🔕 参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

文書の宛先となるコンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

1 画面を表示する

スタート画面で[PC]を右クリックして[プロパティー]を選択します。またはウィンドウアイコンを右クリックして[システム]を選択します。

🚫 参考

- Windows Vistaの場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を 選択します。
- Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コンピューター] > [システムのプロパティ]の順で選択します。
- Windows 8の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[ライブラリ]から[コンピュー ター]を右クリックして[プロパティ]を選択して、「システムのプロパティ画面」を開きます。
- ・Windows 10の場合は、Windowsの[スタート]ボタンを右クリックして[システム]を選択します。

<mark>2</mark> 確認する

コンピューター名、ドメインおよびワー	-クグループの設定		
コンピューター名:	PC4050	() 設	定の変更
フル コンピューター名:	pc4050.abcdnet.com		
コンピューターの説明:			
ワークグループ:	WORKGROUP		

コンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

画面例:

コンピューター名: PC4050

フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com

確認後、 [閉じる] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

ユーザー名とドメイン名をメモする

Windowsにログオンする際のユーザー名とドメイン名をメモします。

画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「コマンドプロンプト」と入力します。検索された一 覧の中から[コマンドプロンプト]を選択します。

コマンドプロンプトが起動します。

🔕 参考

- Windows VistaおよびWindows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム](または[プログラム]) > [アクセサリ] > [コマンドプロンプト]の順に選択します。
- ・Windows 10の場合は、Windowsの[スタート]ボタンを右クリックして[コマンドプロンプト]を選択します。

<mark>2</mark> 確認する

コマンドプロンプトに「net config workstation」と入力し、[Enter]キーを押します。

		-	×
Microsoft Windows [Version 6.3.9600] (c) 2013 Microsoft Corporation. All r	ights reserved.		ľ
C:YUsersYDOSI2net config workstation コンピューター に フル コンピューター名 ユーザー名	VVPC4050 vamada		I
アクティブなネットワーク(ワークステー NetBT_Tcpip_(X000000X-X00X-X00	-ション) 0X-300X-3000000000X3 (30000000000)		
ソフトウェア バージョン	Windows 8.1 Pro		
ワークステーション ドメイン ログオン ドメイン	ABCONET		
00M デバイス オーブン タイムアウト(制 00M デバイス送信バイト数(バイト) 00M デバイス送信タイムアウト(ミリ秒) コマンドは正常に終了しました。	6) 0 16 250		
C:YUsersYyamada>			

ユーザー名とドメイン名を確認します。

画面例:

ユーザー名:yamada

ドメイン名:ABCDNET

共有フォルダーのアクセス許可を設定する

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループ に設定するには以下の設定を行います。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォ ルダーオプション]の順で選択します。

🔕 参考

- ・Windows Vistaの場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとメンテナンス] > [デスク トップのカスタマイズ] > [フォルダ オプション]の順で選択します。
- ・Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォル ダーオプション]の順で選択します。
- ・Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォルダーオプション]の順で 選択します。

2 設定する

[表示]タブが選択されていることを確認し、「詳細」設定の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。



3 [OK]ボタンをクリックする。

2

共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

🔕 参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

1デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル] > [デスクトップの カスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。



Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォル ダーオプション]の順で選択しま す。



「詳細設定」の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。

1 フォルダーを作成する

パソコン上でフォルダーを作成します。

例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをデスクトップに作成します。



2 共有を設定する

1 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有] > [詳細な共有]の順にクリックします。



2 [このフォルダーを共有する]にチェックを付け、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

● このフォルダーを共有する(5)
設定
共有名(旦):
scannerdata
追加(<u>A</u>) 削除(<u>R</u>)
同時に共有できるユーザー数(L): 20 🔹
אכאב <u>(0</u>):
2
アクセス許可(P) キャッシュ(C)
OK キャンセル 適用

3 表示されている共有名をメモします。

4 [追加]ボタンをクリックします。

p		×
共有アクセス許可		
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):		
Sector Se		
	追加(D)	尚(R全/P)
		HURR(<u>IX</u>)
アクセス許可(P): Everyone	許可	拒否
フル コントロール		
変更 (計2) 75%		
町の取り	•	
OK	±17\1711.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

5 場所を指定します。

tプジェクトの種類の選択(S):	
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシバル	オブジェクトの種類(0)
鼻所の描定(E):	
PC4050	場所(」)
目記するオブジェクト名を入力してください(例)(F)。	-
音択するオブラェクト名を入力してください(高い(E): yamada	名称の確認(G)
継続するオブジェクト名を入力してください(例)(F): yamada	名前0确認(C)

- 1 メモしたコンピューター名とドメイン名が同じ場合: 「場所の指定」にコンピューター名が表示されていなけれ ば、[場所]ボタンをクリックしてコンピューター名を選択 し、[OK]ボタンをクリックします。 例)pc4050 メモしたコンピューター名とドメイン名が違う場合: 「場所の指定」にメモしたフルコンピューター名で最初の ドット(.)以降の文字が表示されていなければ、[場所]ボタ ンをクリックしてドット(.)以降の文字を選択し、[OK]ボタ ンをクリックします。 例)abcdnet.com ◆コンピューター名とフルコンピューター名をメモする (3-24)
- 2 メモしたユーザー名をテキストボックスに入力し、[OK]ボ タンをクリックします。 また[詳細設定]をクリックしてユーザーを選択することも できます。
- 6 選択したユーザーのアクセス許可を設定します。

J		×
共有アクセス許可		
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):		
PC4050 (PC4050¥vamada)		
	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)
アクセス許可(<u>P</u>): DCS1	許可	拒否
フル コントロール		
変更読み取り	 ✓ 	48
З ок	キャンヤル	適用(A)
		xau 0(五)

- 1 入力したユーザーを選択します。
- 2「変更」と「読み取り」の[許可]にチェックつけます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。

🚫 参考

「Everyone」とはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティー強化のため、 「Everyone」を選択し、「読み取り」の[許可]のチェックを外すことをお勧めします。

- 7 「詳細な共有」画面の[OK]ボタンをクリックし、この画面を閉じます。
- 8 [セキュリティ]タブで設定した内容を確認します。

	an anna a'		×
オブジェクト名: C:¥Users¥ ¥Der グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):	sktop¥scanner	iata	
RC4050 (PC4050 Vyamada)	rs) strators)		
アクセス計可を変更するには [編集] をクリック:		嘱集(<u>E</u>)	D
アクセスIF可(P): PC4050	1年6月	拒否	
Til, DSND-il,	J	^	
変更 読み取りと実行	1 	3	
フォルターの内容の一覧表示	V		
読み取り	~		11
書き込み	1	v	J
特殊なアクセスIF可または詳細設定を表示す は、[詳細設定] をクリックします。	8C (1	捕設定(⊻)	
	deals deal	38107.43	

- 1 [セキュリティ]タブを選択します。
- 2 入力したユーザーを選択します。
- 3 グループ名またはユーザー名欄に入力したユーザーが表示されていない場合は、[編集]をクリックして、共有を設定すると同様にユーザーを追加してください。
- 4 「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いて いることを確認します。
- 5 [閉じる]ボタンをクリックします。

ファイルとプリンターの共有を許可する

🚫 参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

画面を表示する

デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイア ウォールによるアプリケーションの許可]の順で選択します。

🚫 参考

- Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [セキュリティ] > [Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。
- ・Windows 7の場合、Windowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]の順で選択します。

🚫 参考

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。



Windowsファイアウォールを設定する

ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。

🔕 参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

画面を表示する

1

デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイア ウォール]の順で選択します。

🔕 参考

- Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [セキュリティ] > [Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。。
- ・Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [ファイア ウォールの状態の確認]の順で選択してください。
- ・Windows 8の場合は、デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリ ティ] > [Windowsファイアウォール]の順で選択します。
- ・Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォルダーオプション]の順で 選択します。

🔕 参考

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

2 追加するポートを設定する

1 [詳細設定]をクリックします。



🔕 参考

Windows Vistaの場合、[例外]タブ > [ポートの追加]ボタンの順にクリックし、手順2-5に進んでください。

2 [受信の規則]をクリックします。



3 [新しい規則]をクリックします。



4 規則から[ポート]を選択します。

*	And the second sec	
規則の種類 作成するファイアウォールの規則	の種類を確決してくだれい。	
入 393 人 	20個種的機時化小記はすか? つうしたのに載めましたです。 2005とCON (1995) (

5 適用するポートとして[TCP]を選択します。そして[特定のローカルポート]をチェック後、「445」を入力して から[次へ]をクリックします。



🔕 参考

Windows Vistaの場合、「名前」では、追加するポートとして任意の名前(例:Scan to SMB)を登録します。「ポート 番号」には、「445」を入力します。「プロトコル」では、[TCP]を選択します。設定後、[OK]ボタンをクリックして ください。

6 [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックします。



7 すべてにチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックします。



8 「名前」に「Scan to SMB」と入力して、[完了]をクリックします。

a	NACE ADDRESS OF A	×
名前 この規則の名前と説明を指定	ELT(KEC)	
ステック - 用いかり使用 - ブロンコルネンポート - ジロンフィル - ブロンフィル - 名明	1 (<u>San to SMB</u> San to SMB SWN (17.722-24)	
	2 〈反NB (東710)	キャンセル

宛先の登録

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォ ルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

🔕 参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

◆Command Center RXで宛先を登録する (3-43)

アドレス帳に新しい宛先を登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2 種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。

🔕 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

◆[編集制限] (8-27)

個人アドレスを登録する

各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などを登録でき ます。

登録件数:200件まで

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳] > [+] > [個人]

ク 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示される宛先名を入力 > [次へ>]

🔕 参考

入力できる文字数には制限があります。
 入力文字数:32文字以内
 文字の入力方法は、次を参照してください。
 ◆文字の入力(12-10)

2 宛先名のフリガナを入力 > [次へ]

🔕 参考

入力できる文字数には制限があります。
 入力文字数:32文字以内
 文字の入力方法は、次を参照してください。
 ◆文字の入力(12-10)

3 アドレスを登録する

アドレスがメールの場合

[メールアドレス] > メールアドレスを入力 > [OK]

🚫 参考

128文字まで入力できます。 文字の入力方法は、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

アドレスがフォルダー(SMB)の場合

[SMB] > [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] > [OK]

🔕 参考

コンピューター名、共有名、ドメイン名、ユーザー名については、共有フォルダー作成時にメモした内容を入力 します。

共有フォルダーの作成方法については、次を参照してください。

◆パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備(3-24)

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	コンピューター名	64文字
パス	共有名 例)scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字
ポート	ポート番号(通常は445です。)	1-65535
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例) abcdnet¥yamada	64文字
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、次の順に選択します。

[メニュー] > ネットワークからフォルダーを検索するまたは[ホスト名でフォルダーを検索する

「ネットワークからフォルダーを検索する」を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコン より宛先を検索することができます。

「ホスト名でフォルダーを検索する」を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ名」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

500件まで表示することができます。ログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面を表示するには、次の順に選択します。

表示された画面で指定したいホスト名(コンピューター名)を選択 > [次へ>]

🚫 参考

・文字の入力方法は、次を参照してください。

◆文字の入力(12-10)

- ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名、ログインユーザー名に2バイト文字が使われている場合は、検索や 送信ができません。
- [メニュー]>[接続確認]の順に選択すると、設定したパソコンへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。

アドレスがフォルダー(FTP)の場合

[SMB] > [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] > [OK]

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字
パス*1	保存したいファイルのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しないと、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字
パス	ポート番号(通常は21です。)	1-65535
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字

*1 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

🔕 参考

・文字の入力方法は、次を参照してください。

◆文字の入力(12-10)

- [メニュー] > [接続確認]の順に選択すると、設定したFTPサーバーへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。
- 1 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。
- 2 [+]、[-]または、テンキーで、任意のアドレス番号(001~250)を入力します。
 自動で番号を割り当てる場合は、000を指定してください。

🔕 参考

- アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され登録できません。

- 3 [OK]を選択します。
- ▲ 宛先が正しく設定できているか確認 > [登録]

アドレス帳に宛先が追加されます。

グループを登録する

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利で す。

登録件数:50件まで

🔕 参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。登録できる 件数は次のとおりです。

- ・ 宛先100件
- ・ FTPとSMBの宛先5件(合計)

画面を表示する

[システムメニュー] > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳 > [+] > [グループ]

2 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示されるグループ名を入力 > [次へ>]

🔕 参考

入力できる文字数には制限があります。
 入力文字数:32文字以内
 文字の入力方法は、次を参照してください。
 ◆文字の入力(12-10)

2 グループ名のフリガナを入力 > [次へ>]

🐼 参考

入力できる文字数には制限があります。 入力文字数:32文字以内 文字の入力方法は、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

3 メンバー(宛先)を選択する

- 1 [メンバー]を選択します。
- 2 [╋]を選択します。
- 3 グループに登録する宛先(個人)を選択します。選択された宛先は、チェックマークが付きます。

🚫 参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

- [OK]を選択します。
 宛先を追加するときは、手順2~4を繰り返してください。
- 5 [終了]を選択します。
- 6 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。
- 7 [+]、[-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(000~250)を入力します。 自動で割り当てる場合は、000を設定してください。

🔕 参考

- ・アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され登録できません。
- 8 [OK]を選択します。
- 4 宛先がグループに追加されているか確認 > [登録] アドレス帳にグループが追加されます。

アドレス帳の宛先を変更する

登録した宛先(個人)やグループを変更します。

- 画面を表示する
 - 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]

2 変更する

🔕 参考

宛先とグループは、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。 ◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

個人登録の宛先を変更する場合

- 1 編集する宛先の[----]を選択します。
- 2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」、送信先の種類やアドレスを変更します。
 変更方法は、次を参照してください。
 ◆個人アドレスを登録する (3-34)
- 3 [登録] > [はい] 変更した宛先が登録されます。

グループを編集する場合

- 1 編集する宛先の[----]を選択します。
- 2 名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」を変更します。 変更方法は、次を参照してください。

◆グループを登録する (3-37)

- 3 [メンバー]を選択します。
- 4 グループから宛先を削除する場合は、宛先を選択 > [] > [はい]を選択し、宛先を追加する場合は、[+]を選択します。
- 5 [登録] > [はい]
 変更したグループが登録されます。

アドレス帳の宛先を削除する

登録した宛先(個人)やグループを削除します。

- 1 画面を表示する
 - 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]
 - 2 削除する宛先またはグループを選択

🔕 参考

宛先とグループは、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。
 ◆宛先を確認または変更する(5-32)

2 [👜] > [はい]

個人登録の宛先またはグループが削除されます。

ワンタッチキーに宛先を登録する

ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。 登録件数:100件まで

🔕 参考

- ・ワンタッチキーの使用方法は、次を参照してください。
- ◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>
- ワンタッチキーの登録・編集は、Command Center RXでも行えます。
- ◆Command Center RXで宛先を登録する (3-43)
- ワンタッチキーの登録・編集を管理者のみに許可している場合は、管理者の権限でログインすると、ワンタッチキーの編集ができます。
 - ◆[編集制限] (8-27)
 - ◆Command Center RX操作手順書

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

フ ワンタッチキーを登録する

1 宛先を登録するワンタッチキー番号(001~100)を選択 > [+]
 [短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。

🔕 参考

[短縮]キーは、次を参照してください。

▶[短縮]キーの使いかた(3-14)

登録されていないワンタッチキーを選択してください。

システムメニュー/カ	ウンター画面です。		10-10
			+
001 AAA	002 BBB	003 CCC	
004 未設定	005 未設定 1	006 未設定	
007 未設定	008 未設定	009 未設定	1/9
010 未設定	011 未設定	012 未設定	\sim
メニュー			後了
			€

2 ワンタッチキーに登録する宛先(個人またはグループ)を選択します。

[---]を選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。



3 送信の基本画面に表示されるワンタッチキー名を入力 > [次へ>]

参考 参考

入力できる文字数には制限があります。 入力文字数:24文字以内 文字の入力方法は、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

(登録)を選択します。
 ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を変更する

ワンタッチキーに登録されている宛先を変更できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]
- 2 編集するワンタッチキー番号(001~100)を選択します。[短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接 入力して選択することができます。

🤈 登録内容を変更する

- 1 [メニュー] > [編集] > [宛先]
- 2 新しい宛先(個人またはグループ)を選択してください。[----]を選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

アドレス帳(すべて)	I♥ Q	10:10
001 🖾 ABCD	123456	
002 🖾 EFGH	efg@efg.com	—
003 🔚 IJKL	12345.com	
004 🔚 MNOP		
メニュー	キャン・	ел ок

🔕 参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。
 ◆宛先を確認または変更する (5-32)

3 [OK] > [登録] > [はい]

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を削除する

ワンタッチキーに登録されている宛先を削除できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]
- 2 編集するワンタッチキー番号(001~100)を選択します。[短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入 カして選択することができます。

2 登録内容を削除する

[💼] > [はい]の順に選択します。

ワンタッチキーの登録内容が削除されます。

システムメニュー/カウンター画面です。				
アドレス帳/ワンタッチ -				
001 AAA	002 BBB	003 CCC		
004 未設定	005 未設定	006 未設定		
007 未設定	008 未設定	009 未設定	1/9	
010 未設定	011 未設定	012 未設定	\sim	
メニュー		終了	Ļ	

Command Center RXで宛先を登録する

Command Center RXから本機のアドレス帳に宛先を登録することができます。

- 1 画面を表示する
 - 1 Webブラウザーを起動します。
 - 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
 本機ホーム画面の[機器情報]>[識別情報/ネットワーク]
 例1:https://192.168.48.21/(IPアドレスの場合)
 例2:https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)
 - 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード : Admin

4 [アドレス帳管理]メニューで[本体アドレス帳]をクリックします。



5 [追加]をクリックします。

2 設定する

1 宛先情報を入力します。
 登録する宛先の情報を入力してください。入力する項目は本機で登録するときと同じです。
 ◆<u>宛先の登録(3-34)</u>

2 [設定]をクリックします。

よく使う機能を呼び出すには(お気に入り)

よく使う機能をお気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。 本機には、あらかじめ次の機能が登録されていますが、これらを削除したり、新たな機能を登録したりできます。

お気に入り名	説明	登録されている機能
IDカードコピー(身分 証)	免許証や保険証などのIDカードをコピーした いときに使用します。カードの表と裏を順番に 読み込むと、1枚の用紙に両面集約してコピー されます。	 コピー機能 プログラム形式 IDカードコピー: [設定する] 連続読み込み: [設定する] 原稿サイズ: [A5-R] 用紙選択: カセット1 縮小/拡大: [100%]
用紙節約コピー	用紙を節約したいときに使用します。画面にし たがって、ページ集約や両面コピーが設定でき ます。	 コピー機能 ウィザード形式 ページ集約:[2in1] 原稿:[片面] 両面/分割:[両面] 用紙選択:カセット1 印刷部数:1
簡単フォルダー送信(宛 先入力)	任意のパソコンの共有フォルダーまたはFTP のフォルダーに画像を送信したいときに使用 します。宛先やカラー選択など、画面にした がって設定ができます。	 ・ 送信機能 ・ ウィザード形式 宛先:新規のフォルダー カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 × 300 dpi]
簡単フォルダー送信(ア ドレス帳)	アドレス帳に登録されているパソコンの共有 フォルダーまたはFTPのフォルダーに画像を 送信したいときに使用します。宛先やカラー選 択など、画面にしたがって設定ができます。	 ・ 送信機能 ・ ウィザード形式 宛先:アドレス帳 カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 x 300 dpi]
簡単メール送信(宛先入 力)	任意のメールアドレスに画像を送信したいと きに使用します。宛先やカラー選択など、画面 にしたがって設定ができます。	 ・ 送信機能 ・ ウィザード形式 宛先:新規のメールアドレス カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 × 300 dpi] メール件名:初期値 メール本文:初期値

お気に入り名	説明	登録されている機能
簡単メール送信(アドレ ス帳)	アドレス帳に登録されているメールアドレス に画像を送信したいときに使用します。宛先や カラー選択など、画面にしたがって設定ができ ます。	 ・ 送信機能 ・ ウィザード形式 宛先:アドレス帳 カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 × 300 dpi] メール件名:初期値 メール本文:初期値

🔕 参考

20件までプログラムを登録できます。

お気に入りは、2種類の呼び出し方法から選択して登録します。

- ・ウィザード形式(対話選択形式):登録した設定を順番に呼び出し、確認/変更しながら設定します。
- プログラム形式:お気に入りに登録されているキーを選択すると、すぐに設定を呼び出します。

お気に入りをウィザード形式で登録する

ここでは、送信を例に説明します。

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [送信] > [お気に入り]

2 お気に入りを登録する

- 1 [メニュー]>[新規登録]
- 2 ジョブの種類を選択します。
- 3 [ウィザード形式]を選択します。
- 4 呼び出す機能を選択 > [次へ>] 選択した項目が、ウィザードで表示されます。

🔕 参考

ジョブの種類が[コピー]の場合は、「宛先の呼び出し方法」の選択画面は表示されません。

5 お気に入りの名称を入力>[次へ>]
 ◆文字の入力(12-10)

6 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号 ^{*1}	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者 ^{*2}	ユーザーを表示します。
共有設定 ^{*2}	お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。
宛先 ^{*3}	宛先を確認します。
機能一覧	ウィザードで表示する機能を選択します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

- *2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。
- *3 「ジョブの種類」が[送信]または[ファクス]の場合に表示されます。
- 7 [登録]を選択します。 お気に入りが登録されます。
- 8 「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択し、アイコンを表示させたい位置を指定して、[登録]を選択します。

お気に入りをプログラム形式で登録する

プログラム形式を選択する場合は、登録するコピー機能、送信機能、ファクス機能や送信先などを先に設定します。

- 1 [ホーム]キー > [送信]
- 2 プログラムに登録したい送信機能や送信先を設定します。
- 3 [お気に入り]を選択します。

2 お気に入りを登録する

- 1 [メニュー]>[新規登録]
- 2 ジョブの種類を選択します。
- 3 [プログラム形式]を選択します。
- 4 お気に入りの名称を入力 > [次へ>]
 - ◆<u>文字の入力(12-10)</u>

5 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号 ^{*1}	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者 ^{*2}	ユーザーを表示します。
共有設定 ^{*2}	お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

- *2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。
- 6 [登録]を選択します。 お気に入りが登録されます。
- 7 「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択し、アイコンを表示させたい位置を指定して、[登録]を選択します。

お気に入りをウィザード形式で実行する

登録したお気に入りをウィザード形式で呼び出して実行する操作手順は、次のとおりです。

- 1 お気に入りを呼び出す
 - 1 ホーム画面の[お気に入り]または登録しているお気に入りのキーを選択します。 登録しているお気に入りのキーを選択するとお気に入りが呼び出されます。[お気に入り]を選択した場合は、次の手順に 進んでください。
 - 2 呼び出すお気に入りのキーを選択します。

🤈 お気に入りを実行する

画面が順番に表示されるので、設定を行い、[次へ>]を選択します。
 最後まで設定したら確認画面が表示されます。

🔕 参考

設定を変更するときは、[<戻る]を選択して、設定しなおしてください。

2 原稿をセット > [スタート] キーを押します。

お気に入りをプログラム形式で実行する

登録したお気に入りをプログラム形式で呼び出して実行する操作手順は、次のとおりです。

1 お気に入りを呼び出す

- 1 ホーム画面の[お気に入り]または登録しているお気に入りのキーを選択します。 登録しているお気に入りのキーを選択するとお気に入りが呼び出されます。[お気に入り]を選択した場合は、次の手順に 進んでください。
- 2 呼び出すお気に入りのキーを選択します。

2 お気に入りを実行する

1 原稿をセット > [スタート] キーを押します。

お気に入りを編集する

お気に入り番号やお気に入り名、共有設定を変更できます。 お気に入りを編集する操作手順は、次のとおりです。

- 画面を表示する
 - 1 [ホーム]キー > [お気に入り]
- フ お気に入りを編集する
 - 1 [メニュー] > [編集]
 - 2 変更するお気に入りを選択します。
 - 3 お気に入り名、お気に入り番号、共有設定を変更します。 ⇒お気に入りをウィザード形式で登録する
 - 4 [登録] > [はい]

お気に入りを削除する

お気に入りは削除することもできます。 お気に入りを削除する操作手順は、次のとおりです。

- 画面を表示する
 - 1 [ホーム]キー > [送信] > [お気に入り]
- 2 お気に入りを削除する
 - 1 [メニュー] > [削除]
 - 2 削除するお気に入りを選択します。
 - 3 [はい]を選択します。

よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカット キーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。

🔕 参考

ショートカットはコピー機能、送信機能、ファクス機能および文書ボックスの設定をそれぞれ2つ登録できます。

ショートカットを登録する

ショートカットの登録は、機能一覧画面で行います。ショートカットを登録する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。 「機能一覧]>「ショートカット追加/編集]

ショートカットを登録する

1 [新規登録]を選択します。

ショートカットは次の内容です。

個人用ショートカット1,2	ログインしているユーザーのみ使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用して いるときのみ登録できます
共有ショートカット1,2	本機を使用できるユーザーみんなで使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用 しているときは、管理者の権限でログインしている場合のみ登録できます

2 登録したい設定を選択します。

🔕 参考

すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができま す。

3 名前を入力 > [次へ>] 24文字まで入力できます。

⇒文字の入力

登録]を選択します。
 登録したショートカットが追加されます。

ショートカットを編集する

画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。 [機能一覧] > [ショートカット追加/編集]

ショートカットを編集する

- 1 [編集]を選択します。
- 2 編集するショートカットを選択します。

- 3 [番号]または[名前] > 設定を変更 > [OK]
- 4 [登録] > [はい]

ショートカットを削除する

画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。 [機能一覧] > [ショートカット追加/編集]

2 ショートカットを削除する

- 1 [削除]を選択します。
- 2 削除するショートカットを選択 > [はい]

文書ボックスを使用するには

文書ボックスでは、文書を保存して再利用したり、複数のユーザーで文書を共有したりできます。

文書ボックスにはユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリーボックス、Fコードボックス、ポーリングボックス、 ファクスメモリー受信ボックスがあります。

ユーザーボックスとは

文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックスは、ユーザーが作成 したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ユーザーボックス内の文書を印刷する(5-47)
- スキャンした文書をユーザーボックスに保存する(<u>5-36</u>)
- ・ ユーザーボックス内の文書を移動する(5-36)
- ・ ユーザーボックス内の文書を結合する(5-38)
- ・ ユーザーボックス内の文書を削除する(5-39)
- ・ ユーザーボックス内の文書を送信する(5-40)

🔕 参考

・ユーザーボックスを使用するには、オプションのSSDが必要です。

◆HD-6/7<大容量記憶装置:SSD>(12-5)

- ・ユーザーボックスでできる主な作業は、Command Center RXでも行えます。
- ◆Command Center RX操作手順書

ジョブボックスとは

「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の総称です。(これらのボッ クスをユーザーが削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。)

ジョブボックスには次の4種類があります。

- プライベートプリントボックス(<u>5-42</u>)
- ジョブ保留ボックス(<u>5-44</u>)
- クイックコピーボックス(<u>5-45</u>)
- 試し刷り後保留ボックス(5-46)

🔕 参考

- ・ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。
- ◆<u>一時保存文書の自動消去(8-25)</u>
- 「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の操作については、次を参照してください。
- ◆本体に保存したデータの印刷(5-43)

外部メモリーボックスとは

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことな く手軽に印刷できます。また、本機で読み込んだ画像データを、PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、高圧縮PDFいずれか のファイル形式で、USBメモリーに保存することもできます(Scan to USB)。

Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは

ファクスのデータを保存するためのボックスです。

🔕 参考

Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスを使用するには、オプションのファクスキットが必要です。

◆ファクス使用説明書

本機でユーザーボックスを作成する

🔕 参考

- ・ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。
- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインする必要があります。
 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
 ログインユーザー名
 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
 ログインパスワード
 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
- ユーザー管理が有効の場合、ユーザー権限では、次の操作ができません。管理者の権限で操作してください。
 ボックスの作成
 所有者が異なるボックスの削除

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 [メニュー]>[新規登録]

2 ボックスを登録する

ボックス名を入力 > [次へ>]
 32文字以下で入力してください。

◆ 文字の入力(12-10)

設定する項目は、次のとおりです。

項目	説明
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。
	◆文字の入力 (12-10)
ボックス番号	[+]、[ー]またはテンキーで、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は0001~1000の範 囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。0000を入力すると、空 いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
所有者 ^{*1}	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
共有設定 ^{*2}	ボックスを共有するかどうかを設定します。
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれ同じパスワードを16文字以下で入力してください。
	共有設定で「共有する」を選択した場合に設定できます。
使用量制限	ボックスの使用量を制限することができます。使用量を制限する場合は[+]、[-]またはテン キーで制限値(MB)を入力してください。制限値は、作成されているユーザーボックスの数で変わ りますが、1~30000(MB)の範囲で入力できます。
自動文書削除	ー定期間後に、保存した文書を自動消去します。自動消去する場合は、[設定する]を選択し、[+]、 [-]またはテンキーで、文書を保存する日数を入力してください。1~31(日)の範囲で入力できま す。自動消去しない場合は[設定しない]を選択してください。
空き容量	ボックスの空き容量が表示されます。
上書き保存許可	保存されている古い文書に上書きして新しい文書を保存することを許可するかどうかを設定し ます。上書きする場合[許可する]を選択してください。上書きしない場合[禁止する]を選択して ください。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する] を選択してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を選択してください。

*1 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

- *2 「所有者」が[所有者なし]の場合は表示されません。
- 2 [登録]を選択します。

ボックスが作成されます。

Command Center RXでユーザーボックスを作成する

Command Center RXから本機にユーザーボックスを登録することができます。

🔕 参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

画面を表示する

1 Webブラウザーを起動します。

- アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/ネットワーク]
 例1)https://192.168.48.21/(IPアドレスの場合)
 例2)https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)。
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。

	on	nman	nd C	enter	RX	モナ ホス 場所	ル名: 小名: 析:	
👔 <u>t-4</u>			ボックス:コ	ユーザーボックス	_	最終更新 2013/10/	: 04 11:43:37	
admin								
ログアウト		ユーザーボッ	27 3		표무 [開入	ボックス名 。	2
		番号 ▲	種類	<u>ボックス名</u>	所有者	文書数	サイズ	
デバイス情報	>	<u>0001</u>	B	営業		3	1.0 MB	
ジョブ状況	>	0002		<u>サービス</u>	DeviceAdmin	0	0.0 KB	
2010日 1000日 100000000	\sim	1 <u>0003</u>		<u>ボックス01</u>		0	0.0 KB	
→ ユーザーボックス ファクスボックス ファクスボックス		2 0004		<u>ボックス02</u>		0	0.0 KB	l
<u>ホーリンクホックス</u> ジョブボックス設定					1			11
	>						1 - 4 / 4 ボックス	z
デバイス設定	>							
一個機能設定	>							

- 4 [新規作成]をクリックします。
- 2 設定する
 - 1 ボックスの情報を入力します。
 登録するユーザーボックスの情報を入力してください。入力する項目は、次を参照してください。
 ◆ Command Center RX操作手順書
 - 2 [設定]をクリックします。

ボックスを編集する

- 画面を表示する
 - **1** [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 ボックスを編集する
 - 1 [メニュー] > [編集]

2 編集したいボックスを選択します。

🔕 参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスしか編集できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを編集できます。
 - ユーザー管理が有効の場合、ログインしているユーザーの権限により変更できる項目が異なります。

権限	変更できる機能
管理者	ボックス名
	ボックス番号
	所有者
	共有設定
	ボックスパスワード
	使用量制限
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除
ユーザー	ボックス名
	ボックスパスワード
	共有設定
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除

各項目詳細については、次を参照してください。

◆ 本機でユーザーボックスを作成する (3-52)

ボックスを削除する

- 画面を表示する
 - **1** [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 🤰 ボックスを削除する
 - 1 [メニュー] > [削除]
 - 2 削除したいボックスを選択します。

🔕 参考

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスし か削除できません。
- ・管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを削除できます。
- 3 [はい]を選択します。

4

パソコン側の操作

この章では、次の項目について説明します。	
プリンタードライバーの印刷設定画面の見かた	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-4
プリンタードライバーの初期設定値を変更する	4-4
パソコンからの印刷	4-5
定形サイズの用紙に印刷する	4-5
不定形サイズの用紙に印刷する	4-7
パソコンで印刷を中止する	4-9
本体へのデータの保存と保存したデータの印刷	4-10
パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する	4-10
Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	4-12
本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスモニター)	4-14
ステータスモニターを起動する	4-14
ステータスモニターを終了する	4-14
ステータスモニターの見かた	4-14
印刷情報アイコンタブの見かた	4-15
用紙情報アイコンタブの見かた	4-15
トナー情報アイコンタブの見かた	4-15
アラート情報アイコンタブの見かた	4-16
ステータスモニターコンテキストメニューの見かた	4-16
ステータスモニターの通知機能を設定する	4-17

プリンタードライバーの印刷設定画面の見かた

プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

⇒プリンタードライバー操作手順書

			in an State		? ×
🗿 Mariate 🔿	的場份相考	<i>1</i> 77-	影單位印刷	雨面印刷	ページ集約
- 整本設定 >		3	THE REAL PROPERTY AND		3
III レ1751 >					信用:展考(8)
tt: tf	70771Jk				
. assa)					
📑 表紙/合紙 >	¥73萬國東3星				
🚍 श्रेत्रक >					
🔎 KARHAR 🗦					
					sitelikes
		-40		(Activity)	
8		項目 日間単動定 印刷((向き		econe e	Î
	-	カラー 部単位印刷 法語を印刷		フルカラー オン	
	16	ページ集約		5	
-	PALM	船紙元 部数 カーボンコピー			v
□印刷フレビューロ	0	名前を付けて保存()	D. 70771	IK(D.	
🔇 КУОСЕКА				ОК	**>セル

No.	。 1997年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日
1	[簡単設定]タブ
	よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と 同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。
	府単設定 印刷の向き カラー 部単位印刷 両面印刷 ページ集約
	[基本設定]タブ
	よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。
	[レイアウト]タブ
	ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができ
	ます。
	[仕上げ]タブ
	印刷した用紙の仕上げに関する設定ができます。
	[印刷品質]タブ
	印刷結果の品質に関する設定ができます。
	印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。
	印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存して おくと簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を 印刷する際などにも便利です。
	[拡張機能]タブ
	印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。
2	[プロファイル] プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼 び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくと便利です。
---	---
3	[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバーのヘルプを表示する

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- ┌───1 1 設定画面右上の[?]ボタンをクリックします。
 - 2 知りたい設定項目をクリックします。

🔕 参考

知りたい設定項目をクリックした後、キーボードの[F1]キーを押した場合もヘルプを表示することができます。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を 省略することができます。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

設定項目については、次を参照してください。

▶プリンタードライバー操作手順書

1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [コントロールパネル] > [デ バイスとプリンターの表示]をクリックする

🔕 参考

Windows 7の場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[デバイスとプリンター]をクリックします。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メ ニューをクリックする
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする
- ▲ 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする

パソコンからの印刷

パソコンで作成した文書を本機で印刷します。

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

🚫 参考

- ・パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD(Product Library)を使って、パソコンにプリンタードラ イバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。
- ◆<u>はがき、封筒の場合(5-9)</u>

定形サイズの用紙に印刷する

本機の出力用紙サイズにある用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[基本設定] タブで用紙サイズを選択します。

🔕 参考

本機の操作パネルから、印刷する用紙のサイズと種類を設定してください。

◆「カセット/手差しトレイ設定」(8-9)

画面を表示する

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

<mark>2</mark> 設定する

1「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



- 2 [基本設定]タブを選択します。
- 3「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。 はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

◆<u>不定形サイズの用紙に印刷する(4-7)</u>

🔕 参考

「自動カセット切り替え」を[使用しない]に設定した場合は、「給紙元」から使用したい用紙がセットされている 給紙元を選択してください

◆固定:選択した給紙元の用紙で印刷します。(8-30)

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。

-		? ×
🧭 簡単設定 >	出力用紙サイズ: A4 [100%] V	部単位印刷 カノ
基本設定 >	原稿サイズ(<u>P</u>) 給紙元:	
レイアウト >	自動選択 > 用紙種類。	印刷の向き:縦
t±上(f >	指定なし 排紙先: 7°リンターの設定 ・	
印刷品質 >		
▋ 表紙/合紙 >		
🧧 ジョブ保存 >	~」 □カーボンコピー(©) 話定(S)	
▶ 拡張機能 >	□ 一括□ピー:(B) 設定(k)	

4 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

不定形サイズの用紙に印刷する

本機の出力用紙サイズにはない用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[基本設定]タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

🔕 参考

本機の操作パネルから、印刷する用紙のサイズと種類を設定してください。

◆ [カセット/手差しトレイ設定](8-9)

画面を表示する

- チャームの[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。
 Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。

2 登録する

1 [基本設定]タブをクリックします。



- 2 [原稿サイズ]ボタンをクリックします。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。



4 用紙サイズを入力します。

- 5 用紙の名前を入力します。
- 6 [追加]ボタンをクリックします。
- **7** [OK]ボタンをクリックします。
- 8 [OK]ボタンをクリックします。

182(L)-		標準(ご戻す(<u>R</u>)	
	項目	設定内容	~
	 □ 陸単単設定 印刷の(おき カラー お単位印刷 西面(印刷) ページ集約 ● 基本設定 給低元 部数 カーポンコピー - メニッピー 	縦 フルカラー オン オフ オフ 自動選択 1 オフ オフ 、、	~
□ 印刷プレビュー(1)	名前を付けて保存(A)_ プロフ	יייעוויד, אונייי	
KYOCERA		8 OK ++>>tz)/	

3 印刷設定画面を表示する

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

4 不定形サイズの用紙サイズと種類を選択する

1「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

						×
7029-18: ==			プロパティ四 詳細	erato	<u>∆4,7m</u>	0
電気(2): 1	* 1		ロクレースケール。自	■)で印刷 <u>(</u>) 内 ()		
印刷するページ			-	注釈とフォーム	60	
() TATO				文書と注釈・		
04-58000	1.574			注釈の一覧	Ð	
 詳細オブション 				值事:53%		
ページサイズ処理(D				19.02 × 234.99 EU	
サイズの	ポスター	橡款	小冊子			
 金わせる回 実際のサイズ 特大ページを掲 カスタム倍率: Iror のページサ・ 	小 100 % (ズに合わせて用紙を)	₩Rø				
□用紙の両面に日	90					
向き: ●自動縦/横面 ○縦 ○横					=	
				•	1/14-5	3
ページ設定由…					印刷 キャン と	206-

2 [基本設定]タブを選択します。

3「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、手順2で登録した原稿サイズ(名)を選択します。 厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。

		? ×
	3紙サイズ: 号 [100%] ↓	部単位印刷:オン
基本設定 > 原給	稿サイズ(<u>P</u>) b	
目目 レイアウト 自動が 用紙種 指定/	當択 ♥ (欺損: た)	
	a0 ↓ 5 たの設定 ↓	
11日 日本 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 1		両面印刷: オフ
● 表紙/合紙 >	1	
	ーボンコピー(C) 時定(S)	
▶ 拡張機能 > □→	話コピー:(B) 設定(<u>K</u>)	

🚫 参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

- 4 「給紙元」メニューで給紙元を選択します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

5 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

🔕 参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。 ◆<u>印刷ジョブをキャンセルする (5-13)</u>

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン(Mathendrophic Structure)をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示する
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択する

本体へのデータの保存と保存したデータの印刷

ユーザーボックスおよびジョブボックスを使用して本機に印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。

- ▶<u>ユーザーボックスとは (3-51)</u>
- ◆ジョブボックスとは (3-51)

ジョブボックスには次の4種類があります。

- プライベートプリントボックス(<u>5-43</u>)
- ジョブ保留ボックス(<u>5-44</u>)
- クイックコピーボックス(<u>5-45</u>)
- 試し刷り後保留ボックス(<u>5-46</u>)

🚫 参考

ユーザーボックスを使用するには、オプションのSSDが必要です。また、本機のRAMディスクをジョブボック スとして使用できる場合もあります。

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ユーザーボックスまたはジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

文書ボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

1 パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する(4-10)

9 操作パネルから文書ボックス内のファイルを指定して印刷する(5-43)

パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する

ジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

- **1 アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択する** 印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選択する
- **3** [プロパティ]ボタンをクリックする

プロパティダイアログボックスが表示されます。

4 [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定 > [OK]

(m	and the production of the second s	8 ×
 ○ 期単設定 > ● 基本設定 > ● 基本設定 > ● レイアウト > ● 仕上げ > ● 印刷品質 > ● 表紙/合紙 > 	9ョ7加3展開能 タイグ: ジョブ名・ 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-1-2027 第1-1-202	名に使用しな
	a	
🧧 ジョブ保存 >		
🥕 拡張機能 >		

🔕 参考

- プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。
- ◆プリンタードライバー操作手順書

5 [印刷]ボタンをクリックする

印刷ジョブが保存されます。

Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書 を印刷する

Command Center RXからユーザーボックスに保存されている文書を印刷することができます。

画面を表示する

- 1 Webブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。 本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。 本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。

o Kyocera	nman	nd Ca	enter	RX	モテ ホス 場所	"ル名: 小名: ff:	Â
▲ <u>本ーム</u>	全 文書	ボックス:ユ	ーザーボックス	_	最終更新 2013/10/	: 04 11:43:37	
Section 2015							
ログアウト	ユーザーボッ	クス	補作成 副除		_	_	
				番号	開	ボックス名	0
	<u>番号</u> ▲	種類	<u>ボックス名</u>	所有者	文書数	サイズ	
デバイス情報	<u>0001</u>	-	営業	3	3	1.0 MB	
	0002		<u>サービス</u>	DeviceAdmin	0	0.0 KB	
支書ボックス 🗸			<u>ボックス01</u>		0	0.0 KB	
<u>マーサーボックス</u> ファクスボックス オールト ボートコー 2	<u>0004</u>		<u>ボックス02</u>		0	0.0 KB	
<u>ホーリンクホックス</u> ジョブボックス設定				1			
でアトレス帳管理 >						1 - 4 / 4 ボック	2
🖓 デバイス設定 >							
₩ 機能設定 >							

4 文書が保存されているユーザーボックスの番号またはボックス名をクリックします。

2 印刷する

	ommand Center RX	モテル名: ホスト名: 場所:
▲ <u>ホーム</u>	ボックス文書	最終更新: 2013/10/04 11:44:01
Admin	<u>文書ボックス : ユーザーボックス</u>	
ログアウト	0001 - 営業 <u>ボックス詳細情報</u> 使用量:1.0 MB / 200.0 MB	文書名
同時デバイス情報		
	選択 種類 文書名 ▲	日時 サイズ
ジョブ状況	Scan20130703161 131004 1143	323707 2013/10/04 11:42 346.0 KB
文書ボックス	Scan20130703161 131004 1143	356582 2013/10/04 11:43 346.0 KB
ファクスボックス	Scan20130703161 131004 1144	413254 2013/10/04 11:43 346.0 KB
<u>ポーリングボックス</u> ジョブボックス設定	1	
「アドレス帳管理	0/3 選択中 >	1-3/3文書
デバイス設定	>	
機能設定	>	

- 印刷する文書を選択します。
 印刷する文書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2 [印刷]をクリックします。
- 3 印刷設定を行い、[印刷]をクリックします。

本機の状態をパソコンから確認するには(ステータス モニター)

ステータスモニターは、プリンターの状態を監視し、報告する機能を備えています。

🔕 参考

ステータスモニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- ・ KX Driverがインストールされている。
- [Enhanced WSD]または[Enhanced WSD(SSL)]が[使用する]に設定されている。
- ▶<u>[ネットワーク] (8-32)</u>

ステータスモニターを起動する

印刷を開始すると、同時にステータスモニターも起動します。

ステータスモニターを終了する

ステータスモニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- ・ 手動による終了:
 設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスモニターが終了します。
- 自動的に終了: 操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスモニターが自動的に終了します。

ステータスモニターの見かた

プリンターの状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。



- 1 印刷情報アイコンタブ
- 2 用紙情報アイコンタブ
- 3 トナー情報アイコンタブ
- 4 アラート情報アイコンタブ
- 5 Expandボタン
- 6 設定アイコン

各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブの見かた

印刷ジョブの状況が表示されます。



ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

用紙情報アイコンタブの見かた

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



トナー情報アイコンタブの見かた

トナー残量が表示されます。



アラート情報アイコンタブの見かた

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスモニターコンテキストメニューの見かた

設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



Command Center RX

TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザーを使ってCommand Center RX にアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。 ◆Command Center RX操作手順書

- ・ 通知 ステータスモニターの表示の設定を行います。
 ◆ステータスモニターの通知機能を設定する(4-17)
- www.kyoceradocumentsolutions.com
 弊社のホームページを開きます。
- アプリケーションの終了 ステータスモニターが終了します。

ステータスモニターの通知機能を設定する

ステータスモニターの設定とイベントリストの内容が表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1 イベントの通知を有効にするを選択します。 この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスモニターが起動しません。
- 2 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。

3 サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。

ブラウズ(…)ボタンをクリックして、ファイルを指定します。

イベントの通知を有効	加こする(<u>E</u>)	
有効なイベントハル		
イベント	サウンドファイル / 読み上げるテキスト	
カバーオーブン	1	
紙づまり		
用紙切れ		
711		

🔇 参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。	
原稿をセットする	5-3
原稿ガラスにセットする	
原稿送り装置にセットする	
手差しトレイに用紙をセットする	
アプリケーションを利用する	5-10
アプリケーションを起動する	5-10
アプリケーションを停止する	
コピーのしかた	
コピーする	
割り込みコピーをする	
印刷ジョブをキャンセルする	
基本的なスキャン(送信)のしかた	
スキャンした文書をメールで送信する	
パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]	
FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]	
TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む	
便利なスキャン(送信)のしかた	
WSDスキャンを実行する	
File Management Utility を使用して原稿を読み込む	5-24
種類の異なる相手に送信する(複合送信)	5-25
ログインユーザーのメールアドレスに送信する	5-26
ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)	5-26
スキャンをキャンヤルする	5-28
宛先の操作	5-29
アドレス帳から宛先を選ぶ	5-29
が張アドレス帳から宛先を選ぶ	5-31
ワンタッチキーから宛先を選ぶ	5-31
短縮番号から宛先を選ぶ	5-32
宛先を確認または変更する	5-32
送信前に宛先を確認する	5-32
と目前に2000と確認。シロールの1000000000000000000000000000000000000	5-33
$\nabla r \gamma \lambda \sigma L h t$	5-34
文書ボックスの基本操作	5-35
ボックス一覧を操作する	5-35
文書一覧を操作する	5-35
ユーザーボックスの操作のしかた	5-36
ユージー インジンの(水) ひつんた	5-36
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-36
ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする	5-37
コーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を結合する	5-38
コーザーボックス内の文書を削除する	5-39
コーザーボックス内の文書を送信する	5-40
ログインューザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する	5-41
ユーザーボックスに保存された文書を読み込む	5-42
本体に保存したデータの印刷	5-43
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	5-43
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	
シュート・コンティーホティスに体行した大量と的体をの	5-43 5_11
イコイ (小田 1) イインス シイコイ ビデジジン の	······ 0-++

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	5-44
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	5-45
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	5-45
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	5-46
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	5-46
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-47
携帯端末からの印刷	5-48
AirPrintで印刷する	5-48
Google Cloud Printで印刷する	5-48
Mopriaで印刷する	5-48
Wi-Fi Directで印刷する	5-48
NFCで印刷する	5-49
USBメモリーの操作	5-50
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-50
USBメモリー情報を確認する	5-51
USBメモリーを取り外す	5-52
USBメモリーから印刷する	5-52

原稿をセットする

原稿は、サイズや種類、枚数、使用する機能に応じて、つぎのどちらかにセットしてください。

- 原稿ガラス:通常のシート以外に、本や雑誌、はがき、封筒などを読み込む場合は、ここにセットします。
- 原稿送り装置:複数ページのシート原稿をまとめて読み込む場合は、ここにセットします。また、両面原稿を読み込むこともできます。

原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。



1 読み取り面を下にします。
 2 原稿ガラスの左上に当てます。

🔕 参考

・A5はA4-Rとして検知します。タッチパネルの機能キーで、原稿サイズをA5に設定してください。

- ◆[原稿サイズ](6-4)
- ・原稿セット向きについては、次を参照してください。
- ◆[<u>原稿セット向き](6-9)</u>

はがき、封筒の場合



- 1 読み取り面を下 にします。
- 2 原稿ガラスの左 上に当てます。

🔕 参考

- ・はがき、封筒の給紙方法については、次を参照してください。
- ◆はがき、封筒の場合(5-9)



原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となるおそれがあります。

✓ 重要

- 原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- •本や雑誌をセットする場合は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

原稿送り装置にセットする

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

使用できる原稿

厚さ	45~160 g/m ² (両面時:50~120 g/m ²)
サイズ	最大A3/Ledger(297 × 432 mm)(長尺:297 × 1,900 mm) ~ 最小A5-R/Statement-R (140 × 182 mm)
セットできる枚数	普通紙(80 g/m ²)、カラー紙、再生紙、上質紙:50枚

次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。原稿つまりや原稿送り装置の汚れの原因になります。

- クリップやステープルで止めてある原稿(使用するときは、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてく ださい。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- 粘着テープや糊などが付着した原稿
- 切り抜きの原稿
- カールした原稿
- 折り目のついた原稿(使用するときは、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- ・ カーボン紙
- シワや折れのひどい原稿

🕗 重要

- 原稿をセットする前に、排紙された原稿が原稿排紙テーブルに残っていないことを確認してください。原稿が 残っていると、原稿がつまる原因になります。
- 原稿送り装置上カバーの上で原稿をそろえるなど、カバーに衝撃を与えないでください。原稿送り装置が誤動 作する原因になります。
- 1 原稿幅ガイドを原稿サイズに合わせる



2 原稿をセットする

 読み取り面を上にして(両面原稿の場合は表面を上にして)、原稿の先端を原稿送り装置内の奥まで差し込ん でください。



🚫 参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

◆ [原稿セット向き] (6-9)

✓ 重要

原稿幅ガイドが原稿に当たっていることを確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直してください。隙間があると原稿がつまる原因となります。



原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる 原因になります。

パンチ穴やミシン目のある原稿は、パンチ穴やミシン目が右側になるように(先に読み込まれないように)セットしてください。

2 原稿ストッパーを開きます(原稿サイズがA3、Ledgerの場合)。



手差しトレイに用紙をセットする

セットできる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

◆ 適正な用紙の選択(12-22)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

◆ <u>用紙種類の設定について(8-14)</u>

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

🕑 重要

- 106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設 定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとに内部トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- A4以下の普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:100枚
- 厚紙(220 g/m²):10枚
- 厚紙(157 g/m²):10枚
- 厚紙(120 g/m²):25枚
- 厚紙(104.7 g/m²):25枚
- A4より大きいサイズの普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:25枚
- はがき:20枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10(Commercial#10)、Monarch、洋形4号、洋形2号:5 枚
- OHPフィルム:10枚

🔕 参考

- 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。
- ◆「手差しトレイ」(8-10)
- ・ OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。
 → <u>用紙種類の設定について(8-14)</u>
- 1 手差しトレイを開ける



2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。







用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。 包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

▶<u>用紙の取り扱い上の注意(3-19)</u>

🕢 重要

- 印刷する面を下にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差し トレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせ てさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないよう にガイドを調整し直してください。
- 4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

◆「手差しトレイ」(8-10)

はがき、封筒の場合

印刷する面を下にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

▶プリンタードライバー操作手順書

例)宛名を印刷する場合



- 1 往復はがき
- 2 はがき
- 3 縦長の封筒(開封口を開く)
- 4 横長の封筒(開封口を閉じる)

✓ 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- ・封筒のセットのしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しくセットしないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

🔕 参考

・手差しトレイに封筒をセットするときは、封筒の種類を設定してください。

◆「手差しトレイ」(8-10)

アプリケーションを利用する

アプリケーションを起動する

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション] > [アプリケーション]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 起動する

1 使用するアプリケーションを選択 > [メニュー] > [起動]

[_]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 [正規] > ライセンスキーを入力 > [OK]

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示 されない場合は手順2-3に進んでください。お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を選択してくだ さい。

3 [はい]を選択します。

📀 重要

日付設定を変更すると、アプリケーションをお試しで使用することができなくなります。 起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

3 ホーム画面のアプリケーションアイコンを押して起動する

アプリケーションアイコンを押します。 アプリケーションが起動します。

アプリケーションを停止する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー> [アプリケーション] > [アプリケーション]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 停止する

停止するアプリケーションを選択 > [メニュー] > [停止]
 [四]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 [はい]を選択します。

コピーのしかた

ここでは、コピー操作の基本的な流れとキャンセルのしかたについて説明します。

コピーする

- **1** [ホーム]キー > [コピー]
- 2 原稿をセットする



◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 機能を設定する

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を選択すると、その他の機能が 設定できます。

▶[□ピー] (xi)

▲ テンキーで部数を入力する

999部まで指定できます。

5 [スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

🔕 参考

印刷中に次のコピーを予約することができます。次のコピーを予約すると、現在の印刷が終了した後、予約した コピーの印刷を開始します。「次の予約優先」が[設定しない]に設定されている場合は、[次の予約]が表示され ます。[次の予約]を選択し、コピーの必要な設定を行ってください。

◆次の予約優先(8-23)

コピー中 ジョブ番号	です。 号: ジョ	ブ名:		10:10
	読み込みページ数	t	部数	
	100		25	/ 100
			中止	次の予約

割り込みコピーをする

印刷中のジョブを一時中断させて、緊急のコピーを先に行うことができます。 割り込みコピーが終了すると、中断していた印刷が再開されます。

🔕 参考

割り込みコピーモード中、60秒間操作しないと自動的に割り込みコピーが解除され、中断していた印刷を再開します。割り込みコピーが解除されるまでの時間は変更することができます。必要に応じて変更してください。

1 設定する

- [割り込み]キーを押します。
 印刷中のジョブが一時中断します。
- 2 割り込みコピーする原稿をセットし、コピーの必要な設定を行います。
- 2 [スタート]キーを押す 割り込みコピーが開始されます。
- 3 割り込みコピーが終了したら、[割り込み]キーを押す 中断していた印刷が再開されます。

印刷ジョブをキャンセルする

- 1 コピー画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する
- 2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合

ジョブはキャンセルされます。

印刷中、待機中のジョブがある場合

印刷を一時停止し、ジョブ中止画面が表示されます。 キャンセルするジョブを選択 > [中止] > [はい]

🔕 参考

「次の予約優先」が[設定しない]に設定されている場合、タッチパネルにはコピー中の画面が表示されています。このとき、[ストップ]キーまたは[中止]を選択すると、印刷中のジョブがキャンセルされます。

◆次の予約優先(8-23)

基本的なスキャン(送信)のしかた

本機を使用して読み取った画像をメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりすることがで きます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先(受信者)のネットワークアドレスを登録しておいてください。

メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティーの面からLANによる接続を推奨します。

基本的なスキャン(送信)の方法は次のとおりです。

- ・ メール送信(新規メール):読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。
- ◆スキャンした文書をメールで送信する (5-15)



- ・ フォルダー(SMB)送信:読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。
- ◆パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB] (5-16)
- フォルダー(FTP)送信:読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。
- ◆FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP] (5-19)



- ・ TWAIN/WIAでの画像データ読み込み: TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込 みます。
- ◆<u>TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む(5-21)</u>



これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。

◆ 種類の異なる相手に送信する(複合送信)(5-25)

送信にはファクス機能が使用できます。

◆ファクス使用説明書

スキャンした文書をメールで送信する

スキャンした文書をメールで送信します。

🚫 参考

送信をする前に、Command Center RXからSMTPおよびメール送信の設定をする必要があります。 SMTPおよびメール送信の設定をする(2-45)

1 [ホーム]キー > [送信]

⑦ 原稿をセットする





◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 [メール]を選択するとアドレス入力画面が開きます

▲ アドレスを入力 > [OK]

128文字まで入力できます。

◆<u>文字の入力(12-10)</u>

複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力します。

入力可能メールアドレス数:100件まで

[メニュー] > [<戻る]を選択すると、入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することができます。また、すでに登録されている宛先を置き換えることもできます。

宛先は後で変更できます。

◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

🔕 参考

「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。 ◆ <u>同報送信(8-24)</u>

5 機能を設定する

[機能一覧]を選択する事で各機能の設定を行うことができます。

▶[送信] (xii)

6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]

読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。

🐼 参考

送信をする前に、次の設定をする必要があります。 コンピューター名とフルコンピューター名をメモする ◆ <u>コンピューター名とフルコンピューター名をメモする</u>(3-24) ユーザー名とドメイン名をメモする ◆ <u>ユーザー名とドメイン名をメモする</u>(3-25) 共有フォルダーを作成する、共有名をメモする ◆ <u>共有フォルダーを作成する、共有名をメモする</u>(3-26) Windowsファイアウォールを確認する ◆ <u>Windowsファイアウォールを設定する(3-30)</u>

1 [ホーム]キー > [送信]



3 送信の基本画面で[フォルダー]を選択する

<u> 1</u> フォルダーの種類から[SMB]を選択する

5 フォルダーの指定方法を選択する

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、[ネットワークからフォルダーを検索 する]または[ホスト名でフォルダーを検索する]を選択してください。

[ネットワークからフォルダーを検索する]を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンから宛先を検索することができます。

[ホスト名でフォルダーを検索する]を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

ホスト名(コンピューター名)は500件まで表示することができます。表示された画面で指定したいホスト名(コン ピューター名)を選択し、[次へ]を選択するとログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面が表示されま す。

ログインユーザー名、ログインパスワードを入力すると共有フォルダーが表示されるので、指定したいフォル ダーを選択して[次へ]を選択してください。選択した共有フォルダーが宛先に設定されます。

🕑 重要

マルチバイト文字(漢字、ひらがな、カタカナなど)を使用する場合、以下にご注意ください。

- ・送信先ホスト名にマルチバイト文字が含まれている場合、そのホスト名を使用して検索、送信ができます。
- 送信先のドメイン名、ワークグループ名にマルチバイト文字が含まれている場合、検索や送信ができません。
- ログインユーザー名にマルチバイト文字が含まれている場合、そのログインユーザー名を使用して送信ができます。

検索結果のリストからフォルダーを選択します。

<mark>6</mark> 宛先情報を入力する

SMB宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[次へ]を選択して、次の項目に進みます。

◆文字の入力(12-10)

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名 ^{*1}	コンピューター名	64文字
パス	共有名 例)scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名\共有フォルダー内のフォルダー名	128文字
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名\ユーザー名 例) abcdnet\yamada	64文字
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字

*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。
 「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」
 IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[]で囲んでください。
 (例: [2001:db8:a0b:12f0::10]:445)
 なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は445です。

<mark>フ</mark> 確認する

宛先情報を確認します。
 必要に応じて変更してください。

 2 [メニュー]>[接続確認]
 宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入 カ内容を確認してください。
 複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力してください。
 [アドレス帳に登録]を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

8 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

機能を設定する

[機能一覧]を選択すると、機能が表示されます。

◆<u>[送信] (xii)</u>

10 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]

読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする





◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 送信の基本画面で[フォルダー]を選択する

4 フォルダーの種類から[FTP]を選択する

5 宛先情報を入力する

SMB宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[次へ]を選択して、次の項目に進みます。OK

◆文字の入力(12-10)

入力する項目は次のとおりです。

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名 ^{*1}	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス*2	保存したいフォルダーのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以下
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以下
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以下

*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。 「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」 IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[]で囲んでください。 (例: [2001:db8:a0b:12f0::1]:21) なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は21です。

*2 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

6 確認する

- 宛先情報を確認します。
 必要に応じて変更してください。
- 2 [メニュー]>[接続確認]
 宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入 カ内容を確認してください。
 複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力してください。
 [<戻る]を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

7 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

◆ <u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

8 機能を設定する

[機能一覧]を選択すると、その他の機能が表示されます。
 ◆<u>「送信」(xii)</u>

9 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む

TWAINまたはWIAを使って、本機にセットした原稿を読み込む方法について説明します。

🔕 参考

送信をする前に、コンピューターにTWAIN/WIAドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

◆ TWAINドライバーを設定する (2-36)

◆WIAドライバーを設定する(2-38)

画面を表示する

- 1 TWAIN またはWIA対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。

🚫 参考

本機の選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

2 設定する

表示されるダイアログボックスで読み込みの設定を行ってください。

🔕 参考

設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

3 原稿をセットする



◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

▲ スキャンする

[スキャン]ボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データがパソコンに保存されます。
便利なスキャン(送信)のしかた

便利なスキャン(送信)の方法は次のとおりです。

- WSDスキャン:本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。
 ◆ WSDスキャンを実行する(5-23)
- File Management Utilityを使ったスキャン : File Management Utilityで設定した内容に従って原稿を読み込み、画像 データと読み込み情報を指定のサーバーやフォルダーに保存します。
 ◆ <u>File Management Utility を使用して原稿を読み込む(5-24)</u>
- ファクスサーバーを使ったスキャン:スキャンした原稿をファクスサーバーを経由して送信します。
 →ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)(5-26)
- ・種類の異なる相手に送信する(複合送信):一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できます。
 - ◆<u>種類の異なる相手に送信する(複合送信)(5-25)</u>
- 自分に送信:ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文章を送付します。
 ◆ ログインユーザーのメールアドレスに送信する(5-26)

WSDスキャンを実行する

WSDスキャンは、本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

🚫 参考

- ・WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されているか、ネットワーク設定の 「WSDスキャン」が[使用する]に設定されているか確認してください。
- ▶ WSDスキャン (8-41)
- ・パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの 取扱説明書を参照してください。
- 1 [ホーム]キー > [送信]
- ⑦ 原稿をセットする



◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 画面を表示する

[WSDスキャン]を選択します。

A スキャンする

本機で操作する場合

- 1 [パネルから操作]を選択します。
- 2 送信先のパソコンを選択 > [OK]
 [アドレス帳に登録]を選択すると、リストを更新します。
 [●]を選択すると、送信先のパソコンの情報が参照できます。
- 3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。
- 4 [スタート]キーを押します。

送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができ ます。

パソコンから操作する場合

- 1 [PC操作] > [次へ>]
- 2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

File Management Utility を使用して原稿を読み込む

File Management Utility(FMU)は、本機でスキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーまたはPCに送信し、 保存するアプリケーションです。スキャンした文書を処理するためのワークフローをFMUで作成し、本機にお気に入り として登録することができます。

🔕 参考

本機能を使用する前に、使用するパソコンにFile Management Utilityをインストールし、使用する複合機、読み込み条件や保存場所の設定を行う必要があります。File Management Utilityのインストール方法については、次を参照してください。

▶ソフトウェアのインストール (2-26)

File Management Utilityの使用方法については、次を参照してください。

➡File Management Utility操作手順書

- 1 File Management Utilityがインストールされているパソコン(またはサーバー)でFile Management Utilityが起動していることを確認する
- 2 原稿をセットする
- 3 お気に入りを呼び出す

ホーム画面に登録した[お気に入り]を選択、または[送信] > [お気に入り]で表示されるアイコンを選択します。

- 4 画面の指示に従って必要事項を入力し、[次へ>]を押す
- 5 読み込み設定画面が表示されたら、各項目を押して必要な設定を行う 設定できる機能はFile Management Utilityに依存します。
- 6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

種類の異なる相手に送信する(複合送信)

宛先は、メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクスを組み合わせて指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できて便利です。



同報件数:最大100件

ただし、下記の送信方法は、件数の制限があります。

フォルダー(SMB、FTP):SMB、FTP合わせて5件まで

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先 リストに表示させてください。[スタート]キーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。

🚫 参考

・宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。

・「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。

◆ <u>同報送信 8-24</u>

ログインユーザーのメールアドレスに送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

🔕 参考

この機能を使用する前に、次の設定をする必要があります。

- ホーム画面に機能アイコンを表示させる
- ◆ホーム画面を編集する(3-8)
- ・ユーザー管理でログインするユーザーにメールアドレスを設定する
- ◆新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト](9-5)

1 操作パネルの[ホーム]キーを選択する

う 自分に送信(メール)]を選択する

ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)

スキャンした原稿をファクスサーバーを経由して送信します。

🔕 参考

- この機能を使用するには、ファクスサーバーが必要です。ファクスサーバーについては、管理者にお問い合わ せください。
- ・送信をする前に、ファクスサーバーを設定をする必要があります。
 ◆Command Center RX操作手順書
- ◆「ファクスサーバー設定」(8-55)
- 1 [ホーム]キー > [送信]
- ⑦ 原稿をセットする





◆<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 送信の基本画面で[ファクスサーバー]を選択する

▲ 宛先を入力する

直接入力する場合

1 [ファクス番号入力]を選択します。

2 ファクス番号を入力します。

🔕 参考

テンキーを使って、数値を入力します。

- 3 [OK]を選択します。
 宛先は後で変更できます。
 ◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>
- アドレス帳から選択する場合
- 1 [アドレス帳]を選択します。
- 2 宛先を選択します。
 ◆<u>アドレス帳から宛先を選ぶ(5-29)</u>
- [OK]を選択します。
 宛先は後で変更できます。

◆ <u>宛先を確認または変更する (5-32)</u>

拡張アドレス帳から選択する場合

- 1 [拡張アドレス帳]を選択します。
- 2 宛先を選択します。
 ◆<u>アドレス帳から宛先を選ぶ(5-29)</u>
- [OK]を選択します。
 宛先は後で変更できます。

◆<u>宛先の操作(5-29)</u>

🔕 参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。 ◆Command Center RX操作手順書

5 機能を設定する

原稿をセットします。

▶[送信] (xii)

6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

スキャンをキャンセルする

[ストップ]キーを選択してジョブをキャンセルすることができます。

1 送信画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する

2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合

ジョブがキャンセルされます。

送信中、待機中のジョブがある場合

ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [削除] > [はい]

🚫 参考

送信ジョブの場合、[ストップ]キーを選択しても一時停止しません。

宛先の操作

ここでは、宛先の選びかたや確認のしかたについて説明します。 宛先は、直接入力するほかに、次の方法で選択できます。

- アドレス帳から宛先を選ぶ
- ◆アドレス帳から宛先を選ぶ(5-29)
- 拡張アドレス帳から宛先を選ぶ
- ◆拡張アドレス帳から宛先を選ぶ (5-31)
- ワンタッチキーから宛先を選ぶ
- ◆ワンタッチキーから宛先を選ぶ (5-31)
- 短縮番号から宛先を選ぶ
- ◆短縮番号から宛先を選ぶ(5-32)
- ファクスから宛先を選ぶ
- ◆ファクス使用説明書

🔕 参考

- [送信]キーを選択するとアドレス帳の画面を表示するように設定することができます。
- ◆ [初期画面] (8-11)
- ・ 宛先にはファクスの宛先を指定することができます。テンキーで相手先の番号を入力します。

アドレス帳から宛先を選ぶ

アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

🔕 参考

アドレス帳に宛先を登録する方法は、次を参照してください。 ◆<u>宛先の登録(3-34)</u>

1 送信の基本画面で[アドレス帳]を選択する

🔕 参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

◆Command Center RX操作手順書

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛 先のチェックボックスにチェックマークがつきます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

🚫 参考

- ・ 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。
- 「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。また、複数のあて 先が登録されているグループも選択できません。

◆ 同報送信 (8-24)

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。



	使用するキー	検索方法	検索語句など
1		宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB,FTP)、 ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
2	絞り込み	宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB,FTP)、 ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
	検索(フリガナ)	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
	番号検索	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
	表示順(フリガナ)	表示順検索	登録されているフリガナで検索します。
	表示順(番号)		登録されているアドレス番号で検索します。
3		フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。

<mark>3</mark> 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

🔕 参考

「表示順」の初期値を変更することができます。

◆<u>表示順(8-27)</u>

拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

🔕 参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。 ◆Command Center RX操作手順書

1 送信の基本画面で[拡張アドレス帳]を選択する

<mark>2</mark> 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛 先のチェックボックスにチェックマークがつきます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

🔕 参考

別の拡張アドレス帳に変更する場合は、[拡張アドレス帳の切り替え]を選択して、変更したい拡張アドレス帳を選択してください。

<mark>3</mark> 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

◆<u>宛先を確認または変更する(5-32)</u>

🔇 参考

「表示順」の初期値を変更することができます。

◆表示順 8-27

ワンタッチキーから宛先を選ぶ

ワンタッチキーで宛先を選択できます。

送信の基本画面で、宛先が登録されているワンタッチキーを押してください。

🔕 参考

タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、[へ]/[\]を選択してください。表示されていないワンタッチキーが表示されます。ここでは、すでにワンタッチキーが登録されているものとします。 ワンタッチキーの登録については、次を参照してください。

◆ワンタッチキーに宛先を登録する(3-40)

			10:10
001 123456	002 未設定	003 未設定	
004 未設定	005 未設定	006 未設定	
007 未設定	008 未設定	009 未設定	1/9
010 未設定	011 未設定	012 未設定	\sim
		キャンセル	ок

短縮番号から宛先を選ぶ

3桁(001~100)のワンタッチキー番号(短縮番号)を指定して、宛先を選択できます。

[短縮]キーを押すと、番号入力画面が表示されます。番号入力エリアを選択して、ワンタッチキー番号をテンキーで入力 してください。

🔕 参考

短縮番号を1桁~3桁で入力した場合は[OK]を押してください。



宛先を確認または変更する

選択した宛先を確認し、変更します。

┨ 送信の基本画面で[確認]を選択する

🤈 確認/変更する

[+]を選択すると宛先を追加します。

[___]を押すと、その宛先の内容を確認できます。新規メールアドレス、パソコンのフォルダーを指定した宛先は、 その内容を変更できます。

宛先を選択して[前]を押すと、その宛先がリストから削除されます。

🔕 参考

- •「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、確認画面が表示されます。もう一度同じ宛先を入力して[OK]を選択してください。
- ◆<u>新規宛先の入力確認(8-24)</u>
- •「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、確認画面が表示されます。
- ◆送信前の宛先確認(8-24)
- ◆送信前に宛先を確認する(5-32)

送信前に宛先を確認する

「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画 面が表示されます。

➡送信前の宛先確認(8-24)

宛先を確認し[確認完了] を 宛先確認	を押してください。		۵.	10:10
	123456789	0		
B OFFICE	234567890	1	_	1/0
C OFFICE	345678901	2		1/2
D OFFICE	456789012	4567890123		\sim
*=	_	キャンセル	確認分	記了

1 [~]または[^]を選択して、すべての宛先を確認する

[●]を選択すると、その宛先の詳しい情報が参照できます。 宛先を削除するときは、削除する宛先を選択 > [] > [はい] 宛先を追加するときは、[全角カナ]を選択して元の画面に戻ってください。

🤈 [確認完了]を選択する

🔕 参考

必ずすべての宛先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[全角記号]は機能しません。

再宛先を呼び出す

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ宛先に送りたい。そんなときに[再宛先]を選択すると、直前に送信 した宛先を宛先リストに呼び出すことができます。

1 [再宛先]を選択する

直前に送信した宛先に表示されます。

🔕 参考

直前の送信がファクスやフォルダー、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。 必要に応じて宛先の追加や削除などを行ってください。

2 [スタート]キーを押す

送信を開始します。

🔕 参考

「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

◆送信前に宛先を確認する(5-32)

- ・次の条件で再宛先情報は破棄されます。
 - 電源を切ったとき
 - 次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が登録されます。)
 - ログアウトしたとき

ファクスのしかた

本機はファクス機能を使用することができます。ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

◆ ファクス使用説明書

文書ボックスの基本操作

ユーザーボックスで作業を行う場合を例に、文書ボックスの基本操作を説明します。

🔕 参考

ここでは、ユーザー管理が無効であるものとして説明します。ユーザー管理が有効の場合の操作については、次を参照してください。

◆ボックスを編集する(3-54)

ボックス一覧を操作する



- 1 選択したボックスを開きます。
- 2 [メニュー]を選択すると、文書ボックスの検 索(ボックス名/ボックス番号)、表示順の変更 (ボックス名/ボックス番号/所有者)、ボック スの新規登録、ボックスの変更および削除が できます。
- 3 各ボックスの詳細情報が表示されます。

文書一覧を操作する

文書一覧は、ユーザーボックスに保存されている文書の一覧です。次のような操作ができます。



- 1 チェックマークをつけると選択されます。
- 2 [メニュー]を選択すると、文書の印刷、移動、 検索(文書名)、編集、削除、すべて選択/すべて 解除、および表示順の変更(名前順/時間順)が できます。
- 3 文書の詳細情報が表示されます。
- 4 文書名で検索します。

🔕 参考

- それぞれの文書のチェックボックスを押して、複数の文書を選択できます。
- [□]を選択すると、リスト表示に切り替わります。

ユーザーボックスの操作のしかた

スキャンした文書をユーザーボックスに保存する

- 画面を表示する
 - 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- ⑦ 原稿をセットする





▶<u>原稿をセットする(5-3)</u>

3 文書を保存する

- 1 ボックスを選択 > [メニュー] > [文書保存]
- 2 必要に応じて、原稿の種類や読み込み濃度などを設定します。 設定できる機能については、次を参照してください。
 - ◆[文書保存] (xiv)

🚫 参考

- ・文書名は32文字以下で入力してください。
- ・お気に入りの登録やお気に入りの呼び出しを行うときは、[お気に入り]アイコンを選択してください。

 <u>ホーム画面を編集する(3-8)</u>
- スタート]キーを押します。
 原稿が読み込まれ、指定したボックスに保存されます。

ユーザーボックス内の文書を移動する

- ユーザーボックスに保存されている文書を別のボックスに移動できます。
- 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

🤈 文書を操作する

リストの中から、チェックボックスを選択して移動する文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🚫 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [別のユーザーボックスへ移動]
- 3 移動先を選択します。
- 4 [この階層を選択] > [はい] 選択した文書が移動されます。

🔕 参考

移動先のユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする

ユーザーボックスに保存されている文書を別のユーザーボックスにコピーできます。

- 画面を表示する
 - 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

う 文書を操作する

リストの中から、チェックボックスを選択してコピーする文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🚫 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [別のユーザーボックスへコピー]
- 3 コピー先を選択します。
- コピー]>[はい]
 選択した文書がコピーされます。

🔕 参考

コピー先のユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

ユーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする

ユーザーボックスに保存されている文書を外部メモリーにコピーできます。

画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を操作する

リストの中から、チェックボックスを選択してコピーする文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🔕 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [外部メモリーヘコピー]
- 3 コピー先を選択します。
- 【この階層を選択】> [はい]
 選択した文書がコピーされます。

ユーザーボックス内の文書を結合する

ユーザーボックス内の文書を結合して一つのファイルにすることができます。

🔇 参考

結合できる文書は、同じユーザーボックスに入っている文書同士です。必要に応じて、あらかじめ文書を移動し ておいてください。

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を結合する

リストの中から、チェックボックスを選択して結合する文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。
 100文書までの結合が可能です。

🔕 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

2 結合する順番に文書を並べ替え > [OK] 並べ替えたい文書を押して反転表示させ、[キャンセル]または[クリア]を押して、結合する順番に並べ替えてください。 3 結合後の文書名を入力 > [次へ>] 文書名は64文字以内で入力してください。

◆<u>文字の入力(12-10)</u>

4 [はい]を選択します。 文書が結合されます。

🔕 参考

結合後も元の文書は残っています。不要であれば削除してください。

ユーザーボックス内の文書を削除する

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を削除する

リストの中から、チェックボックスを選択して削除する文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🔕 参考

文書を選択しないと、[**向**]を選択することはできません。 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

[前]>[はい]
 選択された文書が削除されます。

ユーザーボックス内の文書を送信する

画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 送信する

リストの中から、チェックボックスを選択して送信する文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🚫 参考

複数の文書を選択して送信することはできません。 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

2 [送信]を選択します。

🔕 参考

設定によっては、アドレス帳の画面が表示される場合もあります。

3 宛先を指定します。 宛先の指定方法は、次を参照してください。

◆<u>宛先の操作(5-29)</u>

4 必要に応じて、ファイル形式や解像度などを設定します。 設定できる機能については、次を参照してください。

▶[送信] (xvi)

🔕 参考

ショートカットの登録やお気に入りの呼び出しを行うときは、次を参照してください。

- ◆よく使う機能を登録するには[ショートカット登録](3-49)
- ◆よく使う機能を呼び出すには(お気に入り)(3-44)
- 5 [スタート]キーを押します。 選択した文書の送信が開始されます。

ログインユーザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

🔕 参考

この機能を使用している場合、送信以外の機能は使えません。

この機能を使用する前に、次の設定をする必要があります。

- ホーム画面に機能アイコンを表示させる
- ◆<u>ホーム画面を編集する(3-8)</u>
- ・ユーザー管理でログインするユーザーにメールアドレスを設定する

◆新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト](9-5)

1 操作パネルの[ホーム]キーを選択する

2 [自分に送信(メール)]を選択する

ユーザーボックスに保存された文書を読み込む

TWAINを使って、ユーザーボックスに保存された文書データを読み込む方法について説明します。

🔕 参考

送信をする前に、コンピューターにTWAINドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

◆<u>TWAINドライバーを設定する(2-36)</u>

ユーザーボックスに保存された文書を読み込む場合は、TWAINドライバーの設定画面で「モデル」から(Box)が 付いたモデル名を選択してください。

1 TWAINダイアログボックスを表示する

- 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。

🚳 参考

本機の選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

ク 文書リストを表示する

- 「ボックスリスト」から読み込む文書データが保存されているユーザーボックスを選択します。
 ボックスにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されますので、パスワードを入力して
 [OK]ボタンをクリックしてください。選択すると、ユーザーボックス内の文書データが「文書リスト」に表示されます。
- 2 文書データの表示方法などを設定します。[スタート]ボタンをクリックし、各項目を選択してください。

🔕 参考

設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

3 [OK]ボタンをクリックします。

3 スキャンする

1「文書リスト」から、読み込む文書データを選択します。 検索(名前)に文書データ名を入力すると、文書データ名のすべて、または先頭が一致する文書データを検索することができます。

[詳細]ボタンをクリックすると、選択した文書データが表示されます。文書データが複数ページの場合は、読み込むページ のチェックボックスにチェックを付けてください。選択したページが読み込まれます。

🐼 参考

|詳細画面から文書データを取得した場合、ユーザーボックスの文書データは削除されません。

2 [取得]ボタンをクリックします。
 文書データがパソコンに読み込まれます。

本体に保存したデータの印刷

ユーザーボックスおよびジョブボックスを使用して本機に保存した印刷データを印刷します。

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーショ ンソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバーで4桁のパスワードを指定してください。ジョブは機密性を確 保するため、操作パネルでパスワードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切っ たとき、データは消去されます。

画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 パスワードを入力します。
- 3 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- [OK]を選択します。
 印刷を開始します。
 印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- **1** [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > [💼]



パスワードを入力します。
 文書が削除されます。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、パスワードを設定す ることができます。パスワードを設定した場合は、印刷時にパスワードを入力してください。印刷データは、印刷後本機 の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

ク 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
 印刷を開始します。

🔕 参考

文書にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入 力してください。

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- **1** [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > [💼]



2 パスワードを入力します。

文書が削除されます。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷 すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷 することができます。データは電源スイッチを切ると消去されます。

🔕 参考

- ・保存可能な文書数(工場出荷時):32件まで
- ・最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ・ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。
- ◆<u>クイックコピージョブ保持数(8-25)</u>

画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
 印刷を開始します。

クイックコピーボックスに保存した文書を削除する

画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > [💼]



2 [はい]を選択します。 文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後 保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの 操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
 印刷を開始します。

試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する

- 画面を表示する
 - 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
 - 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
 - 3 文書を作成したユーザーを選択します。

文書を削除する

1 削除する文書を選択 > [💼]



2 [はい]を選択します。 文書が削除されます。

ユーザーボックス内の文書を印刷する

- **1** [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。

🔕 参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 印刷する

リストの中から、チェックボックスを選択して印刷する文書を選択します。
 選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

🔕 参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [印刷]を選択します。
- 3 使用する印刷設定の選択画面が表示されます。 印刷時の設定を使用する場合は、[そのまま印刷する]>印刷部数を入力>[OK] 印刷が開始されます。 印刷設定を変更する場合は、[設定を変更して印刷する]を選択し、次の手順へ進んでください。
- 4 必要に応じて、用紙の選択や片面/両面印刷などを設定します。 設定できる機能については、次を参照してください。

▶[印刷] (xv)

5 [スタート]キーを押します。 選択した文書の印刷が開始されます。

携帯端末からの印刷

本機は、次の印刷機能やサービスに対応しています。

- AirPrint
- Google Cloud Print
- Mopria

アプリケーションとOSの対応状況によって、機種ごとにプリンタードライバーをインストールしなくても、携帯端末やパソコンから印刷できます。

AirPrintで印刷する

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

AirPrintを使用するには、Command Center RXでAirPrintが有効に設定されていることを確認してください。

◆Command Center RX操作手順書



Google Cloud Printで印刷する

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに 接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

◆Command Center RX操作手順書

🚫 参考

Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに 接続されているパソコンで行います。

Mopriaで印刷する

Mopria(モプリア)は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがイン ストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。

Wi-Fi Directで印刷する

Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線 LANルーターなどを介さずに、機器同士が一対一で直接通信できます。

Wi-Fi Directで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fi Direct接続時でもその名 称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

NFCで印刷する

Wi-FiおよびWi-Fi Directがあらかじめ設定されている場合は、NFCタグをタップするだけで本機と携帯端末とのネット ワークが接続されます。

USBメモリーの操作

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。 印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル(バージョン 1.7以下)
- TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 暗号化PDFファイル

また、本機に接続したUSBメモリーに読み込んだ画像データを保存することができます。 保存できるファイル形式は、次のとおりです。

- PDFファイル
- TIFFファイル
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 高圧縮PDFファイル

USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)

🚫 参考

保存できるファイル数:1,000件まで





2 USBメモリーを接続する

1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。[はい]を選択します。 外部メモリー画面が表示されます。

🔕 参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を選択してください。

3 文書を保存する

- 文書を保存するフォルダーを選択 ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。
- 2 [╋]を選択します。
- 3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。 設定できる機能については、次を参照してください。

◆[文書保存] (xvii)

【スタート】キーを押します。
 原稿が読み込まれ、USBメモリーに保存されます。

USBメモリー情報を確認する

- 1 外部メモリーの基本画面で[外部メモリー情報]を選択する
- う 情報を確認後、[デバイスから作成]を選択する

USBメモリーを取り外す

🖌 重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [外部メモリー]

2 [メニュー] > [メモリー取り外し]

「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を選択してUSBメモリーを取り外してください。

🔕 参考

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

◆ デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する(7-10)

USBメモリーから印刷する

🔕 参考

- ・印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- ・印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- ・USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- ・USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

<mark>3</mark> USBメモリーを接続する

1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。[はい]を選択します。

外部メモリー画面が表示されます。

🐼 参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を選択してください。

▲ 文書を印刷する

印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択します。
 ルートディレクトリーを含め、3階層目までのフォルダーにある文書が表示できます。

🚫 参考

- 表示できる文書数:1,000件まで
- ・1つ上の階層に戻る場合は、[<戻る]を選択してください。
- 2 印刷するファイルを選択 > [印刷]
- 3 必要に応じて、印刷部数や片面 / 両面印刷などを変更します。 設定できる機能については、次を参照してください。

▶[印刷] (xviii)

4 [スタート]キーを押します。選択したファイルの印刷を開始します。



この章では、次の項目について説明します。

本章のアイコンの見かた	6-2
[IDカードコピー(身分証)]	6-3
[原稿サイズ]	6-4
[用紙選択]	6-5
[原稿サイズ混載]	6-6
[原稿セット向き]	6-9
[ソート/仕分け]	6-10
[排紙先]	6-11
[濃度]	6-12
[原稿の画質]	6-13
[エコプリント]	6-14
[カラー選択]	6-15
[カラーバランス]	6-16
[色相調整]	6-17
[シャープネス]	6-18
[コントラスト]	6-18
[地色調整]	6-19
[彩度]	6-19
[うら写り防止]	6-20
[縮小/拡大]	6-20
[ページ集約]	6-22
[とじしろ]	6-24
	6-25
[連続読み込み]	6-27
[自動画像回転]	6-28
	6-28
[文書名入力]	6-30
「優先印刷】	6-30
[白紙ページスキップ]	6-30
[両面/見開き原稿]	6-32
[送信サイズ]	6-33
[ファイル形式]	6-34
	6-37
「読み込み解像度]	6-37
[メール件名/本文]	6-38
	6-38
	6-38
[送信後削除]	6-39
「保存サイズ」	6-40
[長尺原稿]	6-41
 [暗号化PDFパスワード]	6-41
「JPEG/TIFF印刷方法」	6-42
[XPS印刷サイズ調整]	6-42
From And the Andrew Control of the Andrew Co	

本章のアイコンの見かた

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。





免許証や保険証などのIDカードをコピーします。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面を集約してコ ピーされます。

(設定値:[設定しない]/[設定する])





原稿の読み込みサイズを設定します。

[自動(原稿送り装置)]、[A系/B系]、[インチ系]、[その他]、または[サイズ入力]を選択して、原稿サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
自動	-	原稿サイズを自動検知します。
А系/В系	A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B4、B5-R、B5、 B6-R、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、 Statement、11×15"、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K-R、16K、はがき、往復はがき、カスタム *1	特殊な定形サイズ、カスタム原稿サイズから選 択します。
サイズ入力	センチ X: 50~432 mm(1 mm単位) Y: 50~297 mm(1 mm単位) インチ X: 2.00~17.00"(0.01"単位) Y: 2.00~11.69"(0.01"単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力 します。 ^{*2} [サイズ入力]を選択した場合は、[+]または [ー]を押して、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズ を設定してください。[テンキー]を押すとテン キーで入力することができます。

*1 カスタム原稿サイズの登録方法は、次を参照してください。 ◆<u>カスタム原稿サイズ登録(8-12)</u>

*2 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。 ◆[入力長さ単位](8-19)

🚳 参考

不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。


使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。 [自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

🔕 参考

カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください。

◆ <u>[カセット/手差しトレイ設定] (8-9)</u>

・オプションのペーパーフィーダーが装着された場合、カセット2~3が表示されます。

[手差しトレイ]を選択する場合は、[用紙設定]を押して用紙サイズと用紙種類を変更してください。

訍	定項目	設定値	説明
用紙サ イズ	A系/B系	A3、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B4、B5-R、B5、 B6-R、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
	インチ系	Ledger,Letter-R,Letter,Legal, Statement-R,Executive,Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
	その他	8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、 Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、 EnvelopeC4、はがき、往復はがき、洋形4 号、洋形2号	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択しま す。
	サイズ入力	センチ X: 148~432 mm(1 mm単位) Y: 98~297 mm(1 mm単位) インチ X: 5.83~17.00"(0.01"単位) Y: 3.86~11.69"(0.01"単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 ^{*1} [サイズ入力]を選択した場合は、[+]、[-]またはテン キーで、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してく ださい。[テンキー]を押すとテンキーで入力すること ができます。
用紙種類		普通紙(60~105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙(59 g/m ² 以下)、ラベル紙、再生紙、プレプリント ^{*2} 、ボン ド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、封筒、厚紙(106 g/m ² 以上)、加工紙、上質 紙、カスタム1~8 ^{*2}	

選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

*1 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。 ◆ [入力長さ単位](8-19)

*2 用紙種類のカスタム1~8の登録方法は、次を参照してください。 ◆<u>用紙種類の設定について(8-14)</u> プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。
◆特定用紙種類の動作設定(8-14)

🕑 重要

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を変更した場合、[用紙種類]が選択されます。このとき、[手差しトレイ] を押すと設定が解除されますのでご注意ください。

💽 参考

よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておくと便利です。

◆「手差しトレイ」(8-10)

 指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が 表示されます。使用したい用紙を補給して[継続]を押してください。コピーが開始されます。

USB

[原稿サイズ混載]



原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。 原稿ガラスの場合は、使用できません。

コピー時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズの原稿 を一度に読み込み、コピーします。

送信時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズの原稿 を一度に読み込み、送信します。

保存時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズの原稿 を一度に読み込み、保存します。

```
セットできる原稿サイズの組み合わせ
```

同じ幅

原稿幅が同じ場合、セットできる原稿の組み合わせは次のとおりです。

•B4とB5

•A3 & A4 (Ledger & Letter)

•A4-R & Folio (Legal & Letter-R)

例:B4とB5セット

D (1) D (1)			B5
---------------------------	--	--	----

 _	
B5	B4

🔕 参考

・次の組み合わせで原稿サイズ混載を行う場合は、「原稿自動検知」の「Folio」を[検知する]にしてください。 A4-RとFolio

◆ <u>原稿自動検知 (8-12)</u>

・原稿送り装置にセットできる枚数:30枚まで



次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- 縮小/拡大
- 両面/分割
- ・ とじしろ
- ・ ページ集約
- 両面/見開き原稿

🔕 参考

システムメニューの原稿セット向きの確認を[設定する]に設定している場合は、上記機能を設定すると原稿 セット向きの選択画面が表示されます。

- ◆<u>原稿セット向き(コピー)(8-16)</u>
- ▶用紙について 12-21

原稿のセット向きを、[上辺を奥向き]、[上辺を左向き]または[自動]から選択してください。



🔕 参考

原稿セット向きの初期値を変更することができます。

◆<u>原稿セット向き(コピー)(8-16)</u>

◆用紙について 12-21



用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。





ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだコピーを必要部数作成します。

仕分け



仕分けを使用すると、用紙が1部ごと(またはページごと)に90°回転して排紙されます。

🔕 参考

仕分けをする場合、選択した給紙段とは別の給紙段に同じサイズで向きが異なる用紙が入っている必要があり ます。

仕分けに使用できる用紙サイズ:A4、B5、Letter、16K

[排紙先]





排紙先のトレイを指定します。

′⊐ピ[.]

設定項目	説明
内部トレイ	本体の内部トレイに排紙します。
ジョブセパレータートレイ	内部ジョブセパレーターに排紙します。

🚫 参考

・排紙先を初期設定で変更することができます。

◆<u>排紙先(8-18)</u>





原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

コピー時/印刷時

設定項目			説明
文字+写真 ^{*1}			文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真			写真原稿に適しています。
文字			文字の多い原稿に適しています。
図表/地図			地図原稿に適しています。
プリンター印刷物			本機で印刷された文書に適しています。
その他 原稿の画質	原稿の画質	文字+写 真	文字と写真が混在している原稿に適しています。
		写真	写真原稿に適しています。
		文字	文字の多い原稿に適しています。
		図表/地図	地図原稿に適しています。
		プリンター印刷物	本機で印刷された文書に適しています。
	蛍光ペン	設定する	各設定にて、蛍光ペンで書かれた文字やラインを出したい 場合に選択してください。蛍光ペンの色味を可能な限り再 現します。
		設定しない	蛍光ペンの色味を再現しません。

*1 [文字+写真]の印字で、グレーの文字切れが起こるときは、[文字]を選択することで改善することがあります。

送信/保存時

設定項目	説明
文字+写 真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現します。文字
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。
文字(OCR用) ^{*2}	OCR処理に適した画像で読み込みます。

*2 送信またはユーザーボックス、USBメモリーへの保存時に、カラー選択で[自動(カラー/白黒)]または[白黒]を選択したときのみ表示されます。



エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してくだ さい。

(設定値:[設定しない]/[設定する])





カラーのモードを選択します。

コピー時

設定項目	説明。
自動カラー	カラー原稿と白黒原稿を識別して印刷します。
フルカラー	フルカラーで印刷します。
白黒	白黒で印刷します。

印刷時

設定項目	説明
フルカラー ^{*1}	フルカラーで印刷します。
白黒*1	白黒で印刷します。

*1 ユーザーボックスの印刷時には表示されません。

送信/保存時

設定項目	説明
自動(カラ <i>ー</i> /グレー)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原 稿はグレースケールで読み込みます。
自動(カラー/白黒)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原 稿は白黒で読み込みます。
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。

[カラーバランス]

⊐Ľ-

シアン(青系色)、マゼンタ(赤系色)、イエロー(黄色)、ブラック(黒)のそれぞれの色の強弱を調整します。

例



🚫 参考

フルカラーコピーまたは自動カラーコピー時に機能します。





色相(色合い)を調整し、イメージを変えます。

赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージを変えることができます。



設定できる項目は、次のとおりです。

設定項目	説明
設定しない	
全体	色全体にわたり、色調を調整できます。 [<]または[>]を押して色合いを調整してください。
個別	個別にカラーを選択し、色合いを調整できます。 [レッド]、[マゼンタ]、[ブルー]、[イエロー]、[グリーン]または[シアン]を選択 し、[<]または[>]を押して色合いを調整してください。

<u> </u>参考

フルカラーコピーまたは自動カラーコピー時に機能します。 この調整は色の鮮やかな画像で効果的です。



画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを「強く」に調整 すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ*1が発生する 場合、シャープネスを「弱く」に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。



[-1]~[-3](弱く)	画像の輪郭をぼかします。モアレ ^{*1} を弱めることができます。

*1 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

[コントラスト]





新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。

地色が気になる場合、[自動]を選択してください。[自動]を選択しても地色がとり除かれない場合は、[手動]を選択し、 地色の濃度を調整してください。

設定項目	説明			
設定しない	地色を調整しません。			
自動	自動で地色を調整します。			
手動	[1]~[5](うすく~こく)を選択して、手動で地色の濃度を調整します。			

[彩度]



画像の彩度(鮮やかさ)を調整します。



🙆 参考

フルカラーまたは自動カラー選択時に機能します。ただし、自動カラー選択時に白黒と判定された場合は、彩度 は機能しません。

設定項目	説明
[-1]~[-3](弱く)	色彩のうすい色に調整します。
[+1]~[+3](強く)	鮮やかな色に調整します。



自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。



定型倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

400%	最大	115%	B4→A3、B5→A4	70%	A3→A4、B4→B5
200%	A5→A3	100%	_	50%	—
141%	A4→A3、B5→B4	86%	A3→B4、A4→B5	25%	最小
122%	A4→B4、A5→B5	81%	B4→A4、B5→A5		

その他

定型倍率以外の倍率で縮小/拡大します。

129%	Statement→Letter	78%	Legal→Letter
90%	Folio→A4	64%	Letter→Statement

倍率入力

25~400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。[+]、[-]またはテンキーで倍率を入力します。



印刷/送信/保存時

設定項目	説明
100%	原稿と同じサイズで処理します。
自動 用紙/送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。	

🔕 参考

縮小または拡大する場合は、用紙サイズ、送信サイズまたは保存サイズを選択してください。

- ◆[用紙選択](6-5)
- ◆[送信サイズ](6-33)
- ◆[保存サイズ](6-40)



2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。

ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れることもできます。

境界線の線種は次のとおりです。

コピ



	設定項目	設定値	説明
設定しない		—	この機能を使用しません。
2 in 1			2枚の原稿を、1枚に集約して印刷し ます。
4 in 1			4枚の原稿を、1枚に集約して印刷し ます。
その他	ページ集約	設定しない、2 in 1(左→右、上→下)、2 in 1(右→左、下→上)、4 in 1(左上→右)、4 in 1(右上→左)、4 in 1(左上→下)、4 in 1 (右上→下)	読み込んだ原稿の並べかたを選択し ます。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線の線種を選択します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原 稿の上部の向きを指示します。

レイアウトイメージ

設定項目		イメージ
2 in 1	左→右/上→下	
	右→左/下→上	
4 in 1	左上→右	
	右上→左	
	左上→下	
	右上→下	

🚫 参考

- 集約に使用できる用紙サイズ:A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、Folio、216×340mm、Ledger、Letter-R、 Letter、Legal、Statement-R、OficioII、8K、16K-R、16K
- ・原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。



コピー/印刷時

とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。





設定項目		設定値	説明		
設定しない			とじしろを設定しません。		
設定する	とじしろ	左右(-18~ +18) 上下(-18~ +18)		センチ:-18mm ~ +18mm(1mm 単位) インチ:-0.75 ~ +0.75"(0.01"単 位)	とじしろの幅を設定します。 ^{*1} [+]または[-]で「左右(-18~+18)」、「上下 (-18~+18)」のとじしろを入力してくださ い。[テンキー]を押すとテンキーで入力す ることができます。
	うら面設定 自動			両面コピーのときは、[うら面設定]を押し、 [自動]か[手動]かを選択してください。 うら面はおもて面の設定と仕上がりのとじ 方向に応じて自動的にとじしろをつけま す。	
手動 左右(- 18~ +18) 上下(- 18~ +18)		センチ:-18mm ~ +18mm(1mm 単位) インチ:-0.75 ~ +0.75"(0.01"単 位)	おもて面とは違うとじしろを設定できま す。表示される画面でとじしろを設定して ください。設定値はおもて面と同じです。 ^{*1} [+]または[-]で「左右(-18~+18)」、「上下 (-18~+18)」のとじしろを入力してくださ い。[テンキー]を押すとテンキーで入力す ることができます。		
原稿セット向き		上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の 上部の向きを指示します。 [原稿セット向き]を押して、[上辺を奥向 き]または[上辺を左向き]から原稿のセッ ト向きを選択し、[OK]を押してください。		

*1 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。
 ◆「入力長さ単位」(8-19)

送信時

原稿サイズと送信サイズを指定して送信した場合、サイズによっては、用紙の下側または左右どちらかに余白ができま す。センター移動すると、この余白が上下左右均等になるように画像を配置することができます。

(設定値:[設定しない]/[設定する])





用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。 両面/分割には次の方法があります。

片面→両面





片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページ のうら面が白紙になります。

とじ方法は次の2とおりです。

A仕上がり左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコ ピーします。

B仕上がり上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転さ せてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きの ページが同じ方向になります。

両面→片面



両面原稿を1ページずつ片面コピーします。

とじ方法は次の2とおりです。

- 左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- 上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコ ピーします。

両面→両面



両面原稿を両面コピーします。

ۜ 参考

両面コピーに使用できる用紙サイズ:A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、216×340mm、Ledger、Letter-R、Letter、 Legal、Statement-R、Executive、OficioII、Folio、8K

見開き→片面



見開き2ページの原稿を1ページずつ片面コピーします。 とじ方法は次の2とおりです。 左とじ:見開き原稿の左ページ、次に右ページの順でコピーします。 右とじ:見開き原稿の右ページ、次に左ページの順でコピーします。

見開き2ページの原稿を用紙の両面にコピーします。

🚫 参考

- ・見開き→片面に使用できる原稿サイズ:A3、A4-R、A5-R、B4、B5-R、Ledger、Letter-R、8K
- ・見開き→片面に使用できる用紙サイズ:A4、B5、Letter、16K

見開き→両面



🚫 参考

- ・見開き→両面に使用できる原稿サイズ:A3、A4-R、A5-R、B4、B5-R、Ledger、Letter-R、8K
- ・見開き→両面に使用できる用紙サイズ:A4、B5、Letter, 16K

コピー時

片面や見開き原稿を両面に印刷したり、両面や見開き原稿を片面に印刷します。原稿および仕上がりのとじ方向を指定 してください。

	設定項目	設定値	説明	
片面→ 片面		—	この機能を設定しません。	
片面→ 両面		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定につ	
両面→ 片面		_	いては、次を参照してくたさい。	
両面→ 両面		—		
その他 両面/分割		片面→片面	両面/分割の設定を選択します。	
		片面→両面		
		両面→片面		
		両面→両面		
	原稿とじ方向 ^{*1}	左/右とじ、上とじ	原稿のとじ方向を設定します。	
	仕上がりとじ方向 ^{*2}	左/右とじ、上とじ	仕上がりのとじ方向を設定します。	
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の 向きを指示します。[

*1 「両面/分割」で[両面→片面]、[両面→両面]を設定したときに表示されます。

*2 「両面/分割」で[片面→両面]、[両面→両面]を設定したときに表示されます。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、次の原稿に入れ替えて[スタート]キーを押してください。 次の原稿がなければ、[読み込み終了]を押してください。コピーが開始されます。

印刷時

文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。

設定項目	設定値	説明
片面	_	この機能を設定しません。
両面	左/右とじ	用紙を左/右でとじたときに正しい向き になるように両面印刷します。
	上とじ	用紙を上でとじたときに正しい向きに なるように両面印刷します。



原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込みます。 連続読み込みを行うときは[設定する]を選択してください。 (設定値:[設定しない]/[設定する])



[自動画像回転]



セットした原稿と給紙元の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、画像を90度回転してコピーします。 設定値:[設定しない]/[設定する])

🔕 参考

- 初期設定で自動画像回転するかどうかを変更できます。
- ◆自動画像回転(8-17)
- ・ 自動画像回転を設定した場合、回転のさせかたを変更できます。
- ◆自動画像回転の動作(8-23)

[ジョブ終了通知]



ジョブが終了したことをメールで通知します。ジョブが中断したときに通知することもできます。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。

🔕 参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。詳細は、次を参照してください。

◆Command Center RXとは(2-41)

メールを送る宛先は1件です。

設定項目	説明
設定しない	この機能を設定しません。
ジョブ終了時のみ	[メニュー] > [新規登録]を選択すると宛先を追加できます。
ジョブ終了時+ジョブ中断時	アドレス帳:アドレス帳画面が表示されるので、通知先を選択し、[OK]を選択し ます。
	拡張アドレス帳 ^{*1} :拡張アドレス帳から通知先を選択します。
	アドレス入力:通知先を直接入力します。メールアドレスを128文字以内で入力 し、[OK]を選択します。
	自分のアドレス ^{*2} :ログインしているユーザーのメールアドレスに通知します。

*1 拡張アドレス帳は、Command Center RXで設定できます。 ◆Command Center RX操作手順書

*2 ユーザー管理を行っているときに表示されます。 ◆<u>ユーザー管理の設定(9-4)</u>

🚫 参考

- ・[メニュー]>[編集]を選択し、宛先を選ぶと、宛先を編集できます。
- []を選択すると、宛先の詳しい情報が参照できます。
- []を選択すると、宛先を削除します。



文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータ スの確認ができます。

文書名を入力し、[OK]を選択してください。

入力文字数:32文字以内

日時を付加する場合は[日時]を、ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を選択してください。付加された情報は「付加情報」に表示されます。





印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。 優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。 (設定値:[設定しない]/[設定する])

🚫 参考

- ・印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- ・印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。その場合は、割り込みコピーが実行できないかを確認してください。
- ◆割り込みコピーをする(5-13)



読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。 罫線や少量の文字を含むページは白紙と設定することもできます。 本機が白紙のページを判断するため、原稿内の白紙の有無を確認しなくても無駄な印刷を省きます。

	設定項目	説明	
設定しない		白紙ページも含めてすべて読み込みます。	
設定する 白紙+罫線		白紙と罫線を含むページを白紙として判断します。	
白紙のみ 白紙のページだけを白紙として判断します。		白紙のページだけを白紙として判断します。	
	白紙+少量の文字	白紙と少量の文字を含むページを白紙として判断します。	

🚫 参考

パンチ穴のある原稿や、下地に色がある原稿は白紙と認識できないことがあります。

[両面/見開き原稿]



送信





原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

ī	设定項目	設定値	説明
片面		—	「両面/見開き原稿」を設定しません。
両面	とじ方向	左/右とじ、上とじ	原稿のとじ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を 左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示し ます。
			[原稿セット向き]を押して、[上辺を奥向き]または[上辺を左 向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]を押してくださ い。
見開き ^{*1}	とじ方向	左とじ、右とじ	原稿のとじ方向を設定します。
その他 両面/見開き	両面/見開き原稿	片面	片面のシート原稿のときに設定します。
		両面(とじ方向左/右と じ)	左または右でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
		両面(とじ方向上と じ)	上でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
		見開き(とじ方向左と じ)	左でとじられた雑誌や本などの見開きの原稿のときに設定し ます。
		見開き(とじ方向右と じ)	右でとじられた雑誌や本などの見開きの原稿のときに設定し ます。
	<u>原稿セッ</u> ト向き ^{*2}	上辺を奥向き、上辺を 左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示し ます。

*1 原稿セット向きは[上辺を奥向き]が設定されています。

*2 [両面(とじ方向左/右とじ)]、[両面(とじ方向上とじ)]を選択した場合、表示されます。



送信

送信する画像のサイズを選択します。

[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を選択して、送信サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ		原稿と同じ送信サイズが自動的に選択さ れます。
A系/B系	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger,Letter,Legal,Statement,11×15", Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K、はがき、往復はがき	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
<u>[原稿サイズ] (6-4)</u>	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
<u> [縮小/拡大](6-20)</u>	[100%](または[自動])を選択	[自動]を選択

🔕 参考

原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます(縮小/拡大は行われません)。



画像のファイル形式を設定します。

ファイル形式を[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]、[OpenXPS]または[高圧縮PDF]から選択してください。

画質のレベルを調整することもできます。

[ファイル形式] > [その他] > [画質]から選択してください。

読み込み時のカラーモードを、グレースケールまたはフルカラーに選択している場合は、画質を設定してください。 [PDF]または[高圧縮PDF]を選択した場合は、暗号化やPDF/Aの設定を行うことができます。



設	定項目	設定値	説明
高圧縮PDF		_	高圧縮PDF形式で処理します。
TIFF		_	TIFF形式で処理します。
PDF		_	PDF形式で処理します。
JPEG		_	JPEG形式で処理します。原稿1ページにつき1ファ イルが作成されます。
XPS		_	XPS形式で処理します。
OpenXPS		-	OpenXPS形式で処理します。
その他	ファイル形式	高圧縮PDF、TIFF、PDF、JPEG、XPS、 OpenXPS	ファイル形式を選択します。
	画質 ^{*1}	圧縮率優先、標準、画質優先	画質のレベルを調整します。
	画質 ^{*2}	1低画質(高圧縮)~5高画質(低圧縮)	画質のレベルを調整します。
	PDF/A	設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b、 PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u	PDF/Aの設定をします。
	暗号化 ^{*3}	Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レ ベル: 中(40-bit) Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レ ベル: 高(128-bit)	暗号化の設定をします。

*1 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]を設定したときに表示されます。

*2 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]以外を設定したときに表示されます。

*3 暗号化の設定ができます。詳細は次の項目を参照してください。

PDF暗号化機能

ファイル形式でPDFまたは高圧縮PDFを選択した場合、パスワードによるセキュリティーを使用し、PDFの表示、印刷および編集に対して、制限を追加することができます。

- 1 設定項目から[その他]を選択する
- 2 ファイル形式から[高圧縮PDF]または[PDF]を選択する
- 3 [暗号化] > [互換性のある形式] > 設定値を選択する 選択した設定値により、設定できる項目が変わります。

[Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レベル:中(40-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [使用する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を 入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を 選択します。
文書編集/印刷のパス ワード	使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力しま す。 [使用する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を 入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を 選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力して、[詳細]を選択す ると、具体的な操作の制限ができます。
印刷を許可	許可しない、許可する	PDFファイルの印刷を制限します。
変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
	注釈の追加	注釈の追加のみできます。
	ページの抽出を除くページレイアウ トの変更	PDFファイルのページを抽出する以外の、ページレイア ウトの変更ができます。
	ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作 ができます。
画像及び、その他 の内容のコピー	無効にする、有効にする	ー PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制 限します。

[Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レベル:高(128-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、設定する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を 入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を 選択します。
文書編集/印刷のパス ワード	使用しない、設定する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力しま す。 [設定する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を 入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を 選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作 の制限ができます。

設	定項目	設定値	説明
印刷	削を許可	許可しない	PDFファイルが印刷できなくなります。
		許可する(低解像度のみ)	PDFファイルを低解像度でのみ印刷できます。
		許可する	PDFファイルを本来の解像度で印刷できます。
変更	更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
		ページの挿入、削除、回転	PDFファイルのページの挿入、ページの削除、およびペー ジの回転のみができます。
		注釈の追加	注釈の追加のみできます。
		ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作 ができます。
画傷の内	象及び、その他 内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制 限します。



[ページごと]を選択すると、ファイル分割が設定されます。



参考
 ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf、xxx_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。





🔕 参考

数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。



🚫 参考

入力できる文字数は、次のとおりです。
 件名:60文字
 本文:500文字



FTPで送信する際に画像を暗号化します。 暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。 (設定値:[設定しない]/[設定する])

🚫 参考

Command Center RXで[セキュリティー設定] > [ネットワークセキュリティー]の順にクリックしてください。セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定が[オン]になっていることと、クライアント機能時の設定で有効な 暗号方式が1つ以上選択されていることを確認してください。

◆Command Center RX操作手順書





印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。 (設定値:[設定しない]/[設定する])



送信が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。 (設定値:[設定しない]/[設定する])



保存する画像のサイズを選択します。

[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を選択して、保存サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	_	原稿と同じ保存サイズが自動的に選択さ れます。
A系/B系	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger,Letter,Legal,Statement,11×15", Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K、はがき、往復はがき	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
<u>[原稿サイズ] (6-4)</u>	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
<u> [縮小/拡大](6-20)</u>	[100%](または[自動])を選択	[自動]を選択

🔕 参考

原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で保存されます(縮小/拡大は行われません)。


原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込み、送信または保存します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])

🔕 参考

- ・長尺原稿は、白黒もしくはグレースケールで送信されます。
- ・長尺原稿は、片面しか読み込むことができません。1,900 mm*1までの原稿を読み込むことができます。
- 300dpi×300dpi以下の解像度が選択できます。

*1 ファクス機能を使用している場合は1,600mm。





あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。 パスワードを入力し、[OK]を選択してください。

🚫 参考

パスワードの入力については、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

[JPEG/TIFF印刷方法]



JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。



設定項目	説明
用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

[XPS印刷サイズ調整]



XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])





ジョブ/消耗品/デバイスの



この章では、次の項目について説明します。	
ジョブの状況確認	7-2
確認できる状況の種類	7-2
状況確認画面を表示する	7-2
状況確認画面	7-3
印刷ジョブ状況画面の見かた	7-3
送信ジョブ状況画面の見かた	7-4
保存ジョブ状況画面の見かた	7-5
予約ジョブ画面の見かた	7-5
ジョブの詳細情報を確認する	7-6
ジョブの履歴確認	7-7
確認できるジョブ履歴の種類	7-7
ジョブ履歴画面を表示する	7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8
ジョブの操作	7-9
ジョブを一時停止/再開する	7-9
ジョブをキャンセルする	
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する	
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する	7-12

ジョブの状況確認

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類の画面に分けてタッチパネ ルに表示されます。各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ状況	 コピー印刷 プリンター印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 文書ボックスからの印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷 レポート/リスト印刷
送信ジョブ状況	 ファクス送信 メール送信 フォルダー送信 アプリケーション送信 複合送信 ファクスサーバー送信
保存ジョブ状況	 スキャン保存 ファクス保存 プリンター保存
予約ジョブ	 ファクス送信

状況確認画面を表示する

画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択する。

? 確認したいジョブを選択する

[印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]、[予約ジョブ]から確認するジョブを選択します。

- ▶ 印刷ジョブ状況画面の見かた(7-3)
- ➡送信ジョブ状況画面の見かた(7-4)
- ◆保存ジョブ状況画面の見かた(7-5)
- ◆<u>予約ジョブ画面の見かた(7-5)</u>

状況確認画面

🚫 参考

すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

◆<u>「状況/履歴の表示」(8-20)</u>

また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。

◆Command Center RX操作手順書

印刷ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明。「「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」	
1	番号	ジョブの受付番号	
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン	
		🌐 コピー印刷	
		(二)プリンター印刷	
		合 文書ボックスからの印刷	
		📇 ファクス受信印刷	
		₩ メール受信印刷	
		👔 外部メディアのデータ印刷	
		🛄 アプリケーション印刷	
		🗎 レポート/リスト印刷	
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名	
4	[]	▶] 詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。	
		◆ <u>ジョブの詳細情報を確認する 7-6</u>	
5	状況	ジョブの状態	
		(印刷枚数)/(合計枚数):印刷中	
		処理中:印刷を開始する前の状態	
		待機中:印刷待機中	
		-時停止:印刷の-時停止やエラーにより印刷を-時停止	
		中止中:ジョブのキャンセル中	
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。	
7	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度押すと印刷が再開されます。	

送信ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明	
1	番号	ジョブの受付番号	
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン ≧ ファクス送信 ≥ メール送信 = フォルダー(SMB/FTP)送信 = アプリケーション送信 ≥ 複合送信 = ファクスサーバー送信	
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。	
4	[]	詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。 ◆ <u>ジョブの詳細情報を確認する 7-6</u>	
5	状況	ジョブの状態 処理中:原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態 送信中:送信中 待機中:送信待機中 中止中:ジョブのキャンセル中 一時停止:ジョブの一時停止中	
6	[/==+]	このキーを選択すると、[優先送信]が表示されます。ファクスジョブを優先して送信できます。 す。 すぐに送信したいファクスジョブを一覧で選択 > [メニュー] > [優先送信]	
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。	

保存ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明	
1	番号	ジョブの受付番号	
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン 三 スキャン保存 ④ プリンター保存 儘 ファクス保存	
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。	
4	[]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 ◆ジョブの詳細情報を確認する(7-6)	
5	状況	ジョブの状態 処理中:原稿の読み込み中など、保存を開始する前の状態 保存中:データ保存中 中止中:ジョブのキャンセル中 一時停止:ジョブの一時停止中	
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。	

予約ジョブ画面の見かた



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン
3	宛先	送信先(宛先名/ファクス番号/同報件数のいずれか)

番号	項目	説明
4	[]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 ◆ジョブの詳細情報を確認する(7-6)
5	開始時刻	このジョブを開始する時間
6	[メニュー]	このキーを選択すると、[今すぐ開始]が表示されます。 すぐに送信したいジョブを一覧で選択 > [メニュー] > [今すぐ開始]
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

ジョブの詳細情報を確認する

各ジョブの詳細情報を確認できます。

🔇 参考

ユーザー権限でログインしている場合は、ログインしているユーザーのジョブのみ確認できます。管理者の権限でログインしている場合は、すべてのジョブを確認できます。

画面を表示する

◆<u>ジョブの状況確認(7-2)</u>

2 確認する

1 詳細を確認したいジョブの[-]を選択します。



詳細情報が表示されます。

[~]または[^]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。白い項目を選択すると、さらに詳細情報を確認できます。

送信ジョブでは、「状況/宛先」を選択して、送信先を確認できます。

2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブの履歴確認

終了したジョブの履歴を確認できます。

🔕 参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。
- ◆Command Center RX操作手順書
- ►KYOCERA Net Viewer操作手順書
- すべてのユーザーのジョブ履歴を表示したり、自分だけのジョブ履歴を表示したりすることができます。
- ◆「状況/履歴の表示」(8-20)
- この設定は、Command Center RXからも変更できます。
- ◆Command Center RX操作手順書

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、ファクスジョブの4種類の履歴画面に分けて表示されます。

各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	 コピー印刷 プリンター印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 文書ボックスからの印刷 レポート/リスト印刷 小部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷
送信ジョブ	 ファクス送信 メール送信 フォルダー送信 アプリケーション送信 複合送信 ファクスサーバー送信
保存ジョブ	 スキャン保存 ファクス保存 プリンター保存
ファクスジョブ	◆ファクス使用説明書

ジョブ履歴画面を表示する

- 1 画面を表示する [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- ? 確認したいジョブを選択する

ジョブ履歴の詳細情報を確認する

各ジョブ履歴の詳細情報を確認することができます。

画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

- 7 確認する
 - 1 確認するジョブの[----]を選択します。



選択したジョブの詳細情報が表示されます。

🔕 参考

[~]または[^]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。

2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

◆[履歴送信](8-7)

ジョブの操作

ジョブを一時停止/再開する

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 印刷ジョブ状況確認画面の[全印刷一時停止]を選択する 印刷が一時停止します。 一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[全印刷再開]を選択します。

ジョブをキャンセルする

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

- 2 キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、[中止]を選択する
- 3 確認画面で[はい]を選択する

デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

画面を表示する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- 2 確認する項目を選択します。 デバイスの状態を確認または、操作するための画面が表示されます。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「スキャナー」

原稿読み込み状態やエラー情報(紙づまり、カバー開など)が表示されます。

「プリンター」

紙づまりやトナー切れ、用紙切れなどのエラー情報や、待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「ファクスメモリー受信ボックス」

ファクスメモリー受信ボックス内の文書情報(文書名、ファイルサイズなど)が表示されます。

◆ファクス使用説明書

「ファクス」

- [回線を切る]を選択すると、送/受信中のファクスを中止することができます。
- 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。

◆ファクス使用説明書

「外部メモリー」

- 本機に接続した外部メモリー(USBメモリー)の使用量/全容量/空き容量が表示されます。
- [メニュー]>[フォーマット]を選択すると、外部メディアをフォーマットできます。

🖌 重要

[フォーマット]を選択すると外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

・ [メモリーの取り外し]を選択すると、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「USBキーボード」

USBキーボードの状態が表示されます。

「Bluetoothキーボード」

Bluetoothキーボードの状態が表示されます。

「ネットワーク接続状態」

ネットワークの接続状態が表示されます。

「オプションネットワーク接続状態」

オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

[Wi-Fi Direct]

Wi-Fi Directの接続状態が表示されます。

「ワイヤレスネットワーク」

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi」

Wi-Fiの接続状態が表示されます。

「SSD」

SSDを装着している場合に表示されます。

「NFC」

NFCの接続状態が表示されます。

トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する

タッチパネルで、トナーや用紙の有無を確認できます。

- 画面を表示する
 - 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
 - 2 確認する項目を選択します。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

トナー残量が段階的に表示されます。また、廃棄トナーボックスの状態が確認できます。

「用紙状況」

給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量が確認できます。また、用紙残量は段階的に表示されます。



本機の初期設定[システム メニュー]

この章では、次の項目について説明します。

システムメニューの操作方法	. 8-2
[簡単セットアップウィザード]	. 8-3
[言語選択]	. 8-4
[レポート]	. 8-5
[カウンター]	. 8-8
[カセット/手差しトレイ設定]	. 8-9
[共通設定]	8-11
[ホーム]	8-22
[コピー]	8-23
[送信]	8-24
[文書ボックス]	8-25
[ファクス]	8-26
[アプリケーション]	8-26
[インターネット]	8-26
[アドレス帳/ワンタッチ]	8-27
[ユーザー/部門管理]	8-27
[プリンター]	8-29
[システム/ネットワーク]	8-32
[日付/タイマー/節電]	8-56
[調整/メンテナンス]	8-58

システムメニューの操作方法

システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キーを選択します。

2 選択する



<戻る

- 1 システムメニューの項目を表示します。
- 2 画面をスクロールして、表示されていない項目を表示します。
- 3 設定項目を表示します。
 各項目のキーを選択して設定画面を表示します。
- 4 前の画面に戻ります。

3 設定する



- 1 設定項目を選択すると、設定が確定します。
- 2 設定を変更せずに前の画面に戻ります。
- 3 設定を確定して終了します。

🚫 参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名: TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
 ログインパスワード: TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
- ・機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

[簡単セットアップウィザード]

ファクス機能、省エネ機能、ネットワークについては、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

◆簡単セットアップウィザードを使って設定する(2-24)

次の機能をウィザード形式の画面で設定できます。

機能	項目	説明
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。 ◆ファクス使用説明書	
省エネのセットアップ	省エネ機能を設定します。	
	1.スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2.低電力モード	低電力モード時間
ネットワークのセットアップ	1.ネットワーク	Wi-Fi 有線 DHCP ^{*1} IPアドレス ^{*2} サブネットマスク ^{*2} デフォルトゲートウェイ ^{*2}

*1 ネットワーク選択で[有線]を選択した場合に表示されます。

*2 DHCPの設定で[設定する]を選択した場合は表示されません。

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400



メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[言語選択]

本機の画面で表示する言語を選択します。

項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。

[レポート]

本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。

[はい]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [はい]

項目	説明		
ステータスページ	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオ プション機器などの情報が確認できます。 ステータスページ Firmware Version		
フォントリスト	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できま す。		
ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークインターフェイスのファー ムウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確 認できます。		
サービスステータスページ	サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認で きます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。		
部門管理レポート	部門管理レポートを印刷します。部門管理を実行している際に、全部門で集計された ページ数を確認できます。		

項目	説明
Fコードボックスリスト	ファクス機能に関するレポートを印刷します。
ファクスリスト(見出し)	 ◆ファクス使用説明書
ファクスリスト(番号)	
ファクス発信レポート	この機能は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。
ファクス着信レポート	
オプションネットワークステー タス	オプションネットワークステータスページを印刷します。オプションネットワークイン ターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロ トコルなどの情報が確認できます。
	🔕 参考
	この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスイン ターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

[管理レポート設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[レポート]>[管理レポート設定]

ファクス発信レポートまたはファクス受信レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

◆ファクス使用説明書

[結果通知設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[レポート]>[結果通知設定]

	項目	説明	
送信結果レポート		送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。	
メール/フォルダー		メール/フォルダーの送信結果をレポートで印刷します。 設定値:設定しない、設定する、エラー時のみ	
	ファクス ^{*1}	◆ファクス使用説明書	
ネットワークファ クス送信時の添付 画像		ネットワークファクス送信時の添付画像を送付状、もしくは本文にするかを指定します。 設定値:本文、送付状	
送信前の中止レ ポート ^{*2}		送信を開始する前のジョブを中止した場合にレポートを印刷します。 設定値:設定しない、設定する	
宛先の表示形式 ^{*2}		送信結果レポートの宛先の表示形式を設定します。 設定値:名前または宛先、名前と宛先	
ファ	クス受信結果通知 ^{*1}	◆ファクス使用説明書	
終了	通知設定 ^{*1}	◆ファクス使用説明書	

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 [メール/フォルダー]と[ファクス]がどちらも[設定しない]の場合は表示されません。

[履歴送信]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[レポート]>[履歴送信]

項目	説明	
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。	
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信 します。 設定値:設定しない、設定する 参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。 設定範囲は1~16件です。	
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみで す。	
ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値:60 字以内	
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値:含める、含めない	

[カウンター]

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

- 1 画面を表示する
 [システムメニュー]キー>[カウンター]
- 2 [印刷ページ数]、[読み込みページ数]を選択しカウンターを確認する

印刷カバレッジを参照します。

- 画面を確認する
 [システムメニュー]キー> [カウンター] > [印刷ページ数] > [印刷カバレッジ]
- [最終ページ]、[最終ジョブ]を選択しデータを確認します。
 [最終ページ]:最後に印刷したページのデータが表示されます。

[最終ジョブ]:最後に印刷したジョブのデータが表示されます

🔕 参考

印刷カバレッジに表示されている情報から換算した印字枚数と、実際の印字枚数とは一致しません。実際に印字できる枚数 は、使用状態(印字内容や連続出力の頻度など)、設置環境(温度や湿度)によって変わります。

[カセット/手差しトレイ設定]

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

[カセット1(~3)]

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [カセット1(~3)]

カセット1~3の用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類		
用紙サイズ	自動	用紙のサイズを自動で検知、選択します。 設定値 A系/B系、インチ系		
	А系/В系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、Folio、216×340 mm		
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Oficio II		
	その他	特殊な定形サイズから選択します。 設定値 8K、16K-R、16K		
用紙種類 ^{*1}		用紙種類を選択します。 設定値 普通紙(60~105 g/m ²)、薄紙(59 g/m ² 以下)、再生紙、プレプリント ^{*2} 、ボンド紙、 カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、厚紙(106 g/m ² 以上)、上質紙、カスタ ム1~8		

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。 ◆<u>用紙種類の設定について(8-14)</u>

*2 プレプリント、パンチ済紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。 ◆ <u>特定用紙種類の動作設定(8-14)</u>

🚫 参考

オプションのファクスキットを装着している場合、受信したファクスの印刷に使用できる用紙種類は次のとお りです。

普通紙、薄紙、再生紙、ボンド紙、カラー紙、厚紙、上質紙、カスタム1~8

[手差しトレイ]

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [手差しトレイ]

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類			
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 A3、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、Folio、216×340 mm			
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II			
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値 8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4 号、洋形2号			
	サイズ入力	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 設定値 センチX:148~432 mm(1 mm単位)、Y:98~297 mm(1 mm単位) インチX:5.83~17.00"(0.01"単位)、Y:3.86~11.69"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅 縦向き 横向き			
用紙種類 ^{*1}		用紙種類を選択します。 設定値 普通紙(60~105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙(59 g/m ² 以下)、ラベル紙、再生紙、プ レプリント ^{*2} 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、封 筒、厚紙(106 g/m ² 以上)、加工紙、上質紙、カスタム1~8			

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。 ◆<u>用紙種類の設定について(8-14)</u>

*2 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。 ◆<u>特定用紙種類の動作設定(8-14)</u>

🚫 参考

オプションのファクスキットを装着している場合、手差しトレイからはファクス受信できません。

[共通設定]

本機全般について設定します。

[初期画面]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>[初期画面]

項目	説明		
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。 設定値:ホーム、コピー、送信、ファクス ^{*1} 、ユーザーボックス ^{*2} ジョブボックス、外部メモ リー、Fコードボックス ^{*1} 、ポーリングボックス ^{*1} 、ファクスメモリー受信ボックス ^{*1} 、お 気に入り ^{*3} 、状況確認		

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

- *2 オプションの大容量記憶装置(SSD)を装着している場合に表示されます。
- *3 お気に入りに登録しているジョブが表示されます。 ◆よく使う機能を呼び出すには(お気に入り)(3-44)

[音設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>[音設定]

	項目	説明	
ブザー	-	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	
音量		ブザーの音量を設定します。 設定値:0(消音)、1(小)、2、3(中)、4、5(大)	
	操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを選択したときに鳴る音、またはオートクリアが働く ときに鳴る音です。 設定値:使用しない、使用する	
	正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値:使用しない、使用する、ファクス受信時のみ	
準備完了音		操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値:使用しない、使用する	
	注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値:使用しない、使用する	
	操作確認音(USBキー ボード)	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 設定値:使用しない、使用する	
ファク	クススピーカー音量 ^{*1}	◆ファクス使用説明書	
ファク	クスモニター音量 ^{*1}		

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[原稿設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>「原稿設定」

原稿に関する設定を行います。

項目	説明		
カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 [使用する]を選択して、サイズを入力してください。 設定値 センチ X:50~432 mm(1 mm単位) Y:50~297 mm(1 mm単位) インチ X:2.00~17.00" (0.01"単位) Y:2.00~11.69" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅 横向き		
原稿自動検知	 長さ単位系 原稿サイズを検知するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値:A系/B系、インチ系 A系/B系 A6/はがき A6とはがきはサイズが似ているため、原稿サイズを自動検知するときに、どちらとして検知するか設定します。 設定値:A6、はがき 参考 [はがき]を設定した場合、原稿ガラスにセットした原稿だけが検知されます。 Folio Folioサイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値:検知しない、検知する 11×15" 11×15"のサイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値:検知しない、検知する 11×15" ロンチ系 Legal / Oficioll / 216×340mm 原稿サイズを自動で検知する設定します。 設定値:Legal、Oficioll、216×340mm 		

[用紙設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>「用紙設定」

用紙に関する設定を行います。

項目	説明		
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、手差しトレイの用紙サイズ選択時に表示されます。 [使用する]を選択して、サイズを入力してください。 設定値 センチ X:148~432 mm(1 mm単位) Y:98~297 mm(1 mm単位) インチ X:5.83~17.00"(0.01"単位) Y:3.86~11.69"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅		
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。 また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 設定値は、次を参照してください。 ◆ <u>用紙種類の設定について(8-14)</u>		
優先給紙元	 優先して使用する給紙元を設定します。 設定値:カセット1~3、手差しトレイ 参考 [カセット2]~[カセット3]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット2]:ペーパーフィーダー(550枚)またはペーパーフィーダー(550枚×2) [カセット3]:ペーパーフィーダー(550枚×2) 		
用紙選択	用紙の給紙元を本機に自動で選択させるか、優先給紙元から給紙させるかを設定します。 設定値:自動、優先給紙元		
自動用紙の用紙選択(カラー)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定す ることができます。例えば[普通紙]を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットさ れている給紙元が選択されます。[全用紙種類]を選択すると、用紙の種類に関係なく、指 定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。 設定値:全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボン ド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタ ム1~8)		
自動用紙の用紙種類(白黒)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定す ることができます。例えば[普通紙]を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットさ れている給紙元が選択されます。[全用紙種類]を選択すると、用紙の種類に関係なく、指 定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。 設定値:全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボン ド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタ ム1~8)		

項目		説明		
特定用紙種類の動作	設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー 機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりす ることがあります。そのようなときに、この設定で[印刷方向を合わせる]を選択し、仕上 がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、[速度 優先]を選択します。 [印刷方向を合わせる]を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。 例:レターヘッドにコピーする場合		
		原稿 用紙 仕上かり カセット 手差しトレイ		
		原稿 用紙 社工がり ガゼット 子差しトレイ 設定値:印刷方向を合わせる、速度優先		
用紙セット時の確認		用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各力セットごとに設		
カセット1~3 手差しトレイ		としまり。 設定値:設定しない、設定する		
		🐼 参考		
		[カセット2]~[カセット3]は以下のオプションが装着されているときに表示されま す。		
		[カセット2]:ペーパーフィーダー(550枚)またはペーパーフィーダー(550枚×2) [カセット3]:ペーパーフィーダー(550枚×2)		

用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m²)、用紙種類
軽い	∼59 g/m²	重い 1	106 g/m ² ~135 g/m ²
普通1	60 g/m ² ~74 g/m ²	重い 2	136 g/m ² ~163 g/m ²
普通 2	75 g/m ² ~90 g/m ²	重い 3	164 g/m²∼
普通 3	91 g/m ² ~105 g/m ²	非常に重い	OHPフィルム

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	
普通紙	普通1	カラー紙	普通1
OHPフィルム	非常に重い	パンチ済み紙	普通1
薄紙	軽い	レターヘッド	普通2
ラベル紙	重い1	封筒	重い2
再生紙	普通1	厚紙	重い2
プレプリント	普通2	加工紙	普通3

用紙種類	初期値	用紙種類	
ボンド紙	普通3	上質紙	普通1
はがき	重い2	カスタム1 ~ 8	普通1

また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		説明
両面印刷	許可する	両面印刷できます。
	禁止する	両面印刷は禁止されます。
カスタム		カスタム1~8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに 用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。 文字の入力(12-10)

[機能初期值]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能初期値]

項目	説明
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値:PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS
原稿セット向き(コピー)	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値:上辺を奥向き、上辺を左向き
原稿セット向き(送信/保存)	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値:上辺を奥向き、上辺を左向き
ソート/仕分け	ソート/仕分けの初期値を設定します。 設定値 設定しない、ソートのみ、ページごとに仕分け、1部ごとに仕分け
ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。 設定値:設定しない、ページごと
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値:600x600dpi、400x400dpi ウルトラファイン、300x300dpi、200x400dpi スーパー ファイン、200x200dpi ファイン、200x100dpi ノーマル
カラー選択(コピー)	カラーモード (コピー時)の初期値を設定します。 設定値:自動カラー、フルカラー、グレースケール白黒
カラー選択(送信/保存)	カラーモード(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値:自動(カラー/グレー)、自動(カラー/白黒)、フルカラー、グレースケール、白黒
原稿の画質(コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。 設定値:文字+写真、写真、文字、図表/地図、プリンター印刷物
原稿の画質(送信/保存)	原稿の画質(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値:文字+写真、写真、文字、文字(OCR用)、うすい文字/細線
地色調整(コピー)	地色調整(コピー時)の初期値を設定します。 設定値:設定しない、自動、手動(こく 5)
地色調整(送信/保存)	地色調整(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値:設定しない、自動、手動(こく 5)
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する
うら写り防止(コピー)	うら写り防止(コピー時)の初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する
うら写り防止(送信/保存)	うら写り防止(送信時/保存時)の初期値を選択します。 設定値:設定しない、設定する
白紙ページスキップ(コピー)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値:設定しない、設定する
白紙ページスキップ(保存/送信)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値:設定しない、設定する
ファクス送信解像度 ^{*1}	◆ファクス使用説明書
縮小拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値:100%、自動

項目	説明
とじしろ	とじしろ幅の初期値を設定します。 設定値 センチ 左右: 18 ~ 18 mm(1 mm単位)、上下: 18 ~ 18 mm(1 mm単位) インチ 左右: 0.75 ~ 0.75"(0.01" 単位)、上下: 0.75 ~ 0.75"(0.01" 単位)
連続読み込み(コピー)	連続読み込み(コピー時)の初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する
連続読み込み(ファクス) ^{*1}	◆ファクス使用説明書
連続読み込み(送信/保存)	連続読み込み(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する
自動画像回転	自動回転コピーの初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。 また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名:32文字以内で入力できます。 付加情報:なし、日時、ジョブ番号、ジョブ番号 & 日時、日時 & ジョブ番号
メール 件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文(件名と本 文の初期値)を設定します。 設定値 件名:60文字以内で入力できます。 本文:500文字以内で入力できます。
FTP暗号送信	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する 参考 セキュアプロトコルの[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値:用紙サイズ、画像解像度、印刷解像度
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値:設定しない、設定する

	項目	説明
詳細設定		-
	画質	送信・保存する画像のファイル形式を選択するときの、画質の調整範囲の初期値を設定します。 設定値:1低画質(高圧縮)、2、3、4、5高画質(低圧縮)
	PDF/A	PDF/Aの初期状態を設定します。 設定値:設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b、PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u
	高圧縮PDF画質	ファイル形式が高圧縮PDF のときの、画質の初期値を設定します。 設定値:圧縮率優先、標準、画質優先
	白紙検知対象(コピー)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値:白紙+罫線、白紙のみ、白紙+少量の文字
	白紙検知対象(送信/ 保存)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値:白紙+罫線、白紙のみ、白紙+少量の文字

*1 この機能は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[排紙先]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [排紙先]

項目	説明
排紙先	 コピー、文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷、およびファクス受信データの印刷について、それぞれ別の排紙先を指定することができます。 設定値 内部トレイ:本体の内部トレイに排紙します。 ジョブセパレーター:ジョブセパレータートレイに排紙します。

[部数制限]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [部数制限]

1回でコピーできる部数を制限することができます。

項目	説明
部数制限	設定値:1~999部

[エラー処理設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>[エラー処理設定]

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定しま す。 設定値 片面印刷:片面印刷で印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。
後処理エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理(仕分け)できない場合の処理方法を設定 します。 設定値 無視する:設定を無視して印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイ ズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が 一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する:設定を無視して印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。
給紙時のサイズエラー	カセットに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていること を検知した場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する:設定を無視して印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。

[カラートナーなし時の印刷]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [カラートナーなし時の印刷]

項目	説明
カラートナーなし時の印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で印刷するかを設定します。 設定値:印刷しない、すべて白黒で印刷する

[入力長さ単位]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[共通設定]>[入力長さ単位]

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値:mm、inch

[トナー残量少の通知]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] >[トナー残量少の通知]

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するト ナー残量を設定します。この通知は、Event Report、ステータスモニター、SNMP Trap(印 刷機器管理システム等)に使用するものです。 設定値:設定しない、設定する
	🔕 参考
	[設定する]を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5~ 100%(1%単位)です。

[キーボード入力方式]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [キーボード入力方式]

項目	説明
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定しま す。 設定値:停止、起動

[USBキーボードタイプ]

Item	Description
Keyboard Layout	Change the layout of the touch panel keyboard used to enter characters. Value: QWERTY, QWERTZ, AZERTY

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [USBキーボードタイプ]

項目	説明
USBキーボードタイプ	使用したいUSBキーボードタイプを設定します。
	設定値:米国英語、米国英語ユーロ付き、フランス語、ドイツ語、英国英語

[状況/履歴の表示]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [状況/履歴の表示]

状況/履歴の表示を設定します。

項目	説明
ジョブ状況の詳細の表示	設定値:すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴の表示	設定値:すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ファクス通信履歴の表示 ^{*1}	設定値:すべて表示、表示しない

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[機能キー登録]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能キー登録]

各機能キーに機能を割り当てます。

項目	説明
機能キー1	設定値:なし、コピー、送信、ファクスサーバー ^{*1} 、ファクス ^{*2} 、ユーザーボックス ^{*3} ジョブ ボックス、外部メモリー、Fコードボックス ^{*2} 、ポーリングボックス ^{*2} 、ファクスメモリー 受信ボックス ^{*2} 、IDカードコピー(身分証)、用紙節約コピー、簡単フォルダー送信(宛先入 力)、簡単フォルダー送信(アドレス帳)、簡単メール送信(宛先入力)、簡単メール送信(ア ドレス帳)、アプリケーション ^{*4}
機能キー2	
機能キー3	
	🚳 参考
	[メニュー] > [絞り込み]を選ぶか、プルダウンメニューから、[すべて]、[アプリケー ション]、[お気に入り]、[その他]の表示する機能を選択することができます。

*1 外部サーバー(ファクスサーバー)を設定している場合に表示されます。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*3 オプションの大容量記憶装置(SSD)を装着している場合に表示されます。

*4 登録されているアプリケーション名を表示します。

[電源オフ時の確認]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [電源オフ時の確認]

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。 設定値:設定しない、設定する

[ホーム]

メニュー遷移:[システムメニュー] > [ホーム]

ホーム画面の設定を行います。

◆<u>ホーム画面を編集する(3-8)</u>
[⊐ピー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [コピー]

コピー機能に関する設定を行います。

項目	説明
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サ イズの選択方法を設定します。 設定値 最適サイズ:原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 原稿サイズと同じ:倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更(縮小/拡 大)するかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
小サイズ原稿の用紙サイズ	自動用紙設定で、検出できない小さいサイズの原稿を印刷する場合に使用する用紙サイ ズを設定します。 設定値:優先給紙元、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B5-R、B5、B6-R、Letter-R、Letter、 Statement-R
原稿未検知時の原稿サイズ	原稿未検知時の原稿のサイズを設定します。 設定値:優先給紙元に合わせる、サイズ選択画面を表示
次の予約優先	印刷中に次のコピーを予約する際、基本の画面を表示させるかどうかを設定します。[設定する]を選択すると、基本の画面が表示されます。 設定値:設定しない、設定する
自動画像回転の動作	自動画像回転の動作を設定します。 設定値:手動コピー時は回転しない、すべて回転する、画像サイズに応じて回転する



メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [送信]

送信機能に関する設定を行います。

	項目	説明。
送信前	前の宛先確認	送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
新規宛先の入力確認		新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
送信排	空え転送	送信するとき、原稿を同時に別の宛先に転送するかどうかを設定します。
	転送	原稿を転送するかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
		[設定する]を選択した場合は、転送する条件を[ファクス] ^{*1} 、[メール]、[フォルダー(SMB)]、 [フォルダー(FTP)]の中から選択してください。
	宛先	 原稿を転送する宛先を設定します。設定できる宛先は1件のみです。宛先の登録方法は次のとおりです。 アドレス帳 拡張アドレス帳 アドレス入力(メール) アドレス入力(フォルダー) <u>宛先の操作(5-29)</u>
カラ-		カラー本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。 設定値:TIFF V6、TTN2
初期	画面	[送信]キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。 設定値:宛先、アドレス帳、拡張アドレス帳、ワンタッチ
新規宛先の入力		宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。 設定値:許可する、禁止する
再宛先		送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。 設定値:許可する、禁止する
同報送信		同報送信の使用を許可するかどうかを設定します。 設定値:許可する、禁止する

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[文書ボックス]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[文書ボックス]

ユーザーボックスやジョブボックス、Fコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。

	項目	説明
그-	゚ザ゙ーボックス ^{*1}	ユーザーボックスに関する設定を行います。
	登録/ 編集	◆ <u>本機でユーザーボックスを作成する(3-52)</u>
	初期設定	文書自動消去時刻 保存されている文書を自動的に消去する時刻を設定することができます。
F⊐-	ードボックス ^{*2}	◆ファクス使用説明書
ジョ	ブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。
	クイックコピー ジョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値:0 ~300 の範囲
		
	一時保存文書の自 動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、 保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値:設定しない、1時間、4時間、1日、1週間
		参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、主電源スイッチを 切ると一時保存文書は消去されます。
	保存先	データを保存するメディアを選択することができます。 設定値:SSD、SDカード
		▲ 参考 オプションのSSDまたはSDカードが装着されていない場合、この設定は表示されません。
ポー ファ ボッ	リングボックス ^{*2} クスメモリー受信 クス ^{*2}	◆ファクス使用説明書

*1 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[ファクス]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] ファクス機能に関する設定を行います。 ◆ファクス使用説明書

[アプリケーション]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [アプリケーション] アプリケーションに関する設定を行います。 ◆アプリケーションとは(2-54)

[インターネット]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[インターネット]

アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシーを設定します。

	項目	説明
プロキシー		プロキシーを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	同じプロキシーを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。同じ プロキシーサーバーを使用しない場合は[使用しない]を選択してください。 設定値:使用しない、使用する
	HTTPプロキシーサーパー	プロキシーサーバー(HTTP)を設定します。 設定値:(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	HTTPSプロキシーサーパー	プロキシーサーバー(HTTPS)を設定します。「同じプロキシーを使用」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値:(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	プロキシー未使用ト・メイン	プロキシーを使用しないドメインを設定します。 設定値:(ドメインを入力します)

[アドレス帳/ワンタッチ]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォ ルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

◆<u>宛先の登録(3-34)</u>

アドレス帳]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー >[アドレス帳/ワンタッチ] >[アドレス帳]

アドレス帳に関する設定を行います。

◆アドレス帳に新しい宛先を登録する(3-34)

[ワンタッチキー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー >[アドレス帳/ワンタッチ] >[ワンタッチキー]

ワンタッチキーに関する設定を行います。

◆ワンタッチキーに宛先を登録する(3-40)

[アドレス帳初期設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー >[アドレス帳/ワンタッチ] >[アドレス帳初期設定]

項目	説明
表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。 設定値:番号、フリガナ
アドレス帳の種類 ^{*1}	アドレス帳を表示したときに、どの拡張アドレス帳を表示するかを設定します。

*1 拡張アドレス帳が使用できる場合のみ表示されます。

[編集制限]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー >[アドレス帳/ワンタッチ] >[編集制限]

項目	説明
アドレス帳	アドレス帳の編集を制限します。[管理者のみ許可]を選択すると、アドレス帳を編集す る際に、管理者権限でのログインが必要になります。 設定値:制限しない、管理者のみ許可
ワンタッチキー	ワンタッチキーの編集を制限します。[管理者のみ許可]を選択すると、ワンタッチキー を編集する際に、管理者権限でのログインが必要になります。 設定値:制限しない、管理者のみ許可

[リスト印刷]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー >[アドレス帳/ワンタッチ] >[リスト印刷]

◆ファクス使用説明書

[ユーザー/部門管理]

メニュー遷移:[システムメニュー]>[ユーザー/部門管理]

本機の管理に関する設定を行います。

- ◆ユーザー管理とは(9-2)
- ◆<u>部門管理とは(9-32)</u>
- ◆<u>不明ユーザー処理方法を設定する(9-52)</u>

[プリンター]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [プリンター]

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

	項目	說明。
ΤΞ	ュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値:PCL6、KPDL、KPDL(自動)
		🔕 参考
		[KPDL (自動)]を選択した場合は、「代替エミュレーション」の設定も行ってください。 [KPDL]または[KPDL(自動)]を選択した場合は、「KPDLエラーレポート」の設定も行ってくだ さい。
	代替エミュレー ション	エミュレーションモードに[KPDL(自動)]を選択すると、印刷するデータに応じてKPDLともう 1つのエミュレーションモード(代替エミュレーション)を自動的に切り替えることができま す。 設定値:PCL6(設定しない、設定する)
	KPDLエラーレポー ト	KPDLエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値:設定しない、設定する
カラ	一設定	印刷をカラーかまたは白黒かを選択できます。 設定値:カラー、白黒
IJ	プリント	エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値:設定しない、設定する
A4/L	etterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない:A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する:A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元 にあれば給紙されます。
両面	印刷	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値:片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
部数		印刷部数を1~999部まで設定します。 設定値:1~999部
印刷	向き	印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。 設定値:たて、よこ
ワイ	۴A4	この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値:設定しない、設定する
改ペ	ージ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がない と、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過する と、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5~495秒の範囲で設定します。 設定値:5~495秒(5秒単位)
改行	(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。 設定値:改行(LF)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、改行(LF)を無視する
復帰	(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。 設定値:復帰(CR)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、復帰(CR)を無視する

項目	説明
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。
	設定値:使用しない、使用する
	[使用する]を選択した場合は、使用するジョブ名を[ジョブ名]、[ジョブ番号&ジョブ名]、[ジョ ブ名&ジョブ番号]の中から選択してください。
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。
	│ 設定値 : 使用しない、使用する │
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したもの とは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらす ことができます。 設定値 たて:-76.0~+76.0 mm
	よこ:-76.0~+76.0 mm
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることが できます。 歌字体
	設定 設定しない:プリンタードライバーの設定に従います。
	自動給紙時:プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば 手差しトレイから給紙します。
	常時:手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイ から給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。
	目動: 田紙サイスおよび田紙裡類にのわせて結紙元を選択し、印刷します。 固定:選択した給紙元の用紙で印刷します。
自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。
	設定値:設定しない、設定する
	[設定しない]を選択すると、優先給紙元から給紙され、用紙がなくなった場合、「カセット〇に 以下の用紙を補給してください。」(〇はカセットの番号)または「手差しトレイに以下の用紙を 補給してください。」と表示して印刷を停止します。
	メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。
	他のカセットから印刷する場合は、「用紙選択」を選択して給紙元を選択します。
	[設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットが あるときは、印刷を自動的に継続します。
解像度	印刷時の解像度を設定します。
	設定值:600dpi、1200dpi
	🔯 参考
	 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
	・ [1200dpi]を選択した場合、通常よりもスピードが遅くなります。
KIR	KIR(スムージング)の初期状態を設定します。
	設定値:設定しない、設定する

項目	説明
光沢モード	光沢モードを設定すると印刷物の光沢を増すことができます。ただし、印刷時間が長くなりま す。
	設定値:設定しない、設定する
	🔕 参考
	この機能は、用紙種類が[ラベル紙]や[OHPフィルム]以外の設定で有効です。
	◆「カセット/手差しトレイ設定」(8-9)
	光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙がカールすることがあります。 その場合はカールしにくい用紙に代えてみてください。
印刷ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。
	設定値:
	EOJ(End of Job):ジョブデータの終端を表すコマンドの検出までを1ジョブとします。
	ネットワークセッションの終了:ネットワーク接続の1セッション中に含まれるデータを1ジョ ブとします。
	UEL (Universal Exit Language): ジョブの終端部のUELの検出までを1ジョブとします。

[システム/ネットワーク]

本機のシステムについて設定します。

[ネットワーク]

ネットワークに関する設定を行います。

[ホスト名]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク]>[ホスト名]

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ◆ <u>デバイス情報を変更する (2-44)</u>

[Wi-Fi Direct設定]

メニュー遷移: [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク]>[Wi-Fi Direct設定] Wi-Fi Directの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
デバイス名	デバイス名を設定します。
	🔯 参考
	文字数は最大32文字までです。
	この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。
	▶ <u>[TCP/IP設定](8-37)</u> 恐空症 ### ### ###
	[設定する]を選択した场合は、目動的に切断するよじの時间を設正してくたさ い。
	この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
自動切断	Wi-Fi Directで接続された機器を自動的に切断します。
	設定値:使用しない、使用する
	この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力 できません。

[Wi-Fi設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク]>[Wi-Fi設定] Wi-Fiの設定を行います。

[Wi-Fi]

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうか設定します。 設定値:使用しない、使用する

[セットアップ]

項目		項目	説明
接続の状態			無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ			ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡 単セットアップで接続設定ができます。
	利用可能なネットワーク		接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
		WEPキーイン デックス	アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。 設定値:0~3
	プッシュボタン方式		アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して 無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイン トのプッシュボタンを押して接続を開始します。
			🐼 参考
			プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
	PINコード方式(本体)		本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入 カしてください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
カスタムセットアップ		トアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。

項目	説明
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。
	🚳 参考
	32 文字まで入力できます。
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。
	設定値:オープンシステム、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2- EAP
暗号化	暗号化方式を設定します。[ネットワーク認証]の方式により設定値が異なります。
	[ネットワーク認証]の方式が[オープンシステム]の場合
	設定值:無効、WEP
	WEPキー:26文字まで
	WEPキーインデックス:0~3
	ネットワーク認証の方式が[WPA2/WPA-PSK]の場合
	設定値:AES、自動
	事前共有キー:64文字まで
	ネットワーク認証の方式が[WPA2-PSK]の場合
	設定值:AES(固定)
	事前共有キー:64文字まで
	ネットワーク認証の方式が[WPA2/WPA-EAP]の場合
	設定値:AES、自動
	ネットワーク認証の方式が[WPA2-EAP]の場合
	設定值:AES(固定)

[TCP/IP設定]

項目		説明
ТСР/ІР		TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
IPv4設定		TCP/IP(IPv4)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
	DHCP	DHCP(IPv4)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値:###.###.####
		▶ ▶ 7 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力でき ません。
	サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値:###.###.####.
		参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力でき ません。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値:###.###.###
		🐼 参考
		この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。

✓ 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。
- ◆「ネットワークの再起動」(8-47)

項目	説明
IPv6	TCP/IP(IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。

項目	説明。
IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	🐼 参考
	[使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Link Local)/ プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP(IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入 カします。
	設定値 IPアドレス(手動):128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割
	プレフィックス長:0~128
	デフォルトゲートウェイ:128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグ ループで表現。コロン(:)で分割
	🔕 参考
	この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
	[デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA(Stateless)]を[使用しない] に設定します。
RA(Stateless)	RA(Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	🐼 参考
	この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
	[使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateless)/プ レフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
DHCP	DHCP(IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
	[使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateful)/プ レフィックス長]にIPアドレスが表示されます。

✓ 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆<u>「ネットワークの再起動」(8-47)</u>

[有線設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [有線設定] 有線ネットワークの設定を行います。

[TCP/IP設定]

	項目	説明
TCP/IP		TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
IPv4		TCP/IP(IPv4)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
	DHCP	DHCP(IPv4)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値:###.###.###
		この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
	サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値:###.###.###
		この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値:###.###.###
		この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。

✓ 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆<u>「ネットワークの再起動」(8-47)</u>

項目		説明
IPve)	TCP/IP(IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
	IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する 参考
		▶ ▶ ▼ [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Link Local)/ プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
	手動設定	TCP/IP(IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入 カします。 設定値 IPアドレス(手動)・128ビットのアドレスを4桁の16進数で構成される8つのグループで表
		現。コロン(:)で分割 プレフィックス長:0~128 デフォルトゲートウェイ:128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグ ループで表現。コロン(:)で分割
		🔕 参考
		この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
		[デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA(Stateless)]を[使用しない] に設定します。
	RA(Stateless)	RA(Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
		🔕 参考
		この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
		[使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateless)/プ レフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
	DHCP	DHCP(IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
		🔕 参考
		この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。
		[使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス(Stateful)/プ レフィックス長]にIPアドレスが表示されます。

✓ 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆ [ネットワークの再起動] (8-47)

[LANインターフェイス]

項目	説明
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値:自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T

✓ 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆ [ネットワークの再起動] (8-47)

[Bonjour]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Bonjour]

	項目	。 1993年1月1日日前一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日
プロトコル設定		Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	
	利用可能なネットワーク (有線)	│ この設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。 │

[IPSec]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [IPSec]

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する

[プロトコル設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [プロトコル設定] プロトコルの設定を行います。

項目		。 1993年1月1日(1993年1月1日) 1999年1月1日(1993年1月1日) 1999年1月1日(1993年1月1日)
NetBEUI		-
	プロトコル設定	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	この設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に衣示されます。
LP)	—
	プロトコル設定	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SM	TP(メール送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
PO	P3(メール受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
FTPクライアント(送信)		FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する] を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は21です。 設定値:使用しない、使用する
FTF	ウサーバー(受信)	-
	プロトコル設定	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	↑ この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SMBクライアント(送信)		SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する] を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は445です。
		設定値:使用しない、使用する

	項目	説明
ws	Dスキャン	-
	プロトコル設定	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
ws	D印刷	-
	プロトコル設定	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	- この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
DSI	Mスキャン	DSMスキャンを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
LD	λP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
SNI	MP	-
	プロトコル設定	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	□ この設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SNI	MPv3	-
	プロトコル設定	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	利用可能なネットワー ク(有線)	】 ∟の設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。 ┃

項目		説明
HT	ſP	-
	プロトコル設定	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	↑ この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。 ┃ ┃
HT	TPS	-
	プロトコル設定	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
IPP		-
	プロトコル設定	IIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する] を選択し、「セキュリティー設定」の[SSL]で[使用しない]を選択してください。そして、 Command Center RXからセキュリティー設定で[非セキュア(IPPSとIPP)]を選択してくだ さい。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
		設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
	ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は631です。 設定値:1—32767
		🔯 参考
		この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	∟の設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

	項目	説明
IPP over SSL		SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティー設定」の[SSL]で[使用する]を選択してください。 ポート番号の工場出荷時の値は443です。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する 参考
		設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
	プロトコル設定	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 設定値:1
		▶ 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Rav	v Port	_
	プロトコル設定	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設正は、[ノロトコル設正]を[使用する] こしている场合に表示されます。

項目	説明
ThinPrint	—
プロトコル設定	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択して ください。 設定値:使用しない、使用する
	この機能は、オプションのUG-33が起動されている場合に表示されます。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 設定値:1—32767
	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Thin Print over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティー設定」の [SSL]で[使用する]を選択してください。 設定値:使用しない、使用する
	🐼 参考
	設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
利用可能なネットワー ク(有線)	─ この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

	項目	説明
Enh	anced WSD	—
	プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する 参考 「使用しない」を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXド
		ライバーが使用できません。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Enh	anced WSD over SSL	—
	プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する
		▶ ▶ ▶ ▶ ■ ▶ ■ ▶ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
		設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
eSC	CL	eSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
	プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する
		🔕 参考
		設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	∟の設定は、[ノロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

	項目	説明
eSCL over SSL		SSLで保護されたeSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する
	プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値:使用しない、使用する
-		設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が 所有している証明書です。
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値:無効、有効
	利用可能なネットワー ク(Wi-Fi)	
	有利用可能なネット ワーク(有線)	この設定は、[フロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 「セキュリティー設定」で[SSL]を[使用する]にしてください。

[セキュリティー設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [セキュリティー 設定]

項目	説明
SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する
IPPセキュリティー	IPPセキュリティーレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されま す。 設定値 : IPP/IPP over SSL、IPP over SSLのみ
HTTPセキュリティー	HTTPセキュリティーレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示され ます。 設定値:HTTP/HTTPS、HTTPSのみ
SMTPセキュリティー	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択 してください。「SMTP」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値:使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティー (ユーザー1)	POP3サーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択 してください。「POP3」の設定が[使用する]の場合、表示されます。
POP3セキュリティー (ユーザー2)	設 定 他 : 使 用 し な い、 S S L / ILS、 S IAKI ILS
POP3セキュリティー (ユーザー3)	

[Ping]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Ping]

項目	説明
Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうか を確認します。
	🔕 参考
	この機能は、[送信機能のネットワーク]を[オプションネットワーク]に設定し ている場合は表示されません。

[ネットワークの再起動]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの 再起動]

項目	説明
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

[プロキシー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>[ネットワーク]>[プロキシー]

	項目	説明
プロキシー		アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシーを設定します。 設定値:使用する、使用しない
	同じプロキシーを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用する、使用しない
	HTTPプロキシーサーバー	プロキシーサーバー(HTTP)を設定します。 設定値:(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	HTTPSプロキシーサー パー	プロキシーサーバー(HTTPS)を設定します。「すべてのプロトコルでこのプロキシーを 使用する」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値:(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	プロキシー未使用ドメイ ン	プロキシーを使用しないドメインを設定します。 設定値:(ドメインを入力します)

[オプションネットワーク]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプションネットワーク] オプションのネットワークインターフェイスキットの設定を行います。

🔕 参考

このメニューは、オプションのネットワークインターフェイスキット(IB-50)または、ワイヤレスインターフェ イスキット(IB-51)を装着している場合に表示されます。 [基本設定]

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ◆ <u>デバイス情報を変更する (2-44)</u>
TCP/IP設定	設定値は、次を参照してください。 ◆ <u>「TCP/IP設定」(8-37)</u> ◆ <u>[IPSec](8-39)</u>
NetWare	NetWareを使用して文書を受信します。 ◆ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値:使用しない、使用する
AppleTalk	AppleTalkを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値:使用しない、使用する
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。 ^{*1} 設定値:自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T 参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着してい る場合に表示されます。
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。 ◆ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値:使用しない、使用する
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

[ワイヤレスネットワーク]

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。

🔕 参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット(IB-51)を装着している場合に表示されます。

	項目	説明
接続の状態 		オプションのワイヤレスインターフェイスキット(IB-51)が装着されている場合、無線 LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ		ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡 単セットアップで接続設定ができます。
	利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
	プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して 無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイン トのプッシュボタンを押して接続を開始します。
		★考 ★
		ブッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
	PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入 カしてください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
	PIN方式(端末)	アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを 入力してください。
カス	タムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。
	ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。
		🔕 参考
		文字数は32 文字以内です。
	接続モード	接続モードを設定します。
		設定値:アドホック、インフラストラクチャー
		🔕 参考
		•アドホック:アクセスポイントを介せずに直接機器と通信します。2台以上の
		機器と接続はできません。
		• インフラストラクチャー:アクセスポイントを介して通信を行います。
	チャンネル	チャンネルを設定します。[-][+]またはテンキーで数値を入力してください。
	ういしつ ク部行	
	「イツトワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでくたさい。他の認証方式を選択する場合は、コン
		設定値:オープンシステム、共有キー、WPA-PSK ^{*1} 、WPA2-PSK ^{*1}
	暗号化	暗号化方式を設定します。[無効]以外を設定した場合は、WEPキーまたは事前共有キー を入力してください。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。[データの暗 号化]を選択してください。
		ネットワーク認証の方式が[オープンシステム]または[共有キー]の場合
		設定值:無効、WEP
		ネットワーク認証の方式が[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]の場合 設定値:TKIP ^{*2} 、AES、自動 ^{*2} 、事前共有キー
		👰 参考
		・ [WEP]を選択した場合、WEPキーを入力してください。文字数は26文字以内です。
		• [TKIP]、[AES]、または[自動]を選択した場合、事前共有キーを入力してください。文字数は8~64文字までです。

*1 「接続モード」で[アドホック]にしている場合は表示されません。

*2 「ネットワーク認証」で[WPA2-PSK]にしている場合は表示されません。

[優先ネットワーク(クライアント)]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [優先ネットワーク(クライアント)]

項目	説明
優先ネットワーク(クライアン ト)	本機がクライアント側として動作する送信機能や拡張アドレス帳の接続時に使用する ネットワークインターフェイスを選択します。 設定値:Wi-Fi、有線、オプションネットワーク
	 「オプションネットワーク」はオプションのネットワークインターフェイス キット(IB-50)、またはオプションのワイヤレスインターフェイスキット(IB- 51)を装着している場合に表示されます。
	 ・Eメールは、標準ネットワーク(有線またはWi-Fi)とオプションネットワーク (IB-50またはIB-51)で、それぞれ個別に設定や使用ができます。

[インターフェイスブロック設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [インターフェイスブロック設定] USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護すること ができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート(USBホスト)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクター(USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする 参考 この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。
オプションインターフェイス(ス ロット1)	オプションインターフェイスをブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
オプションインターフェイス(ス ロット2)	参考 この機能は、各オプションインターフェイスで設定できます。

✓ 重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆[再起動](8-51)

[Bluetooth設定]

メニュー遷移: [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [Bluetooth設定]

項目	説明
Bluetoothキーボード	Bluetoothキーボードを使用します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
デバイス検索	利用するキーボードを選択してください。

[セキュリティーレベル]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>[セキュリティーレベル]

項目	説明
セキュリティーレベル	セキュリティーのレベルを設定します。 設定値 低い:メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 高い:弊社が推奨するセキュリティー設定です。通常はこの設定を使用してください。 最高:[高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにし ます。
	 ◆考 この機能は機器管理者の権限でログインしたときのみ設定できます。 ◆新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」(9-5)

[オプションメモリー使用量]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプションメモリー使用量]

項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを 選択します。 設定値:プリンター優先、標準、コピー優先

[再起動]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [再起動]

項目	説明
再起動	主電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安 定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。

[RAMディスク設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [RAMディスク設定]

🚫 参考

この機能は、オプションのSSDを装着している場合は表示されません。

項目	説明
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。
	RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷す ることができます。
	設定値
	RAMディスク設定:設定しない、設定する
	RAMディスクサイズ:搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。

✓ 重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

◆ [再起動] (8-51)

[データセキュリティー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [データセキュリティー] SSDに保存されているデータに関する設定を行います。

	項目	說明。
SSE	の初期化	セキュリティー機能の設定を変更します。
		🧟 参考
		・この機能は、SSDを装着し、オプションのセキュリティーキットを起動している場合に表示されます。
		 セキュリティー機能の設定を変更するには、セキュリティーパスワードの入力が必要です。工場出荷時は000000となっています。
	セキュリティーパスワー ド	セキュリティーパスワードを工場出荷時の値から変更して、管理者だけがセキュリ ティーキットを操作できるようにします。
		パスワードは6~16桁の英数字記号で入力してください。
		確認のため、もう一度同しハスリートを入力する必要かめります。
		(⊘) 重要
		セキュリティーパスワードは1111111や12345678など推測されやすい番号の 使用はできるだけ避けてください。
	システムの初期化	SSDの内容を完全に消去することができます。本体の使用を中止するときなどに行って ください。
		✓ 重要
		初期化中に電源スイッチを切ると、SSDが破損し、初期化が完了しなくなるお それがあります。
		🧟 参考
		途万一初期化中に電源スイッチを切ってしまった場合は、電源スイッチを入れ 直してください。自動的に初期化が再開します。
セキ	ーーーデータの完全消	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。
去		・ アドレス帳
		 お気に入りデータ
		・システム設定
		・ ファクス送受信/転送ナータ
		 オプションアプリケーションデータ
		🔕 参考
		 ステータスページを印刷して、セキュリティーデータが確実に消去されていることを確認してください。 ◆「レポート〕(8-5)
		 ・ 途中で処理を取り消すことはできません。
		 ・この操作を行う前にモジュラーケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。
		 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動 後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。

消去される項目

分類	消去されるデータ
機器/ジョブ	 ユーザーが設定したジョブの設定値
	・ ネットワークの設定
	 ・ 文書ボックスなどに保存された画像データ
	 ワンタッチキーに登録されたデータ
	・ ジョブの履歴
	 ユーザー情報(ユーザーリスト、アドレス帳、ユーザーが登録した文書ボックスなど)
	 部門管理の部門情報
	・ ネットワーク証明書
	• サービス担当者が変更した本機の起動画面
ファクス ^{*1}	 ユーザーが設定したファクスの設定値
	 通信制限の設定
	 ・ 暗号鍵の設定
	• 通信履歴
	・ 予約ジョブ
	 条件付き受信/転送の設定
アプリケーション	・ ユーザーやサービス担当者が登録したアプリケーション/プログラム
	 お試し機能

*1 オプションのファクスキット装着時のみ

[オプション機能]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプション機能]

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 <u>◆オプションのアプリケーションについて 12-8</u>

[リモートサービス設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [リモートサービス設定]

項目	説明
リモートサービス設定	リモートサービスを使用するかどうかを設定します。 設定値:使用しない、使用する

[ファクスサーバー設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ファクスサーバー設定]

項目	説明
ファクスサーバー	ファクスサーバーを使用するかどうかを設定します。
	□
アドレス設定	宛先につけるプレフィックス、サフィックスおよびドメイン名を設定します。
	🔕 参考
	ファクスサーバーの情報については、ファクスサーバーの管理者にお問い合わ せください。
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。
	設定值:PDF、TIFF、XPS
アドレス帳初期設定	使用する拡張アドレス帳を設定します。
	🔯 参考
	•ファクスサーバーで[設定する]を設定している場合に表示されます。
	 拡張アドレス帳が設定されていない場合は、表示されません。
	◆Command Center RX操作手順書

[NFC]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [NFC]

項目	説明
NFC	NFC(近距離通信)を使用します。
	設定値:使用しない、使用する

[日付/タイマー/節電]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[日付/タイマー/節電]日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値:年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59)
	◆ <u>日付と時刻を設定する (2-12)</u>
	▶ 愛考 日付設定を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで使用するこ とができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値:月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ◆ <u>日付と時刻を設定する(2-12)</u>
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて 初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定し ます。 設定値:設定しない、設定する
	 ◆考
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値:5~495秒(5秒単位)
低電力モード時間	低電カモードに入る時間を設定します。 設定値:1~240分(1分単位) ◆低電力モードとは(2-22)
スリープレベル ^{*1}	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値:復帰優先、節電優先
節電優先	次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 ・ ICカードリーダー接続時 ^{*2} ・ ファクス接続時 ^{*3} ・ アプリケーション起動時 設定値:使用しない、使用する 診 参考 節電優先のスリープモードに入ると、USBケーブルで接続したパソコンから印 刷データを受信しても、本機はスリープモードから復帰しません。また、ICカー ドも認識しません。

項目	説明
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値:1~240分(1分単位) ◆ <u>スリープとは(2-23)</u>
節電復帰レベル	 節電状態からの復帰方法を設定します。 設定値: 全体復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するモードです。 ただし、節電効果は低いです。 通常復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するか、使用したい機能のみ使えるよう復帰するか、操作に応じて使い分けることができるモードです。 すべての機能をすぐに使いたい場合は、[節電]キーを押すと復帰します。 省電力復帰:使用したい機能のみ使えるよう復帰するモードです。節電効果が一番高いです。
エラー後自動継続	 処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。 エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値:設定しない、設定する 参考 セットされるまでの時間は、次の項目を参照してください。
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値:5~495秒(5秒単位) 参考 この機能は、[エラー後自動継続]を[設定する]にしている場合に表示されま す。
割り込み解除時間	割り込みコピーモードにして何も操作しないときの、通常のモードに戻るまでの時間を 設定します。 設定値:5~495秒(5秒単位)
使用禁止時間 ^{*3}	◆ファクス使用説明書
Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を 設定します。 設定値:1~30秒(1秒単位)

*1 オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合は表示されません。

*2 オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

*3 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[調整/メンテナンス]

メニュー遷移:[システムメニュー]キー > [調整/メンテナンス]

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目		説明
濃月		濃度を全体的にこく、またはうすくします。
	コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
	送信/文書ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはう すくします。7段階で調整します。
	 ファクス ^{*1}	 ▶ ファクス使用説明書
ショ	マープネス調整	画像の輪郭の強弱を調整します。
		コピー時の画像の輪郭を全体的に強く、または弱くします。7段階で調整します。 設定値:-3(弱く)、-2、-1、0、+1、+2、+3(強く)
	送信/文書ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの画像の輪郭を全体的に強く、または弱く します。7段階で調整します。 設定値:-3(弱く)、-2、-1、0、+1、+2、+3(強く)
=:	 ットラスト	コントラストを全体的に高く、または低くします。
	コピー	コピーのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3(低く)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(高く)
	送信/文書ボックス	送信および文書ボックスに保存するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3(低く)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(高く)
地包	└ 色調整	地色調整を全体的にこく、またはうすくします。
	コピー(自動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
	送信/文書ボックス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
۲	- ナー節約レベル(エコプリント)	トナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。
	コピー	コピー時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。 設定値:1(低い)~5(高い) レベルを上げるとトナーの消費を抑えられますが、画質は悪くなります。
	プリンター	プリンター使用時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します 設定値:1(低い)~5(高い) レベルを上げるとトナーの消費を抑えられますが、画質は悪くなります。
自動	助カラー判別基準	自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。数値を 小さくするとカラー原稿と判別されることが多くなり、数値を大きくすると白黒原 稿と判別されることが多くなります。 設定値:1(カラー)、2、3、4、5(白黒)
果角	ភ 軽減処理	原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ(原稿にない線状の汚れ)が発生した 場合、このすじを目立たないようにします。 設定値:設定しない、設定する
項目	説明	
-----------------	--	
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを調整します。 設定値:1(暗く)、2、3、4、5(明るく)	
カラー印刷位置補正	本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こ る場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を 補正し、色ずれを解消できます。 ◆ <u>キャリブレーションを実行する(11-30)</u>	
陹譋調整	長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、印刷の色合いにズレが生じる場合があります。 原稿と印刷された画像の色合いが異なる場合は、この機能を使って補正することができます。 ◆ <u>階調調整を実行する(11-31)</u>	
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。約1、2分かかります。所 要時間は使用環境により異なる場合があります。 ◆ドラムリフレッシュを実行する(11-33) 参考 印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してく ださい。	
自動ドラムリフレッシュ	自動ドラムリフレッシュの実行時間を設定します。 設定値: 短い:自動ドラムリフレッシュが実行される時間を短くします。 標準:自動ドラムリフレッシュが実行される時間を標準にします。	
キャリブレーション	印刷された画像の色ずれや色合いを改善します。 ◆ <u>キャリブレーションを実行する(11-30)</u> ③ 参考 キャリブレーションを行っても色ずれが改善されない場合はカラー印刷位置補正 を、色合いが改善されない場合は階調調整を行ってください。	
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦の白線を改善します。 ◆レーザースキャナークリーニングを実行する(11-30)	
サービス設定	本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作する メニューです。	

9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

この章では、次の項	目について説明します。	
ユーザー管理	星とは	
パソコンから	っユーザーを管理する	
ユーザー管理	星を有効にする	
ユーザー管理	【の設定	
認証セ	?キュリティーを設定する	
新しい	ユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]	
ユーザ		
印刷す	るユーザーを管理する	
TWAIN	Nを使ってスキャンするユーザーを管理する	
WIAを	使ってスキャンするユーザーを管理する	
パソコ	ンからファクスを送信するユーザーを管理する	
ローカ	ルユーザー認可を設定する	
グルー	-プ認可を設定する	
ゲスト	認可を設定する	
ネット	ワークユーザー情報を取得する	
簡単ロ	ダイン設定とは	
ICカー	-ド認証方法を設定する	
PIN⊐·	ード認証を設定する	
ユーザー管理	■を使う	
ログイ	ン/ログアウトをする	
部門管理とは	t	
部門管理を有	「効にする	
部門管	理方式を設定する	
管理する部門	! を設定する[ローカル]	
部門を	新規に登録する[部門リスト]	
使用制	限を設定する	
制限枚	数超過時の処理を設定する	
部門情	報を編集する	
部門を	削除する	
部門の)印刷状況を管理する	
TWAIN	Nを使ったスキャンジョブを管理する	
WIAを	使ったスキャンジョブを管理する	
パソコ	ンから送信したファクスジョブを管理する	
部門管理を利	リ用する	
部門管	理の初期設定をする	
用紙サ	・イズ別に集計する	
使用枚	数を集計する	
部門レ	ポートを印刷する	
コピー	-/プリンターのカウント方法を設定する	
ログイ	ン/ログアウトする(部門管理)	
不明ユーザー	-処理方法を設定する	
ID不明	ジョブ処理を設定する	
ID不明	ユーザーのユーザー情報を登録する	9-52

ユーザー管理とは

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログイン ユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができま す。



- 1 ユーザー管理を有効にする(<u>9-3</u>)
- 2 ユーザーを設定する(<u>9-4</u>)
- 3 ログインユーザー名とパスワードを入力し てジョブを実行する(<u>3-16</u>)

ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

パソコンからユーザーを管理する

パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。





- プリンタードライバーでユーザー管理を設 定する(<u>9-13</u>)
- 2 印刷する

TWAINを使ってスキャンするユーザー

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

◆<u>TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する(9-14)</u>

WIAを使ってスキャンするユーザー

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

◆WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する(9-15)

パソコンからファクスを送信するユーザー

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

◆パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する(9-16)

ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。ユーザーの認証方法を次から選択してください。

項目	詳細
ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情 報でログインしてください。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ユーザー管理」

<mark>2</mark> 設定する

1 [ローカル認証]または[ネットワーク認証]を選択します。

ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。

[ネットワーク認証]を選択した場合は、サーバータイプを[NTLM][Kerberos]または[Ext.]から選択してください。また、 認証サーバーのホスト名(64文字以内)とドメイン名(256文字以内)を入力してください。

サーバータイプで[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力します。

🔕 参考

「ドメイン名」を選択するとドメイン入力画面が表示されます。ドメイン名を入力してください。 登録可能ドメイン名:10件まで

2「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」が表示されます。新しい機能をホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

◆<u>ホーム画面を編集する(3-8)</u>

🔕 参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- ・本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を 修正してください。

ユーザー管理の設定

ここでは、認証セキュリティーの設定、ユーザーの登録/変更/削除、ユーザー管理手順などを説明します。

認証セキュリティーを設定する

ユーザー認証が有効な場合に、ユーザー認証のセキュリティーに関する設定を行います。

ユーザーアカウントロックアウトを設定する

ログイン時にパスワードを連続して間違えて入力した場合に、そのユーザー名でのログインを禁止する設定を行いま す。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ユーザーアカウントロックアウト設定]

2 ユーザーアカウントロックを登録する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。
	設定値:設定しない、設定する
ロックアウトポリシー	アカウントロックアウトが適用される条件と適用する範囲を設定します。
	設定値
	ロックまでの回数:何回ログインに失敗するとロックされるのかを設定します。(1~10回)
	ロックアウト期間:ロックが解除されるまでの時間を設定します。(1~60分)
	ロックアウト対象:アカウントロックアウトを適応する範囲を設定します。[リモートログインのみ]と[すべて]から選択できます。リモートログインのみは操作部以外からの操作をすべてロックします。
ロックされているユーザー のリスト	ロックされているユーザーがリストに表示されますので、ロックを解除するユーザーを選択し、[ロック解除]を選択すると、選択したユーザーのロックを解除します。
	🔕 参考
	アカウントロックアウトポリシーを有効にしたときに表示されます。

新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]

新しいユーザーを登録します。

🚫 参考

- ・登録可能なユーザー数(ログインユーザー名の初期値を含む):100人まで
- ・工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1 人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。(大文字・小文字は区別されま す。)

機器管理者

ユーザー名:DeviceAdmin

ユーザー名(フリガナ): DeviceAdmin

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

アクセスレベル:機器管理者

管理者

ユーザー名 : Admin

ユーザー名(フリガナ):Admin

ログインユーザー名:Admin

ログインパスワード: Admin

アクセスレベル:管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティー保護のため、定期的に変更することを お勧めします。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ューザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ローカルユーザーリスト]>[+]

2 ユーザー情報を入力する

[次へ>]を選択します。

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログイン ユーザー名は重複して登録することはできません。
アクセスレベル	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。



文字の入力方法は、次を参照してください。

◆<u>文字の入力(12-10)</u>

3 ユーザー情報を確認する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
ユーザー名 ¹	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ) ^{*1}	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名 ^{*1}	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログイン ユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを、64文字以内で入力します。確認画面で、新しいパ スワードをもう一度入力して、[OK]キーを選択してください。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーで ログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 ◆ 部門管理とは(9-32) 参考 [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門 コードで検索ができます。 [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]選択すると、部門名の並べ替えができます。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスが登録できます。メール送信を使用する場合は登録してください。登録されたアドレスはメール機能が必要とされる動作のとき自動的に選択されます。
アクセスレベル ^{*1}	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。
ICカード情報	ICカードの情報を登録します。ICカードリーダーにICカードをおいて、[半角英字]を選択し てください。 参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。
	◆ <u>ICカード認証キット(B)<icカード認証キット>(12-3)</icカード認証キット></u>

*1 ユーザー登録のときの必須項目です。

項目	説明
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットの設定を登録します。ここで登録して おけば、ログインするだけで設定が適用されます。
ローカル認可 ^{*1}	ユーザーごとに使用制限を設定します。
	使用制限できる項目は次のとおりです。
	プリンター制限:
	プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	該当する印刷機能は次のとおりです。
	・ ボックスからの印刷
	• 外部メモリーからの印刷
	・ パソコンからの印刷
	プリンター制限(フルカラー):
	プリンターのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	該当する印刷機能は次のとおりです。
	・ ボックスからの印刷
	・ 外部メモリーからの印刷
	・ パソコンからの印刷
	- コピー制限:
	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	コピー制限(フルカラー):
	コピーのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	両面制限:
	両面印刷のみを許可するかどうか設定します。
	集約制限:
	ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。
	エコプリント制限:
	エコプリントのみ許可するかどうか設定します。
	送信制限:
	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	ファクス送信制限 ^{*2} :
	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	ボックス保存制限:
	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
	外部メモリー保存制限:
	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*1 ローカルユーザー認可を有効にしたときに表示されます。 ◆ <u>ローカルユーザー認可を設定する(9-17)</u>

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

🔕 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

◆ 文字の入力(12-10)

マイパネルの初期画面で[送信]を選択した場合は、表示する画面を[宛先]、[アドレス帳]または[拡張アドレス 帳]のいずれかから選択してください。

4 [登録]を選択する

ローカルユーザーリストに新しいユーザーが追加されます。

🔕 参考

簡単ログインを設定している場合、新規登録が完了したときに簡単ログインの設定を行うかどうかの確認画面 が表示されます。簡単ログインを設定する場合は[はい]を選択してください。[全角記号]を選択するとユー ザーリスト画面に戻ります。

簡単ログインの設定方法については、次を参照してください。

◆簡単ログイン設定とは(9-26)

ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。

🔕 参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザー でログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

「管理者」の権限を持つユーザーでログインする

ユーザー情報の変更やユーザーの削除ができます。登録できるすべての項目を変更できます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ローカルユーザーリスト]

🤈 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する場合

1 ユーザー情報を変更するユーザーの[-----]を選択します。

システムメニュー/カウンタ ューザー管理設定 - ローカルコ	ー画面です。 Lーサ ⁻ ーリスト Q	10:10
🔒 Admin	Admin	
DeviceAdmin	5000	
🔒 ユーザーA	user A	<u></u>
		\sim
メニュー		終了

🚫 参考

- [メニュー] >[表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並べ 替えができます。
- [メニュー] >[検索(フリガナ)]または[検索(ログインユーザー名)]を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。

- 2 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。
 ◆新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト] (9-5)
- 3 [登録] > [はい]
 ユーザー情報が変更されます。
- ユーザーを削除する場合
- 1 削除するユーザーを選択します。
- [m]>[はい]を選択します。
 ユーザーが削除されます。

🚫 参考

工場出荷時に登録されている、「管理者」の権限を持つデフォルトユーザーは削除できません。

ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する(ユーザー情報)

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー情報]

2 ユーザー情報を変更する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

◆新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」(9-5)

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。32文字まで入力できます。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを変更します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを変更します。128文字まで入力できます。
	ユーザー権限でログインし、[新規宛先の入力]が[禁止する]に設定されている場合は、メー ルアドレスの確認のみできます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
認可情報	ログインしているユーザーに設定されている使用制限を参照します。
	🔕 参考
	この機能は、ローカル認可を[設定する]、またはグループ認可設定が[設定する]、またはゲ スト認可設定が[設定する]の場合に表示します。
	[部門管理]で、ログインしているユーザーに設定されている部門名および部門に設定され ている使用制限を参照します。
	この機能は、部門管理が[設定する]の場合に表示されます。
	◆部門管理を有効にする(9-33)
ICカード情報	ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。
	この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。
	▶ $ C D - F 認証キッF(B) < C D - F 認証キッF > (12-3)$
	サーバーで管理されているユーザーでログインした場合は表示されません。
簡単ログイン	簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。
	🔕 参考
	この機能は、簡単ログインが[設定しない]、または簡単ログインに登録していない場合は表示されません。
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットを登録します。ここに登録しておけ ば、ログインするだけで設定が適用されます。

3 [登録]を選択します。

ユーザー情報が変更されます。

印刷するユーザーを管理する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、 Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。

🚫 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

1 [ユーザー管理]タブの[ユーザー管理]を選択します。

071/2-9-8/ N77-11		
○印刷印記がインユーザー名を入力(M) 登録のデインコーザーリスト		
ロゲインコーザー名(デハ・イス) ユーザー名(ネスト)	;虚物(<u>A</u>)	
	积增多(0)	
	編集(E).	
	1:4*-HD.	
	1378"-+(2)	
◎ 印刷申礼四サインユーザー名を入力(ロサインユーザーの編記) ◎ ユーザー(ホスト)毎にロゲインユーザー(デバイス)を編記2(2)	9(B)	

2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユー ザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要があ りません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名と パスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力(ログインユーザーの確認)]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が 表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー 名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー(ホスト)毎にログインユーザー(デバイス)を確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

🔕 参考

ユーザー管理についてのその他の設定は、次を参照してください。 ◆プリンタードライバー操作手順書

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された 一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

🔕 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

2 本機を選択し、[編集]をクリックします。

2 設定する

1 [ユーザー認証設定]をクリックします。

スキャナ	- 名称 モデル	1610(A)_
1	a contract of a	雨·图8(<u>D</u>)
		MBR(E)_
		诸常使用口能带吸

2 [認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。

×
ログインユーザー名(1)
バスワード(<u>P</u>)

0K キャンセル

3 [OK]をクリックします。

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を 例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索 された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されま す。

🔇 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

-			
Driver (Network)			
_			
1			•
1			2
1	●于バイ2の遺物(点)	2440 7027434	2 970/64(2)

2 設定する

1 [設定]タブの[認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。

×
ログインユーザー名(1)
バスワード(<u>P</u>)

OK キャンセル

2 [OK]をクリックします。

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。

🔕 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

2 設定する

1 [認証]タブの[ユーザー管理]を選択します。

Rectors from the second construction of the second s
送信オプション 送付「認証」」(億元債報
「マ ユーザー管理 ・ 何ルルルイアリンユーザー名を使用:
ロ5インユーザー名: バスワード:
○ 送信時にロジインユーザー名を入力
□ 2月7日22
▲ 特定のコードを使用: 「 法目時にコードを入り」
OK \$7721

2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ ユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとにユーザー名とパスワードを入力す る必要がありません。

[送信時にログインユーザー名を入力]:送信時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名と パスワードは、送信するたびに入力する必要があります。

3 [OK]をクリックします。

ローカルユーザー認可を設定する

ローカル認可を使用するかどうかを設定します。

🔕 参考

ローカル認可を使用する場合は、ユーザー認証方法を[全角英字]に設定する必要があります。 ◆ユーザー管理を有効にする(9-3)

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ローカルユーザー認可]

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

グループ認可を設定する

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

🔕 参考

グループ認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定 する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「使用する」に設定してください。

◆<u>ユーザー管理を有効にする(9-3)</u>

►LDAP (8-41)

グループ認可設定を有効にする

グループ認可設定を有効にします。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ューザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2「ユーザー管理設定」>「グループ認可設定」>「グループ認可」

<mark>2</mark> 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

グループリストを登録する

本機の使用を制限するグループを登録します。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、 すべて「その他」になります。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[グループ認可設定]>[グループリスト]>[+]



- 2 設定する
 - 1 グループIDを入力(1~4294967295の範囲) > [次へ>]
 - 2 グループ名を入力(32文字以内) > [次へ>]
 - 3 必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	詳細
グループID ^{*1}	グループリストに表示されるIDを、1~4294967295までの最大10桁で入力します。
グループ名	グループリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
アクセスレベル	グループ制限を、[管理者]または[ユーザー]から選択します。
プリンター制限	 プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 パソコンからの印刷
プリンター制限(フルカラー)	 プリンターのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 パソコンからの印刷
コピー制限	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
コピー制限(フルカラー)	コピーのフルカラーのみ、印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
両面制限	両面印刷のみを許可するかどうか設定します。
集約制限	ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。
エコプリント制限	エコプリントのみ許可するかどうか設定します。
送信制限	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ファクス送信制限 ^{*2}	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ボックス保存制限	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
外部メモリー保存制限	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*1 「グループID」は、WindowsのActive Directoryでユーザーに割り当てているPrimaryGroupIDを設定してください。Windows

Server 2008では、ユーザーのプロパティ画面の属性エディタタブで確認できます。

*2 オプションのファクスキットを装着装着している場合に表示されます。

🐼 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

- 3 アクセスレベルを選択 > [次へ>]
- 4 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

5 登録する

[登録]を選択します。

グループリストに新しいグループが追加されます。

ゲスト認可を設定する

ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。

🔕 参考

ゲスト認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。 ◆ユーザー管理を有効にする(9-3)

ゲスト認可設定を有効にする

ゲスト認可設定を有効にします。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2「ユーザー管理設定」>「ゲスト認可設定」>「ゲスト認可」

2 設定する

[設定する]または[設定しない]を押します。

🔕 参考

ゲスト認可設定を有効にした場合、ログイン時に[認証/ログアウト]キーを選択する必要があります。

ゲストユーザーの初期設定では、モノクロコピーしか使用できません。それ以外の機能を使用したいときは、使用する機能の制限がないユーザーでログインするか、ゲストプロパティで設定を変更してください。

ゲストプロパティを設定する

ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ューザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 「ユーザー管理設定」>「ゲスト認可設定」>「ゲストプロパティ」

2 設定する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

1-ザー名그・ザ・マ、のフリガトを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。フ・ザー名のフリガトを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。フ・ザ・スのフリガトを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。アクセスレベルコーザーの権限が表示されます。変更はできません。師門名コーザーの権限が表示されず。変更してきたができます。 計門に所属していない物合は、「その他」を選択してください。アクロロ明体化を送取してます。 新設できる項目は次のとおりです。 フリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスのからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ パックス時町するかどうか設定します。 王ブリントの人能可するかどうか設定します。 王ブリントの人能可するかどうか設定します。 王ブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能の目 ・コンス体体観能していたうかい設定します。 エブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能の ・ コンクス使用製止にするかどうか設定します。 エブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能可するかどうか設定します。 エブリントの人能の ・コンス使用製品に ・コンス使作観聴に ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックなからの設定します。 エブリントの人能の目 ・コンス保存観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックな体観観 ・ロックなが見 ・ロックなどうか設定します。 ・フィンス体体観観 ・ロックな体観観 ・ロックなどうか設定します。 ・フィンス体体的観 ・ロックなどうか設定します。 ・コンス体体観を使用 ・ロックのなり見 ・ロックのなり見 ・ロックなどうか設定します。 ・フィンス体体観 ・ロックなどうい設定します。 ・フィンス体体的 ・ロックなどうい設定します。 ・フィンス体体的見 ・ロックなどうい設定します。 ・フィンス体体的見 ・ロックなどうい設定します。 ・フィンス体体的見 ・ロックなどうい設定します。 ・フィンス体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体体	項目	詳細
ユーザー名(7)が)ユーザーるのフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Cuest User」です。アクセスレベルユーザーの権限が表示されます。変更はできません。部門名ユーザーの作用に分類している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[その他]を選択してください。認可情報制限できる項目は次のとおりです。 フリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 法当する印刷機能に次のとおりです。 ・ボックスからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・パックスからの印刷 ・外部メモリーからの印刷 ・パックスな存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ニコブリント例BL ニコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL 、コブリントのの許可するかどうか設定します。 こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こコブリントのBL こマクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 、アックス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ガンク、 アークス法律規定 ・ 	ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
アクセスレベルコーザーの権限が表示されます。変更はできません。部門名二・ザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、「その他」を選択してください。アの情報制限する機能を設定します。 新限定でき項目は次のとおりです。 フリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 	ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
 部門名 ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[その他]を選択してください。 部限する機能を設定します。 制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 ブリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パックスの印刷機能(フルカラー): ブリンターの印刷機能(フルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能に(フルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 ・ ボックスからの印刷 ・ パックスのらの印刷 ・ パックスのらの印刷 ・ パックスのもの印刷 ・ パックス協力観知: ニコブリント 制限: ニコブリント 制限: ニコブリント 制限: ニコブリント 制限: ニコブリント のみ許可するかどうか設定します。 ※信制限: ※信制限: ※信制限: ※信制限: 二コブリント のみ許可するかどうか設定します。 ・ アクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ・ パックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ・ パックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 	アクセスレベル	ユーザーの権限が表示されます。変更はできません。
部限する機能を設定します。 制限する境能を設定します。 制限する境能を設定します。 ブリンター制限: ブリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能に次のとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ブリンターの印刷機能(フルカラー): ブリンターの印刷機能(アンカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能(スのとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パックスからの印刷 ・ 小部メモリーからの印刷 ・ ビーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 コピーの印刷機能(アルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 コピーの印刷機能(アルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 コピーの印刷機能(アルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 エコブリントのみ許可するかどうか設定します。 エコブリントのみ許可するかどうか設定します。 ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 アンクス保存制限 ボックス保存制能を使用禁止にするかどうか設定します。	部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[その他]を選択してください。
か 部 メ モリ 一 保 存 制 段: 外部 メ モリ 一 保 存 機 能 を 使 用 禁 止 に す る か ど う か 設 定 し ま す 。	認可情報	 制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 ブリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 プリンターの印刷機能(フルカラー): ブリンターの印刷機能(フルカラー): ブリンターの印刷機能(フルカラー): ブリンターの印刷機能(フルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 パーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能の(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能(フルカラー): コピーの印刷機能の(フルカラー): コピーの印刷機能の(アーク): コピーの印刷機能の(アーク): コピーの印刷機能の(アーク): コピーの(ローの): コピーの(ローの):

*1 オプションのファクスキットを装着装着している場合に表示されます。

3 登録する

[登録]を選択します。

ネットワークユーザー情報を取得する

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメー ルアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。

🔕 参考

LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、「ユーザー管理設定」でユーザーの 認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を[使用する] に設定してください。

◆ユーザー管理を有効にする(9-3)

►LDAP (8-41)

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定]>[ネットワークユーザー情報の取得]>[設定する]

2 設定する

各項目を設定 > [OK]

項目	詳細
サーバー名 ^{*1}	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを64文字以内で入力します。サーバー名を入力 しない場合、ネットワーク認証で設定しているサーバーからユーザー情報を取得します。
ポート	LDAPサーバーのポート番号です。ポート番号の工場出荷時の値は389です。
名前1 ^{*2}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内
名前2 ^{*3}	で入力します。
メールアドレス ^{*4}	LDAPサーバーからメールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを128文字以内で入 カします。
認証方式 ^{*5}	認証方式を設定します。[簡易認証]または[SASL]のどちらかを選択してください。設定変更 後にシステムの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行ってください。
検索タイムアウト時間	タイムアウトするまでの時間を5~255秒の秒単位で入力します。
LDAPセキュリティー(ユー ザー情報)	接続するLDAPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、タイプを変更する場合は選択します。設定値は[使用しない]、[SSL/TLS]または[STARTTLS]です。

*1 WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。

*2 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。

*3 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActive Directoryの値が

displayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。

- *4 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のmailを使用します。
- *5 「ネットワーク認証」でサーバータイプを「Kerberos」に設定している場合に表示されます。

簡単ログイン設定とは

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があり ます。

🔕 参考

- ・ユーザーの登録は、次を参照してください。
- ◆新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」(9-5)
- ・簡単ログインを使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。
- ◆ユーザー管理を有効にする(9-3)
- ゲスト認可を有効にした場合、簡単ログイン画面は表示されません。

簡単ログイン設定を有効にする

簡単ログイン設定を有効にするかどうかを設定します。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユユーザー/部門管理]

🔕 参考

ューザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定] > [簡単ログイン設定] > [簡単ログイン]

2 設定する

[設定する]または[設定しない]を押します。

簡単ログインキーを登録する

簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定] > [簡単ログイン設定] > [簡単ログイン情報]

2 ユーザー情報を入力する

- 1 設定したいキーを選択します。
- 2 [+]を選択します。

システムメニュー/カウン	ノター画面です。		10.10
間単ロワイン設定 - 間 01 土 乳 中	単ロクイン11 戦	02 未弥安	
01 木設定	02 木設定	03 木設定	\sim
		<u></u>	
04 未設定	05 未設定	06 未設定	1/3
]		
07 未設定	08 未設定	09 未設定	
			\sim
メニュー		* 終了	
			لې

3 ユーザーをローカルユーザーから指定するときは[ローカルユーザー]を、ネットワークユーザーを指定する ときは[ネットワークユーザー]を選択します。

選択した指定方法によって、操作手順が異なります。

ローカルユーザーからユーザーを指定するとき

簡単ログインを設定するユーザーを選択してください。

🔕 参考

- [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並べ 替えができます。
- [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[検索(ログインユーザー名)]を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。

ネットワークユーザーからユーザーを指定するとき

システムメニュー/カウンタ	マー画面です。		10:10
新規登録 - ネットワークコ	Lーザー		
- 12 (1 - 12 - 12			
コクインユーサー名			• <u>ب</u> عب عد
			+
コグインパスワード			
			キーボード
.4			
	キャンセル	〈戻る	次へ>
			4

[ログインユーザー名]、[ログインパスワード]の[キーボード]を選択して登録するユーザーの情報を入力して、[OK]を選択してください。

ネットワーク認証でドメイン名を設定しているユーザーを指定するときは、「ドメイン名」でユーザーを登録しているドメ イン名を選択してください。

[次へ>]を選択してください。

🚫 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

◆文字の入力(12-10)

4 表示するユーザー名を入力して、[次へ>]を選択します。

🔕 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。 ◆文字の入力(12-10)

- 5 「パスワード認証」> [設定する]または[設定しない]を選択 > 「アイコン」
- 6 表示するユーザーのアイコンを選択します。

3 登録する

[登録]を選択します。

ICカード認証方法を設定する

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。

🔕 参考

- ・この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。
- ◆ICカード認証キット(B)<ICカード認証キット>(12-3)
- この機能は、ネットワーク認証ユーザーでログインしている場合は表示されません。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定] > [ICカード設定]

<mark>2</mark> 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値:許可する、禁止する
追加認証 ^{*1}	ICカードで認証後、パスワードを入力させるかどうかを設定します。 設定値:設定しない、パスワードを使う、PINコードを使う

*1 ネットワーク認証のサーバータイプを[NTLM]または[Kerberos]に設定している場合は表示されません。

PINコード認証を設定する

PINコード認証を使用するかどうかを設定します。

🔕 参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

◆ユーザー管理を有効にする(9-3)

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。 ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ユーザー管理設定] > [PINコード認証]

- 2 設定する
 - 1 [設定しない]または[設定する]を選択します。
 - 2 [OK]を選択します。

ユーザー管理を使う

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

▶ <u>□グインする (3-16)</u>

ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻りま す。

部門管理とは

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別にコピー/印刷/スキャン/ファクスの使用枚数を管理できる機能 です。



- 1 部門管理を有効にする(9-33)
- 2 部門を設定する(<u>9-34</u>)
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する(<u>9-51</u>)
- 4 使用枚数が集計される。

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。



TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

◆TWAINを使ったスキャンジョブを管理する(9-40)

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

◆WIAを使ったスキャンジョブを管理する(9-41)

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

◆パソコンから送信したファクスジョブを管理する(9-42)

ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

部門管理を有効にする

- 画面を表示する
 - 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

- 2 [部門管理設定] > [部門管理]
- 🤈 [設定する]を選択する

🔕 参考

- ・部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を選択してください。
- 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う 場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式を設定する

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワード の工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定] > [部門管理方式]

<mark>2</mark> 設定する

[ローカル]または[ネットワーク管理]を選択します。

🐼 参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

◆ユーザー管理を有効にする(9-3)

管理する部門を設定する[ローカル]

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門を新規に登録する[部門リスト]

登録可能件数:100部門まで

登録できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
部門名	入力可能文字数:32文字以内
部門名(フリガナ)	入力可能文字数:32文字以内
部門コード	入力可能範囲:0~99999999(8桁まで)

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワード の工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定]>[部門リスト]>[+]

2 部門情報を入力する

1 部門名を入力 > [次へ>]

🔕 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

◆文字の入力(12-10)

- 2 部門名(フリガナ)を入力 > [次へ>]
- 3 部門コードを入力 > [次へ]

🔕 参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

4 使用制限の方法を選択します。
 ◆使用制限を設定する(9-35)

5 [登録]を選択します。
 部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限を設定する

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。 制限できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。 ◆<u>コピー/プリンターのカウント方法を設定する(9-50)</u>

使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合

項目	詳細	
コピー制限(合計)	コピーの使用枚数を制限します。	
コピー制限(フルカラー)	フルカラーコピーの使用枚数を制限します。	
プリンター制限(合計)	印刷の使用枚数を制限します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パソコンからの印刷	
プリンター制限(フルカラー)	カラー印刷の使用枚数を制限します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パソコンからの印刷	
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。	
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。オプションのファクスキットを装着している場合 に表示されます。	

コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合

項目	詳細
印刷制限(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数を制限します。
印刷制限(フルカラー)	フルカラーコピーとカラー印刷の合計の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。オプションのファクスキットを装着している場合 に表示されます。

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限初期値	使用枚数を、1~9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。
制限枚数超過時の処理を設定する

制限枚数に達したときの処理を変更できます。

項目	詳細
即時禁止 ^{*1}	制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。
次ジョブから禁止	印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。
警告のみ	警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。

*1 送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

- 2 [部門管理設定] > [初期設定] > [制限超過時設定]
- <mark>2</mark> 設定する
 - 1 [即時禁止]、[次ジョブから禁止]、または[警告のみ]を選択します。
 - 2 [OK]を選択します。

部門情報を編集する

- 画面を表示する
 - 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定]>[部門リスト]

2 編集する

1 部門情報を変更する部門の[----]を選択します。



🚫 参考

- [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。
- [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。
- 2 変更する部門情報を選択して、部門情報を変更してください。
- 3 [登録] > [はい]

部門情報が変更されます。

部門を削除する

- 1 画面を表示する
 - 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定] > [部門リスト]

2 削除する

- 1 削除する部門を選択します。
- 2 [💼] > [はい]

部門が削除されます。

部門の印刷状況を管理する

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。

🚫 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。

the second se	13-15多人力(E)		
3-4. 85-03-4.	规时用	ユーザー名 (ホスト)	iðto(A)
			股票款(2)
			4836(g).
			12#1-HD.
			1778-1430
() ETREPAL () ETREPAL () ユーザー	コードを入力(コード) コードリストから選択 (ホスト) ごとに部門	10-1度増1200 20 12-1度増1200 12-10増12000	

2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]:特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設 定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]:印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]:印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部 門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]:印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録 されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

🚫 参考

部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

◆プリンタードライバー操作手順書

TWAINを使ったスキャンジョブを管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に > 「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[WAIN Driver Setting]を選択します。

🔕 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

2 本機を選択し、[編集]をクリックします。

スキャナー	名称 モデル	1670(<u>A</u>)
-	Contraction of the second	新·图象(<u>D</u>)
		編集(E)_
		通常使用に設定し

2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [部門ID]を選択して、部門コードを入力します。

-□ 認証(型) ログインユーザー名(]	_)
/(スワード(<u>P</u>)	

3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキャンジョブを管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。

🔕 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する

1 [設定]タブの[部門ID]を選択して、部門コードを入力します。

24+2-77623(3) 201001920	offici-freep]2
1943770125888 []1946])	1010 + (48)	
*c+0 OK+0		

2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信したファクスジョブを管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは Windows 8.1を例に説明します。

画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。。

🔕 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

2 設定する

1 [認証]タブの[部門管理]を選択します。

	×
送信オプション 送付 + 際証 送信元情報	_
ログインユーザー名: パスワード:	
 ○ 特定のコードを使用: ○ 送信時にコードを入力 	
OK \$77	216

2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]:特定の部門コードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとに部門コードを入力する必要がありません。

[送信時にコードを入力]:送信時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは送信するたびに入力する必要があります。

3 [OK]をクリックします。

部門管理を利用する

部門管理の初期設定をする

使用制限の初期値を設定します。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔞 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

2「部門管理設定」>「初期設定」>「カウンター制限初期値」

2 設定する

1 制限枚数の初期値を設定する項目を選択 > [+]、[-]またはテンキーで制限枚数の初期値を入力

項目		説明	
カウン	ター制限初期値	新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1 ~ 9,999,999 枚です。	
		設定できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にし ているかによって異なります。	
		◆コピー/プリンターのカウント方法を設定する(9-50)	
	コピー/プリンターカウン	ット方法が「個別」の場合	
	コピー制限(合計)	コピーの制限枚数の初期値を設定します。	
	コピー制限(フルカ ラー)	フルカラーコピーの制限枚数の初期値を設定します。	
	プリンター制限(合計)	印刷の制限枚数の初期値を設定します。	
		該当する印刷機能は次のとおりです。	
		・ ボックスからの印刷	
		• 外部メモリーからの印刷	
		・ パソコンからの印刷	
	プリンター制限(フル	カラー印刷の制限枚数の初期値を設定します。	
	カラー)	該当する印刷機能は次のとおりです。	
		・ ボックスからの印刷	
		• 外部メモリーからの印刷	
		・ パソコンからの印刷	
	その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。	
	ファクス送信制限 ^{*1}	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。オプションのファクスキットを装着し	
		ている場合に表示されます。	
	コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合		
	印刷制限(合計)	コピーとプリンター合計の制限枚数の初期値を設定します。	
	印刷制限(フルカラー)	フルカラーコピーとカラー印刷の制限枚数の初期値を設定します。	
	その他スキャン制限	コビー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。	
	ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。オブションのファクスキットを装着し エレス増合にまニされます	
		しいる場合に衣亦されまり。	

*1 オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。

2 [OK]を選択します。

3 他の制限枚数の初期値を設定する場合は、手順1、2を繰り返します。

用紙サイズ別に集計する

特定の用紙サイズ(例:A4)の使用枚数を集計することができます。

🔕 参考

用紙サイズは、1~5の5種類を指定することができます。この5種類の使用枚数は、部門レポートに記載されています。

◆部門レポートを印刷する(9-49)

用紙サイズ指定時に、合わせて用紙種類も指定できます(例:A4サイズでカラー用紙の使用枚数を集計する)。用紙種類を 指定しない場合は、用紙種類に関係なく指定した用紙サイズの使用枚数が集計されます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

- 2 [部門管理設定] > [初期設定] > [用紙サイズ別集計] > [用紙サイズ1(~5)]
- 2 設定する
 - 1 [設定する]を選択します。
 - 2 指定する用紙サイズを選択します。
 - 3 用紙種類を指定する場合は、[用紙種類]を選択します。
 - 4 指定する用紙種類を選択して、[OK]を選択します。
 - 5 [OK]を選択します。

使用枚数を集計する

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリ セットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定] > [全部門集計] または[部門別集計]

2 設定する

参照できる項目は次のとおりです。

	項目	説明。
印刷	ページ数	コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。また、「ファク ス」、「用紙サイズ別集計」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認で きます。
用紙	サイズ別集計	
	コピー(白黒)	白黒コピーの使用枚数が表示されます。
	コピー(フルカラー)	フルカラーコピーの使用枚数が表示されます。
	コピー(合計)	コピーの使用枚数が表示されます。
	プリンター(白黒)	 白黒印刷の使用枚数が表示されます。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 パソコンからの印刷
	プリンター(フルカラー)	 フルカラー印刷の使用枚数が表示されます。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ボックスからの印刷 外部メモリーからの印刷 パソコンからの印刷
	プリンター(合計)	プリンターの使用枚数が表示されます。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ ボックスからの印刷 ・ 外部メモリーからの印刷 ・ パソコンからの印刷
	コピー/プリンター(白黒)	白黒コピーと白黒印刷の合計の使用枚数が表示されます。
	コピー/プリンター(フルカラー)	フルカラーコピーとフルカラー印刷の合計の使用枚数が表示されます。
	コピー/プリンター(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数が表示されます。
	ファクス ^{*1}	ファクス受信の使用枚数が表示されます。
	合計	合計の使用枚数が表示されます。
	両面集計	両面(片面印刷)、両面(両面印刷)およびその合計の使用枚数が確認できます。
	集約集計	集約(なし)、集約(2 in 1)、集約(4 in 1)、およびその合計の使用枚数が確認できます。
	用紙サイズ別集計	特定の用紙サイズ、およびその他の用紙の使用枚数が表示されます。
読み	込みページ数	コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使 用枚数が表示されます。
ファ	クス送信ページ ^{*1}	ファクス送信の使用枚数が表示されます。
ファ	クス送信時間 ^{*1}	ファクス送信の使用時間が表示されます。
カウ	ンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を選択してください。

*1 オプションのファクスキットが装着されている場合に表示されます。

全部門の使用枚数を集計する

全部門の使用枚数を集計します。

画面を表示する

集計を参照する機能を選択します。

2 参照する

- 1 集計結果を参照します。
- 2 内容を確認したら、[終了]を選択します。

部門別の使用枚数を集計する

部門別の使用枚数を集計します。

画面を表示する

- 1 集計を参照する部門を選択します。
- 2 [----]を選択します。

🔕 参考

- [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができ ます。自部門以外を表示するときは[その他部門を選択]を選択してください。
- ・[メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。
- 参照する機能を選択します。
 集計結果が表示されます。
- 4 内容を確認したら、[終了]を選択します。

部門レポートを印刷する

全部門で集計された枚数を、部門レポートとして印刷できます。 レポートは、コピーとプリンターの枚数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。 コピーとプリンターの管理方法が「個別」の場合

部門管理	理レポート	KADCEK9
Firmware Version		

1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理] > [部門管理設定]

🚫 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400 ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

3 印刷する

[部門管理レポート印刷] > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

コピー/プリンターのカウント方法を設定する

コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。この選択によって、 使用枚数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

- ◆ 使用制限を設定する (9-35)
- ◆ 使用枚数を集計する (9-46)
- ◆部門レポートを印刷する (9-49)

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🚳 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400, TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [部門管理設定] > [初期設定] > [コピー/プリンターカウント方法]

2 設定する

- 1 [合計]または[個別]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

ログイン/ログアウトする(部門管理)

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログインする(部門管理)

本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、次の操作をしてください。

1 テンキーで部門コードを入力>[ログイン]

🔕 参考

- ・入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- [カウンター参照]を選択すると、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力 する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門 情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

◆新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」(9-5)

⑦ 通常の操作を行う

ログアウトする(部門管理)

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

不明ユーザー処理方法を設定する

ID不明ジョブ処理を設定する

ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [ID不明ジョブ処理]を選択します。

2 設定する

[拒否する]または[許可する]を選択します。

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録すると、ジョブ状況画面やジョブ履歴画面で確認できるようになります。また、使用できる機能を制限することができます。

🔕 参考

この設定は、[ID不明ジョブ処理]を[許可する]にしている場合に表示されます。

画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 [不明ユーザー設定] > [ユーザー情報]を選択します。

2 ユーザー情報を登録する

各項目を設定 >[OK]

項目	詳細
ユーザー名	ユーザー名を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
部門名	 ID不明ユーザーに部門を登録します。 ◆部門管理とは(9-32) 参考 「メニュー]> [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門 コードで検索ができます。 [メニュー]> [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門リストの並べ 替えができます。
	 部門管理が有効になっているときに表示されます。
認可情報	 使用制限を設定します。 使用制限できる項目は次のとおりです。 プリンター制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 パソコンからの印刷 プリンターの印刷機能(フルカラー): プリンターの印刷機能(フルカラー)を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 パソコンからの印刷

10 メンテナンス

この章では、次の項目	目について説明します。	
日常のお手入れ	h	10-2
原稿ガ	ラスを清掃する	10-2
スリッ	ヽガラスを清掃する	10-2
消耗品の交換	と補充	10-4
トナーコ	コンテナを交換する	10-4
廃棄トコ	ナーボックスを交換する	10-7
用紙をネ	甫給する	10-9

日常のお手入れ

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。

▲ 注意 本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスと、原稿押さえまたは原稿送り装置のうら面をアルコールまたはうすい中性洗剤をつけた柔らかい布で拭い てください。

✓ 重要 シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。





スリットガラスを清掃する

原稿送り装置を使用している場合、付属の清掃用布でスリットガラスと読み取りガイドの表面を拭いてください。

🔕 参考

スリットガラスや読み取りガイドの汚れは、出力紙に黒いすじなどが写る原因となります。

1 清掃用布を取り出す



2 スリットガラスと読み取りガイドを清掃する





消耗品の交換と補充

トナーがなくなったときやカセットの用紙がなくなったときは、本体の画面にメッセージが表示されます。メッセージ に従って、消耗品を交換および補充してください。

トナーコンテナを交換する

トナーがなくなったときは、次のメッセージが表示されます。トナーコンテナを交換してください。

「トナーがありません。」

また、トナー残量が少なくなると次のメッセージが表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

「トナーが残り少なくなっています。(なくなったら交換)」

🔕 参考

- トナーコンテナは、必ず純正品を使用してください。純正品を使用しない場合、画像不良や故障の原因となります。
- ・本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。





> トナーコンテナを取り出す



3 使用済みトナーコンテナを廃棄用ポリ袋に入れる





✓ 重要

破線部分は手で触らないでください。













トナーコンテナは、奥まで挿入してください。





🚫 参考

- 前カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しく装着されているか確認してください。
- ・使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元の販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスがいっぱいになったときは、次のメッセージが表示されます。廃棄トナーボックスを交換してくだ さい。

「廃棄トナーボックスを確認してください。」



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

1 前カバーを開ける



2 廃棄トナーボックスを取り出す



3 使用済み廃棄トナーボックスを廃棄用ポリ袋に入れる



4 新しい廃棄トナーボックスを取り出す



5 廃棄トナーボックスを装着する







🚫 参考

使用後、不要となった廃棄トナーボックスは、購入元の販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。 回収された廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理され ます。

用紙を補給する

給紙段の用紙がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。用紙を補給してください。 「カセット〇に以下の用紙を補給してください。」(〇はカセットの番号) 「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」

◆<u>カセット1(~3)に用紙をセットする(3-21)</u>

◆ <u>手差しトレイに用紙をセットする (5-7)</u>

🚫 参考

用紙を補給したとき、[用紙セット時の確認]を[設定する]に設定している場合は、用紙設定の確認画面が表示 されます。用紙を変更した場合、[変更]を選択して、用紙の設定を変更してください。

- ▶[カセット1(~3)] (8-9)
- ◆[手差しトレイ](8-10)

11 トラブルシューティング

この章では、次の項目について説明します。	
一般的なトラブル	11-2
トラブルが発生したら	11-2
機械動作のトラブル	11-3
画像のトラブル	11-6
カラー印刷のトラブル	11-9
こんな表示がでたら	11-10
メッセージが表示されたら	11-10
エラーメッセージー覧	11-10
送信エラーコード一覧	11-21
調整/メンテナンスメニュー	11-24
調整/メンテナンスメニューについて	11-24
カラー印刷位置補正を実行する	11-24
キャリブレーションを実行する	11-30
レーザースキャナークリーニングを実行する	11-30
階調調整を実行する	11-31
ドラムリフレッシュを実行する	11-33
紙づまりの解除	11-34
紙づまり表示の見かたと位置の確認	11-34
手差しトレイの紙づまりを除去する	11-35
右カバー1の紙づまりを除去する	11-36
カセット1、2、3の紙づまりを除去する	11-37
右カバー2、3の紙づまりを除去する	11-38
原稿送り装置の紙づまりを除去する	11-41

一般的なトラブル

トラブルが発生したら

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する 処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみて ください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

🔇 参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。 シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。 ◆機器情報を表示する(3-11)

機械動作のトラブル

機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立 ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が 短くありませんか?	オートパネルリセットの設定時間を 30秒以上に設定してください。	<u>8-56</u>
電源を入れても、画面 に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接 続してください。	<u>2-9</u>
[スタート]キーを押し ても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていま せんか?	メッセージに対する処理方法を確認 して、適切な処理を行ってください。	<u>11-10</u>
	スリープ状態になっていませんか?	操作パネルのいずれかのキーを押し てください。	<u>2-23</u>
何も印刷しない。	原稿が正しくセットされています か?	原稿ガラスに原稿をセットするとき は、原稿を下向きにし、原稿サイズ指 示板に合わせてセットしてください。	<u>5-3</u>
		原稿送り装置に原稿をセットすると きは、原稿を上向きにセットしてくだ さい。	<u>5-5</u>
	_	アプリケーションソフトの設定を確 認してください。	_
紙づまりがたびたび起 こる。	用紙が正しくセットされています か?	用紙を正しくセットしなおしてくだ さい。	<u>3-21</u>
	_	用紙をカセットから一度取り出し、用 紙のセット方向を前後180度変えて ください。	3-21
	用紙の種類や保管状態は正しいです か?	用紙をカセットから一度取り出し、裏 返してからセットし直してください。	<u>3-21</u>
	用紙がカールしたり、折れやシワがあ りませんか?	新しい用紙に交換してください。	<u>3-19</u>
	つまった用紙や紙片が本機内部に 残っていませんか?	つまった用紙を取り除いてください。	<u>11-34</u>
用紙が2枚以上重なっ てでる。(重送) ABC 123		用紙を正しくセットしなおしてください。	<u>3-20</u>
 用紙にシワが発生す る。	用紙が正しくセットされています か?	用紙を正しくセットしなおしてくだ さい。	<u>3-19</u>
ABC 123	—	用紙をカセットから一度取り出し、用 紙のセット方向を前後180度変えて ください。	<u>3-19</u>
{ }	用紙が湿っていませんか?	新しい用紙と交換してください。	<u>3-21</u>
		頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。	<u>2-4</u>

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙にカールが発生する。	_	用紙をカセットから一度取り出し、用 紙を裏返してセットし直す、または用 紙のセット方向を前後180度変えて ください。	3-21
123	用紙が湿っていませんか?	新しい用紙と交換してください。	<u>3-19</u>
		頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。	<u>2-4</u>
プリンタードライバー がインストールできな い。	Wi-FiまたはWi-Fi Difrect機能が使用 できる状態で、ドライバーをホスト名 でインストールしていませんか?	ホスト名の代わりにIPアドレスを指 定してください。	<u>2-27</u>
印刷が開始されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接 続してください。	<u>2-9</u>
	電源が入っていますか?	電源スイッチを入れてください。	<u>2-10</u>
	USBケーブルやネットワークケーブ ルが、正しく接続されていますか?	USBケーブルやネットワークケーブ ルを確実に接続してください。	<u>2-8</u> 2-9
	印刷ジョブが一時中止になっていま せんか?	印刷を再開してください。	<u>7-9</u>
	名前解決を使った有線およびWi-Fi ネットワークを設定している場合、ア クセスできないもう一方のネット ワークのIPアドレス(プライベートア ドレス)が混在していませんか?	本機で使用できるホスト名およびド メイン名はそれぞれ1つずつです。こ の制限事項を考慮してネットワーク の運用設定をしてください。	_
		Command Center RXで、NetBEUIや DNSなどの名前解決の設定を変更す るか、ネットワーク環境の設定を変更 してください。	CommandCen ter RX操作手 順書
		優先ネットワーク(クライアント)で、 制限なく使用するネットワークとし てWi-Fi、有線またはオプションネッ トワークを選択してください。	<u>8-50</u>
		プロトコル設定で[有線]または[Wi- Fi]のどちらか一方を[有効]に、もう 一方を[無効]に設定してください。	<u>8-40</u>
USBメモリーで印刷で きない。	USBホストの設定が、ブロックする] になっていませんか?	USBホストの設定を、[ブロックしな い]に変更してください。	<u>8-50</u>
USBメモリーを認識し ない。	_	USBメモリーが、本機にしっかり接 続されているか確認してください。	_
[Auto-IP]を[使用する] に設定したが、IPアド レスが取得できない。	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0以 外のアドレスが設定されていません か?		2-13

現象	確認事項	処置	参照ページ
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続 されていますか?	ネットワークケーブルを確実に接続 してください。	<u>2-8</u>
	本体側のネットワーク設定は正しく 設定されていますか?	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	<u>8-37</u>
	フォルダーの共有設定は正しく設定 されていますか?	フォルダーのプロパティで共有設定、 アクセス許可を確認してください。	<u>3-26</u>
	「SMBクライアント(送信)」が[使用し ない]になっていますか?	「SMBクライアント(送信)」を、[使用 する]に変更してください。	<u>8-40</u>
	[ホスト名]を正しく入力しました か? ^{*1}	データの宛先になるコンピューター 名を確認してください。	<u>5-16</u>
	[パス]を正しく入力しましたか?	共有フォルダーの共有名を確認して ください。	<u>5-16</u>
	[ログインユーザー名]を正しく入力 しましたか? ^{*1*2}	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	<u>5-16</u>
	[ホスト名]と[ログインユーザー名] のドメイン名が同じになっていませ んか?	[ログインユーザー名]に入力されて いるドメイン名と「¥」を削除してく ださい。	<u>5-16</u>
	[ログインパスワード]を正しく入力 しましたか?	ログインパスワードを確認してくだ さい。	<u>5-16</u>
	Windows ファイアウォールの例外設 定は正しく設定されていますか?	Windows ファイアウォールの例外設 定を正しく設定してください。	<u>3-30</u>
	本体、ドメインサーバー、データの宛 先になるパソコンの時間設定がずれ ていませんか?	本体、ドメインサーバー、データの宛 先になるパソコンの時間設定を合わ せてください。	_
	画面に「送信エラーです。」と表示され ていませんか?	送信エラーコードを参照してくださ い。	<u>11-21</u>
Wi-Fi Directを使って 本機に接続できない。	3台の携帯端末が同時に接続されて いませんか?	接続中の携帯端末を手動で接続解除 するか、自動切断で接続時間を設定し て接続を解除した後、接続を設定して ください。	<u>8-32</u>
メールが送信できな い。	本機に登録しているSMTPサーバー でメールの送信サイズに制限があり ませんか?	Command Center RXの[メール送信 のサイズ制限] >「アドレス帳管理」 に制限値が入力されているかどうか を確認し、必要に応じて設定を変更し てください。	<u>2-45</u>
排紙口付近から湯気が 出る	本機を使用している場所の温度が低 くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使 用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態に よっては、用紙に含まれる水分が、印 刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気 が煙のように見える場合があります。 そのまま印刷を続けても問題はあり ません。水蒸気が気になる場合は、室 内温度を上げるか、湿気の少ない新し い用紙に交換してください。	_

*1 ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。(例:pc001.abcdnet.com)

*2 ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。 ドメイン名¥ユーザー名(例:abcdnet¥yamada) ユーザー名@ドメイン名(例:yamada@abcdnet)

画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像が全体的にうす	用紙が湿気を含んでいませんか?	新しい用紙に交換してください。	<u>3-19</u>
ABC ABC		頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。	<u>2-4</u>
	濃度を変更していますか?	適切な濃度に設定してください。	<u>6-12</u> <u>8-58</u>
	トナーコンテナをよく振りました か?	トナーコンテナを数回左右に振って ください。	<u>10-4</u>
	エコプリントを設定していません か?	[エコプリント]の設定を、[設定しな い]に切り替えてください。	<u>6-14</u>
	_	[ドラムリフレッシュ]を実行してく ださい。	<u>11-33</u>
	—	用紙種類の設定が正しいか確認して ください。	<u>8-9</u>
画像の白地部分が全体 的に灰色に見える。 ABC 123	濃度を変更していますか?	適切な濃度に設定してください。	<u>6-12</u> <u>8-58</u>
モアレ(網点が均等に 配列されず斑紋が出る 状態)が発生する。	写真が印刷された原稿ですか?	[原稿の画質(コピー)]または、[原稿 の画質(送信/保存)]を[写真]に設定 してください。	<u>6-13</u>
文字がはっきり印刷さ れない。 ABC 123	原稿の種類に合った画質を選択して いますか?	[原稿の画質(コピー)]または、[原稿 の画質(送信/保存)]で適切な画質を 選択してください。	<u>6-13</u>
画像の白地部分に黒点 が入る。 ABC 123	原稿押さえ面や原稿ガラスが汚れて いませんか?	原稿押さえ面や原稿ガラスを清掃し てください。	<u>10-2</u>

現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷がぼける	湿気が高い、または急激に温度や湿度 が変化する場所で使用していません	湿度が適切な環境で使用してくださ い。	_
123		頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。	2-4
	_	[ドラムリフレッシュ]を実行してく ださい。	<u>11-33</u>
画像の位置がズレる。	原稿が正しくセットされています か?	原稿ガラスに原稿をセットする場合 は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に 合わせてください。	<u>5-3</u>
ABC 199		原稿送り装置に原稿をセットする場 合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせ てから原稿をセットしてください。	<u>5-5</u>
	用紙が正しくセットされています か?	カセットの用紙幅ガイドの位置を確 認してください。	<u>3-21</u>
	_	[センターライン調整を実施してくだ さい。調整の仕方については、サービ ス担当者にご連絡ください。	
縦線が入る。 ABC 123	スリットガラスが汚れていません か?	スリットガラスを清掃してください。	<u>10-2</u>
用紙の先端や裏側が汚 れる 123 123 123	本体内部が汚れていませんか?	右カバーを開け、本体内部がトナーな どで汚れている場合は、乾いた柔らか い布で拭き取ってください。	
画像の一部が周期的に うすい、ぼやける、また	現像ユニット、ドラムユニットが正し くセットされていますか?	現像ユニット、ドラムユニットが正し くセットしなおしてください	_
は白いすじが入る。	_	右カバーを開けて、閉めなおしてくだ さい。	_
	_	[ドラムリフレッシュ]を実行してく ださい。	<u>11-33</u>
	_	頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。	<u>2-4</u>
うら面の印刷が写り込 む。 ABC 123		[うら写り防止(コピー)]または[うら 写り防止(送信/保存)]を[設定する] にしてください。	<u>6-20</u>

現象	確認事項	処置	参照ページ
原稿の地色が気にな る。	_	[地色調整]を実行してください。	<u>6-19</u>
印刷で思ったとおりの 濃淡がでない。	_	[階調調整]を実行してください。	<u>11-31</u>

カラー印刷のトラブル

カラー印刷のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
色ずれが起こる。 ABC	_	[キャリブレーション]を実行してく ださい。	<u>11-30</u>
		[カラー印刷位置補正]を実行してく ださい。	<u>11-30</u>
印刷で思ったとおりの 色がでない。	原稿の種類に合った画質を選択して いますか?	適切な画質を選択してください。	<u>6-13</u>
	給紙元にカラーコピー専用紙がセッ トされていますか?	カラーコピー専用紙をセットしてく ださい。	_
		[キャリブレーション]を実行してく ださい。	<u>11-30</u>
	_	[階調調整]を実行してください。	<u>11-31</u>
	_	【コピーの場合】 カラーバランスを調整してください。	<u>6-16</u>
	_	【パソコンからの印刷の場合】 プリンタードライバーでカラーの調 整をしてください。	
「システムメニューの 階調調整を実行してく ださい。」と表示され た。	長期間の使用、周辺の温度や湿度の影響により、カラー出力の色合いにズレが起こった可能性があります。	[階調調整]を実行してください。	11-31
カラートナーがなく なった。	白黒で印刷しますか?	黒トナーがある場合、「カラートナー なし時の印刷」の[すべて白黒で印刷 する]を設定すると、一時的に白黒で 印刷できます。	<u>8-19</u>
こんな表示がでたら

メッセージが表示されたら

画面にメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、主電源スイッチを一度切り、5秒以上あけて主電源スイッチを入れてください。それでも問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

🚫 参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。 シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。 ◆機器情報を表示する(3-11)

エラーメッセージー覧

画面に次のようなエラーメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

英数字

現象	確認事項	処置	参照ページ
Google Cloud Printに 登録します。よろしい ですか?	_	本機にGoogle Cloud Printのデバイス 登録要求が来ると表示されます。[は い]を選択すると、本機がGoogle Cloud Printのデバイスとして登録さ れます。[いいえ]を選択すると、デバ イス登録をキャンセルします。	<u>5-48</u>
ICカード情報を読み取 れません。	_	IC カード情報の登録時、IC カード情報を正しく読み取れませんでした。もう一度IC カードをIC カード読取部にかざしてください。 同じメッセージが再度表示されるときは、本製品に対応していないIC カードの場合があります。別のIC カードと交換してください。	<u>9-7</u>
KPDLエラーです。	_	PostScriptエラーが発生しました。 ジョブは中止されます。[終了]を選択 してください。	_
MKを交換してくださ い。(A)(B)		約200,000イメージの印刷ごとにメ ンテナンスキットによる部品交換が 必要です。購入元または弊社お客様相 談窓口に連絡してください。	_
MK交換間近です。 (A)(B)	_	部品の交換時期が近づいています。メ ンテナンスキットを準備してくださ い。購入元または弊社お客様相談窓口 に連絡してください。	_

現象	確認事項	処置	参照ページ
RAMディスクエラーで ー す。		RAMディスクでエラーが発生しまし た。ジョブは中止されます。[終了]を 選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04:RAMディスク上の空き容量が足 りません。オプションのRAMディス クを装着している場合は、[システム メニュー/カウンター]キー>[システ ム/ネットワーク]>「RAMディスク設 定」でRAMディスクサイズを大きく してください。	<u>8-52</u>
		参考 RAMディスクサイズの設定範囲は、 「オプションメモリー使用量」の設定 で[プリンター優先]を選択すると大 きくなります。	
SSDエラーです。		SSDでエラーが発生しました。ジョ ブは中止されます。[終了]を選択し てください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:一度に保存できるデータ容量を 超えています。電源をOFF/ONしてく ださい。エラーが解消されない場合は ファイルを分割してください。それで も解消されない場合は、指定された ファイルが壊れている可能性があり ます。ファイルを削除してください。 04:SSD上の空き容量が足りません。 データを移動する、または不要なデー タを削除してください。 ③ 参考 システムの初期化を実行するとSSD に保存されているデータは削除され ますのでご了承ください。	-

あ行

現象	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検 出できませんでした。		アクセスポイントが正しく設定され ているか確認してください。	<u>2-15</u>
以下の用紙は仕分けで きません。	仕分けできないサイズ、種類の用紙を 選択していませんか?	仕分け可能な用紙を選択する場合は、 [用紙選択]を選択してください。仕分 けを解除して印刷をする場合は、[継 続]を選択してください。	<u>6-10</u>
以下の用紙は両面印刷 できません。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙 を選択していませんか?	両面印刷可能な用紙を選択する場合 は、[用紙選択]を選択してください。 両面印刷を解除して印刷をする場合 は、[継続]]を選択してください。	<u>6-25</u>

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
階調調整を実行してく ださい。	長期間の使用、周辺の温度や湿度の影響により、印刷の濃淡にズレが起こった可能性があります。	[階調調整]を実行してください。	<u>11-31</u>
外部メモリーエラーで す。	外部メモリーが書き込み禁止になっ ていませんか?	外部メモリーにエラーが発生しまし た。ジョブは中止されます。[終了]を 選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:書込み可能な外部メモリーを接 続してください。	_
		外部メモリーにエラーが発生しまし た。ジョブは中止されます。[終了]を 選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:一度に保存できるデータ容量を 超えています。システムを再起動、ま たは電源をOFF/ONしてください。エ ラーが解消されない場合はファイル を分割してください。それでも解消さ れない場合は外部メモリーが本機の 仕様に適していません。本機で [フォーマット]を実行してください。 フォーマットできない場合は外部メ モリーが壊れています。適応する外部 メモリーを接続してください。	7-10
外部メモリーがフォー マットされていませ ん。フォーマットしま す。よろしいですか?	外部メモリーを本機でフォーマット しましたか?	本機で[フォーマット]を実行してく ださい。	7-10
外部メモリーの容量が いっぱいです。		ジョブは中止されます。[終了]を選択 してください。 外部メモリーの空き容量が足りませ ん。不要なファイルを削除してください。	_
カセット1が故障して います。(1~3)		サービス担当者にご連絡ください。	_
カセット1でエラーが 発生しました。	-	カセットを取り外してください。[次 へ>]を選択してください。	_
カセット1に以下の用 紙を補給してくださ い。(1~3)	表示されている給紙元の用紙がなく なっていませんか?	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合 は、[用紙選択]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[継 続]を選択してください。	<u>3-21</u>
カセットが抜けていま す。	_	給紙できません。画面に表示されてい るカセットをセットしてください。	_
カ <mark>バーが開いていま</mark> す。		画面に表示されているカバーを閉じ てください。	-
	原稿送り装置のカバーが開いていま せんか?	原稿送り装置のカバーを閉じてくだ さい。	_

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
紙づまりです。	_	紙づまりが発生すると、印刷が停止 し、ガイダンスが画面に表示されま す。電源を入れたまま、ガイダンスに 従って取り除いてください。	<u>11-34</u>
起動エラーです。	_	電源スイッチを入れ直してください。 問題が解決しない場合は管理者に連 絡してください。	<u>2-9</u>
キャリブレーション中 です。	_	品質保持のため、機械が調整モードに 入ってます。しばらくお待ちくださ い。	_
原稿送り装置の原稿を 取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませ んか?	原稿送り装置の原稿を取り除いてく ださい。	<u>11-41</u>
原稿送り装置を確認し てください。	原稿送り装置が開いていませんか?	原稿送り装置を閉じてください。原稿 送り装置のカバーを閉じてください。	<u>11-41</u>
現像ユニットが抜けて います。 [C][M][Y][K]	_	現像ユニットをセットしてください。 交換方法は現像ユニットに同梱され たチラシをご覧ください。	_
高温環境です。室温調 整してください。	_	機械設置場所の空調温度を調整して ください。	_
故障が発生しました。		本機内部で異常が発生しています。画 面に表示されているエラーコードを 書きとめて、サービス担当者にご連絡 ください。	_
このICカードはすでに 他のユーザーが使用し ているため、登録でき ません。	_	ご使用のIC カードは、すでに登録さ れています。別のIC カードと交換し てください。	_
このジョブは実行でき ません。		ユーザー認可または部門管理で使用 が禁止されているため、このジョブは 中止されます。[終了]を選択してくだ さい。	_
このユーザーはロック されています。	_	管理者に連絡してください。 ジョブは中止されます。[終了]を選択 してください。	_

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
最大接続数を超えるた め接続できません。	3台の携帯端末が同時に接続されて いませんか?	使用していない携帯端末の接続を解除 するか、または、本機の自動切断時間を 設定して、携帯端末の接続を切断して ください。	_
システムエラーです。	_	システムエラーが発生しています。画 面に表示された手順に従って処理して ください。	
指定外のトナーです。	装着されたトナーは純正消耗品(指定 トナー)ですか?	純正消耗品以外の消耗品(指定外ト ナー)が原因の故障については、責任を 負いかねます。	<u>10-4</u>
指定外のトナーが装着 されています。 PC [C][M][Y][K]	装着されたトナーの販売地域が、本体 販売地域と一致していますか?	本体販売地域と一致したトナーを使用 してください。	<u>10-4</u>
指定外のトナーに起因 する不具合は責任を負 いかねます。	装着されたトナーは純正消耗品(指定 トナー)ですか?	純正消耗品以外の消耗品(指定外ト ナー)が原因の故障については、責任を 負いかねます。このまま使用される場 合は[次へ]を選択してください。	<u>10-4</u>
指定された部数を印刷 できません。	USBメモリーに保存されているデー タを印刷しますか?	1部だけ印刷することができます。印 刷する場合は[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を 選択してください。	<u>8-51</u>
		同し原稿を印刷する場合は、次の探作 で実行できる場合があります。	
		・一度に印刷する部数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で	
		実行できる場合があります。 ・[システムメニュー/カウンター]キー >[システム/ネットワーク]>「オプショ ンメモリー使用量」で[コピー優先]を 選択する	
		🔕 参考	
		「オプションメモリー使用量」の設定値 を変更する場合は管理者にご相談くだ さい。	
	_	1部だけ印刷することができます。印 刷する場合は[継続]を選択してくださ い。ジョブを中止する場合は[中止]を 選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作	_
		で実行できる場合があります。 ・プリンターのプロパティ設定の「デバ イス設定」タブで[RAMディスク]の チェックをめす	
		◎ 参考	
		[RAMディスク]のチェックを外した 場合、印刷が終了したら設定を元に戻 してください。印刷速度が落ちる場合 があります。	
準備中です。		品質保持のため、機械が調整モードに 入っています。しばらくお待ちくださ い。	

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ジョブセパレータート レイが用紙オーバーで す。	ジョブセパレータートレイに収納で きる枚数を超えていませんか?	画面に表示されているガイダンスに 従って、ジョブセパレータートレイか ら用紙を取り出してください。	_
ジョブ保留のデータを 保存できませんでし た。		ジョブは中止されます。[終了]を選択 してください。 ジョブボックスの空き容量が足りませ ん。ジョブボックスの原稿を印刷また は削除してから、再度操作してください。	
スキャナーのメモリー 不足です。		メモリー不足のため、処理できません。 読み込んだページを1部だけ印刷する ことができます。[継続]を選択すると 読み込みが終了しているページを印 刷、送信、または保存します。[中止]を 選択すると印刷、送信、または保存を中 止します。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作 で実行できる場合があります。 ・一度に読み込む原稿枚数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で 実行できる場合があります。 ・「システムメニュー/カウンター]キー >[システム/ネットワーク]>「オプションメモリー使用量」で[コピー優先]を 選択する 参考 「オプションメモリー使用量」の設定値 を変更する場合は管理者にご相談くだ さい	<u>8-51</u>
全ての原稿を再セット し[継続]を押してくだ さい。	_	原稿送り装置から原稿を取り出し、元 の順番に並べてセットしなおしてくだ さい。[継続]を選択すると、印刷が再開 されます。ジョブを中止するときは、 [中止]を選択してください。	_
スリットガラスが汚れ ています。	_	原稿送り装置付属の清掃用布でスリッ トガラスを清掃してください。	<u>10-2</u>
セキュリティー機能を 実行中です。	_	セキュリティー機能を実行中です。し ばらくお待ちください。	_
接続できません。	_	Wi-FiまたはWi-Fi Directの接続が完了 しなかった場合に表示されます。設定 内容や電波の状態を確認してくださ い。	-
送信エラーです。	_	送信中にエラーが発生しました。ジョ ブは中止されます。[終了]を選択して ください。エラーコードとその詳細は 送信エラーコードー覧を参照してくだ さい。	11-21
送信ジョブの予約制限 数を超えました。		タイマー送信をセットできる件数を超 えています。[終了]を選択してくださ い。このジョブは中止されます。 タイマー送信が実行されるのを待つ か、タイマー送信をキャンセルしてか ら、再度操作してください。	

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
中間転写ユニットが抜 けています。		中間転写ユニット(r)をセットしてく ださい。交換方法は中間転写ユニット に同梱されたチラシをご覧ください。	_
調整中です。	_	品質保持のため、機械が調整モードに 入っています。しばらくお待ちくださ い。	_
低温環境です。室温調 整してください。	_	機械設置場所の空調温度を調整して ください。	—
定着ユニットが抜けて います。	_	定着ユニットをセットしてください。 交換方法は定着ユニットに同梱され たチラシをご覧ください。	_
手差しから以下の設定 で印刷します。	—	画面に表示されている用紙をセット して[継続]を押してください。	—
手差しトレイに以下の 用紙を補給してくださ い。	給紙元に設定している用紙サイズと 実際に給紙した用紙サイズが異なっ ていませんか?	印刷する場合は[継続]を選択してく ださい。 ジョブを中止する場合は[中止]を選 択してください。	<u>5-7</u>
	表示されているカセットの用紙がな くなっていませんか?	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合 は、[用紙選択]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[継 続]を選択してください。	<u>3-21</u>
トナー[C][M][Y][K]が ありません。	_	トナーコンテナを交換してください。	<u>10-4</u>
トナーが残り少なくなっ ています。[C,M,Y,K]((なくなったら交換)	_	トナーコンテナの交換時期が近づい ています。トナーコンテナを準備して ください。	<u>10-4</u>
トナーコンテナが正し く装着されていませ ん。	トナーコンテナが正しく装着されて いますか?	トナーコンテナを正しく装着してく ださい。	<u>10-4</u>
トナーコンテナを確認 してください。	_	本体前カバーを開け、トナーコンテナ を取り出してください。トナーコンテ ナをよく振り再度セットしてください。	<u>10-4</u>
ドラムユニットが抜け ています。	_	ドラムユニットをセットしてくださ い。交換方法はドラムユニットに同梱 されたチラシをご覧ください。	_
ドラムリフレッシュ実 行中です。	_	品質保持のため、機械が調整モードに 入っています。しばらくお待ちくださ い。	11-24

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイが用紙オー バーです。	_	内部トレイから用紙を取り出してく ださい。	_
認識できません。	_	ご使用のIC カードが登録されている か確認してください。	<u>9-29</u>

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
認証サーバーに接続で きません。	_	本機の時刻とサーバーの時刻を合わ せてください。	2-12
		ドメイン名を確認してください。	<u>9-3</u>
		ホスト名を確認してください。	<u>9-3</u>
		サーバーとの接続状況を確認してく ださい。	_

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーボックスを 確認してください。	廃棄トナーボックスがいっぱいに なっていませんか?	廃棄トナーボックスを交換してくだ さい。	<u>10-7</u>
	_	廃棄トナーボックスが正しくセット されていません。廃棄トナーボックス を正しくセットしてください。	<u>10-7</u>
ファクスポーリング受 信に使用できる宛先は 1件のみです。宛先を再 設定してください。	ポーリング受信の相手先を複数指定 していませんか?	ー度に指定できるポーリング受信の 相手先は1件です。宛先を設定しなお してください。	_
付属電話機の受話器が はずれています。	_	受話器を戻してください。	_
部門管理の制限を超え ました。	部門管理で設定されている制限ペー ジ数を超えていませんか?	部門管理で設定されている制限ペー ジ数に達したため、これ以上印刷でき ません。 このジョブは中止されます。[終了]を 選択してください。	_
部門管理の設定に失敗 しました。	_	外部からジョブを実行する際に、部門 管理の設定に失敗しました。ジョブは 中止されます。[終了]を選択してくだ さい。	-
部門コードが違いま す。	_	外部からジョブを実行する際に、部門 コードが間違っています。ジョブは中 止されます。[終了]を選択してくださ い。	_

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
文書情報を送信できませんでした。	本機およびスキャンした画像が送信 されるパソコンはネットワークに接 続されていますか?	ネットワークを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ ホスト名またはIP アドレス ・ ポート番号	2-6
	スキャンした画像が送信される共有 フォルダーへアクセスするためのア カウント(ユーザーID、パスワード)情 報が誤っていませんか?	スキャンした画像が送信されるパソ コンの設定を確認してください。 ・ ホスト名 ・ パス ・ ユーザー管理設定	_
		 参考 ドメインユーザーの場合はドメイン 名を指定してください。 [ユーザー管理設定]@[ドメイン名] 例)sa720XXXX@km ログインユーザー名 送信先フォルダーのアクセス権 	
ボックスが見つかりま せん。		指定されたボックスが見つかりませ ん。ジョブは中止されます。[終了]を 選択してください。	_
ボックスのパスワード が違います。	_	外部からジョブを実行する際に、ボッ クスのパスワードが間違っています。 ジョブは中止されます。[終了]を選択 してください。	_
ボックスの容量制限を 超えました。	画面に[終了]が表示されていません か?	指定されたボックスがいっぱいのた め保存できません。このジョブは中止 されます。[終了]を選択してくださ い。ボックスの原稿を印刷または削除 してから、再度操作してください。	_
ボックスを使用する権 限がありません。	_	指定されたボックスを使用する権限 がありません。ジョブは中止されま す。[終了]を選択してください。	_

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフ ローです。	スキャンした画像をパソコンに送信、 または本機に保存しますか?	メモリー不足のため、処理できませ ん。[終了]のみ表示されている場合は [終了]を選択してください。このジョ ブは中止されます。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作 で実行できる場合があります。 ・[ファイル形式]の[画質]を下げる 上記で解決しない場合は、次の操作で 実行できる場合があります。 ・[システムメニュー]の「オプション メモリー使用量」で[標準]を選択する 参考:「オプションメモリー使用量」の 設定値を変更する場合は管理者にご 相談ください。	<u>8-51</u>
	パソコンからデータを印刷します か?	空きメモリーがなくなったため、これ 以上ジョブを継続できません。読み込 んだページを処理するときは[継続] を選択してください。一部処理されな いページがあります。ジョブを中止す るときは[中止]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作 で実行できる場合があります。 ・[システムメニュー]の「RAMディス ク設定」で[設定する]を選択し、RAM ディスクサイズを小さくする ・[システムメニュー]の「オプション メモリー使用量」で[プリンター優先] を選択する 参考:「RAMディスクサイズ」や「オプ ションメモリー使用量」の設定値を変 更する場合は管理者にご相談くださ い。	8-51
メモリーカードエラー です。	_	メモリーカードでエラーが発生しま した。ジョブは中止されます。[終了] を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04:メモリーカード上の空き容量が 足りません。データを移動する、また は不要なデータを削除してください。	_
メモリーが不足してい ます。	_		_

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数 に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えて いませんか?	読み込んだページを1部だけ印刷す ることができます。[継続]を選択する と読み込みが終了しているページを 印刷、送信、または保存します。[中止] を選択すると印刷、送信、または保存 を中止します。	_

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
レーザースキャナーク リーニング中です。	_	品質保持のため、機械が調整モードに 入っています。しばらくお待ちくださ い。	_
ログインユーザー名ま たはパスワードが違い ます。	_	外部からジョブを実行する際に、ログ インユーザー名またはパスワードが 間違っています。ジョブは中止されま す。[終了]を選択してください。	_

送信エラーコード一覧

画面に表示される送信エラーコードは以下のとおりです。

エラー コード	表示	処理方法	参照ページ
1101	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTP サーバーのホスト名 を確認してください。	<u>2-45</u>
	FTP送信できませんでした。	FTPのホスト名を確認してください。	<u>5-19</u>
	SMB送信できませんでした。	SMBのホスト名を確認してください。	<u>5-16</u>
1102	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。	<u>5-16</u>
		 ログインユーザー名またはログインパス ワード 	
		🔕 参考	
		ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してく ださい。	
		ホスト名	
	メール送信できませんでした	Command Center BXの設定を確認してください	2-45
		 SMTPのログインユーザー名またはログインパ スワード 	
		 POP3のログインユーザー名またはログインパス ワード 	
		 メール送信のサイズ制限 	
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。	<u>5-19</u>
		▶ 愛考 ドメインコーザーの提合けドメインタた指定してく	
		ださい。	
		 パス 送信生フェルが一のマクセス歩 	
1103	SMR送信できませんでした	 ・	5-16
1105		- ログインユーザー名またはログインパスワード	<u>0 10</u>
		◎ 参考	
		ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してく ださい。	
		 パス 送信生フェルが一のマクセス歩 	
			5-19
			<u> </u>
		・ 送信先フォルダーのアクセス権	
1104	メール送信できませんでした。	メールアドレスを確認してください。	<u>5-15</u>
		🔕 参考	
		ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。	

エラー コード	表示	処理方法	参照ページ
1105	SMB送信できませんでした。	以下の設定を確認してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [プロトコル設定] > [SMBクライアント(送信)]	<u>5-16</u>
	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPを[オン]にしてください。	<u>2-45</u>
	FTP送信できませんでした。	以下の設定を確認してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [プロトコル設定] > [FTPクライアント(送信)]	<u>5-19</u>
1106	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPの差出人アドレスを確認してください。	<u>2-45</u>
1131	FTP送信できませんでした。	SSLを使用できるように設定してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [セキュリティー設定] > [SSL]	<u>5-19</u>
1132	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 • FTPSに対応していますか? • 設定した暗号方式に対応していますか?	_
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ ホスト名またはIPアドレス ・ ポート番号	_
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ ホスト名またはIPアドレス ・ ポート番号	_
	メール送信できませんでした。	 ネットワークとCommand Center RXの設定を確認 してください。 ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 POP3ユーザーのPOP3サーバー名 SMTPサーバー名 	2-45

エラー コード	表示	処理方法	参照ページ
2102 2103	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態	_
		送信先のサーバーを確認してください。 ・ FTPに対応していますか? ・ サーバーの状態	_
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態	_
2201 2202 2203 2231	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態	-
2204	メール送信できませんでした。	Command Center RXのSMTP設定でメール送信のサ イズ制限を確認してください。	<u>2-45</u>
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してくださ い。	_
	FTP送信できませんでした。	 ネットワークを確認してください。 ネットワークケーブルの接続 ハブの動作 サーバーの状態 	_
3201	メール送信できませんでした。	送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。	_
0007 4201 4701 5101 5102 5103 5104 7101 7102 7102		電源スイッチを入れなおしてください。何度も発生 するときは、タッチパネルに表示されているエラー コードを書きとめ、サービス担当者にご連絡くださ い。	2-10
7103 720f			
9181	-	読み込み枚数が制限ページ数に達しました。制限を 超えた分の原稿は分割して送信してください。	—

調整/メンテナンスメニュー

調整/メンテナンスメニューについて

画面に調整メニューやメンテナンスメニューを実行するよう表示されたときや、画像に問題があったときは、システム メニューの調整/メンテナンスメニューを実行してください。

実行できるメニューは、次のとおりです。

メニュー	内容	参照ページ
カラー印刷位置補正	色ずれを補正します。	<u>11-24</u>
階調調整	印刷された画像の色合いを調整します。	<u>11-31</u>
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。	<u>11-33</u>
キャリブレーション	印刷された画像の色ずれや原稿との色合いを改善します。	<u>11-30</u>
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦線を改善します。	<u>11-30</u>

カラー印刷位置補正を実行する

色ずれを補正します。標準の補正で解消できない場合や、より精密な補正が必要な場合は詳細補正を行ってください。

✓ 重要

カラー印刷位置補正は、先にキャリブレーションを実行し、それでも色ずれが改善しない場合にのみ実行して ください。キャリブレーションを行わずにカラー印刷位置補正を実行すると、実行時は色ずれが解消されます が、後で大きな色ずれが発生する可能性があります。

自動補正する

1 用紙をセットする



⊘ 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ▶<u>用紙の取り扱い上の注意(3-19)</u>
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [カラー印刷位置補正] > [自動]

3 チャートを印刷する

[実行]を選択します。

チャートが出力されます。

チャートサンプル



4 補正する

1 イラストのように、矢印がある方を奥側に、印刷されている面を下向きにして原稿ガラスにセットします。



2 [実行]を選択して読み込みます。

チャートの読み込みが終わるとカラー印刷位置補正が開始します。

3 カラー印刷位置補正が終了したら、[OK]を選択します。

手動設定する

1 用紙をセットする



✓ 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ◆<u>用紙の取り扱い上の注意(3-19)</u>
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

2 画面を表示する

システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [カラー印刷位置補正] > [手動]

3 チャートを印刷する

[チャート印刷]を選択します。

チャートが出力されます。チャートにはM(マゼンタ)、C(シアン)、Y(イエロー)各色について、H-1~7(上部)、V-1/3/5(下部)のチャートが印刷されます。

チャートサンプル



▲ 数値を入力する

1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。



H-1~7のチャートからはH-1~7の数値のみを読み取ります。

V-1/3/5のチャートからはV-3(中央)の数値のみを読み取ります。

2 [印刷位置補正]の[OK]を選択します。

3 補正するチャートの[実行]を選択します。

- 4 [+]または[-]を押して、チャートから読み取った値を入力し、[OK]を押します。
 [+]を押すと、値が0から9へと進みます。逆に進むときは[-]を押してください。
 [-]を押すと、値が0からアルファベットになり、AからIへと進みます。逆に進むときは[+]を押してください。
 テンキーでの入力はできません。
- 5 手順3、4を繰り返して、それぞれのチャートに位置補正する値を入力し、[OK]を押します。
- 6 すべての数値入力が完了したら、[実行]を選択します。カラー印刷位置補正を開始します。
- 7 カラー印刷位置補正が終了したら、[OK]を選択します。

キャリブレーションを実行する

印刷された画像の色ずれや原稿との色合いを改善します。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [キャリブレーション]

2 調整する

[実行]を選択します。キャリブレーションが開始されます。

🔕 参考

キャリブレーションを実行しても改善されないときは、次を参照してください。

◆ カラー印刷位置補正を実行する 11-24

レーザースキャナークリーニングを実行する

印刷された画像に入る縦の白線を改善します。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー> [調整/メンテナンス] > [レーザースキャナークリーニング]

7 調整する

[実行]を選択します。レーザースキャナークリーニングが開始されます。

階調調整を実行する

長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、印刷の濃淡にズレが生じる場合があります。原稿と印刷された画像の濃淡が異なる場合は、この機能を使って補正することができます。キャリブレーションにより色合いが改善されない場合、この操作を実行してください。

調整は、調整中に[コピー/印刷(600dpi)]では合計で3枚のパターン(番号1~3)が出力されます。また[印刷(1200dpi)]では1枚のパターン(番号1)が出力されます。出力されたパターンを順に読み込ませながら行います。

1 用紙をセットする



🕢 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

▶<u>用紙の取り扱い上の注意(3-19)</u>

- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

つ 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [階調調整]
- 2 [コピー/印刷(600dpi)]または、[印刷(1200dpi)]を選択します。

<mark>3</mark> 調整する

[コピー/印刷(600dpi)]の場合

3枚のパターン(番号1~3)が出力されます。

1 [実行]を選択します。

パターンの下に番号の1が印刷されていることを確認します。

2 イラストのように、矢印がある方を奥側に、印刷されている面を下向きにして原稿ガラスにセットし、原稿押 さえを閉じてください。



3 [実行]を選択します。

パターンの読み込みを開始し、調整を実行します。 次に使用するパターンが出力されます。

- 4 パターンの下に印刷されている番号を確認し、手順2,3を2回繰り返して、番号2、3のパターンを読み込ませます。
- 5 調整終了の確認画面で、[OK]を選択します。

[印刷(1200dpi)]の場合

[印刷(1200dpi)]では1枚のパターン(番号1)が出力されます。

- 1 実行[実行]を選択します。
- 2 イラストのように、矢印がある方を奥側に、印刷されている面を下向きにして原稿ガラスにセットし原稿押さ えを閉じてください。



- 3 [実行]を選択します。 パターンの読み込みを開始し、調整を実行します。
- 4 調整終了の確認画面で、[OK]を選択します。

ドラムリフレッシュを実行する

印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。

🚫 参考

印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。

画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [ドラムリフレッシュ]

2 調整する

[実行]を選択します。ドラムリフレッシュが開始されます。

紙づまりの解除

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに紙づまりの位置とともに次のメッセージが表示されます。 「紙づまりです。」

以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまり表示の見かたと位置の確認



- 1 紙づまりの位置情報を表示します。
- 2 前の手順を表示します。
- 3 次の手順を表示します。
- 4 処理の手順を表示します。
- 5 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択すると[保留]が選択されます。[保留]を選択すると ステータス画面を表示し、ジョブの状況を 確認できます。
- 6 [エラー画面表示]を選択すると、紙づまり ガイダンスに戻ります。

紙づまりが発生すると、タッチパネルに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
1	手差しトレイ	<u>11-35</u>
2	右カバー1	<u>11-36</u>
3	カセット1	<u>11-37</u>
4	右カバー3	
5	カセット2	<u>11-37</u>

紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
6	カセット3	<u>11-37</u>
7	原稿送り装置	<u>11-41</u>

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直 されます。

手差しトレイの紙づまりを除去する

人注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発 する原因になります。
- 1 つまった用紙を取り出す



2 用紙をすべて取り出す



3 用紙をセットし直す



右カバー1の紙づまりを除去する



本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

1 右カバー1を開ける





2 つまった用紙を取り出す



3 定着カバー(a)を開けて、つまった用紙を取り出す



4 両面ユニットを開ける



5 つまった用紙を取り出す





右カバー1を元の位置に戻す



カセット1、2、3の紙づまりを除去する

ここではカセット1を例に説明します。



- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発 する原因になります。

1 カセット1を引き出す



2 つまった用紙を取り出す



3 カセット1を元の位置に戻す



右カバー2、3の紙づまりを除去する



- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発 する原因になります。



2 つまった用紙を取り出す







4 つまった用紙を取り出す



5 右カバー2,3を元の位置に戻す



原稿送り装置の紙づまりを除去する

_____ 原稿を取り出すときに、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になりま す。

1 原稿トレイから原稿を取り出す

注意



2 上カバーを開けて、つまった原稿を取り出す



3 反転ユニットCを開けて、つまった原稿を取り出す



4 ダイヤルBを回して、つまった原稿を送り出してから取り出す





5 上カバーを元の位置に戻す



12 付録

)章では、次の項目について説明します。	
オプションについて	12-2
オプション構成	
オプションのアプリケーションについて	
アプリケーションの使用を開始する	12-8
アプリケーションの詳細を確認する	12-9
文字の入力	
入力方式を選択する	12-10
入力文字を選択する	12-11
	12-12
かな入力とローマ字入力での文字変換	12-16
区点コードでの文字変換	
用紙について	
用紙の基本仕様	
5000000000000000000000000000000000000	
仕様	
本体	
□ピー機能	
プリンター機能	
スキャナー機能	
原稿送り装置	
ペーパーフィーダー(550枚)	
ペーパーフィーダー(550枚×2)	
区点コード表	
製品の保守サービスについて	
補修用性能部品について	
廃棄について	
使用済み製品の廃棄	
初期化について	
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	
用語集	

オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。



🖌 重要

PF-470またはPF-471を装着している場合は、転倒防止金具を装着する必要があります。

ソフトウェアオプション	
(10) Data Security kit(E)	
(11) UG-33	

(1) PF-470<ペーパーフィーダー(550枚×1)>

本体のカセットと同じものを1段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カ セットと同じです。

◆<u>カセット1(~3)に用紙をセットする(3-21)</u>

(2) PF-471 <ペーパーフィーダー(550枚×2)>

本体のカセットと同じものを2段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カ セットと同じです。

◆<u>カセット1(~3)に用紙をセットする(3-21)</u>

(3) ICカード認証キット(B)<ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリスト にICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

▶ICカード認証キット(B)使用説明書

(4) FAX System 13<ファクスキット>

ファクスキットを装着すると、ファクスとして使用したり、パソコンで原稿を送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。

◆ファクス使用説明書

(5) 拡張メモリー

メモリーを増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。オプションの拡張メモリー2048MB を装着することで、最大3072MBまでメモリーを拡張できます

メモリー取り扱い上の注意



衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
メモリーの取り付け取り替え

1 電源を切る

電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを外す



3 取り付ける

- 1 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。
- 2 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。



✓ 重要

メモリーを差し込む前に、本体の主電源スイッチが切られているか確認してください。

3 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。

4 取り外したカバーを本体に取り付けます。

拡張メモリーの取り外し

取り付けた拡張メモリーを取り外す場合は、本体右側のカバーを取り外し、ソケットにある2つのストッパを慎重に押す と、拡張メモリーはソケットから外れます。

拡張メモリーの確認

正しく装着されていない場合は、「故障が発生しています。」とメッセージが表示されます。再度取り付けし直してください。拡張メモリーが正しく装着されたかどうかは、ステータスページを印刷することによって確認できます。 ◆ <u>[はい](8-5)</u> (6) HD-6/7<大容量記憶装置:SSD>

SSDは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリット があります。また、SSDを装着することにより文書ボックス機能を使用することができます。

◆ 文書ボックスを使用するには(3-51)

SSDの取り付け

1 電源をきる

電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを外す





3 取り付ける

1 オプションのSSDをパッケージから取り外します。

2 SSDをオプションのインターフェイススロットにまっすぐに差し込みます。



3 ネジ(2本)で固定します。



4 取り外したカバーを本体に取り付けます。



(7) IB-50<ネットワークインターフェイスキット>

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。IB-50では、AppleTalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティーの最小限の機能のみ対応しています。

(8) IB-51<ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN規格IEEE802.11n (MAX 300 Mbps) および11g/bに対応した無線LANネットワークインターフェイスカードで す。IB-51では、Apple TalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティーの最小限の機能のみ対応しています。

IB-51セットアップユーティリティーはWindows OSとMac OS Xに対応しています。

セキュリティーキットは不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。また、データをSSDに保存するとき、暗号化して書き込みます。通常の出力や操作以外では復号(解読) できないため、万一の場合のセキュリティーが強化されます

(10) UG-33 < ThinPrint Option >

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

オプションのアプリケーションについて

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
セキュリティーキット
ICカード認証キット ^{*1}
ThinPrint Option ^{*1}

*1 一定の期間お試しとして使用することができます。

🚫 参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選 択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

- ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
- ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
- 2 使用を開始するアプリケーションを選択 > [スキップ>>]

[---]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

3 [正規] > [次へ] > ライセンスキーを入力 > [OK]

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画 面が表示されない場合は手順4 に進んでください。

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を選択します。

▲ 確認画面で[はい]を選択する

🔕 参考

- セキュリティーキットまたはThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ON が必要です。
- ・起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

1 [システムメニュー/カウンター] キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」

🔕 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

- ログインユーザー名 TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400
- ログインパスワード TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

2 詳細を確認するアプリケーションの[--]を選択します。

選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
ライセンス
残り試用回数
試用期限
動作状況

試用期限を延長するときは、[設定を変更して印刷する] > [はい]の順に選択してください。

文字の入力

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。 漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方で入力できます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。 文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式を選択する

入力方式には次の3種類があります。

[起動]ーかな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

[停止]-ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときに使用してください。

[中止]-4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

1 入力方式を切り替える



7 入力方式を[起動]、[停止]または[中止]を選択する

[かな入力]入力画面

新規登									
あいうえ	しお			入力: 5 制限: 3	i 12	×			
🗘 かな入力 🗘 ひ			がな	あ /あ	←	\rightarrow		\downarrow	削除
あ	い	う	え	お	t:	5	2	τ	٤
か	き	<	け	E	な	1:	ぬ	ね	Ø
Þ	L	す	せ	そ		⊣	^		\sim
+				ャンセル	T	〈戻る	T	次へ>	4

[ロ-	[ローマ字入力]入力画面												
新規登	新規登録 - 名前												
あいうえお 入力: 5 制限: 32													
0 n-45	字入力	0 06	がな	あ /あ	+			4	削除				
q	w	е	r	t	У	u	i	0	р				
а	s	d	f	g	h	j	k	1	•				
_	z	x	с	v	b n		m	·	\leftarrow				
			+-	ャンセル	Т	〈戻る	T	次へ〉	4				

[区点入力]入力画面



🔕 参考

入力方式の初期値を[停止]に変更することができます。

◆[キーボード入力方式](8-20)

入力文字を選択する

入力文字には次の7種類がありす。

[次の予約]-漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

[次の宛先]-全角カタカナを入力するときに使用してください。

[延長] ー半角カタカナを入力するときに使用してください。

[かな入力] - 無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。 [ローマ字入力] - 無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。 [全角記号、数字] - 無変換で全角記号、全角数字を入力するときに使用してください。

[半角記号、数字]-無変換で半角記号、半角数字を入力するときに使用してください。

1 入力文字を選択する



🔇 参考

入力方式として[中止]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面の見かた

かな入力の場合

次の画面は入力文字として[次の予約]を選択した場合です。



新規登	新規登録 - 名前											
入力: 0 制限: 32												
) かな	入力	0 09	らがな	あ /あ	←				削除			
は	υ	ふ	^	ほ	Ь	4	る	れ	3			
ま	み	む	හ්	ŧ	わ	わを						
や	Þ	よ	*	•		∉	^		\sim			
			+	ャンセル	T	<戻る	T	次へ>	لے			

(は~ん)



(小文字)

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してく ださい。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[^],[~]	入キーボード(あ~の)とキーボード(は~ん)を切り替えるときに選択してください。
7	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
8	スペースキー	スペースを入力するときに選択してください。
9	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
10	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[全角英字]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
11	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
12	[あ/ぁ]	「ぁ、い、う、ぇ、ぉ、つ、ゃ、ゅ、ょ、ー、(、)、(。)」を入力するときに選択してください。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

🔕 参考

操作パネルの[更新]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確 定文字を削除します。

ローマ字入力

次の画面は入力文字として[次の予約]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してく ださい。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
7	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
8	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[全角英字]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
9	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
10	[A/a]	「キーボード(大文字)とキーボード(小文字)を切り替えるときに選択してくだ さい。

🔕 参考

操作パネルの[更新]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確 定文字を削除します。

区点入力の場合

次の画面は入力方式として[中止]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してく ださい。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[半角カナ]	区点コードに対応した文字を確定するときに選択してください。
7	[更新]	入力した区点コードを消去するときに選択してください。
8	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
9	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
10	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
11	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。

🔕 参考

各文字の区点コードは、次を参照してください。

◆区点コード表(12-35)

かな入力とローマ字入力での文字変換

かな入力、ローマ字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[全角英字]を選択すると次のような文字 変換画面が表示されます。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
3	[取り消し]	[変換]を押す前に戻るときに選択してください。
4	[半角カナ]	未確定文字をすべて確定するときに選択してください。
5	[^][~]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに 選択してください。
6	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
7	[←][→]	変換対象の文節を移動させるときに選択してください。
8		変換対象文節の長さを変更するときに選択してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する

新規登録 - 名前												
<u>きょうと</u>	きょうとえいぎょうしょ 変換											
◎ ローマ字入力 💿 ひらが			がな	A/a	~	\rightarrow	\uparrow	U V	削除			
q	w	е	r	t	У	u	i	0	р			
а	s	d	f	g	h	j	k	1	L			
@	z	x	с	v	b	n	m	·	↵			
			+-	ャンセル		〈戻る		次へ>	¢J			

入力方式が[起動]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。

入力方式が[停止]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょう とえいぎょうしょ」と表示されます。

2	[全角英字]	を選択する
---	--------	-------

新規登										新規登録 - 名前			
きょうと	えいぎょ	<u> </u>				_	変	換	×	京都営業所		入力: 0 制限: 32	
0 0-73	字入力	S V.6	がな	A/a	~	\rightarrow	\uparrow	$-\psi$	削除	① 中マ字入力	ひらがな 🛛 A/a 🔼	₽ 🗛 ←	→ illik
q	w	е	r	t	У	u	i	o	р	京都	きょうと	キョウト	
а	s	d	f	g	h	j	k	1					
@	z	x	с	v	b	n	m	•	€		取り消し	確定	\sim
			++	ャンセル	Τ	〈戻る	T	次へ>	جا	_	キャンセル	〈戻る ジ	¢^> _{الم}

文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

<mark>3</mark> 文節を調整して変換する

[▲]または[▲]を選択して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。

新規登録 - 名前					
京都営業所			入力: 0 制限:3	2	
◇□-マ字入力 ひら	がな A/a			\rightarrow	削除
京都	きょうと	1	キョウト	3	
2					
	取り消		定 定		\sim
	キャンセル	〈戻る	5	次へ〉	ę٦

2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を選択します。

🚫 参考

表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[~]を選択して画面をスクロールしてください。

3 [→]を選択します。

「京都」が決定します。

4 [▲]または[▲]を選択して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させます。 変換候補が表示されます。

新規登録 - 名前 <u>京都際繁</u> 所	がな A/a	入力制限	
^{営業} 5	えいぎょう	4 I1	ب ۴=ל <mark>6</mark>
	取り消し キャンセル	確定 <戻る	次<>

- 5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を選択します。
- [→]を選択します。
 「営業」が決定します。
- 7 [▲]または[▲]を選択して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させます。 変換候補が表示されます。

新規登録 - 名前			2 8
京都営業		入力: 制限:	0 32
○□-マ字入力	ひらがな A/a	₽ 🚇 ←	→ 削除
8	初7	所	8
著	諸	処	
	取り消し	確定	
_	キャンセル	〈戻る	次へ>

8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択します。

▲ 変換を確定する



1 文字の変換が終了すれば、[半角カナ]を選択します。

2 入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。

🚫 参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。 各文字の区点コードは、次を参照してください。

◆区点コード表(12-35)

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[中止]にする

新規登録 - 名前			入加制	力: 0 艮: 32	•×
🗘 区点入力	- J		\rightarrow	$\uparrow \downarrow \downarrow$	削除
文字	区点コ・		2	IJ7	
(テンキー入力)		- A	定		
_	++:	ンセル	〈戻る	次へ>	4

[かな入力]または[ローマ字入力]を選択して、[区点入力]を表示させてください。

🤈 「大」を入力する



テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。[半角カナ]を選択する と「大」が入力されます。

「阪」を入力する 3 新規登録 - 名前 新規登録 - 名前 入力: 1 制限: 32 入力: 2 制限: 32 大阪 大 × × ◇ 区点入力 ○ 区点入力 **←** 区点コード 区点コード 文字 文字 クリア 2 クリア 阪 2669 確定 確定 (テンキー入力) (テンキー入力) キャンセル 〈戻る 次へ> キャンセル 〈戻る 次へ〉 4

同様にして、区点コード「2669」を入力して[半角カナ]を選択すると、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 入力した文字を登録する



[次へ>]を選択してください。入力した文字を登録します。

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。 各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

◆本体 (12-31)

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範 囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎 重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に 影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

本機で使用できる用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
ち重	カセット: 60~256 g/m ²
	手差しトレイ:60~256 g/m ²
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4~6%
パルプ含有率	80%以上

🚫 参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさない ものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の 結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽 立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因 になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙 は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラ ムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以 下ものを使用してください。

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や 紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同 時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあ ります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定 着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い 印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4~6%の範囲に収ま るようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過 する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平 らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んで ください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれな どが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじ め少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ・ ミシン目の入った用紙

本機で使用できる用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに±0.7 mmです。用紙四隅の角度は、90°±0.2°のものを使用してください。

- A3(297 ×420 mm)
- A4(297 × 210 mm)
- A5(210 × 148 mm)
- A6(148 × 105 mm) *1
- B4(257 × 364 mm)
- B5(257 × 182 mm)
- B6(182 × 128 mm) *1
- 216 × 340 mm
- Ledger
- Letter
- Legal
- Statement
- Executive(7-1/4 × 10-1/2") *1
- Oficio II
- Folio(210 × 330 mm)
- 8K(273 × 394 mm)
- 16K(273 × 197 mm)
- ISO B5(176 ×250 mm) *1
- Envelope #10(4-1/8 × 9-1/2") *1
- Envelope #9(3-7/8 × 8-7/8")*1
- Envelope #6 3/4(3-5/8 × 6-1/2")*1
- Envelope Monarch(3-7/8 × 7-1/2")*1
- Envelope DL(110 × 220 mm)*1
- Envelope C5(162 × 229 mm)*1
- Envelope C4(229 × 324 mm) *1
- ・ はがき(100 × 148 mm)*1
- 往復はがき(148 × 200 mm)*1
- 洋形4号(105 × 235 mm)*1
- 洋形2号(114 × 162 mm)*1
- ・ サイズ入力(手差しトレイ:98 × 148~297 × 432 mm)*1
- *1 手差しトレイのみで使用できます。

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機に使用できる特殊な用紙

- OHPフィルム
- ・ プレプリント
- ・ ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- ・ レターヘッド
- ・ カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ・ ラベル紙
- 上質紙
- 加工紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、 OHPフィルム、ラベル紙、加工紙、封筒、はがきは手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、 構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用 紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙につ いて、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被 害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100~0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に(用紙の長手方向を 本機に向けて)補給してください。

OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみて ください。 ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でで きています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル 紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙を お使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

項目	仕様
表面シートの重さ	44~74 g/m²
基本重量(用紙全体の重さ)	104~151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086~0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115~0.145 mm
保水度	4~6%(混合)

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから補給してください。はがきを手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下にして ください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまり の原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した 際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリ を取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下にしてください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワ になることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を 平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バ リのあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

🔕 参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

◆<u>本機で使用できる用紙の基本仕様(12-21)</u>

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

◆ <u>本機で使用できる用紙の基本仕様(12-21)</u>

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必 要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

◆本機で使用できる用紙の基本仕様(12-21)

🔕 参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

加工紙

加工紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品 位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしていま す。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

🕗 重要

コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないように してください。高湿度の場合は1枚ずつセットしてください。

仕様

✓ 重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

🚫 参考

ファクス機能の仕様について詳しくは、次を参照してください。

◆ファクス使用説明書

本体

項	[目	仕様
名称		TASKalfa 2460ci/TASKalfa 2470ci
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	60~163 g/m ²
	手差しトレイ	60~256 g/m ²
用紙種類	カセット	普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レター ヘッド、厚紙、上質紙、カスタム1~8(両面印刷時:薄紙を除く)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、 カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、カスタム1~ 8
用紙サイズ	カセット1	A3、A4、A5、B4、B5、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、216×340 mm、 Folio、8K、16K
	手差しトレイ	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、 Executive、Oficio II、Folio、8K、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、 Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はが き、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(98 × 148~297 × 432 mm)
印字画像欠け幅	回像欠け幅 先端4.5±1.5 mm、後端3.5±2.5 mm、左/右4 mm以下	
ウォームアップ時 間 (23℃、60%)	電 源ONから	TASKalfa 2460ci 30秒以下 TASKalfa 2470ci 30秒以下
	低電力モードから	TASKalfa 2460ci 10秒以下 TASKalfa 2470ci 10秒以下
	スリープから	TASKalfa 2460ci 10秒以下 TASKalfa 2470ci 10秒以下
用紙容量	カセット	550枚(64 g/m ²) ^{*1} 500枚(80 g/m ²) ^{*1}
	手差しトレイ	100枚(A4/Letter以下、80 g/m ²)
		25枚 (A4/Letterより大きいサイズ、80 g/m ²)
排紙トレイ容量	内部トレイ	250枚(80 g/m ²)
	ジョブ セパレーター	30枚(80 g/m ²)
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー	,	標準1536MB、最大3072MB
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T(IPv6、IPv4、IPSec)、802.3az対応) USB-Host:2(USBフラッシュメモリースロット) 無線LAN対応
	オフション	eKUIO:2 ファクス:1 オプションインターフェイス:2 (IB-50/IB-51装着用)

項目		仕様	
使用環境 温度		10∼32.5°C	
	湿度	10~80%	
	標高	3,500 m以下	
	照度	1,500 lux以下	
本体寸法(幅×奥行き	·×高さ)	590× 590 × 753 mm	
質量		TASKalfa 2460ci 77 kg(トナーコンテナを除く) TASKalfa 2470ci 79 kg(トナーコンテナを除く)	
機械占有寸法(幅×奥	l行き)	873 × 590 mm(手差しトレイ使用時)	
電源		AC100 V、50/60 Hz、8.1 A	
エネルギー消費効率		55 kWh/年区分∶複合機a	
オプション		◆オプションについて 12-2	

*1 カセット内上限高さラインまで

コピー機能

項	E		仕様	
コピー速度	TASKalfa 2460ci		白黒コピー	カラーコピー
	TASKalfa 2470ci	A4/Letter	24枚/分	24枚/分
		A4-R/Letter-R	17枚/分	17枚/分
		A3/Ledger	12枚/分	12枚/分
		B4/Legal	12枚/分	12枚/分
		В5	24枚/分	24枚/分
		B5-R	17枚/分	17枚/分
		A5-R	12枚/分	12枚/分
ファーストコピー時	間(原稿ガラス、	TASKalfa 2460ci	7.6秒以下	9.8秒以下
本体カセットでA4)		TASKalfa 2470ci	7.6秒以下	9.8秒以下
複写倍率		任意倍率:25~400%(1%単位) 		
		固定倍率:400%、200%、1 25%	41%、122%、115%、100%、	86%,81%,70%,50%,
連続複写		1~999部		
解像度		600 × 600 dpi		
原稿の種類		シート、ブック、立体物(最大原稿サイズ:A3/Ledger)		
原稿台方式		固定		

プリンター機能

項	[目	仕様		
印刷速度	TASKalfa 2460ci		白黒コピー	カラーコピー
	TASKalfa 2470ci	A4/Letter	24枚/分	24枚/分
		A4-R/Letter-R	17枚/分	17枚/分
		A3/Ledger	12枚/分	12枚/分
		B4/Legal	12枚/分	12枚/分
		В5	24枚/分	24枚/分
		B5-R	17枚/分	17枚/分
		A5-R	12枚/分	12枚/分
ファーストプリント時間 (A4)		TASKalfa 2460ci	7.5秒以下	10.2秒以下
		TASKalfa 2470ci	7.5秒以下	10.2秒以下
解像度		600 × 600 dpi 、1200 × 12	00 dpi ^{*1}	
対応OS		Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、Windows Server 2012/R2、Windows Server 2016、Mac OS X 10.5以上		Windows 10、Windows Server 2016、Mac OS X
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T(IPv6、IPv4、IPSec)、802.3az対応) 無線LAN対応		ec)、802.3az対応)
	オプション	オプションインターフェイ	イス:2(IB-50/IB-51装 着用)	
ページ記述言語		PRESCRIBE		
エミュレーション		PCL6(PCL-XL、PCL5e)、KPDL3(PostScript3互換)、PDF、XPS、OpenXPS		

*1 通常よりも処理スピードが遅くなります。

スキャナー機能

項	目	仕様
解像度		600 dpi × 600 dpi ,400 dpi × 400 dpi ,200 dpi × 400 dpi ,300 dpi × 300 dpi ,200 dpi × 200 dpi ,200 dpi × 100 dpi
ファイルフォーマッ	۲ ト	TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、PDF(MMR/JPG圧縮/高圧縮PDF)
連続原稿読み取り 速度 ^{*1} (A4 300 dpi、文字 +写真モード)	TASKalfa 2460ci TASKalfa 2470ci	片面白黒 50イメージ/ 分 カラー 50イメージ/分 i両面白黒 16イメージ/ 分 カラー 16イメージ/分
インターフェイス	•	イーサネット(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)
送信方式		SMB、SMTP、FTP、FTP over SSL、TWAIN ^{*2} 、WIA ^{*2} 、WSD

*1 原稿送り装置を使用(TWAIN/WIAスキャン時を除く)

*2 対応OS: Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/ Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016

原稿送り装置

項目	仕様
原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大:A3/Ledger (297 × 432 mm)(長尺:297 × 1,900 mm)
	最小: A5-R/Statement-R
	(140 × 182 mm)
原稿の厚さ	片面:45~160 g/m ²
	両面 : 50~120 g/m ²
原稿セット枚数	50枚以下(50~80 g/m ²)*1

*1 原稿送り装置内上限高さラインまで

ペーパーフィーダー(550枚)

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式 (収納枚数550 枚(64 g/m ²⁾ ×1段/500 枚(80 g/m ²)×1段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、 Folio、8K、16K
使用用紙	紙厚:60 ~ 163 g/m ² 用紙種類:普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	590 × 589 × 352 mm
質量	約20.8 kg

ペーパーフィーダー(550枚×2)

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式 (収納枚数550 枚(64 g/m ²)×2段/500 枚(80 g/m ²)×2段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、 Folio、8K、16K
使用用紙	紙厚:60 ~ 163 g/m ² 用紙種類:普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	590 × 589 × 352 mm
質量	約21 kg

区点コード表

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0123456789	0123456789
0100 、。, . · : ; ?	0350 R S T U V W X Y Z	0600 ABFAEZHØI
0110 ! * * * * * * * * * * * *	0360 abcde	0610 ΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤ
0120 ヾゝゞ〃 仝々メ〇――	0370 fghijklmno	0620 Υ Φ Χ Ψ Ω
0130 - / ~ ''	0380 pqrstuvwxy	0630 αβγδεζη
0140 "" () [] {}	0390 z	0640 θικλμνξοπρ
0150 <> 《》 「」 『』 【】	0400 ぁあぃいぅうぇえぉ	0650 στυφχψω
$ 0160 + - \pm \times \div = \neq < > \leq$	0410おかがきぎくぐけげこ	0660
0170 ≧∞∴♂♀°′″℃¥	0420 ごさざしじすずせぜそ	0670
0180 \$ ¢ £ % # & * @ § ☆	0430 ぞただちぢっつづてで	0680
	0440 とどなにぬねのはばぱ	0690
	0450 ひびぴふぶぷへべぺほ	0700 АБВГДЕЁЖЗ
$0210 \rightarrow \leftarrow \uparrow \downarrow =$	0460 ぼぽまみむめもゃやゅ	0710 ИЙКЛМНОПРС
$ 0220 \qquad \in \ni \subseteq \supseteq$	0470 ゆょよらりるれろゎわ	0720 ТУФХЦЧШЩЪЫ
$0230 \subset \supset \cup \cap$	0480 ゐゑをん	0730 Ь Э Ю Я
$0240 \land \lor \neg \Rightarrow \Leftrightarrow \forall \exists$	0490	0740 a
0250	0500 ァアィイゥウェエォ	0750 бвгдеёжзий
$0260 \angle \perp \frown \partial \nabla \equiv = = \ll \gg \sqrt{2}$	0510オカガキギクグケゲコ	0760 клмнопрсту
0270 ∽ ∝ ∵ ∫ ∬	0520ゴサザシジスズセゼソ	0770 фхцчшщъыьэ
0280 'n♯b♪†‡¶	0530 ゾタダチヂッツヅテデ	0780 ю я
0290 0	0540トドナニヌネノハバパ	0790
0300	0550 ヒビピフブプヘベペホ	0800
0310 0123	0560 ボポマミムメモャヤュ	0810
0320 4 5 6 7 8 9	0570 ユョヨラリルレロヮワ	0820
0330 ABCDEFG	0580 ヰヱヲンヴヵヶ	0830
0340 HIJKLMNOPQ	0590	0840

	\square	0	1	2 3	3 4	4	5	6	7	8	9		$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	1600		亜	唖攱	ŧβ	ज	哀	愛	挨	始〕	夆		1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓		2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	1610	葵	茜	穐悪	丟 扌	握	渥	旭	葦	芦魚	阂		1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨		2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
ア	1620	梓	圧	斡扨	及3	宛	姐	虻	飴	絢糹	夌		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕		2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戱	技	擬	欺
	1630	鮎	或	粟袝	3	安	庵	按	暗	案層	劉		1880	介	숤	解		塊	壊	廻	快	怪	悔		2130	犠	疑	衹	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	1640	鞍	杏	以信	₽亻	位	依	偉	井	夷	委		1890	恢	懐	戒	拐	改							2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	1650	威	尉	惟意	訂月	慰	易	椅	為	畏舅	閐		1900		魁	踇	楲	海	灰	界	皆	絵	芥		2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	1660	移	維	緯冒		萎	衣	謂	違	遺日	되		1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖		2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	1670	井	亥	域育	育有	郇	磯	—	壱	溢〕	免		1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬		2170	究	窮	笈	級	糾	給	日	牛	去	居
1	1680	稲	茨	芋鮗	弱じ	允	EП	咽	員	因如	因		1930	馨	蛙	垣	杮	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	+	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	1690	引	飲	淫胤	糺Ā	蔭							1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角		2190	禦	魚	亨	享	京					
	1700		院	陰隙	受音	鍞	时	右	宇	烏ろ	团	_	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額		2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	国
	1710	迂	雨	卯弟	鳥夭	窺	<u></u> 丑	碓	Ē	渦,	虚	フ	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝		2210	卿	Щ	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
ゥ	1720	唄	欎	蔚魚	曼女	佬	厩	浦	瓜	閏口	藇		1970	恰	括	活	渇	滑	葛	裾	轄	且	鰹		2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	孴	興
	1730	五	運	雲花	Ē	餌	叡	営	嬰	影	央		1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌		2230	蕎	郷	鏡	響	響	驚	仰	凝	尭	暁
	1740	曳	栄	永汐	κì	洩	瑛	盈	頴	頴	夷		1990	噛	鴨	栢	茅	菅							2240	業	局	曲	栭	Ŧ	桐	粁	僅	勤	均
	1750	衛	詠	鋭济	友犭	廀	益	駅	悦	謁ま	戓		2000		粥	<u>у</u> П	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	ŦII		2250	巾	錦	Г	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
L	1760	閲	榎	厭P	90	莿	堰	奄	宴	延為	<u></u>		2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	賔	Ŧ		2260	芹	南	衿	襟	謹	䜣	金	吟	銀	カ
	1770	掩	援	沿演	観く	☆	焔	煙	燕	猿糹	剥		2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺		2270	倶	句	X	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	1780	艶	苑	薗词	包括	鉛	鴛	塩	於	汚り	男		2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看		2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	1790	ம	央	奥谷	ÈЛ	心							2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	_	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	1800		押	旺植	黄区	欧	殴	Ŧ	翁	襖鶭	薵		2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	D	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	1810	鴎	黄	田沪	Þ₹	荻	億	屋	憶	臆材	甬		2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫		2310	栗	繰	桑	鍬	勳	君	薫	訓	群	軍
	1820	牡	Ζ,	俺货		칐	温	穏	音	下	Ľ		2070	贋	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器		2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	Ŧ
L.	1830	仮	何	伽佰	西 1	佳	加	可	嘉	, 夏如	家	1.	2080	基	合	嬉	寄	岐	一希	幾	忌	揮	机	,	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	揭
カ	1840	家	寡	科眼		果	架	」 歌	河	火王	可	+	2090	旗	既		棋	棄						ケ	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継

	$\left \right\rangle$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		\searrow	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		\searrow	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2350	繋	濯	茎	荊	蛍	計	詣	薈	軽	頚	Γ	2600		此	頃	今	木	坤	墾	婚	恨	懇		2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勽
	2360	鶏	芸	D	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁		2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些		2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	Ш	訣	月	件		2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂		2870	惹	Ì	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2380	倹	倦	建	兼	券	剣	喧	巻	堅	嫌		2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最		2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
ケ	2390	建	憲員	懸	拳	捲							2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済		2890	綬	需	人	収	周					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県		2650	災	釆	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁		2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2410	肩	見	兼	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験		2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪		2910	終	繍	習	旲	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2420	鹸	元)	亰	厳	幻	弦	減	源	玄	現	++	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削		2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	+
	2430	絃	舷		諺	限	乎	個	古	呼	固	ע	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜		2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2440	姑	孤	\exists	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐		2690	鮭	笹	匙	⊞	刷							2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2450	糊	袴	投	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇		2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐		2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2460	顧	鼓	Б	互	伍	午	呉	吾	娯	後		2710	鯖	捌	錆	鮫	Ш	晒	Ξ	傘	参	山		2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2470	御	悟	语	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐		2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	シ	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功		2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺		2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2490	効	勾	孠		向							2740	使	刺	司	史	嗣	兀	\pm	始	姉	姿		2990	恕	鋤	除	傷	償					
	2500		后	候	坑	垢	好	孔	孝	宏	I		2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯		3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
_	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗		2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸		3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	2520	拘	控	旼	昂	晃	更	杭	校	梗	構		2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌		3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠		2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児		3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	シ	2790	字	寺	慈	持	時							3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱		2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而		3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫		2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	<u>**</u>		3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	2570	号	合	豪	拷	濠	豪	重	麹	克	刻		2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉		3070	丈	氶	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑		2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝		3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	2590	忽	惚	骨	狛	込							2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮		3090	醸	錠	嘱	埴	飾					

										_											_												
	\square	0	1	2	3 4	1 5	6	7	8 9)		0	1	2	3	4	5	6	7	8 9	}		$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3100		拭材	直列	植燈	間縋	战暗	战色	触飠	Į	3350) 倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	巾	惣カ	,		3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3110	蝕	辱	元1	伸信	目侵	夏唇	鬠娠	寝著	SF	3360)搜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍橋	<u></u>	Ŧ	3610	暢	朝	潮	牒	₿Ţ	眺	聴	脹	腸	蝶
=	3120	È	慎扌	辰	新晋	野萩	₹核	≹浸	深申	3	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜暭	-		3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
1	3130	疹	真	伸奏	秦糺	₽Ё	三之	「「薪	親彰	<u>ا</u> لا	3380)草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭翁	È		3630	直	朕	沈	珍	賃	鍞	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛〕	佳	計層	夏人	【仁	刃	塵∃	<u>ا</u> ک	3390)霜	騒	像	増	憎							3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3150	尋	甚り	31	腎診	凡迂]阻	퇃靭	笥調	反	3400)	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即息	1	ッ	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3160	須	酢	図	団返	豆哕	重り	É帥	, 推才	<	3410)捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族糹	ŧ		3660	嬬	紬	Л	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3170	烣	睡者	卆 ፤	裂革	更這	211	₽錐	錘阅	卣	3420) 卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村迁	系		3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
ス	3180	瑞	髄	崇さ	嵩 娄	女 枢	区趨	圆雛	据核	1	3430)他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰扌	J		3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3190	椙	菅周	熲 1	雀袝	舌					3440) 柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対而	đ		3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3200		澄打	習 -	4 T	土 涑	頁畝	な是	凄制	IJ	3450)岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞貼	4 -	/	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3210	勢	姓彳	Ξť	生反	戊巴	友整	室星	晴桐	ŧ	3460)腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛亻	t		3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3220	栖	正氵	青り	性生	ΞĒ	玄精	事聖	声魯	ij Z	3470)台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓鸣	Ŧ		3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3230	西	誠	5	請进	丘醪	星青	「静	斉税	ŧ ۲	3480)宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸漻	5		3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
	3240	脆	隻月	席亻	昔原	或万	き世	計析	石積	_割 ン	3490) 諾	茸	凧	蛸	只							3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3250	籍	績	ý j	責え	下助	下跟	員碩	切批	Ц	3500)	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪讠	Ц		3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	±	奴
4	3260	接	摂	沂	设艺	另餌	百訪	包雪	絶き	_	3510	刎棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆ΰ	Ξ		3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
12	3270	蝉	仙台	先 -	ŦĿ	言宣	目电	₹尖	川単	ť	3520)担	探	⊟	歎	淡	湛	炭	短	端貧	È		3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3280	扇	撰	全相	栴亰	灵注	彰洴	も染	潜亰	ģ	3530) 綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	寸	壇	弾圏	FF		3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3290	煽	旋	穿着	箭網	泉					3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛耶	ù I	~	3790	答	筒	糖	統	到					
	3300		纎氵	羡	腺夘	中船	台薦	喜詮	賎跧	髩	3550)智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳翁	14		3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3310	選	遷	浅	洗 卪	月魚	前	前善	漸タ	ť,	3560)畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡礻	É		3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3320	全	禅約	善月	善籶	軍陣	自塑	岨	措會	副チ	3570)中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	₹		3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3330	曽	楚之	泪ī	硫頙		を祖	租	粗素	Ę	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著則	÷		3830	鴇	逽	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
12	3340	組	蘇	訴	狙逆	钥鼠	亂僧	創	双葦	Ě	3590		兆	凋	喋	寵							3840	独	読	栃	橡	പ	穾	椴	届	鳶	蔏

	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		\searrow	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
L	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁		4100		鼻	柊	稗	兀	疋	髭	彦	膝	菱	+	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙		4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	Л	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
-	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	\vdash	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表		4370	眛	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
[3880	軟	難	汝	_	尼	弐	迩	匂	賑	肉		4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	浾	_	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抺	末	沫	迄	侭
=	3890	虹	廿	H	乳	入							4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	寳	頻	\prec	4390	繭	麿	万	慢	満					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰		4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	副	布		4400		漫	蔓	味	未	魅	E	箕	岬	密
-	3910	袮	寧	葱	猫	熱	年	念	捻		燃		4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	Ξ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
1	3920	粘	乃	廼	Ż	埜	嚢	悩	濃	納	能		4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	Ь	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蜜	巴	把	播	覇	杷		4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	蕢	蕗	~/	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	フ	4190	伏	副	復	幅	服						×	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配		4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏		4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠		4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	Ŧ	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍		4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀		4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠		4230	幣	$\overline{\Psi}$	弊	柄	並	蔽	閉	陛	₩.	頁	1	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	3990	爆	縛	莫	駁	麦						_	4240	僻	壁	癖	碧	別	崉	蔑	箆	偏	変	T	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
	4000		巡	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌		4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婏	弁		4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4010	畑	畠	Л	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰		4260	鞭	保	舖	鋪	甫	捕	步	甫	補	輔	ユ	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判		4270	穂	, 募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣		4520	祐	裕	誘	遊	E	郵	雄	融	タ	ž
	4030	¥	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版		4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖		4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩		4290	抱	捧	放	方	朋						_	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	般	蕃	蛮	罪		4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬		4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	丌	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏		4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	꼬꼬	翼	淀	羅
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被		4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	_	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微		4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	フ	4580	乱,	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
	4090	枇	毘	琵	眉	美							4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	\vdash	墨	撲	朴	IJ	4590	履	李	梨	理	璃					

	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	$\overline{\}$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立																						
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒																						
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚																						
פן	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜																						
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫																						
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟																						
ル	4660	瑠	塁	涙	累	頖	令	伶	例	冷	励																						
	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	靈	麗																						
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐																						
$ ^{\nu}$	4690	漣	煉	簾	練	聯																											
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路																						
	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏																						
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	大	麓	禄																						
	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑																						
	4740	枠	鷲	亙		鰐	詫	藁	蕨	椀	湾																						
	4750	碗	腕																														
	4760																																
	4770																																
רן	4780																																
	4790																																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\sum	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800] =	丐	不	\uparrow	丱	1	丼	J	又	5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
4810	乖	乘	亂	Ţ	豫	亊	舒	Ξť	于	亞	5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
4820	应		亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	5070	吩	吝	呎	咏	回	咎	呟	呱	呷	呰	5320	婀	婬	婉	娵	婜	婢	婪	媚	媼	媾
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
4840	侚	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	5090	咥	咬	哄	哈	咨						5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	5350	孀	子	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	5360	學	斈	孺	┍┷┑	Ė	宦	宸	寃	寇	寉
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
4890	傀	傚	傅	傴	傲						5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	5390	尹	屁	屆	屎	屓					
4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	뿖	營	5400		屐	屏	孱	屬	ய	此	屶	屹	岌
4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀		E	册	冉	5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓		化	5430	崮	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
4940	冏	冑	冓	冕		冤	冦	豖	舄	冪	5190	囹	肹	有	吾	幸						5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶		嶄	嶂
4950	>	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	5200		卷	或	韋	員	肁	몸	嗇	瞏	圦	5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
4960	Л	處	凩	凭	凰	Ш	亟	刃	刋	刔	5210	圷	圸	坎	圻	业	坏	坩	埀	垈	坡	5460	巓	戀	巖	~~~	巫	已	巵	帋	帚	帙
4970	刎	刧	₩IJ	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	5480	幟	幢	幤	幇	ŦŦ	并	幺	麼	ŗ	庠
4990	劒	剱	劈	劑	辨						5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	5490	廁	廂	廈	廐	廏					
5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	囪	5260	壗	壙	壨	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	5510	廬	廱	廳	廰	Ł	廸	廾	弃	弉	彛
5020	甸	匍	匐	匏	七		匣	淮	貴	僉	5270	壻	壺	壽	夂	夂	敻	夛	梦	夥	夬	5520	彛	ť	弑	弓	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5030		區	卆	Ш	丗	卉	22	凖	†	Γ	5280	天	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	5530	彎	弯	互	彖	彗	彙	纟	彭	7	彷
5040	卮	夘	卻	卷	Г	厖	厠	夏	厥	斯	5290	奢	奠	奧	奬	奩						5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	$\overline{\}$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
555	0 夜	を徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
556	0	夏忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	縱	榱	樞	槭
557	0 /YE	自怫	; 怦	怏	怺	恚	恁	悋	恷	恟	5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	撖:	樌	橲
558	0惕	易怄	Ī恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	撲	樢	檐
559	0 作	亅悁	惧	悃	悚						5840	敞	敝	敲	數	劔	鯼	變	斛	斟	斫	6090	檍	檠	檄	檢	檣					
560	0	悄	ì悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	擯	檬	櫞
561	0	夏惓	衶	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	5860	旡	早	杲	昊	昃	旻	杳	眤	昶	昴	6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	葉	櫺	欒
562	0 兌	ī惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	匘	5870	昜	晏	晄	晉	晁	睎	晝	晤	晧	晨	6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹í	欽	歇	歃
563	0 民	、愎	愈	愾	慤	愧	慊	愿	愼	愬	5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	睻	暘	瞑	6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
564	0 1 億	Ì愽	逐	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	5890	曁	暹	曉	暾	暼						6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	瘍	殪	殫
565	0帽	11億	[慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	5900		曄	瞭	曖	曚	矌	昿	曦	曩	\square	6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	⊞;	鯍	毟
566	0 穒	!惇	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	5910	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	ŧ	氛	氤
567	0 成	颠懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚:	沁	沛
568	0	刺懶	劕懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	弘	沽	泗
569	0 5	ì成	戌	戔	戛						5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	6190	泅	泝	沮	沱	沾					
570	0	夏	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	Ē	洶	洫
571	이캬	F 打	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	完	涓	浤
572	0 打	「杉	- 拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
573	0 护	「擔	拈	拜	拌	拊	拂	捆	拁	拉	5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	棹	棊	椈	棘	6230	涵	淇	涂	洞	淆	淬	淞	治	淨	淒
574	0 #	子.拮	i拱	挧	挂	挈	拯	 拵	捐	挾	5990	. 相	椦	棡	枠	棍						6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭 :	湮	渮
575	0 担	見授	捍	掖	拾	扳	掫	挿	掣	掏	6000		桰	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	泉	湍	渟
576	- j () 拒	目抗	治	捫	,,,	掾	揩	揀	_ 揆	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	梸	榆	楹	6260	湃	渺	湎	, 渤	滅	渝	游	溂	溪	法
577	0 掲	€ 插	挪	揄	搖	塞	擂	搓	搦	搶	6020	 楷	楜	楸	梋	楔	棉	格	椹	楴	椽	6270	滉	溕	滨	溽	溯	滄	测	滔	滕	溏
578	0指	「「「「「「」」	揚	搏	摧	室	搷	摎	摺	 撕	6030	禄	椰	榆	楞	楝	槟	棋	榲	<u>榮</u>	槐	6280	演	滂	/ [潁	溉	""	[[]]]	許	滾	""
579	0	毛掇	撩	."	撼	-			0-0		6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	6290	滲	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	滯	漲	滌	,	,, _ ,	- 1 -		

$\overline{\}$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300		漾:	漓	滷	澆	潺	潸	澁	初初	潯	6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6310	潜	潜	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6320	漺	澣:	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6340	瀏	濾:	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	6590	癩	癪	癧	癬	癰						6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簀	簧	簮
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	6600		癲	₹	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	6860	籘	籟	籖	籖	籥	籬	籵	粃	粐	澚
6370	熙	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	6620	盍	盖	盒	盞	盡	鮙	盧	盪	蘯	盻	6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	梁	粮	粹
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	模	勝鬲	糯
6390	燠	燬	燧	燵	燼						6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	6890	糲	糴	調和	糺	紆					
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6410	爲	爻	爼	뉘	牀	牆	牋	牘	牴	牾	6660	瞽	瞻	矇	矍	麚	矚	矜	矣	矮	矼	6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	緊	綣	綵
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狼	狡	狹	狷	倏	6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	6930	緇	綽	綫	緫	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	6690	碾	碼	磅	磊	磬						6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡;	縅	縊	縣
6450	獎	獏	黓	獗	獪	獨	獰		獵	獻	6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	膝	繆	繦	縻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珇	珮	珞	璢	6710	礫	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	禄	6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱						6740	稟	禀	稱	稻	槀	稷	穃	穂	穉	穡	6990	纎	纛	纜	缸	缺					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	宨	窘	7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
6510	瓷	甊	赘	甅	甌	甎	甍	甕	甓	當	6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	窗	窿	邃	窨	7010	罟	罠	罨	置	罧	罸	羂	罷	冪	羈
6520	甦	甬	甲	畄	畍	畊	畉	畛	前	畚	6770	竊	竍	竏		竓	站	竚	竝	竡	竢	7020	野	羌	羔	· 着	羝	羚	羣	揭	義	櫜
6530	畩	時	_ 畧	書	畭	畸	當	疆	疇		6780	竦	竭	· 竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	竿	7030	羹	羶	羸	譱	翊	鄍	翊	翕	翔	翡
6540	疊	疉	疂	 疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	6790	笞	笵	笨	笶	筐						7040	前羽	翩	殿	翹	飜	· 耆	耄	耋	耒	耘
	0	1 8	2	3 4	4	5	6	7	8	9	$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	------	------------	--------------	------------	----------	---	-----	------	-----	-----------------	---	---	----------	----	--	---	-------	---	---	---	-----------------	---	---	----	---	----	----	--	---------------	---	---
7050	耙	耜	助非	溽耳	火日	耻	聊	聆	聒	聘	7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	淳	諍	諂
7060	聚	智耳	定日	辩翟	聳	豎]	聰	譶	聹	聽	7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	宣	諢	諷
7070	聿	肄县	津戸	肅月	I	肓」	肚	肭	冒。	肬	7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	必	謗	謠
7080	胛	胥朋	乍月	氏冒	 青月	还	胖	脉	胯	胱	7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	7580	圖	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	潙	譏	譎
7090	脛	脩阍	<u>寄</u> 月	甫朋	夜						7340	虎	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	7590	證	譛	譛	譚	譫					
7100		隋Ⅰ	典 月	卑刖	非月	府」	胼	腱	腮	腥	7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7110	腦	腴刖	日月	鬲朋	朝月	房	膂	膠	膕	膤	7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7120	膣	腟刖	易月	貳朋	番月	膵	膾	膸	膽	臀	7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7130	臂	膺刖	<u></u> 愈	齊朋	需月	燕」	臘	臈	臚	臓	7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7140	臠	臧臺	壹 爭	秦ら	足見	舁:	舂	舅	與	舊	7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙						7640	貢	貮	貶	賈	賁	賤	賣	資	賽	賺
7150	舍	舐貧	捕﹐∄	讼舟	店Ĥ	河	舳	艀	艙	艘	7400		蝓	蝣	蜴	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	膽	贐	齎	贓
7160	艝	艚舟	童魚	義舟	嗇魚	蒙	艪	艫	舮	艱	7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7170	艷	ψΨ 🦪	ţ,	与 ŧ	± 3	芫	芟	芻	芬	苡	7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7180	苣	荷	ŧī	当る	₹ ī	<u>.</u>	苞	范	苻	苹	7430	蠑	蠖	蠕	惷	蠡	靐	譖	蠹	蠧	彎	7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7190	荷	茆首	ŧ	床 : 1	+	-	-	. —			7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袬	7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7200		茵蒿	古 4	<u></u> 支	<u></u>	策:	荀	茹	荐	荅	7450	衵	衦	袵	衲	袂	袗	衵	袮	袙	袢	7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	從	蹠	踪
7210	茯	デオ	古灵	古え	÷₹	徒	莪	莟	萊	莖	7460	袍	袤	雭	祥	袱	裃	祈	裔	裘	裙	7710	蹒	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7220	茣	莎蘭	历	₩ ₽ ₽	茶	_ 뙸	昔	荵	菾	莉	7470	裝	裏	袖	裼	裴	裨	袻	褄	褌	福	7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	踾	躬	躰	軆
7230	莨	蕃	青耳	筆貫	夏,	菣:	茨	菘	萋	善	7480	褓	襃	祒	褥	裉	褫	袝	襄	褻	褶	7730	躱	躾	軅	軈	軋,	軛	惠	軼	軻	軫
7240	萧	模 ž	 ₹ ₹	拒求	本ジ	萢	荫	莽	萸	;]	7490	縷	褑	褝	襠	髣		1.5-4				7740	軾	軒	輅	輕	輒	輙	•●	[[] []	輟	輌
7250	菻	葭着	立事	嘻 喜		詩	葷	茄	索	薛	7500		襦	· · 襦	補	襪	襯	襴	襷	襾	曺	7750	輌	替	輳	輻	鳆	轅	彀	輾	轌	轉
7260	蒂	荷れ	東夏	「「「「」」	方す	流	「	蒶	葢	蕃	7510	覈	蠠	囼	覘	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	覩	覦	覬	題	覲	7760	轆	挿	鹹	轜	轢	轣	轤		辟	辣
7270	营	訪友	広言	皆ま	這不	该	蔵	萎	蘆	園	7520	層	盲	顫	觀	釽	觜	觗	鮮	觞	觸	7770	辭	辯	ì	沖	洞	沼	迪	沙	阚	迥
7280	蒡	蔡才	吉言	重商	唐 a	蔘	蔬	荒蔟	蕭	蔔	7530		討	訐	ΞT	訛.	訝	訪	詞	討	詞	7780	洉	洂	~洒	泳	涇	淀浚	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	~ 逞:	~	浦
7290	蓼	蕀	富重	這 が	重				. 12		7540	計	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	7790	浴	逶	~逵	注	迸					

$\overline{\ }$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	830)	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	8060	靺	鞆	黊	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	8310) 鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
7820	邊	邉.	邏	邨	邯	郎	邵	郢	郤	扈	8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	8320) 鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頹	頛	8330) 鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	驢	麁	麈
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	8090	顏	顋	顫	顈	顰						8340)麋	麌	麒	麚	麑	麝	麥	麩	麸	麪
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	8350) 麭	靡	觷	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
7860	釟	釜	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	錺	8360) 點	黥	黨	隦	黴	黶	黷	黹	黻	黼
7870	鈤	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	餾	饉	謾	8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥!	馭	8380) 齔	齣	齟	齖	齡	齦	諁	龉	齪	齷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮						8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	詻	8390)齲	闘	龕	龜	龠					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	8400)	堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	8160	驅	驂	驀	驃	騾	騎	驍	驛	驗!	驟											
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	8170	驢	驥	驤	驩	馬鰢	驪	骭	骰	骼	髀											
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯											
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	8190	髫	髮	髴	髱	髷																
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	8200		髺	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬛	F€	鬧											
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	8210	鬨	鬩	鬪	驅	鬯	鬲	魄	魃	魏!	鼰											
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟											
7980	關	閳	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鮪	鯏	鯑	鯒											
7990	陏	陃	谄	陜	陞						8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕											
8000		陝	踄	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鯎	郶											
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	譆											
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫											
8030	霈	霓	妻	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鶮											
8040	霹	霽	薶	靄	靆	蠠	靂	靉	靜	靠	8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈																

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品の保守サービスにつきましては、販売担当者または 購入元にお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。 弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の保有期間は、製造終了後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品(ト ナーコンテナを含む)は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用(リユース)し、不可能なものは、マテリアルリ サイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について

お客様の大切な情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目の データを消去することをお勧めします。

削除する対象

- アドレス帳(ワンタッチ含む)
- ネットワーク設定
- ボックス内データ
- ◆セキュリティーデータの完全消去(8-53)
- FAXデータ(自局名/自局番号/通信履歴)
- ▶FAXデータの消去(ファクス使用説明書参照)

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却くだ さい。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に 従い廃棄処理されます。



Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・シス テムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称で す。

AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワーク で、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約 されている169.254.0.0 ~169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、 およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくて も、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows Vista 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

bpp(bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲードウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。 DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレ スを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、 構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPv6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。 再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する 必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi(dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ(25.4 mm)当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP(File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。 現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP(Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル)は、インターネット網に代表されるTCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコン の間で印刷データなどのやり取りを行うための規格で す。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても 印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および 暗号化にも対応しています。

KPDL(Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

KYOCERA Net Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティーです。付属のDVD-ROMに収 録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属のDVD-ROMに収録さ れています。

NetBEUI(NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワーク ではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択する ルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社の Windowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなど が提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレー ションモードを搭載しています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management Electronic document file format for long-term preservation Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷 目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3 (Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロ トコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品 質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や 日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式へ の対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM(prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA(Stateless)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA)です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463 [Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスク として設定することによって、ジョブボックスの試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードが使えるよう になります。

SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP(IPv6)

TCP/IP(IPv6)は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP(IPv4)をベースに、管理できる アドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インター ネットプロトコルを示します。

TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに 対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe PhotoshopをはじめとするグラフィックソフトやOCRソフトで多く採用されています。

USB(Universal Serial Bus)2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。 本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA (Windows Imaging Acquisition)

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わず ともマイコンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)

WPSは、無線LAN機器同士の接続や暗号化設定を簡単に行えるようにするため、Wi-Fiアライアンスによって策定された 規格です。WPSに対応した機器同士は、プッシュボタンを押したり、パスワードを入力したりするだけで無線LANアクセ スポイントに接続できます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3(PostScript3互換)のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消 費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現し ます。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス(Prefix)とは、「接頭 辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IP アドレスを表記するときに、 ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、"133.201.2.0/24"のように"/"(スラッシュ)の後にプレフィック ス長(この場合は「24」)を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長(つまりネット ワーク部)が24ビットの「133.201.2.0」というIP アドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増 えたネットワーク・アドレス部(本来のホスト・アドレス部の一部分)をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマ スクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機し ます。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で 排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷する ページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレ イに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリスクライブ(PRESCRIBE)コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な 様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミング を容易にします。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属の DVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機のタッチパネルには[?](ヘルプ)があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく 動作しないで困ったときなど、[?]を選択すると、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

ユーザーボックス

ユーザーごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ユニバーサル(Universal Design)

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことです。本機では、 タッチパネルの角度を2段階に変えることができます。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

<mark>数字</mark> 1ページ文書の仕分け 8-20

A

Active Directory 12-44 AirPrint 5-48 Apacheライセンス(Version 2.0) 1-9 AppleTalk 12-44 Auto-IP 12-44 設定 8-35, 8-37

B

Bonjour 12-44 設定 8-39 bpp(bits per pixel) 12-44

С

Command Center RX 2-41

D

DHCP 12-44 設定 8-35, 8-37 DHCP(IPv6) 12-44 DHCP(IPv6) 設定 8-36 dpi 12-44 DSMスキャン 5-23 プロトコル設定 8-41

E

Enhanced WSD 12-45 プロトコル設定 8-45 Enhanced WSD over SSL プロトコル設定 8-45 eSCL プロトコル設定 8-45 eSCL over SSL プロトコル設定 8-46

F

File Management Utility 5-24, 5-26 FMU Connection 5-24 FTP 12-45 FTP暗号送信 6-38 初期値 8-17 FTPクライアント(送信) プロトコル設定 8-40 FTPサーバー(受信) プロトコル設定 8-40 FTP送信 5-19 FTPのフォルダーに送信 5-19

G

Google Cloud Print 5-48 GPL/LGPL 1-7

Н

HTTP プロトコル設定 8-42 HTTPS プロトコル設定 8-42

IDカードコピー 6-3 IPP 12-45 プロトコル設定 8-42 IPP over SSL プロトコル設定 8-43 IPSec 8-39 IPアドレス 12-45 設定 8-35, 8-37

J

JPEG/TIFF印刷方法 6-42

Κ

Knopflerfish ライセンス 1-9 KPDL 12-45 KYOCERA Net Direct Printing 12-45 KYOCERA Net Viewer 12-45

L

LDAP プロトコル設定 8-41 LPD プロトコル設定 8-40

Μ

Monotype Imagingライセンス契約 1-8 Mopria 5-48

Ν

```
NetBEUI 12-45
プロトコル設定 8-40
NetWare
設定 8-48
NFC
印刷 5-49
設定 2-20, 8-55
```

0

OHPフィルム 12-26 OpenSSLライセンス 1-7

Ρ

PCL 12-45 PDF/A 12-45 Ping 8-47 PINコード認証 9-30 POP3 12-46 POP3(メール受信) プロトコル設定 8-40 PostScript 12-46 PPM 12-46 PRESCRIBE 12-48 Product Library xlvii

R

RA(Stateless) 12-46 設定 8-36, 8-38 RAMディスク 12-46 Raw Port プロトコル設定 8-43

S

SMBクライアント(送信) プロトコル設定 8-40 SMB送信 5-16 SMTP 12-46 SMTP(メール送信) プロトコル設定 8-40 SNMP プロトコル設定 8-41 SNMPv3 プロトコル設定 8-41 SSDの初期化 8-53 SSL セキュリティー設定 8-46

Т

TCP/IP 12-46 TCP/IP(IPv4) 設定 2-13, 8-35, 8-37 TCP/IP(IPv6) 12-46 Thin Print over SSL プロトコル設定 8-44 ThinPrint プロトコル設定 8-44 TWAIN 12-46 TWAINドライバーの設定 2-36 読み込み 5-21

U

USB 12-46 USB メモリースロット 2-2 USBインターフェイス 2-7 USBインターフェイスコネクター 2-4 USBケーブル 接続 2-9 USBメモリー 印刷 5-50 情報確認 5-51 取り外しかた 5-52 保存 5-50 USBメモリーからの印刷 5-50 USBメモリーへの保存 5-50

W

WIA 12-47 WIAドライバーの設定 2-38 読み込み 5-21 Wi-Fi Direct 印刷 5-48 設定 2-19, 8-32 WPS(Wi-Fi Protected Setup) 12-47 WSD印刷 プロトコル設定 8-41 WSDスキャン 5-23 プロトコル設定 8-41

Х

XPS印刷サイズ調整 6-42 初期値 8-17

あ

アウトラインフォント 12-47 厚紙 12-28 宛先 宛先確認画面 5-32 アドレス帳 5-29, 5-31 アドレス帳から選択 5-29, 5-31 アドレス帳の種類 8-27 確認/変更 5-32 検索 5-30 再宛先 5-33 種類の異なる相手への送信(複合送信) 5-25 新規登録 3-34 送信前の宛先確認 5-32 短縮番号指定 5-31 表示順 8-27 ワンタッチキー 3-40 ワンタッチキーから選択 5-31 宛先の確認または変更 5-32 宛先編集 アドレス帳 3-34 アドレス帳初期設定 8-27 グループ 3-37 個人 3-34 編集制限 8-27 ワンタッチキー 3-40 アドレス帳 3-34 グループ 3-37 個人 3-34 削除 3-39 登録 3-34 変更/削除 3-38 アプリケーション 2-54、8-26 暗号化PDFパスワード 6-41

い

一般的なトラブル
 画像のトラブル 11-6
 カラー印刷のトラブル 11-9
 機械動作のトラブル 11-3
 一般的な問題について 11-2
 印刷ジョブのキャンセル 5-13
 印刷する
 定形サイズ用紙 4-5
 不定形サイズ用紙 4-7
 印刷設定 5-48

印刷速度 12-33 印刷の中止 4-9 印刷用紙 1-12 インストール Macintosh 2-34 Windows 2-27 ソフトウェア 2-26 インターネット 8-26 インターフェイスブロック設定 8-50

う

うら写り防止 6-20 初期値 8-16

え

エコプリント 6-14, 12-47 プリンター 8-29 絵表示 1-2 エミュレーション 12-47 エラー後自動継続時間 8-57 エラー処理設定 8-19 用紙ミスマッチエラー 8-19 エラーメッセージー覧 11-10 エンターキー 3-14

お

オートスリープ 2-23, 12-47 オートパネルリセット 8-56 お気に入り ウィザード形式で実行する 3-47 削除 3-48 登録 3-46 プログラム形式で実行する 3-47 編集 3-48 音設定 8-11 オプション オプション構成 12-2 オプションインターフェイススロット 2-4 オプション機能 8-54, 8-55 オプションネットワーク 基本設定 8-48 ワイヤレスネットワーク 8-49 オリジナルSSLeayライセンス 1-7

か

解像度 12-32, 12-33 カウンターの確認 3-18 各部の名称 2-12 カセット 用紙サイズと用紙種類 8-9 用紙のセット 3-21 カセット/手差しトレイ設定 8-9 カセット1 2-2 紙づまりが発生したら 紙づまり位置表示 11-34 原稿送り装置(自動両面) 11-41 手差しトレイ 11-35 右カバー1 11-36 右カバー2,3 11-38 カラー カラーバランス 6-16 キャリブレーション 11-30 地色調整 6-19, 8-58 色相調整 6-17 カラー印刷位置補正 自動補正 11-24 手動補正 11-28 カラー選択 6-15 カラーバランス 6-16 簡単セットアップ 2-24 簡単ログイン 3-17 簡単ログイン 3-17 簡単ログイン 9-26 管理 9-3

き

キーボード入力方式 8-20 機器情報の表示 3-11 機能キー登録 3-4, 8-20 機能キーの表示 3-12 基本的な送信 5-14 キャリブレーション 11-30 給紙指定動作 8-30 共通設定 8-11 1ページ文書の仕分け 8-20 エラー処理設定 8-19 音設定 8-11 キーボード入力方式 8-20 機能キー登録 8-20 機能初期值 8-16 原稿設定 8-12 状況/履歴の表示 8-20 初期画面 8-11 電源オフ時確認 8-21 トナー残量少の通知レベル 8-20 入力長さ単位 8-19 排紙先 8-19 部数制限 8-18 用紙設定 8-13

< ا

区点コード表 12-43 グループ認可設定 9-18 グループ認可 9-18 グループリスト 9-18 グレースケール 12-47

け

ケーブル 2-7 ゲスト認可設定 9-21 ゲスト認可 9-21 ゲストプロパティ 9-22 原稿 カスタム 8-12 セット 5-3 原稿送り装置 2-2 原稿のセット 5-5 原稿のセット方法 5-5 使用できる原稿 5-5 原稿サイズ 6-4 原稿サイズ混載 6-6 組み合わせ 6-8 原稿ストッパー 5-6 原稿/用紙設定 8-12 原稿セット 5-14 原稿送り装置 5-5 原稿ガラス 5-3 原稿セット向き 6-9 原稿の画質 6-13 原稿のプレビュー 3-14 原稿幅ガイド 2-3

C

国際エネルギースタープログラム 1-13 コピー 5-14 コピー/スキャン禁止事項 1-5 コピー速度 12-32 コントラスト 6-18 こんな表示が出たら 11-10

さ

再生紙 12-29 彩度 6-19 サブネットマスク 12-47 設定 8-35, 8-37

L

地色調整 6-19, 8-58
色相調整 6-17
時差 8-56
システム/ネットワーク 8-32
Bluetooth設定 8-51
NFC 8-55
インターフェイスブロック設定 8-50
オプション機能 8-54
オプションペットワーク 8-47
セキュリティーレベル 8-51
データセキュリティー 8-53
デバイスの再起動 8-51
ネットワーク 8-32
優先ネットワーク(クライアント) 8-50

システムメニュー 宛先編集 8-27 アプリケーション 8-26 インターネット 8-26 カウンター 8-8 カセット/手差しトレイ設定 8-9 簡単セットアップウィザード 2-24 共通設定 8-11 コピー 8-23 システム/ネットワーク 8-32 操作方法 8-2 送信 8-29 調整/メンテナンス 8-58 日付/タイマー/節電 8-56 ファクス 8-26 プリンター 8-29 文書ボックス 8-29 ホーム 8-22 ユーザー/部門管理 8-27 ユーザー情報 9-11 レポート 8-5 自動改ページ待ち時間 12-47 自動画像回転 6-28 自動用紙選択機能 12-48 自動両面機能について 1-12 シャープネス 6-18 終了通知設定 8-6 縮小/拡大 6-20 手動設定(IPv6) 8-36, 8-38 ショートカット 3-49, 5-14 削除 3-50 登録 3-49 編集 3-49 仕様 原稿送り装置 12-34 コピー機能 12-32 スキャナー機能 12-33 プリンター機能 12-33 ペーパーフィーダー(550枚×1) 12-34 ペーパーフィーダー(550枚×2) 12-34 状況/履歴の表示 8-20 商標について 1-6 使用枚数の集計 カウンター 3-18 全部門集計 9-47 不明ユーザー設定 9-52 部門管理レポート印刷 9-49 部門別集計 9-48 用紙サイズ別 9-44 消耗品 残量確認 7-12 消耗品の交換と補充 トナーコンテナの交換 10-4 廃棄トナーボックスの交換 10-7 用紙の補給 10-9

初期画面 8-11

初期値 XPS印刷サイズ調整 8-17 うら写り防止(コピー) 8-16 原稿セット向き(コピー) 8-16 そ 地色調整(送信/保存) 8-16 ソート/仕分け 8-16 とじしろ 8-17 白紙ページスキップ(保存/送信) 8-16 送信 ファイル形式 8-16 ファイル分割 8-16 ファクス送信解像度 8-16 文書名入力 8-17 読み込み解像度 8-16 連続読み込み(送信/保存) 8-17 連続読み込み(ファクス以外) 8-17 ジョブ 一時停止と再開 7-9 た 確認画面の表示 7-2 キャンセル 7-9 状況確認 7-2 状況の種類 7-2 詳細情報 7-6 ち 履歴確認 7-10 履歴画面の表示 7-8 履歴送信 7-8, 8-7 履歴の詳細 7-8 ジョブ終了通知 6-28 ジョブボックス 12-48 クイックコピー 5-45 クイックコピージョブ保持数 8-25 試し刷り後保留 5-46 パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存 調整/メンテナンスメニューについて 11-24 する 4-10 プライベートプリント 5-43 T

す

スキャンをキャンセルする 5-28 スキャン禁止事項 1-5 ステータスページ 12-48 ステータスモニター 起動 4-17 終了 4-14 通知機能の設定 4-17 スリープ 2-23 スリープレベル 8-56 節電優先 2-23 復帰優先 2-23 スリットガラス 2-2

せ

清掃 原稿ガラス 10-2 スリットガラス 10-2 セキュリティーデータの完全消去 8-53 接続 USBケーブル 2-9 電源コード 2-9 ネットワークケーブル 2-8 接続方法 2-12 設置環境について 1-3

設定画面の表示 3-12 節電復帰レベル 2-22

ソート/仕分け 6-10 初期值 8-16 操作パネル 2-2 ファクスサーバーをつかってそうしんする 5-26 送信結果レポート 8-6 送信サイズ 6-33 送信する 5-14 送信設定 8-29 再宛先 8-24 送信前確認 5-32

タッチパネル 3-6 短縮キー 3-14

注意表示 1-2 長尺原稿 6-41 調整/メンテナンス 8-58 階調調整 8-59 キャリブレーション 11-30 現像リフレッシュ 11-30 自動カラー判別基準 8-58 シャープネス調整調整 8-58 ドラムリフレッシュ 8-59, 11-33

低電力モード 2-22 低電力モード時間 8-56 手差しトレイ 2-3, 12-48 はがき、封筒のセット 5-9 用紙サイズと用紙種類 8-10 用紙のセット 5-7 デバイスの状態確認 7-10 デフォルトゲートウェイ 12-48 設定 8-37 電源オフ時確認 8-21 電源コード 接続 2-9 電源スイッチ 2-2 電源を入れる 2-10 電源を切る 2-10 電波の種類と干渉距離 1-14 電力管理 1-12

と

とじしろ 初期值 8-17 トナーコンテナ 2-3 トナーコンテナの交換 10-4 トナー残量少の通知レベル 8-20 トナーの残量確認 7-12 ドラムリフレッシュ 8-59

トレイ1~5 2-5

に

日常のお手入れ 10-2 入力 件名 6-38 文書名 6-30 入力長さ単位 8-19

ね

ネットワーク 準備 2-13 ネットワークインターフェイス 2-7 ネットワークインターフェイスコネクター 2-4 ネットワークケーブル 2-7 接続 2-8 ネットワーク設定 NFCの設定 2-20 Wi-Fi Directの設定 2-19 有線の設定 2-13 ワイヤレスネットワークの設定 2-15

の

濃度 6-12 濃度調整 8-58

は

廃棄 12-43 廃棄トナーボックス 2-3 廃棄トナーボックスの交換 10-7 排紙先 6-11, 8-19 はがき 12-28 白紙ページスキップ 6-30 パソコンから印刷 5-48 パソコンの共有フォルダーに送信 5-16 パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準 備 3-24 パネルリセット時間 8-56

ひ

日付/時刻 8-56 日付/タイマー/節電 8-56 Pingタイムアウト時間 8-57 エラー後自動継続時間 8-57 使用禁止時間 8-57 スリープレベル 8-56 パネルリセット時間 8-56 日付と時刻の設定 2-12

ふ

ファーストコピー時間 12-32 ファーストプリント時間 12-33 ファイル PDF 6-34 形式 6-34 分割 6-37 ファイル分割 初期値 8-16 封筒 12-28 フォルダー(FTP)送信 5-14 フォルダー(SMB)送信 5-14 複合送信 5-25 付属マニュアルの紹介 xlvi 部門管理 9-32 **TWAIN 9-40** WIA 9-41 印刷 9-38 削除 9-38 使用制限 9-35 使用枚数の集計 9-46 初期設定 9-43 新規登録 9-34 ファクス 9-42 部門管理について 9-32 部門管理方式 9-33 部門管理レポート 9-49 編集 9-37 ログアウト 9-51 部門管理設定 コピー/プリンターカウント方法 9-51 制限超過時設定 9-36 プリスクライブコマンド 12-48 プリンター A4/Letterの共通使用 8-29 印刷設定 5-48 印刷範囲補正 8-30 エコプリント 8-29 自動力セット切り替え 8-30 手差しトレイ優先 8-30 部数 8-29 両面印刷 8-29 プリンター設定 8-29 プリンタードライバー 12-48 印刷設定 4-2 初期値設定値の変更 3-51 ヘルプ 4-4 プレプリント 12-29 プロキシー 8-47 文書ボックス 外部メモリーボックス 3-52 ジョブボックス 3-51 ユーザーボックス 3-51 文書ボックス/外部メモリー ポーリングボックス 8-25 ユーザーボックス 8-25 文書ボックス設定 8-29 文書名入力 6-30 初期值 8-17

ファクス設定 8-26

\sim

ページ集約 6-22 ヘルプ 12-48 便利な送信 5-22

ほ

ホーム 8-22 タスクバーの設定 3-8 ホーム画面 3-6 法律上のご注意 1-6 補修用性能部品 12-43 保守サービス 12-43 ホスト名 8-32 保存サイズ 6-40 本書の読みかた xlix 本製品の省エネ制御機能について 1-12

8

メール件名/本文 初期値 8-17 メール設定 2-45 メール送信 5-15

ŧ

文字の入力 入力画面 12-12 文字変換 12-16, 12-19

ゆ

ユーザー/部門管理 ID不明ジョブ処理 9-52 不明ユーザー設定 9-52 ユーザー管理 9-2 ICカード設定 9-29 PINコード認証 9-30 TWAIN 9-14 WIA 9-15 印刷 9-13 簡単ログイン設定 9-26 グループ認可設定 9-18 ゲスト認可設定 9-21 新規登録 9-5 ネットワークユーザー情報の取得 9-24 ファクス 9-16 ユーザーアカウントロックアウト設定 9-4 ユーザー管理とは 9-3, 9-2 ユーザー情報の変更 9-10 有効 9-3 ローカルユーザー認可 9-17 ログアウト 3-17 ログイン 3-16 ユーザー情報 9-11 ユーザーボックス 12-48 印刷 5-47 送信 5-40 文書の削除 5-40 文書保存 5-36 ボックスの削除 3-55 ボックスの作成 3-52 ユニバーサル 12-48

よ

用紙 カセット 8-9 カセットへのセット 3-21 給紙段の選択 3-20 サイズと種類 12-21 手差しトレイ 8-10 手差しトレイへのセット 5-14 特殊な用紙 12-25 取り扱い上の注意 3-4、3-19 はがきのセット 5-9 封筒のセット 5-9 用紙の残量確認 7-12 用紙設定 8-13 用紙選択 6-6 用紙長さガイド 3-21 用紙の補給 10-9 用紙幅ガイド 3-22 読み込み解像度 初期值 8-16

6

ラスタライズ 12-48 ラベル紙 12-27

り

両面/分割 6-25

れ

レーザースキャナークリーニング 11-33

3

ローカルユーザー認可 9-17 ログアウト 3-17 ログイン 3-16

わ

ワイヤレスネットワーク 設定 2-15 ワンタッチキー 登録 3-40 変更 3-41 削除 3-41



KYDCERa お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡 ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュナントソリューションズ株式会社 京セラドキュナントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号 http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp



©2017 KYOCERA Document Solutions Inc. KUDEER は京セラ株式会社の登録商標です。